



当初設計

2026年度

東部陸橋・8－1

福山市 東深津町二丁目外2か町 地内

橋梁修繕工事 実施設計書

工 事 概 要	当初設計	
	工事延長 L=150.6m 橋長 L=169.2m 有効幅員 W=8.7m～12.5m 橋梁用高欄工 一式 ひび割れ注入工 L=301.2m 断面補修工 V=1.41m3 表面含浸工 A=488m2 仮設工 一式	

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、橋梁修繕工事（東部陸橋・8－1）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和7年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
- ・小黑板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 施工承認図の作成

- ・受注者は、受注後、設計図書に基づき現地を照査し、施工承認図を作成し監督員に提出すること。

第5節 情報共有システム

- 1 本工事は、受注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 受注者は、情報共有システムの利用対象としないことを希望する場合は、契約後すみやかに発注者にその旨を協議し、承諾を得ること。
- 4 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、（一社）広島県土木協会に利用申込みを行い、利用料を支払うものとする。
- 5 受注者は、情報共有システムの利用にあたり、情報共有システム利用手引に基づき運用すること
- 6 工事情報共有システムの完了後のデータ受理方法について
作成者：受注者
納品方法：CD、DVD
作成方法：「情報共有システム→共有書類・検査支援→一括ダウンロードしたデータ

第6節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第7節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第8節 保安施設設置基準について

- ・工事標示板及び工事説明看板の挨拶文の記載については、広島県保安施設設置基準に準じたものにする。

第9節 再生資源利用計画の現場掲示

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

第2章 施工条件

第1節 関係機関との協議

- ・協議先機関名：西日本旅客鉄道株式会社
- ・協議内容：線路近接工事に関する協議

第2節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第3節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通管制を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要の人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
- 5 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

第4節 保安要員

- ・設置にあたり、関係機関との協議を行い危険防止に努めること。
- ・本工事における保安要員の実施伝票は原本を提出すること。
- ・本工事において保安要員の積上げ人数は、保安要員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要の人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による保安要員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。

第5節 熱中症対策

- ・本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- 1 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日間、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
 - 2 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
 - 3 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
 - 4 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
 - 5 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
 - 6 積算方法は次のとおりとする。
 - (1) 補正方法
ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。
イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
(2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で少数点3位を四捨五入して2位止めとする。
 - 7 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
 - 8 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第6節 任意仮設

- ・本工事に伴う以下の内容の仮設工は、積算用参考図に見込んでいる。なお、積算用参考図は任意仮設の積算内容を示したものであり、工事目的物を完成させるための一切の手段については、受注者の責任において定めるものとする。
- ・内容：枠組足場及び片側朝顔防護足場

第7節 建設副産物について

(1) 工事受注者は、工事着手前に、次の書類を本工事の監督員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先の現地確認写真を提出すること。

1 建設廃棄物処理計画書

- ・廃棄物処理業者（収集及び運搬）の許可証の写し（許可車両の自動車登録番号一覧及び自動車検査証の写しを含む）
- ・廃棄物処理業者（中間処理・最終処分）の許可証の写し（再生資源化施設にあっては、それを示す書類を含む）
- ・運搬ルート、処分場の位置、事業の範囲、処理能力及び処理方法を明示したもの
- ・各処分場の現地確認写真
- ・建設工事の受注者と処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分・再資源化施設）との二者の業務委託契約書の写し

2 再生資源利用計画書

3 再生資源利用促進計画書

(2) 工事受注者は、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「建設廃棄物処理計画書」に従い建設廃棄物及び特定建設資材廃棄物が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に次の書類を監督員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先への搬入状況の写真を添付すること。

1 再生資源利用実施書

2 再生資源利用促進実施書

3 建設廃棄物処理実施書

- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し

（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

- ・収集及び運搬の写真並びに中間処理場及び最終処分場（直接最終処分の場合のみ）への搬入状況の写真

第8節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。

・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。

・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）

が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。

・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基き許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。

・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し

（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

第9節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

・令和7年8月広島県土木工事共通仕様書で使用を義務づけている排出ガス対策型建設機械においては、第三次基準以上の建設機械の使用に努めること。なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第3章 その他

第1節 工事管理者の配置

- ・線路近接工事に必要な技術者として、（一社）日本鉄道施設協会が認定した在来線部門の工事管理者の資格を有し、JR西日本実務検定（在来線）に合格し、西日本旅客鉄道㈱（岡山支社）の特情教育を受講しているものを配置すること。
- ・本工事における保安要員の実施伝票は原本を提出すること。
- ・線路近接作業に先駆けて覚書（標準）及び事故防止施工計画書等の作成及び打合せを行うこと。

第2節 その他項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 70 福山市 00-08.06.01(0)		凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	41 橋梁保全工事 02 市街地(DID補正) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
橋梁支承工	1	式			Y1G0320 レベル2
支承補修工	1	式			Y1G032002 レベル3
支承補修 【支承形式,下部工ブラケット取付の有無】 【支承直下部以外のはつりの有無】	1	式			Y1G03200201 レベル4
支承補修 クロロプレンゴム系相当品 A=0.177m2	1	式			V0002 00 単第0 -0001 表
橋梁付属物工	1	式			Y1G0321 レベル2
排水施設工	1	式			Y1G032103 レベル3
排水管取替工 【管規格】	1	式			Y1G03210302 レベル4
		m			

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
排水管取替工					V0003 00
	1	式			単第0 -0002 表
橋梁用高欄工					Y1G032106 レベル3
	1	式			
橋梁用高欄撤去 【材質,作業区分,高欄形式】					Y1G03210601 レベル4
		m			
高欄撤去					SPK25040122 00
	299	m			単第0 -0006 表
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT4～4.5t積2.9t吊 片道運搬距離3.0km以下(1.5km超)					SPK25040411 00
	2.69	t			単第0 -0007 表
【機器単体費】 共通仮設費[対象外],現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0046
スクラップ H3					F0000000023 00
	2.69	t			
橋梁用高欄 【材質,作業区分,高欄形式】					Y1G03210601 レベル4
		m			
高欄設置工					V0005 00
	1	式			単第0 -0008 表

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
橋梁補修工					Y1G0324 レベル2
	1	式			
ひび割れ補修工					Y1G032404 レベル3
	1	式			
低圧注工法 【材料種類】					Y1G03240402 レベル4
		構造物			
ひび割れ補修工(低圧注工法) 上部工 補修延べ延長31.9m					S1020037 00
	1	構造物			単第0 -0011 表
ひび割れ補修工(低圧注工法) 下部工 補修延べ延長269.25m					V1020037 00
	1	構造物			単第0 -0012 表
断面修復工					Y1G032405 レベル3
	1	式			
左官工法 【材料種類】 【鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有無】					Y1G03240501 レベル4
		構造物			
断面修復工(左官工法) 下部工 (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.545m3					V1020041 00
	1	構造物			単第0 -0013 表
断面修復工(左官工法) 上部工・全部材 (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.861m3					S1020041 00
	1	構造物			単第0 -0014 表

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート殻積込・運搬(断面修復工) [有]DID区間 運搬距離_7.0km以下(5.5km超)	1	m3			S1020051 00 単第0 -0015 表
殻処分 【殻種別】		m3			Y1G03271602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
処分費 コンクリート殻（無筋）	3	t			W0001
表面被覆工	1	式			Y1G032406 レベル3
下地処理		橋			Y1G03240601レベル4
表面含浸工 下地処理 施工手間 昼間単価 高所作業車なし 制約なし	488	m2			F0000000007 00
表面含浸工（P1-P3間、P6-P8間） 亜硝酸リチウム+シラン・シロキサン系 プロコンガードS相当品	409	m2			V0008 00 単第0 -0017 表
表面含浸工（A1・A2橋台） シラン・シロキサン系 プロコンガードS相当品	78	m2			V0001 00 単第0 -0018 表

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設工					Y1G0328 レベル2
	1	式			
防護施設工					Y1G032816 レベル3
	1	式			
仮囲い 【作業区分,基礎形式,高さ】					Y1G03281602 レベル4
		m			
手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場 手摺先行型枠組足場 安全ネット設置					S0380 00
	1,130	掛m2			単第0 -0019 表
片側朝顔防護足場					F000000200 00
	360	m2			
交通管理工					Y1G032821 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1G03282101 レベル4
		人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	150	人			
工事管理者 昼間					F0000000026 00
	2	人			

本工事費 内訳表

頁0 -0007

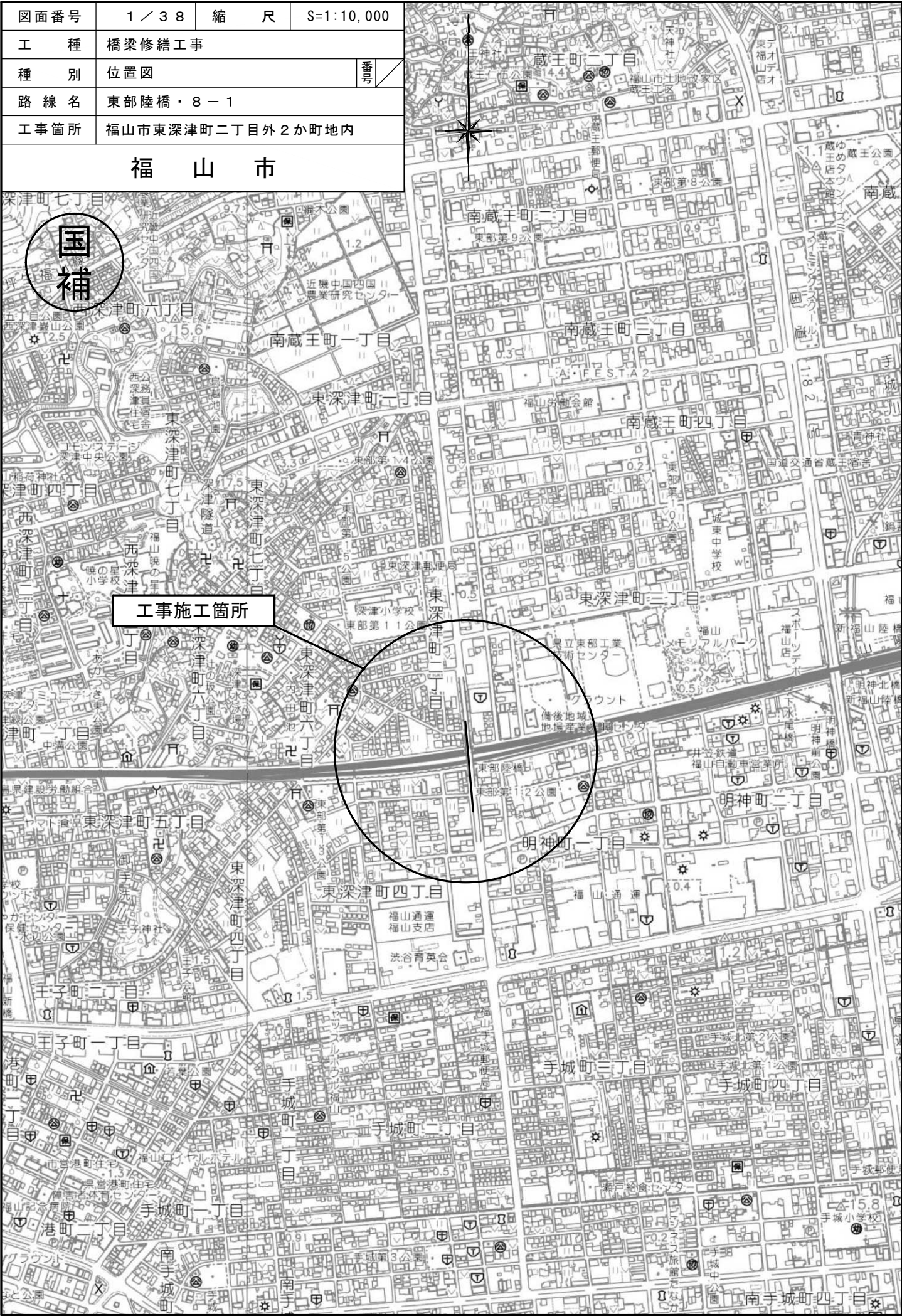
費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
列車見張員 昼間					F0000000027 00
	2	人			
* * 直接工事費 * * #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
契約保証費					
計算情報.....					
対象額.....					当初請対額
率.....					当初対象額
一般管理費計					
* * 工事価格 * *					
* * 消費税相当額 * *					
計算情報.....					
対象額.....					
率.....					
* * 工事費計 * *					
* * 契約保証費計 * *					

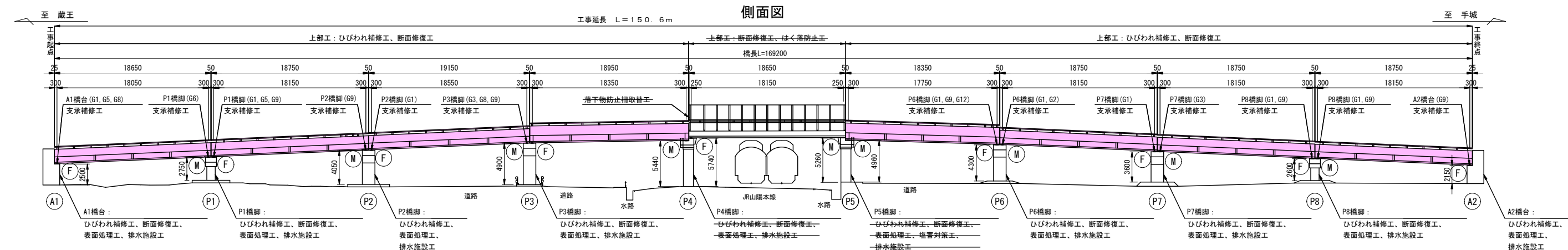
図面番号	1 / 3 8	縮 尺	S=1:10,000	
工 種	橋梁修繕工事			
種 別	位置図			番号
路 線 名	東部陸橋・8－1			
工事箇所	福山市東深津町二丁目外2か町地内			
福 山 市				



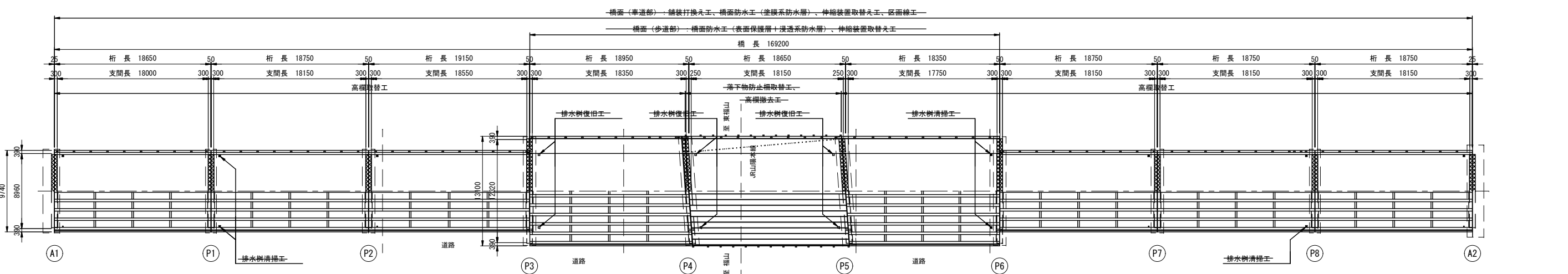
東部陸橋 補修一般図

S=1:250

側面図

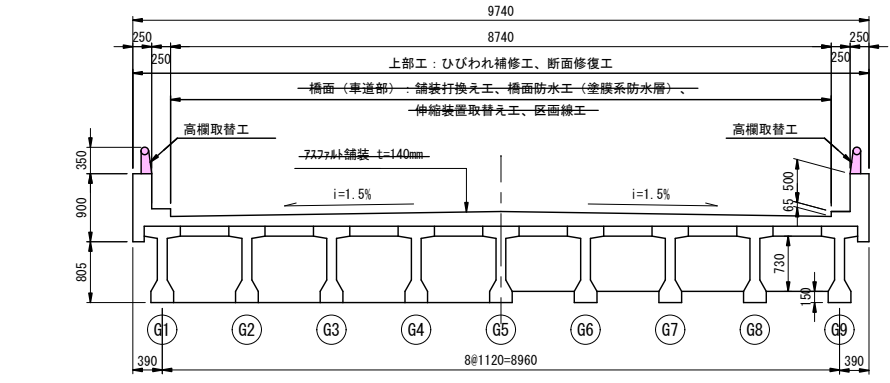


平面図



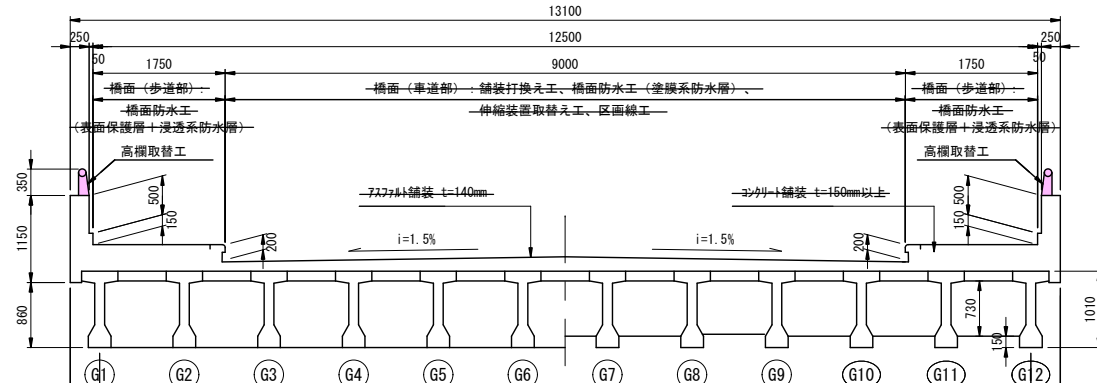
断面図 (A1-P3, P6-A2)

S=1:50



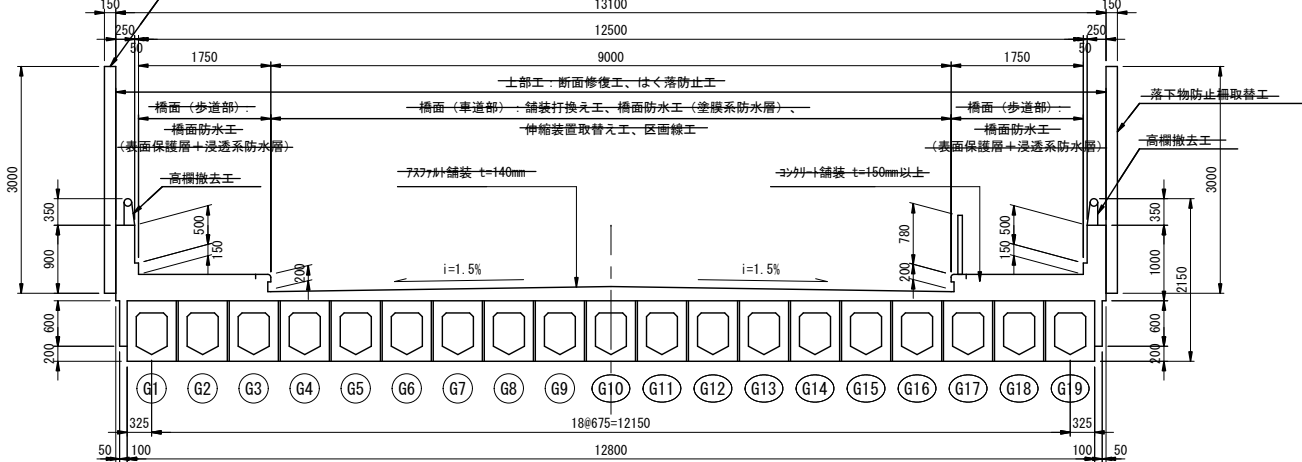
断面図 (P3-P4, P5-P6)

S=1:50



断面図 (P4~P5)

S=1:50



補修概要

補修工種		補修工法	
橋梁補修	舗装打換え工	車道部	表層：改質As II型(20) t=40mm 中間層：再生密粒度As(20) t=50mm 基層：再生密粒度As(20) t=50mm
	橋面防水工	車道部	遮断系防水層
		歩道部	表面保護層+浸透系防水層
	伸縮装置取替工	車道部	鋼鉄製・荷重支持型
橋梁補修		歩道部	鋼製・歩道用
	区画線工		溶融式区画線
	ひびわれ補修工	注入工法	上部工：エポキシ樹脂注入材3種 下部工：亜硝酸リチウム+超微粒子セメント系
	断面修復工	左官工法	上部工：ポリマーセメントモルタル 下部工：亜硝酸リチウム含有ポリマーセメントモルタル
橋梁補修	はく落防止工		干地視認型省工程はく落防止工法
	表面処理工	表面含浸工	橋台、P5橋脚：シラン・シロキサン系 橋脚(P5以外)：亜硝酸リチウム+シラン・シロキサン系
	支承補修工		クロロレンゴム系
	排水施設工		排水管支持金具取替工(A1, P1~P8, A2) 排水管部分取替工(P3, P7)、排水管取替工(P4, P5) 排水樹復旧工(P3-4, P4-5間)、排水樹清掃工(P1-2, P5-6, P7-8間)
仮設工	高欄補修工		高欄取替工(A1-P4, P5-A2間)、高欄撤去工(P4-P5間)
	落下物防止欄取替工		鉄道部 H-3000
仮設工	吊足場(上部工)		
	枠組足場(上部工、下部工)、半管足場(下部工(P4, P5))		

※この図面はA1→A3に縮尺して印刷しています。
設計：株式会社 長大テック

注記

- 1) 本図面は、既存資料および現地計測を元に作成したものである。
工事の際には、寸法形状を測定し使用すること。
- 2) 補修箇所は再計測し、数量を計上すること。
- 3) P4-P5間はJR路線部であり、詳細調査未実施のため既設資料により作成。



工事名	橋梁修繕工事(東部陸橋・8-1)		
図面名	東部陸橋 補修一般図		
作成年月日	令和8年6月		
縮尺	図示	図面番号	2 / 38
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外2カ町 地内		
事業者名	福山市		

東部陸橋 補修図（その1）

〈ひびわれ補修工，断面修復工〉

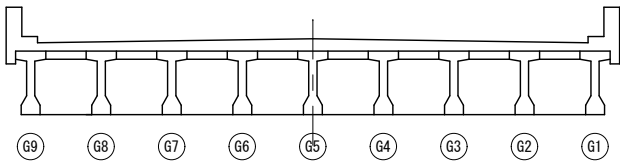
桁下面（A1-P1間）

S=1:60

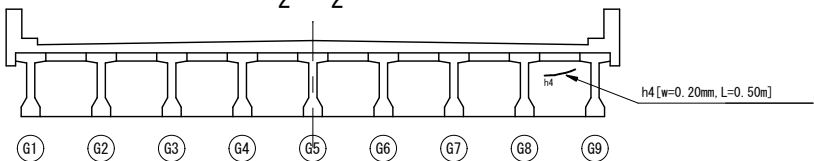
凡 例

損傷の種類	表 示
ひびわれ (0.2mm≦w<1.0mm)	h 0.2
ひびわれ (1.0mm≦w≦5.0mm)	H 1.0
剥離	t
鉄筋露出	T
うき	
変形・欠損	t

1 - 1



2 - 2

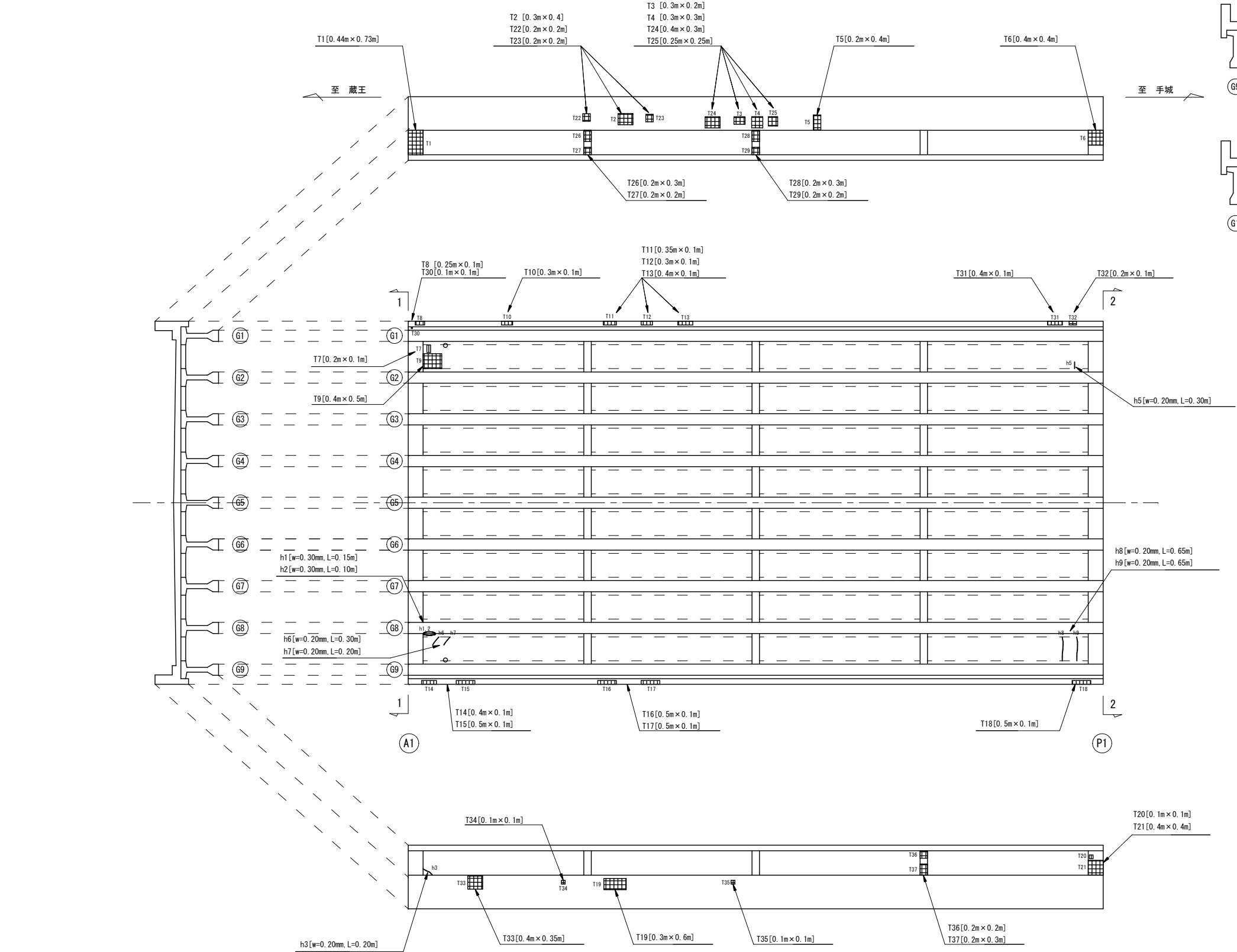


断面修復工		※防錆処理含む			
番号	損傷部位	寸法 (mm)	箇所	面積 (㎡)	損傷の種類
T1	PC定着部	0.44 × 0.73	1	0.321	うき
T2	防護柵	0.30 × 0.40	1	0.120	うき
T3	防護柵	0.30 × 0.20	1	0.060	うき
T4	防護柵	0.30 × 0.30	1	0.090	うき
T5	防護柵	0.20 × 0.40	1	0.080	うき
T6	PC定着部	0.40 × 0.40	1	0.160	うき
T7	床版	0.20 × 0.10	1	0.020	鉄筋露出
T8	地覆	0.25 × 0.10	1	0.025	鉄筋露出
T9	床版	0.40 × 0.50	1	0.200	うき
T10	地覆	0.30 × 0.10	1	0.030	鉄筋露出
T11	地覆	0.35 × 0.10	1	0.035	鉄筋露出
T12	地覆	0.30 × 0.10	1	0.030	鉄筋露出
T13	地覆	0.40 × 0.10	1	0.040	鉄筋露出
T14	地覆	0.40 × 0.10	1	0.040	鉄筋露出
T15	地覆	0.50 × 0.10	1	0.050	鉄筋露出
T16	地覆	0.50 × 0.10	1	0.050	鉄筋露出
T17	地覆	0.50 × 0.10	1	0.050	鉄筋露出
T18	地覆	0.50 × 0.10	1	0.050	鉄筋露出
T19	防護柵	0.30 × 0.60	1	0.180	うき
T20	PC定着部	0.10 × 0.10	1	0.010	鉄筋露出
T21	PC定着部	0.40 × 0.40	1	0.160	うき
T22	防護柵	0.20 × 0.20	1	0.040	うき
T23	防護柵	0.20 × 0.20	1	0.040	うき
T24	防護柵	0.40 × 0.30	1	0.120	うき
T25	防護柵	0.25 × 0.25	1	0.063	うき
T26	PC定着部	0.20 × 0.30	1	0.060	うき
T27	PC定着部	0.20 × 0.20	1	0.040	うき
T28	PC定着部	0.20 × 0.30	1	0.060	うき
T29	PC定着部	0.20 × 0.20	1	0.040	うき
T30	主桁	0.10 × 0.10	1	0.010	鉄筋露出
T31	地覆	0.40 × 0.10	1	0.040	鉄筋露出
T32	地覆	0.20 × 0.10	1	0.020	うき
T33	防護柵	0.40 × 0.35	1	0.140	うき
T34	防護柵	0.10 × 0.10	1	0.010	うき
T35	防護柵	0.10 × 0.10	1	0.010	うき
T36	PC定着部	0.20 × 0.20	1	0.040	うき
T37	PC定着部	0.20 × 0.30	1	0.060	うき
計				2.594	

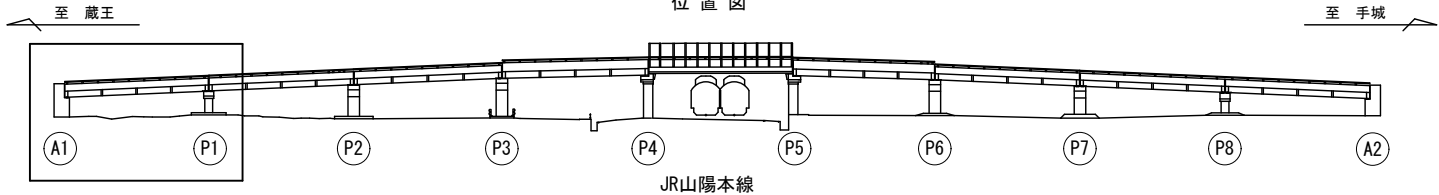
ひびわれ注入工 (0.2mm≦w≦5.0mm)			
番号	損傷部位	寸法	
		幅 w (mm)	延長 L (m)
h1	主桁	0.30	0.15
h2	主桁	0.30	0.10
h3	主桁	0.20	0.20
h4	横桁	0.20	0.50
h5	床版	0.20	0.30
h6	床版	0.20	0.30
h7	床版	0.20	0.20
h8	床版	0.20	0.65
h9	床版	0.20	0.65
計			3.05

注記
1) 本図面は、既存資料および現地計測を元に作成したものである。工事の際には、寸法形状を測定し使用すること。
2) 補修箇所は再計測し、数量を計上すること。
3) 断面修復の寸法は、施工性を考慮し一辺100mm以上とする。
※この図面はA1→A3に縮尺して印刷しています。
設計：株式会社 長大テック

工事名	橋梁修繕工事(東部陸橋・8-1)		
図面名	東部陸橋 補修図(その1)		
作成年月日	令和8年6月		
縮 尺	図 示	図面番号	3 / 38
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外2か町 地内		
事業者名	福 山 市		



位置図



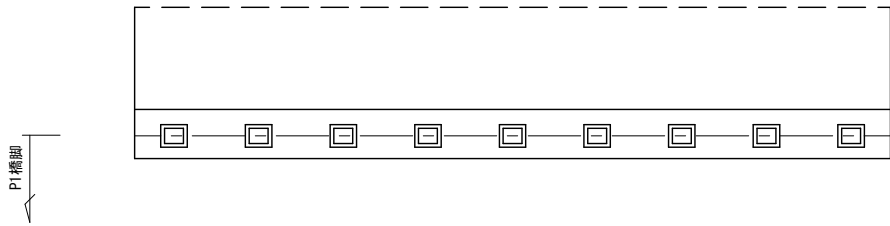
東部陸橋 補修図（その2）

S=1:50

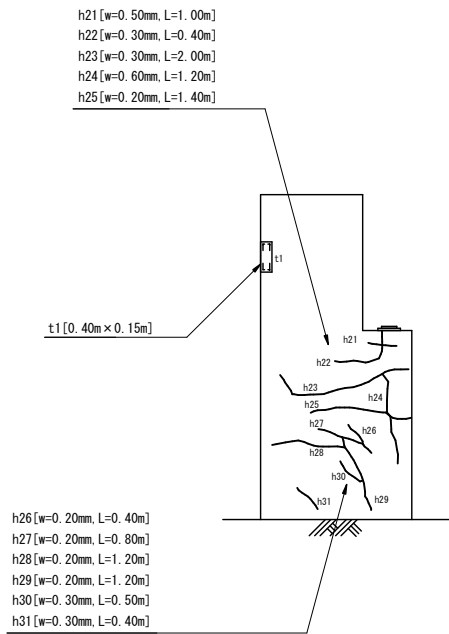
〈ひびわれ補修工，断面修復工〉

A1橋台

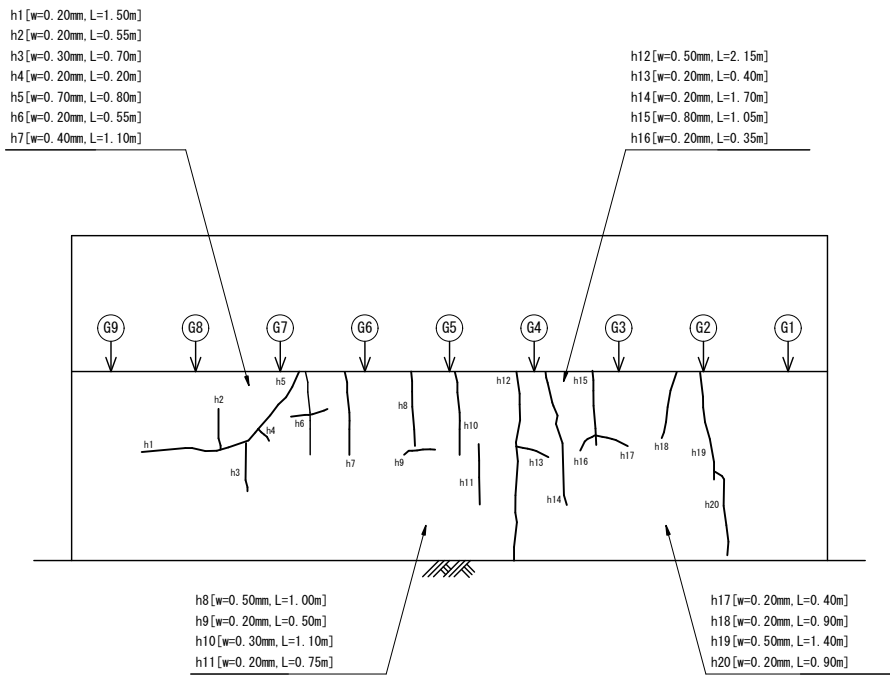
平面図



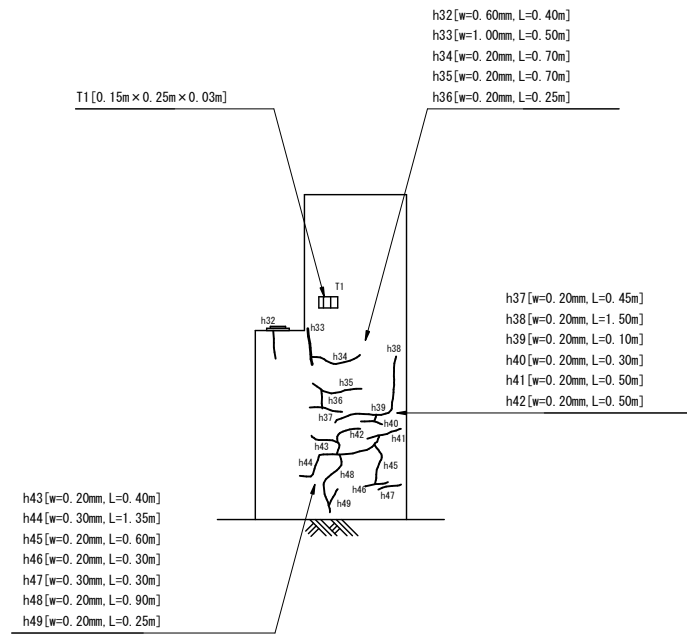
側面図



正面図



側面図



ひびわれ注入工（0.2mm≦w≦5.0mm）											
番号	損傷部位	寸法		番号	損傷部位	寸法		番号	損傷部位	寸法	
		幅w (mm)	延長L (m)			幅w (mm)	延長L (m)			幅w (mm)	延長L (m)
h1	橋台	0.20	1.50	h21	橋台	0.50	1.00	h41	橋台	0.20	0.50
h2	橋台	0.20	0.55	h22	橋台	0.30	0.40	h42	橋台	0.20	0.50
h3	橋台	0.30	0.70	h23	橋台	0.30	2.00	h43	橋台	0.20	0.40
h4	橋台	0.20	0.20	h24	橋台	0.60	1.20	h44	橋台	0.30	1.35
h5	橋台	0.70	0.80	h25	橋台	0.20	1.40	h45	橋台	0.20	0.60
h6	橋台	0.20	0.55	h26	橋台	0.20	0.40	h46	橋台	0.20	0.30
h7	橋台	0.40	1.10	h27	橋台	0.20	0.80	h47	橋台	0.30	0.30
h8	橋台	0.50	1.00	h28	橋台	0.20	1.20	h48	橋台	0.20	0.90
h9	橋台	0.20	0.50	h29	橋台	0.20	1.20	h49	橋台	0.20	0.25
h10	橋台	0.30	1.10	h30	橋台	0.30	0.50	計			38.50
h11	橋台	0.20	0.75	h31	橋台	0.30	0.40				
h12	橋台	0.50	2.15	h32	橋台	0.60	0.40	計			38.50
h13	橋台	0.20	0.40	h33	橋台	1.00	0.50				
h14	橋台	0.20	1.70	h34	橋台	0.20	0.70	計			38.50
h15	橋台	0.80	1.05	h35	橋台	0.20	0.70				
h16	橋台	0.20	0.35	h36	橋台	0.20	0.25	計			38.50
h17	橋台	0.20	0.40	h37	橋台	0.20	0.45				
h18	橋台	0.20	0.90	h38	橋台	0.20	1.50	計			38.50
h19	橋台	0.50	1.40	h39	橋台	0.20	0.10				
h20	橋台	0.20	0.90	h40	橋台	0.20	0.30	計			38.50

断面修復工				※防錆処理含む	
番号	損傷部位	寸法 (m)		箇所	損傷の種類
T1	橋台	0.15	× 0.25	1	鉄筋露出
計				0.038	

断面修復工				※防錆処理含まない	
番号	損傷部位	寸法 (m)		箇所	損傷の種類
t1	橋台	0.40	× 0.15	1	剥離
計				0.060	

注記

- 本図面は、既存資料および現地計測を元に作成したものである。工事の際には、寸法形状を測定し使用すること。
- 補修箇所は再計測し、数量を計上のこと。
- 断面修復の寸法は、施工性を考慮し一辺100mm以上とする。

※この図面はA1→A3に縮尺して印刷しています。
設計：株式会社 長大テック

工事名	橋梁修繕工事(東部陸橋・8-1)		
図面名	東部陸橋 補修図(その2)		
作成年月日	令和8年6月		
縮 尺	図 示	図面番号	4 / 38
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外2か町 地内		
事業者名	福 山 市		



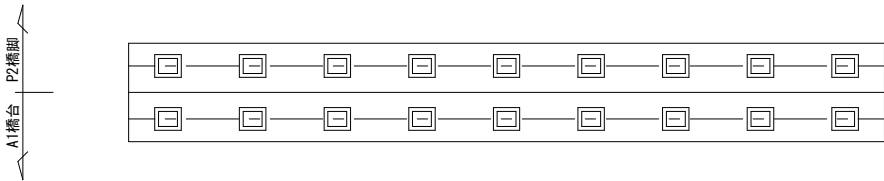
東部陸橋 補修図（その3）

S=1:50

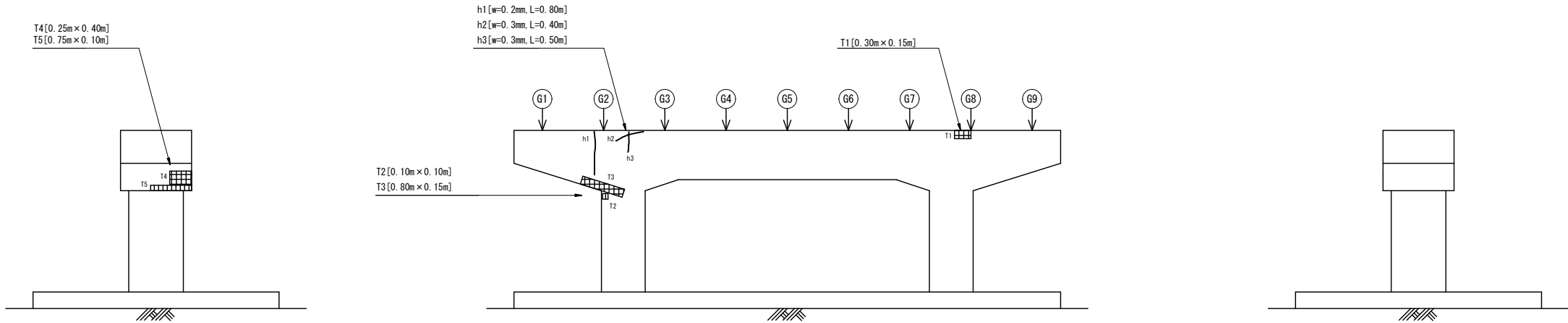
〈ひびわれ補修工，断面修復工〉

P1橋脚

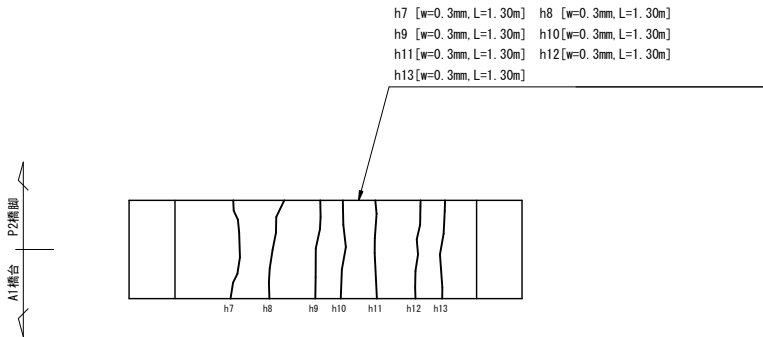
平面図



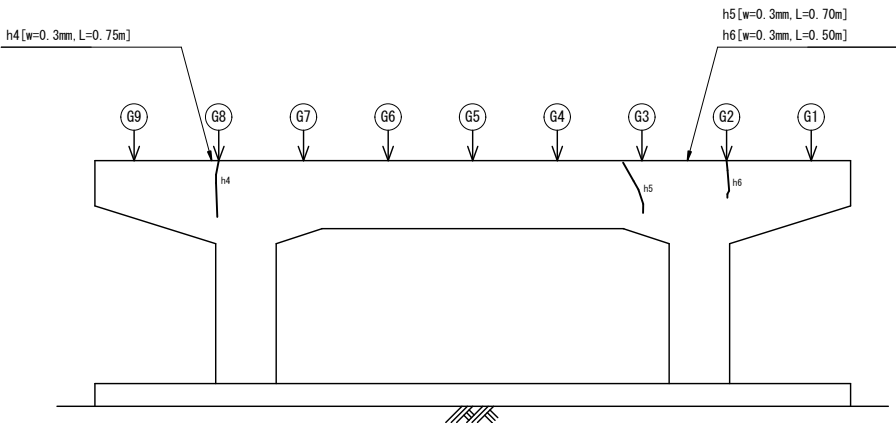
正面図（起点側）



梁部下面



正面図（終点側）



凡 例

損傷の種類	表 示
ひびわれ (0.2mm≦w<1.0mm)	h 0.2
ひびわれ (1.0mm≦w≦5.0mm)	H 1.0
剥離	t ○
鉄筋露出	↑ ○
うき	○
変形・欠損	t ○

断面修復工		※防錆処理含む			
番号	損傷部位	寸法(m)	箇所	面積(m ²)	損傷の種類
T1	橋脚	0.30 × 0.15	1	0.045	鉄筋露出
T2	橋脚	0.10 × 0.10	1	0.010	鉄筋露出
T3	橋脚	0.80 × 0.15	1	0.120	うき
T4	橋脚	0.25 × 0.40	1	0.100	鉄筋露出
T5	橋脚	0.75 × 0.10	1	0.075	鉄筋露出
計				0.350	

ひびわれ注入工 (0.2mm≦w≦5.0mm)			
番号	損傷部位	寸法	
		幅 w (mm)	延長 L (m)
h1	橋脚	0.20	0.80
h2	橋脚	0.30	0.40
h3	橋脚	0.30	0.50
h4	橋脚	0.30	0.75
h5	橋脚	0.30	0.70
h6	橋脚	0.30	0.50
h7	橋脚	0.30	1.30
h8	橋脚	0.30	1.30
h9	橋脚	0.30	1.30
h10	橋脚	0.30	1.30
h11	橋脚	0.30	1.30
h12	橋脚	0.30	1.30
h13	橋脚	0.30	1.30
計			12.75

- 注記
- 本図面は、既存資料および現地計測を元に作成したものである。工事の際には、寸法形状を測定し使用すること。
 - 補修箇所は再計測し、数量を計上すること。
 - 断面修復の寸法は、施工性を考慮し一辺100mm以上とする。

※この図面はA1→A3に縮尺して印刷しています。
設計：株式会社 長大テック

工事名	橋梁修繕工事(東部陸橋・8-1)		
図面名	東部陸橋 補修図（その3）		
作成年月日	令和8年6月		
縮 尺	図 示	図面番号	5 / 38
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外 2 か町 地内		
事業者名	福 山 市		

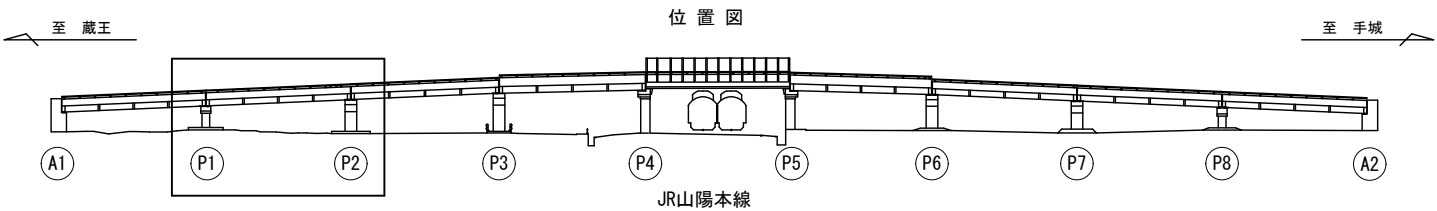
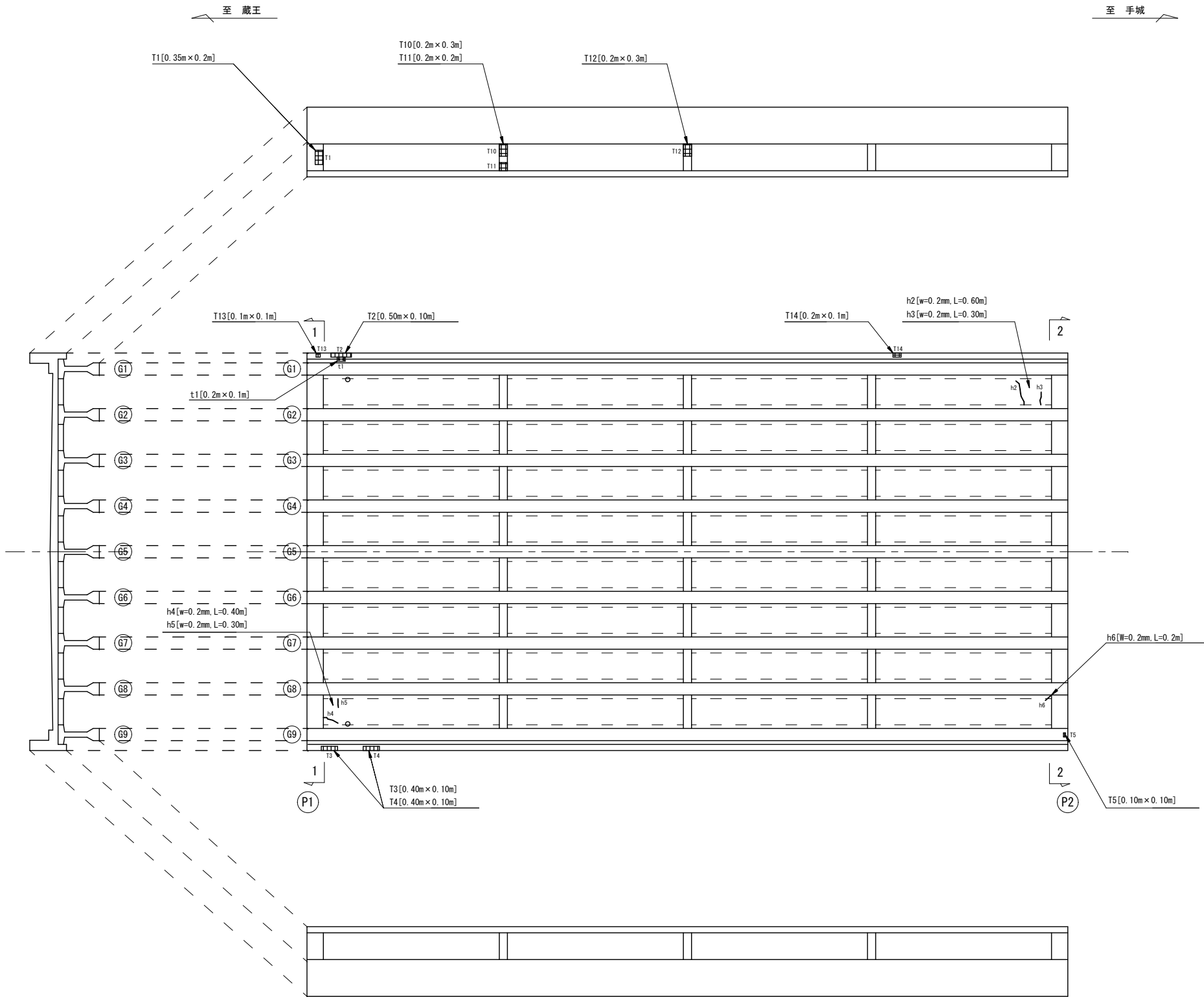


東部陸橋 補修図（その4）

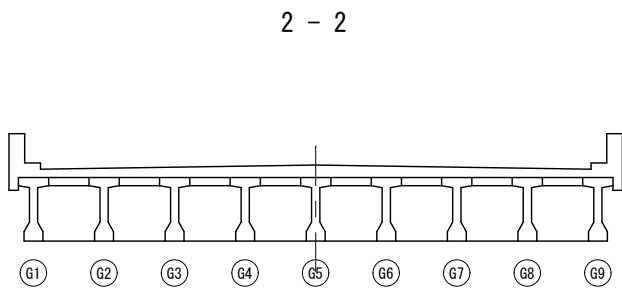
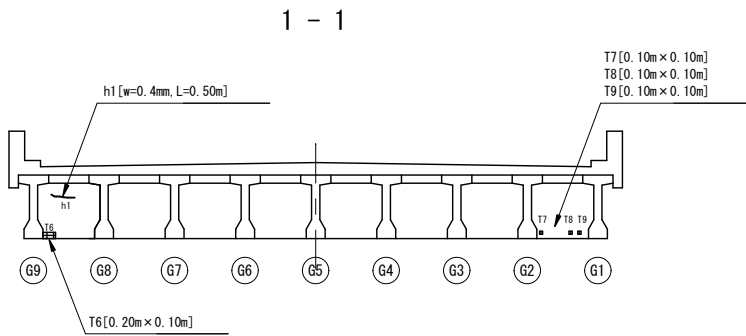
〈ひびわれ補修工，断面修復工〉

桁下面（P1-P2間）

S=1:60



凡 例	
損傷の種類	表 示
ひびわれ (0.2mm≦w<1.0mm)	h 0.2
ひびわれ (1.0mm≦w≦5.0mm)	H 1.0
剥離	t
鉄筋露出	T
うき	
変形・欠損	t



断面修復工		※防錆処理含む			
番号	損傷部位	寸法 (m)	箇所	面積 (㎡)	損傷の種類
T1	PC定着部	0.35 × 0.20	1	0.070	うき
T2	地覆	0.50 × 0.10	1	0.050	鉄筋露出
T3	地覆	0.40 × 0.10	1	0.040	鉄筋露出
T4	地覆	0.40 × 0.10	1	0.040	鉄筋露出
T5	主桁	0.10 × 0.10	1	0.010	鉄筋露出
T6	横桁	0.20 × 0.10	1	0.020	うき
T7	横桁	0.10 × 0.10	1	0.010	鉄筋露出
T8	横桁	0.10 × 0.10	1	0.010	鉄筋露出
T9	横桁	0.10 × 0.10	1	0.010	鉄筋露出
T10	PC定着部	0.20 × 0.30	1	0.060	うき
T11	PC定着部	0.20 × 0.20	1	0.040	うき
T12	PC定着部	0.20 × 0.30	1	0.060	うき
T13	地覆	0.10 × 0.10	1	0.010	うき
T14	地覆	0.20 × 0.10	1	0.020	うき
計				0.450	

断面修復工		※防錆処理含まない			
番号	損傷部位	寸法 (m)	箇所	面積 (㎡)	損傷の種類
t1	主桁	0.20 × 0.10	1	0.020	剥離
計				0.020	

ひびわれ注入工 (0.2mm≦w≦5.0mm)			
番号	損傷部位	寸法	
		幅 w (mm)	延長 L (m)
h1	横桁	0.40	0.50
h2	床版	0.20	0.60
h3	床版	0.20	0.30
h4	床版	0.20	0.40
h5	床版	0.20	0.30
h6	主桁	0.20	0.20
計		2.30	

注記
1) 本図面は、既存資料および現地計測を元に作成したものである。工事の際には、寸法形状を測定し使用すること。
2) 補修箇所は再計測し、数量を計上すること。
3) 断面修復の寸法は、施工性を考慮し一辺100mm以上とする。
※この図面はA1→A3に縮尺して印刷しています。
設計：株式会社 長大テック

工事名	橋梁修繕工事(東部陸橋・8-1)		
図面名	東部陸橋 補修図 (その4)		
作成年月日	令和8年6月		
縮 尺	図 示	図面番号	6 / 38
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外 2 か町 地内		
事業者名	福 山 市		



東部陸橋 補修図（その5）

S=1:50

〈ひびわれ補修工〉

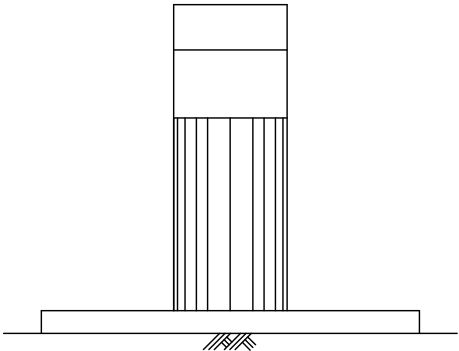
P2橋脚

平面図

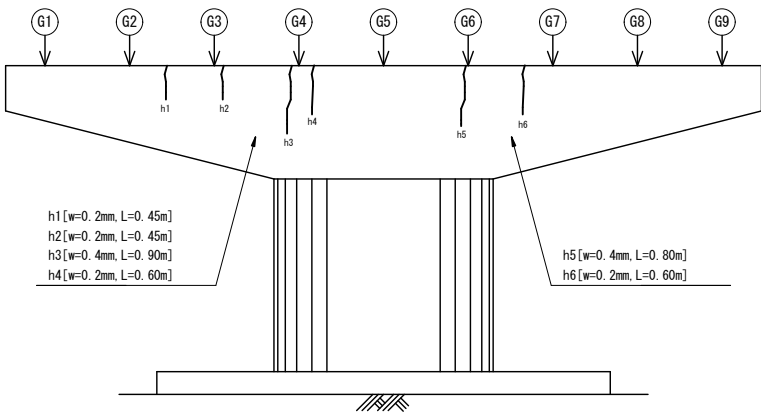
P1橋脚 P2橋脚



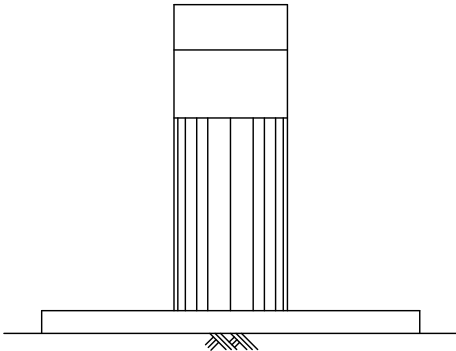
側面図(左)



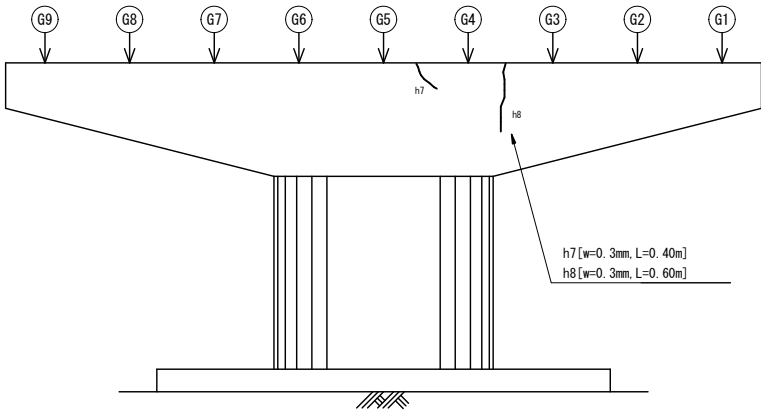
正面図(起点側)



側面図(右)



正面図(終点側)



ひびわれ注入工 (0.2mm≦w≦5.0mm)			
番号	損傷部位	寸法	
		幅w (mm)	延長L (m)
h1	橋脚	0.20	0.45
h2	橋脚	0.20	0.45
h3	橋脚	0.40	0.90
h4	橋脚	0.20	0.60
h5	橋脚	0.40	0.80
h6	橋脚	0.20	0.60
h7	橋脚	0.30	0.40
h8	橋脚	0.30	0.60
計			4.80

損傷の種類	表 示
ひびわれ (0.2mm≦w<1.0mm)	h 0.2
ひびわれ (1.0mm≦w≦5.0mm)	H 1.0
剥離	t
鉄筋露出	T
うき	
変形・欠損	t

- 注記
- 本図面は、既存資料および現地計測を元に作成したものである。工事の際には、寸法形状を測定し使用すること。
 - 補修箇所は再計測し、数量を計上のこと。
 - 断面修復の寸法は、施工性を考慮し一辺100mm以上とする。

※この図面はA1→A3に縮尺して印刷しています。
設計：株式会社 長大テック

工事名	橋梁修繕工事(東部陸橋・8-1)		
図面名	東部陸橋 補修図(その5)		
作成年月日	令和8年6月		
縮 尺	図 示	図面番号	7 / 38
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外2か町 地内		
事業者名	福 山 市		



東部陸橋 補修図（その6）

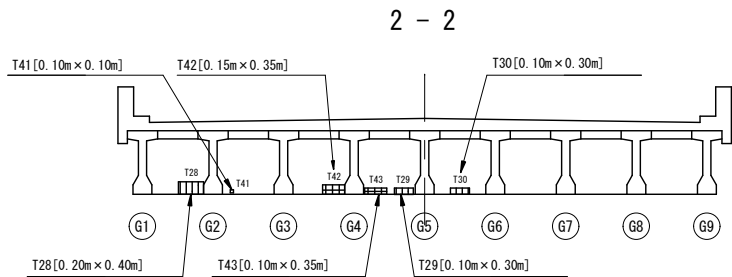
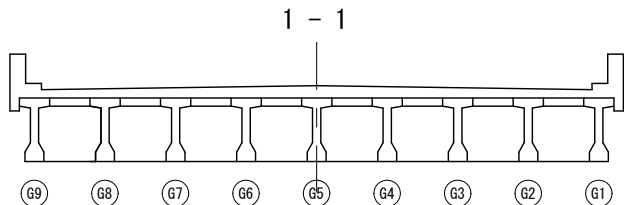
〈ひびわれ補修工，断面修復工〉

桁下面（P2-P3間）

S=1:60

凡 例

損傷の種類	表 示
ひびわれ (0.2mm≦w<1.0mm)	h 0.2
ひびわれ (1.0mm≦w≦5.0mm)	H 1.0
剥離	t
鉄筋露出	T
うき	⊞
変形・欠損	t



断面修復工		※防錆処理含む			
番号	損傷部位	寸法 (m)	箇所	面積 (㎡)	損傷の種類
T1	PC定着部	0.15 × 0.20	1	0.030	うき
T2	PC定着部	0.15 × 0.15	1	0.023	鉄筋露出
T3	地覆	0.30 × 0.10	1	0.030	鉄筋露出
T4	地覆	0.40 × 0.10	1	0.040	うき
T5	地覆	0.40 × 0.10	1	0.040	うき
T6	地覆	1.10 × 0.15	1	0.165	鉄筋露出
T7	地覆	0.50 × 0.10	1	0.050	鉄筋露出
T8	地覆	0.50 × 0.10	1	0.050	鉄筋露出
T9	地覆	0.40 × 0.10	1	0.040	うき
T10	床版	0.30 × 0.10	1	0.030	鉄筋露出
T11	床版	0.40 × 0.60	1	0.240	うき
T12	地覆	0.30 × 0.10	1	0.030	うき
T13	地覆	0.40 × 0.10	1	0.040	鉄筋露出
T14	地覆	0.40 × 0.10	1	0.040	鉄筋露出
T15	地覆	0.40 × 0.10	1	0.040	鉄筋露出
T16	地覆	0.50 × 0.10	1	0.050	うき
T17	地覆	0.40 × 0.10	1	0.040	うき
T18	地覆	0.30 × 0.10	1	0.030	鉄筋露出
T19	地覆	0.40 × 0.15	1	0.060	鉄筋露出
T20	地覆	0.40 × 0.10	1	0.040	鉄筋露出
T21	地覆	0.40 × 0.10	1	0.040	鉄筋露出
T22	地覆	0.40 × 0.10	1	0.040	鉄筋露出
T23	地覆	0.80 × 0.10	1	0.080	鉄筋露出
T24	地覆	0.40 × 0.10	1	0.040	鉄筋露出
T25	PC定着部	0.44 × 0.73	1	0.321	うき
T26	防護柵	2.00 × 0.30	1	0.600	鉄筋露出
T27	PC定着部	0.10 × 0.10	1	0.010	鉄筋露出
T28	横桁	0.20 × 0.40	1	0.080	鉄筋露出
T29	横桁	0.10 × 0.30	1	0.030	鉄筋露出
T30	横桁	0.10 × 0.30	1	0.030	鉄筋露出
T31	防護柵	0.60 × 0.35	1	0.210	うき
T32	地覆	0.10 × 0.10	1	0.010	鉄筋露出
T33	地覆	0.30 × 0.10	1	0.030	鉄筋露出
T34	地覆	0.10 × 0.10	1	0.010	うき
T35	地覆	0.20 × 0.10	1	0.020	うき
T36	地覆	0.10 × 0.10	1	0.010	うき
T37	地覆	0.10 × 0.10	1	0.010	うき
T38	地覆	0.10 × 0.30	1	0.030	うき
T39	防護柵	0.25 × 0.10	1	0.025	うき
T40	PC定着部	0.30 × 0.40	1	0.120	うき
T41	横桁	0.10 × 0.10	1	0.010	鉄筋露出
T42	横桁	0.15 × 0.35	1	0.053	うき
T43	横桁	0.10 × 0.35	1	0.035	うき
計				2.952	

ひびわれ注入工 (0.2mm≦w≦5.0mm)			
番号	損傷部位	寸法	
		幅w (mm)	延長L (m)
h1	床版	0.20	0.65
h2	床版	0.20	0.40
計			1.05

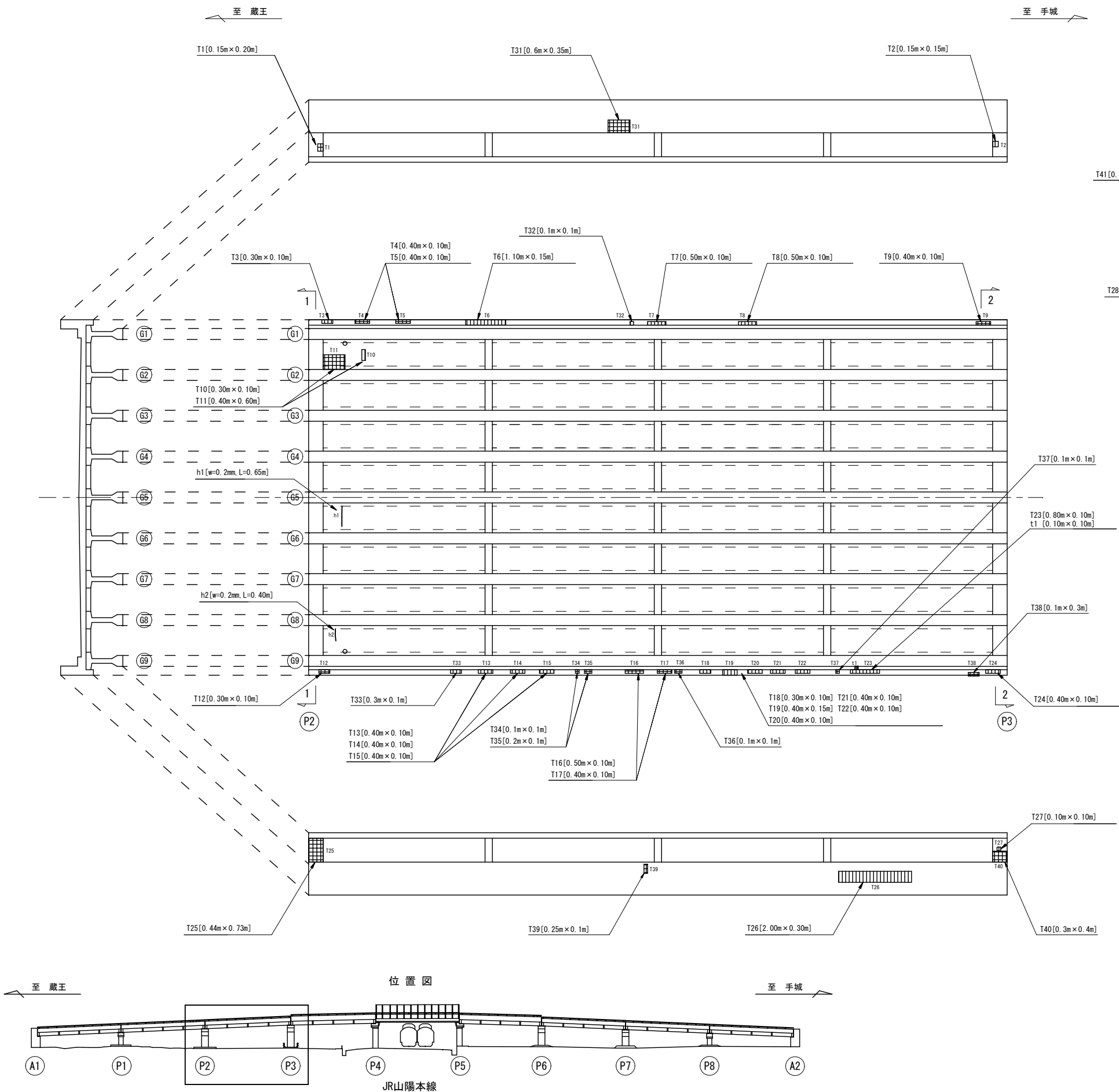
注記
1) 本図面は、既存資料および現地計測を元に作成したものである。工事の際には、寸法形状を測定し使用すること。
2) 補修箇所は再計測し、数量を計上のこと。
3) 断面修復の寸法は、施工性を考慮し一辺100mm以上とする。

※この図面はA1～A3に縮尺して印刷しています。
設計：株式会社 長大テック



工事名	橋梁補修工事(東部陸橋・8-1)		
図面名	東部陸橋 補修図 (その6)		
作成年月日	令和8年6月		
縮 尺	図 示	図面番号	8 / 38
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外 2 か町 地内		
事業者名	福 山 市		

断面修復工		※防錆処理含まない			
番号	損傷部位	寸法 (m)	箇所	面積 (㎡)	損傷の種類
t1	主桁	0.10 × 0.10	1	0.010	剥離
計				0.010	



東部陸橋 補修図（その7）

S=1:50

〈ひびわれ補修工，断面修復工〉

P3橋脚

平面図

側面図（左）

正面図（起点側）

側面図（右）

凡 例	
損傷の種類	表 示
ひびわれ (0.2mm≦w<1.0mm)	h
ひびわれ (1.0mm≦w≦5.0mm)	H
剥離	t
鉄筋露出	T
うき	
変形・欠損	t

ひびわれ注入工 (0.2mm≦w≦5.0mm)			
番号	損傷部位	寸法	
		幅w (mm)	延長L (m)
h1	橋脚	0.20	0.30
h2	橋脚	0.20	0.90
h3	橋脚	0.30	1.20
h4	橋脚	0.20	0.30
h5	橋脚	0.20	0.80
h6	橋脚	0.20	0.20
h7	橋脚	0.20	0.20
h8	橋脚	0.30	0.80
h9	橋脚	0.30	1.80
h10	橋脚	0.20	0.70
h11	橋脚	0.30	0.90
h12	橋脚	0.30	0.60
h13	橋脚	0.20	0.55
h14	橋脚	0.20	1.20
h15	橋脚	0.30	0.50
h16	橋脚	0.30	1.00
h17	橋脚	0.30	0.70
h18	橋脚	0.30	1.10
h19	橋脚	0.20	0.90
h20	橋脚	0.20	0.80
h21	橋脚	0.20	1.10
h22	橋脚	0.20	0.60
h23	橋脚	0.20	1.40
h24	橋脚	0.20	1.10
h25	橋脚	0.30	0.20
h26	橋脚	0.30	1.10
h27	橋脚	0.20	1.10
h28	橋脚	0.20	0.90
h29	橋脚	0.20	1.20
計			24.15

正面図（終点側）

断面修復工		※防錆処理含む			
番号	損傷部位	寸法 (m)	箇所	面積 (㎡)	損傷の種類
T1	橋脚	0.25 × 0.40	1	0.100	うき
T2	橋脚	0.15 × 0.15	1	0.023	鉄筋露出
T3	橋脚	0.10 × 0.25	1	0.025	鉄筋露出
T4	橋脚	0.15 × 0.40	1	0.060	鉄筋露出
T5	橋脚	0.15 × 0.15	1	0.023	鉄筋露出
T6	橋脚	0.15 × 0.15	1	0.023	うき
T7	階段部架台	0.25 × 0.10	1	0.025	鉄筋露出
T8	階段部架台	0.20 × 0.10	1	0.020	うき
T9	橋脚	0.10 × 0.10	1	0.010	うき
T10	橋脚	0.10 × 0.10	1	0.010	うき
T11	橋脚	0.10 × 0.20	1	0.020	うき
計				0.339	

注記
1) 本図面は、既存資料および現地計測を元に作成したものである。工事の際には、寸法形状を測定し使用すること。
2) 補修箇所は再計測し、数量を計上のこと。
3) 断面修復の寸法は、施工性を考慮し一辺100mm以上とする。

※この図面はA1～A3に縮尺して印刷しています。
設計：株式会社 長大テック

工事名	橋梁修繕工事(東部陸橋・8-1)		
図面名	東部陸橋 補修図（その7）		
作成年月日	令和8年6月		
縮 尺	図 示	図面番号	9 / 38
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外 2 か町 地内		
事業者名	福 山 市		

東部陸橋 補修図（その8）

＜ひびわれ補修工，断面修復工＞

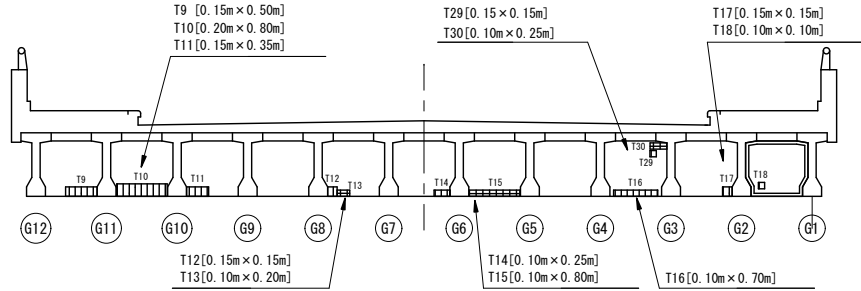
桁下面（P3-P4間）

S=1:60

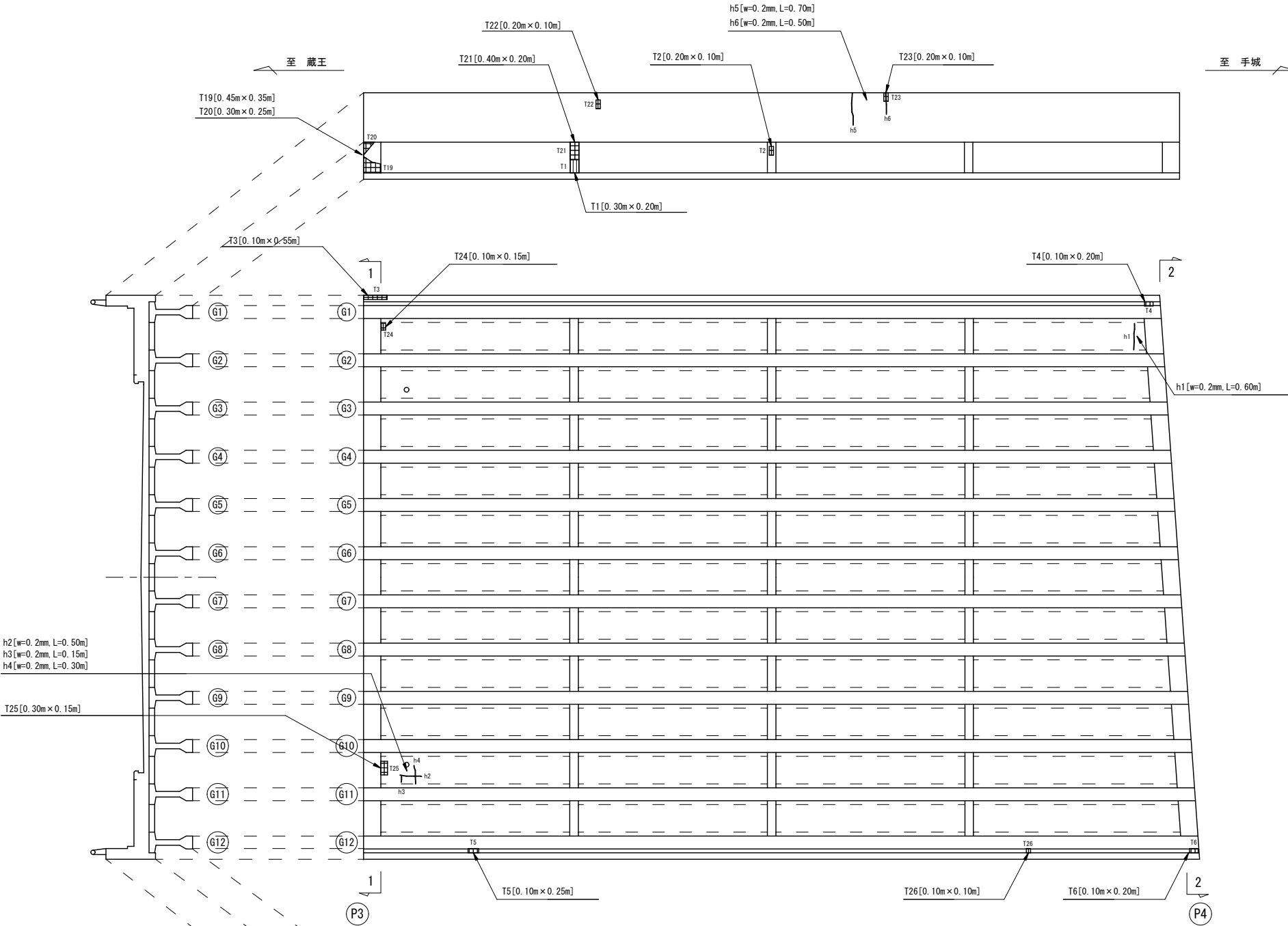
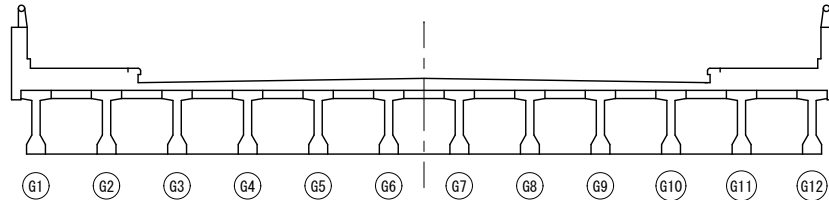
凡 例

損傷の種類	表 示
ひびわれ (0.2mm≦w<1.0mm)	h
ひびわれ (1.0mm≦w≦5.0mm)	H
剥離	t
鉄筋露出	T
うき	
変形・欠損	t

1 - 1

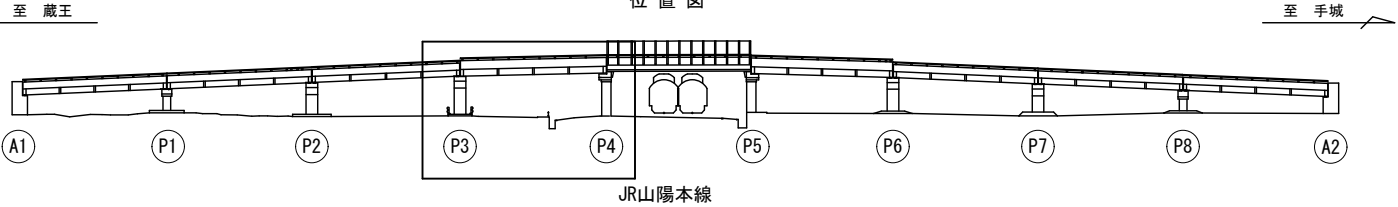


2 - 2



h2 [w=0.2mm, L=0.50m]
h3 [w=0.2mm, L=0.15m]
h4 [w=0.2mm, L=0.30m]

T25 [0.30m x 0.15m]



断面修復工		※防錆処理含む			
番号	損傷部位	寸法 (m)	箇所	面積 (㎡)	損傷の種類
T1	PC定着部	0.30 × 0.20	1	0.060	鉄筋露出
T2	PC定着部	0.20 × 0.10	1	0.020	うき
T3	地覆	0.10 × 0.55	1	0.055	うき
T4	主桁	0.10 × 0.20	1	0.020	鉄筋露出
T5	主桁	0.10 × 0.25	1	0.025	鉄筋露出
T6	主桁	0.10 × 0.20	1	0.020	鉄筋露出
T7	PC定着部	0.35 × 0.40	1	0.140	うき
T8	PC定着部	0.35 × 0.20	1	0.070	鉄筋露出
T9	横桁	0.15 × 0.50	1	0.075	鉄筋露出
T10	横桁	0.20 × 0.80	1	0.160	鉄筋露出
T11	横桁	0.15 × 0.35	1	0.053	鉄筋露出
T12	横桁	0.15 × 0.15	1	0.023	鉄筋露出
T13	横桁	0.10 × 0.20	1	0.020	うき
T14	横桁	0.10 × 0.25	1	0.025	鉄筋露出
T15	横桁	0.10 × 0.80	1	0.080	うき
T16	横桁	0.10 × 0.70	1	0.070	鉄筋露出
T17	横桁	0.15 × 0.15	1	0.023	鉄筋露出
T18	横桁	0.10 × 0.10	1	0.010	鉄筋露出
T19	PC定着部	0.45 × 0.35	1	0.158	うき
T20	PC定着部	0.30 × 0.25	1	0.075	うき
T21	PC定着部	0.40 × 0.20	1	0.080	うき
T22	防護柵	0.20 × 0.10	1	0.020	うき
T23	防護柵	0.20 × 0.10	1	0.020	うき
T24	床版	0.10 × 0.15	1	0.015	うき
T25	床版	0.30 × 0.15	1	0.045	うき
T26	主桁	0.10 × 0.10	1	0.010	鉄筋露出
T27	PC定着部	0.25 × 0.20	1	0.050	うき
T28	PC定着部	0.30 × 0.20	1	0.060	うき
T29	横桁	0.15 × 0.15	1	0.023	鉄筋露出
T30	横桁	0.10 × 0.25	1	0.025	うき
計				1.530	

ひびわれ注入工 (0.2mm≦w≦5.0mm)			
番号	損傷部位	寸法	
		幅 w (mm)	延長 L (m)
h1	床版	0.20	0.60
h2	床版	0.20	0.50
h3	床版	0.20	0.15
h4	床版	0.20	0.30
h5	防護柵	0.20	0.70
h6	防護柵	0.20	0.50
計			2.75

※この図面はA1→A3に縮尺して印刷しています。
設計：株式会社 長大テック

工事名	橋梁修繕工事(東部陸橋・8-1)		
図面名	東部陸橋 補修図(その8)		
作成年月日	令和8年6月		
縮 尺	図 示	図面番号	10 / 38
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外 2 か町 地内		
事業者名	福 山 市		

注記

- 1) 本図面は、既存資料および現地計測を元に作成したものである。工事の際には、寸法形状を測定し使用すること。
- 2) 補修箇所は再計測し、数量を計上すること。
- 3) 断面修復の寸法は、施工性を考慮し一辺100mm以上とする。



東部陸橋 補修図（その12）

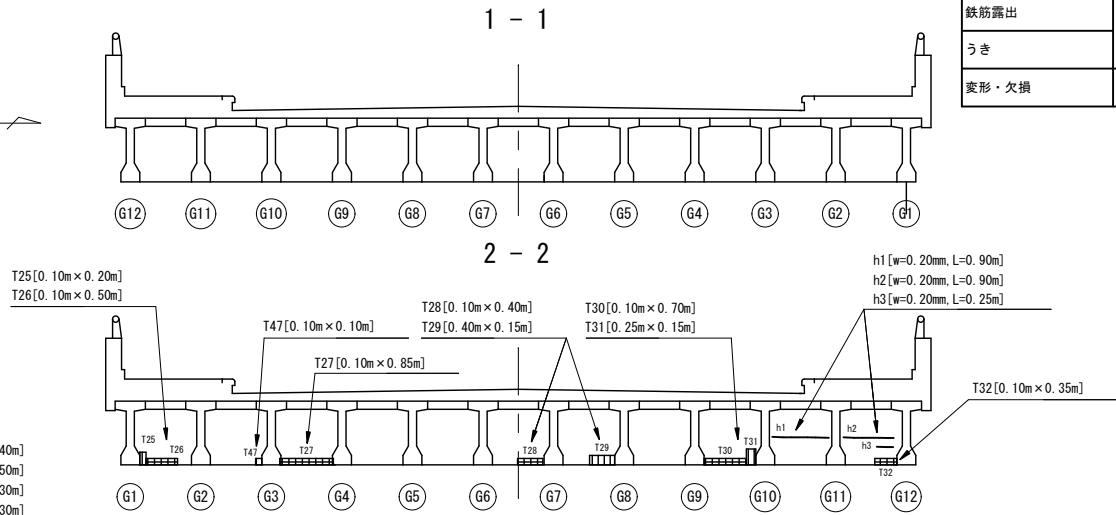
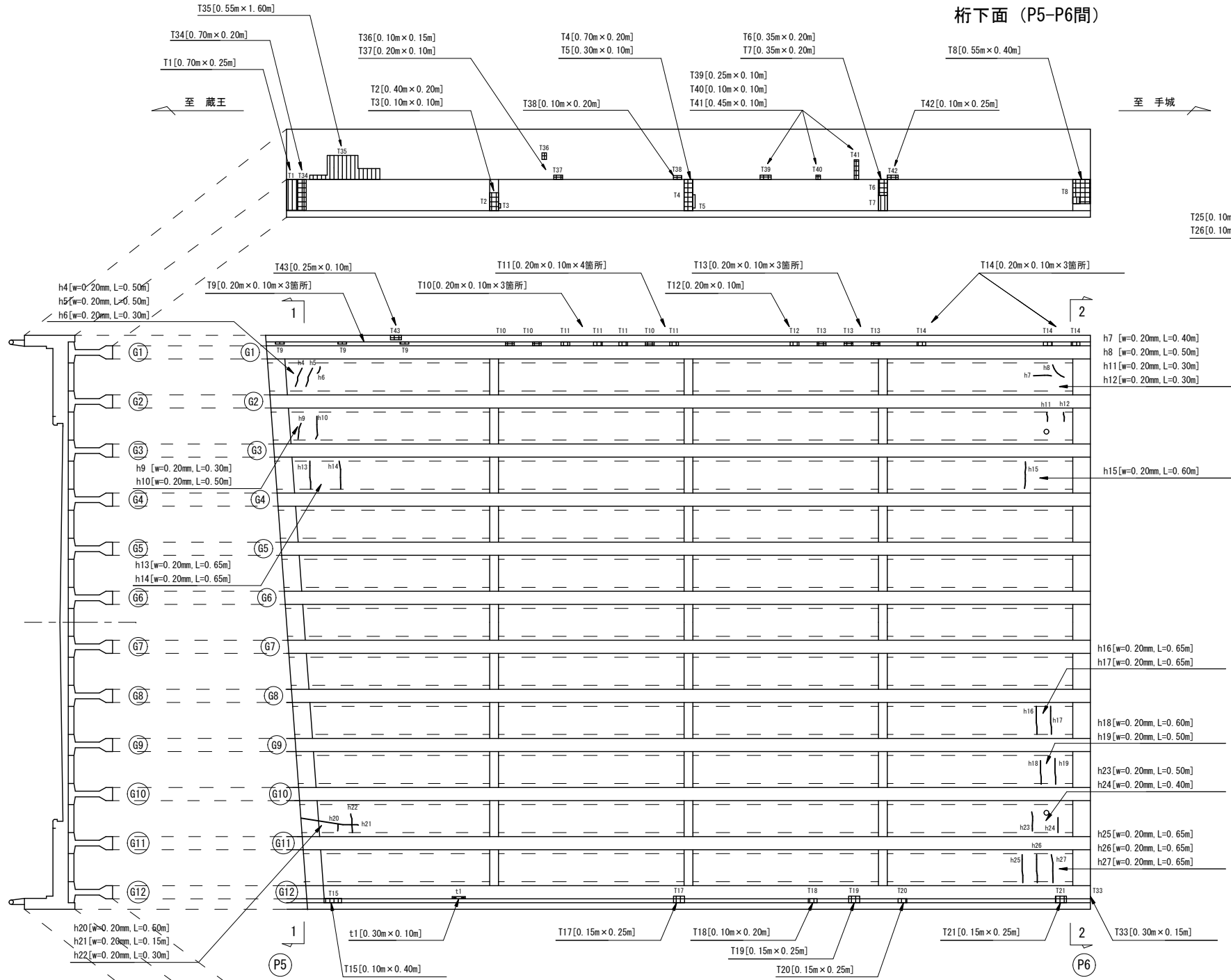
〈ひびわれ補修工，断面修復工〉

桁下面（P5-P6間）

S=1:60

凡 例

損傷の種類	表 示
ひびわれ (0.2mm≦w<1.0mm)	h 0.2
ひびわれ (1.0mm≦w≦5.0mm)	H 1.0
剥離	t
鉄筋露出	T
うき	U
変形・欠損	t



断面修復工		※防錆処理含む			
番号	損傷部位	寸法(m)	箇所	面積(m ²)	損傷の種類
T1	PC定着部	0.70 × 0.25	1	0.175	鉄筋露出
T2	PC定着部	0.40 × 0.20	1	0.080	うき
T3	PC定着部	0.10 × 0.10	1	0.010	鉄筋露出
T4	PC定着部	0.70 × 0.20	1	0.140	うき
T5	PC定着部	0.30 × 0.10	1	0.030	鉄筋露出
T6	PC定着部	0.35 × 0.20	1	0.070	うき
T7	PC定着部	0.35 × 0.20	1	0.070	鉄筋露出
T8	PC定着部	0.55 × 0.40	1	0.220	うき
T9	主桁	0.20 × 0.10	3	0.060	鉄筋露出
T10	主桁	0.20 × 0.10	3	0.060	うき
T11	主桁	0.20 × 0.10	4	0.080	鉄筋露出
T12	主桁	0.20 × 0.10	1	0.020	鉄筋露出
T13	主桁	0.20 × 0.10	3	0.060	うき
T14	主桁	0.20 × 0.10	3	0.060	鉄筋露出
T15	主桁	0.10 × 0.40	1	0.040	鉄筋露出
T16	PC定着部	0.15 × 0.15	1	0.023	鉄筋露出
T17	主桁	0.15 × 0.25	1	0.038	鉄筋露出
T18	主桁	0.10 × 0.20	1	0.020	鉄筋露出
T19	主桁	0.15 × 0.25	1	0.038	鉄筋露出
T20	主桁	0.15 × 0.25	1	0.038	鉄筋露出
T21	主桁	0.15 × 0.25	1	0.038	鉄筋露出
T22	PC定着部	0.50 × 0.20	1	0.100	うき
T23	PC定着部	0.70 × 0.20	1	0.140	鉄筋露出
T24	PC定着部	0.70 × 0.40	1	0.280	うき
T25	横桁	0.10 × 0.20	1	0.020	鉄筋露出
T26	横桁	0.10 × 0.50	1	0.050	うき
T27	横桁	0.10 × 0.85	1	0.085	うき
T28	横桁	0.10 × 0.40	1	0.040	うき
T29	横桁	0.40 × 0.15	1	0.060	鉄筋露出
T30	横桁	0.10 × 0.70	1	0.070	うき
T31	横桁	0.25 × 0.15	1	0.038	鉄筋露出
T32	横桁	0.10 × 0.35	1	0.035	うき
T33	主桁	0.30 × 0.15	1	0.045	鉄筋露出
T34	PC定着部	0.70 × 0.20	1	0.140	うき
T35	防護柵	0.55 × 1.60	1	0.880	鉄筋露出
T36	防護柵	0.10 × 0.15	1	0.015	うき
T37	防護柵	0.20 × 0.10	1	0.020	うき
T38	防護柵	0.10 × 0.20	1	0.020	うき
T39	防護柵	0.25 × 0.10	1	0.025	うき
T40	防護柵	0.10 × 0.10	1	0.010	うき
T41	防護柵	0.45 × 0.10	1	0.045	うき
T42	防護柵	0.10 × 0.25	1	0.025	うき
T43	地覆	0.25 × 0.10	1	0.025	うき
T44	PC定着部	0.10 × 0.40	1	0.040	うき
T45	防護柵	0.30 × 0.40	1	0.120	うき
T46	防護柵	0.25 × 0.15	1	0.038	うき
T47	横桁	0.10 × 0.10	1	0.010	鉄筋露出
計				3.746	

ひびわれ注入工 (0.2mm≦w≦5.0mm)		
番号	損傷部位	寸法
		幅w (mm) 延長L (m)
h1	横桁	0.20 0.90
h2	横桁	0.20 0.90
h3	横桁	0.20 0.25
h4	床版	0.20 0.50
h5	床版	0.20 0.50
h6	床版	0.20 0.30
h7	床版	0.20 0.40
h8	床版	0.20 0.50
h9	床版	0.20 0.30
h10	床版	0.20 0.50
h11	床版	0.20 0.30
h12	床版	0.20 0.30
h13	床版	0.20 0.65
h14	床版	0.20 0.65
h15	床版	0.20 0.60
h16	床版	0.20 0.65
h17	床版	0.20 0.65
h18	床版	0.20 0.60
h19	床版	0.20 0.50
h20	床版	0.20 0.50
h21	床版	0.20 0.15
h22	床版	0.20 0.30
h23	床版	0.20 0.50
h24	床版	0.20 0.40
h25	床版	0.20 0.65
h26	床版	0.20 0.65
h27	床版	0.20 0.65
h28	PC定着部	0.30 0.30
h29	PC定着部	0.30 0.30
計		14.35

注記

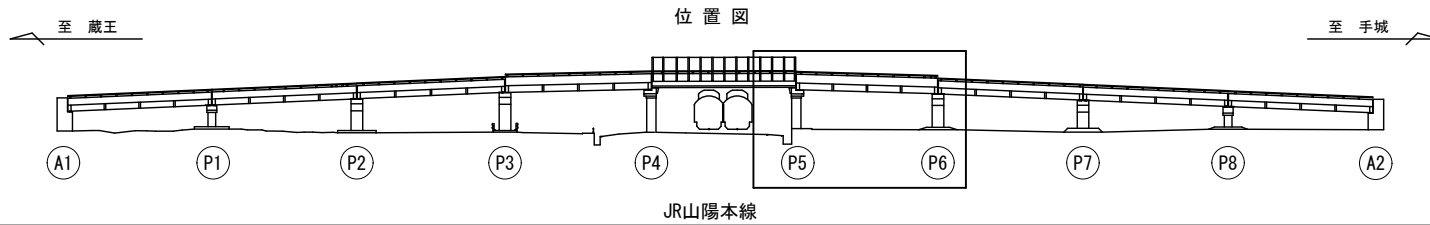
- 1) 本図面は、既存資料および現地計測を元に作成したものである。
工事の際には、寸法形状を測定し使用すること。
- 2) 補修箇所は再計測し、数量を計上のこと。
- 3) 断面修復の寸法は、施工性を考慮し一辺100mm以上とする。

※この図面はA1→A3に縮尺して印刷しています。
設計：株式会社 長大テック



工事名	橋梁補修工事(東部陸橋・8-1)		
図面名	東部陸橋 補修図 (その12)		
作成年月日	令和8年6月		
縮 尺	図 示	図面番号	11 / 38
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外2か町 地内		
事業者名	福 山 市		

断面修復工		※防錆処理含まない			
番号	損傷部位	寸法(m)	箇所	面積(m ²)	損傷の種類
t1	主桁	0.30 × 0.10	1	0.030	剥離
計				0.030	

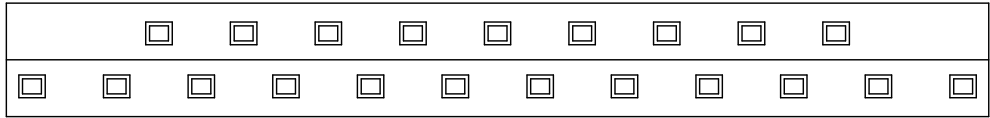


東部陸橋 補修図（その13）

S=1:50

〈ひびわれ補修工，断面修復工〉

P6橋脚
平面図

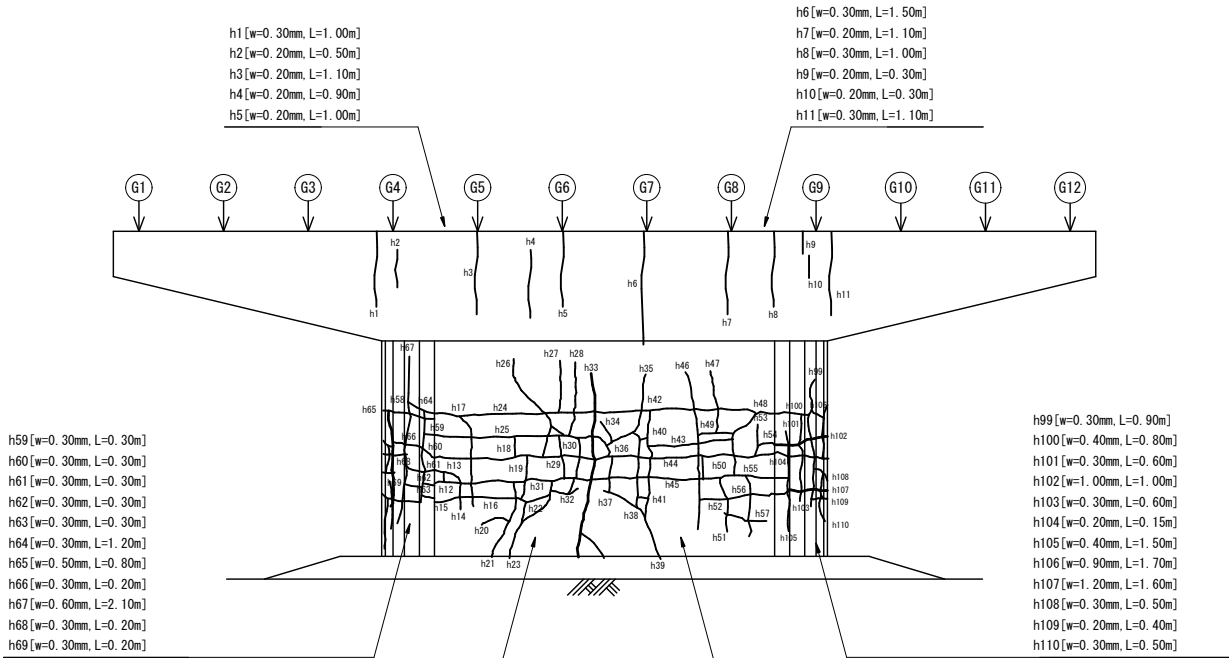
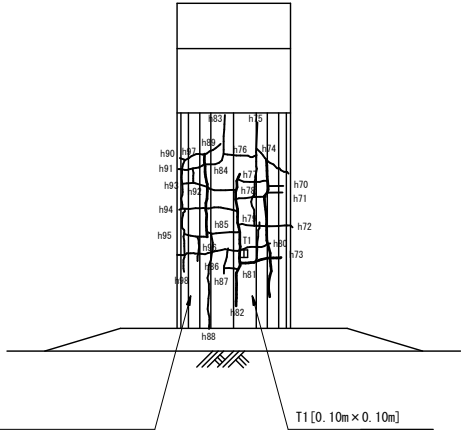


側面図(左)

正面図(起点側)

側面図(右)

h70[w=0.30mm,L=0.20m]
h71[w=0.30mm,L=0.20m]
h72[w=0.60mm,L=0.50m]
h73[w=1.00mm,L=0.40m]
h74[w=1.00mm,L=2.00m]
h75[w=0.40mm,L=1.60m]
h76[w=0.30mm,L=0.40m]
h77[w=0.30mm,L=0.45m]
h78[w=0.30mm,L=0.35m]
h79[w=0.40mm,L=0.50m]
h80[w=0.80mm,L=0.85m]
h81[w=0.20mm,L=0.20m]
h82[w=1.00mm,L=1.40m]
h83[w=0.20mm,L=0.90m]
h84[w=0.20mm,L=0.35m]
h85[w=0.30mm,L=0.40m]
h86[w=0.20mm,L=0.10m]
h87[w=0.20mm,L=0.30m]
h88[w=0.30mm,L=1.00m]
h89[w=1.00mm,L=0.90m]
h90[w=0.30mm,L=0.80m]
h91[w=0.30mm,L=0.50m]
h92[w=0.20mm,L=0.20m]
h93[w=0.30mm,L=0.60m]
h94[w=0.50mm,L=0.90m]
h95[w=0.30mm,L=0.40m]
h96[w=0.30mm,L=0.30m]
h97[w=0.50mm,L=0.60m]
h98[w=0.50mm,L=0.85m]



h12[w=0.30mm,L=0.20m]
h13[w=0.30mm,L=0.40m]
h14[w=0.30mm,L=0.40m]
h15[w=0.30mm,L=0.50m]
h16[w=0.30mm,L=1.20m]
h17[w=0.30mm,L=1.00m]
h18[w=0.30mm,L=0.25m]
h19[w=0.30mm,L=0.60m]
h20[w=0.20mm,L=0.40m]

h21[w=0.20mm,L=1.10m]
h22[w=0.20mm,L=0.30m]
h23[w=0.30mm,L=1.20m]
h24[w=0.40mm,L=4.50m]
h25[w=0.50mm,L=2.50m]
h26[w=0.30mm,L=1.30m]
h27[w=0.20mm,L=0.80m]
h28[w=0.20mm,L=1.10m]
h29[w=0.30mm,L=0.60m]

h30[w=0.30mm,L=0.60m]
h31[w=0.70mm,L=2.20m]
h32[w=0.20mm,L=0.40m]
h33[w=1.00mm,L=2.50m]
h34[w=0.20mm,L=0.50m]
h35[w=0.30mm,L=1.30m]
h36[w=0.20mm,L=0.20m]
h37[w=0.30mm,L=0.50m]

h38[w=0.30mm,L=1.00m]
h39[w=0.40mm,L=0.60m]
h40[w=0.30mm,L=0.10m]
h41[w=0.30mm,L=0.15m]
h42[w=0.30mm,L=1.50m]
h43[w=0.30mm,L=1.15m]
h44[w=0.50mm,L=1.40m]
h45[w=0.40mm,L=2.50m]
h46[w=0.60mm,L=2.50m]

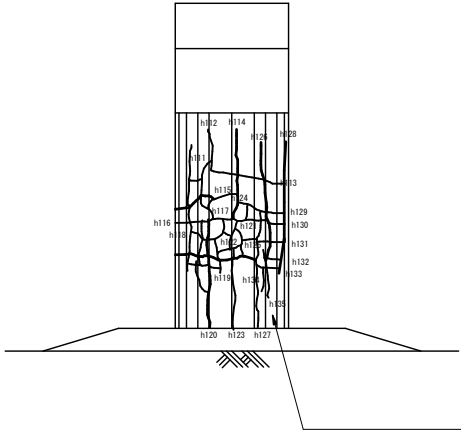
h47[w=0.20mm,L=0.80m]
h48[w=0.30mm,L=1.40m]
h49[w=0.20mm,L=0.45m]
h50[w=0.20mm,L=0.25m]
h51[w=0.40mm,L=0.70m]
h52[w=0.20mm,L=0.35m]
h53[w=0.20mm,L=0.30m]
h54[w=0.20mm,L=0.15m]
h55[w=0.30mm,L=0.75m]

h56[w=0.20mm,L=0.60m]
h57[w=0.30mm,L=0.60m]
h58[w=0.30mm,L=0.50m]

凡 例

損傷の種類	表 示
ひびわれ (0.2mm≦w<1.0mm)	h 0.2
ひびわれ (1.0mm≦w≦5.0mm)	H 1.0
剥離	t
鉄筋露出	T
うき	
変形・欠損	t

h111[w=0.50mm,L=0.90m]
h112[w=0.30mm,L=0.70m]
h113[w=0.50mm,L=1.10m]
h114[w=1.20mm,L=1.60m]
h115[w=0.30mm,L=0.60m]
h116[w=0.70mm,L=1.60m]
h117[w=0.20mm,L=0.15m]
h118[w=0.30mm,L=0.65m]
h119[w=0.50mm,L=0.45m]
h120[w=1.00mm,L=1.50m]
h121[w=0.20mm,L=0.50m]
h122[w=0.70mm,L=0.70m]
h123[w=0.60mm,L=1.00m]
h124[w=0.50mm,L=0.50m]
h125[w=0.30mm,L=0.25m]
h126[w=1.00mm,L=1.50m]
h127[w=0.70mm,L=1.60m]
h128[w=1.20mm,L=1.80m]
h129[w=0.80mm,L=0.25m]
h130[w=0.30mm,L=0.25m]
h131[w=0.30mm,L=0.40m]
h132[w=0.20mm,L=0.25m]
h133[w=0.30mm,L=0.40m]
h134[w=0.30mm,L=0.40m]
h135[w=0.50mm,L=0.70m]



ひびわれ注入工 (0.2mm≦w≦5.0mm)																					
番号	損傷部位	寸法		番号	損傷部位	寸法		番号	損傷部位	寸法		番号	損傷部位	寸法		番号	損傷部位	寸法		番号	損傷部位
		幅w (mm)	延長L (m)			幅w (mm)	延長L (m)			幅w (mm)	延長L (m)			幅w (mm)	延長L (m)			幅w (mm)	延長L (m)		
h1	橋脚	0.30	1.00	h22	橋脚	0.20	0.30	h43	橋脚	0.30	1.15	h64	橋脚	0.30	1.20	h85	橋脚	0.90	1.70	h127	橋脚
h2	橋脚	0.20	0.50	h23	橋脚	0.30	1.20	h44	橋脚	0.50	1.40	h65	橋脚	0.50	0.80	h86	橋脚	1.20	1.60	h107	橋脚
h3	橋脚	0.20	1.10	h24	橋脚	0.40	4.50	h45	橋脚	0.40	2.50	h66	橋脚	0.30	0.20	h87	橋脚	0.20	0.30	h108	橋脚
h4	橋脚	0.20	0.90	h25	橋脚	0.50	2.50	h46	橋脚	0.60	2.50	h67	橋脚	0.60	2.10	h88	橋脚	0.30	1.00	h109	橋脚
h5	橋脚	0.20	1.00	h26	橋脚	0.30	1.30	h47	橋脚	0.20	0.80	h68	橋脚	0.30	0.20	h89	橋脚	1.00	0.90	h110	橋脚
h6	橋脚	0.30	1.50	h27	橋脚	0.20	0.80	h48	橋脚	0.30	1.40	h69	橋脚	0.30	0.20	h90	橋脚	0.30	0.80	h111	橋脚
h7	橋脚	0.20	1.10	h28	橋脚	0.20	1.10	h49	橋脚	0.20	0.45	h70	橋脚	0.30	0.20	h91	橋脚	0.30	0.50	h112	橋脚
h8	橋脚	0.30	1.00	h29	橋脚	0.30	0.60	h50	橋脚	0.20	0.25	h71	橋脚	0.30	0.20	h92	橋脚	0.20	0.20	h113	橋脚
h9	橋脚	0.20	0.30	h30	橋脚	0.30	0.60	h51	橋脚	0.40	0.70	h72	橋脚	0.60	0.50	h93	橋脚	0.30	0.60	h114	橋脚
h10	橋脚	0.20	0.30	h31	橋脚	0.70	2.20	h52	橋脚	0.20	0.35	h73	橋脚	1.00	0.40	h94	橋脚	0.50	0.90	h115	橋脚
h11	橋脚	0.30	1.10	h32	橋脚	0.20	0.40	h53	橋脚	0.20	0.30	h74	橋脚	1.00	2.00	h95	橋脚	0.30	0.40	h116	橋脚
h12	橋脚	0.30	0.20	h33	橋脚	1.00	2.50	h54	橋脚	0.20	0.15	h75	橋脚	0.40	1.60	h96	橋脚	0.30	0.30	h117	橋脚
h13	橋脚	0.30	0.40	h34	橋脚	0.20	0.50	h55	橋脚	0.30	0.75	h76	橋脚	0.30	0.40	h97	橋脚	0.50	0.60	h118	橋脚
h14	橋脚	0.30	0.40	h35	橋脚	0.30	1.30	h56	橋脚	0.20	0.60	h77	橋脚	0.30	0.45	h98	橋脚	0.50	0.85	h119	橋脚
h15	橋脚	0.30	0.50	h36	橋脚	0.20	0.20	h57	橋脚	0.30	0.60	h78	橋脚	0.30	0.35	h99	橋脚	0.30	0.90	h120	橋脚
h16	橋脚	0.30	1.20	h37	橋脚	0.30	0.50	h58	橋脚	0.30	0.50	h79	橋脚	0.40	0.50	h100	橋脚	0.40	0.80	h121	橋脚
h17	橋脚	0.30	1.00	h38	橋脚	0.30	1.00	h59	橋脚	0.30	0.30	h80	橋脚	0.80	0.85	h101	橋脚	0.30	0.60	h122	橋脚
h18	橋脚	0.30	0.25	h39	橋脚	0.40	0.60	h60	橋脚	0.30	0.30	h81	橋脚	0.20	0.20	h102	橋脚	1.00	1.00	h123	橋脚
h19	橋脚	0.30	0.60	h40	橋脚	0.30	0.10	h61	橋脚	0.30	0.30	h82	橋脚	1.00	1.40	h103	橋脚	0.30	0.60	h124	橋脚
h20	橋脚	0.20	0.40	h41	橋脚	0.30	0.15	h62	橋脚	0.30	0.30	h83	橋脚	0.20	0.90	h104	橋脚	0.20	0.15	h125	橋脚
h21	橋脚	0.20	1.10	h42	橋脚	0.30	1.50	h63	橋脚	0.30	0.30	h84	橋脚	0.20	0.35	h105	橋脚	0.40	1.50	h126	橋脚

断面修復工					※防錆処理含む	
番号	損傷部位	寸法 (m)	箇所	面積 (㎡)	損傷の種類	
T1	橋脚	0.10 × 0.10	1	0.010	鉄筋露出	

注記
1) 本図面は、既存資料および現地計測を元に作成したものである。工事の際には、寸法形状を測定し使用すること。
2) 補修箇所は再計測し、数量を計上すること。
3) 断面修復の寸法は、施工性を考慮し一辺100mm以上とする。
※この図面はA1～A3に縮尺して印刷しています。
設計：株式会社 長大テック

工事名	橋梁補修工事(東部陸橋・8-1)		
図面名	東部陸橋 補修図 (その13)		
作成年月日	令和8年6月		
縮 尺	図 示	図面番号	12 / 38
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外 2 か町 地内		
事業者名	福 山 市		



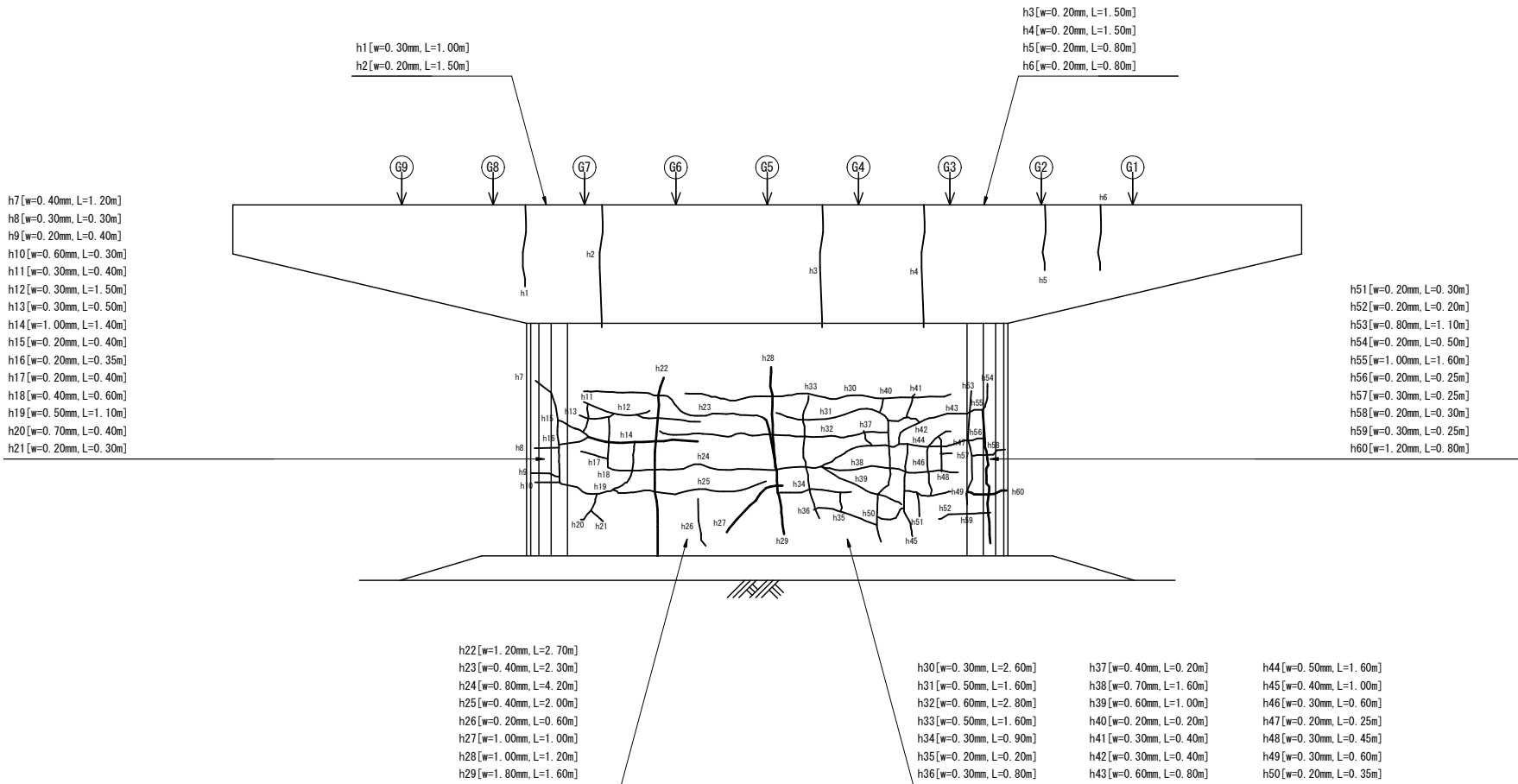
東部陸橋 補修図（その14）

S=1：40

〈ひびわれ補修工〉

P6橋脚

正面図（終点側）



ひびわれ注入工（0.2mm≦w≦5.0mm）									
番号	損傷部位	寸法		番号	損傷部位	寸法		番号	損傷部位
		幅w (mm)	延長L (m)			幅w (mm)	延長L (m)		
h1	橋脚	0.30	1.00	h21	橋脚	0.20	0.30	h41	橋脚
h2	橋脚	0.20	1.50	h22	橋脚	1.20	2.70	h42	橋脚
h3	橋脚	0.20	1.50	h23	橋脚	0.40	2.30	h43	橋脚
h4	橋脚	0.20	1.50	h24	橋脚	0.80	4.20	h44	橋脚
h5	橋脚	0.20	0.80	h25	橋脚	0.40	2.00	h45	橋脚
h6	橋脚	0.20	0.80	h26	橋脚	0.20	0.60	h46	橋脚
h7	橋脚	0.40	1.20	h27	橋脚	1.00	1.00	h47	橋脚
h8	橋脚	0.30	0.30	h28	橋脚	1.00	1.20	h48	橋脚
h9	橋脚	0.20	0.40	h29	橋脚	1.80	1.60	h49	橋脚
h10	橋脚	0.60	0.30	h30	橋脚	0.30	2.60	h50	橋脚
h11	橋脚	0.30	0.40	h31	橋脚	0.50	1.60	h51	橋脚
h12	橋脚	0.30	1.50	h32	橋脚	0.60	2.80	h52	橋脚
h13	橋脚	0.30	0.50	h33	橋脚	0.50	1.60	h53	橋脚
h14	橋脚	1.00	1.40	h34	橋脚	0.30	0.90	h54	橋脚
h15	橋脚	0.20	0.40	h35	橋脚	0.20	0.20	h55	橋脚
h16	橋脚	0.20	0.35	h36	橋脚	0.30	0.80	h56	橋脚
h17	橋脚	0.20	0.40	h37	橋脚	0.40	0.20	h57	橋脚
h18	橋脚	0.40	0.60	h38	橋脚	0.70	1.60	h58	橋脚
h19	橋脚	0.50	1.10	h39	橋脚	0.60	1.00	h59	橋脚
h20	橋脚	0.70	0.40	h40	橋脚	0.20	0.20	h60	橋脚
計								57.75	

損傷の種類	表 示	
ひびわれ (0.2mm≦w<1.0mm)	h	
ひびわれ (1.0mm≦w≦5.0mm)	H	
剥離	t	
鉄筋露出	T	
うき	t	
変形・欠損		

注記
1) 本図面は、既存資料および現地計測を元に作成したものである。工事の際には、寸法形状を測定し使用すること。
2) 補修箇所は再計測し、数量を計上のこと。
3) 断面修復の寸法は、施工性を考慮し一辺100mm以上とする。
※この図面はA1～A3に縮尺して印刷しています。
設計：株式会社 長大テック

工事名	橋梁修繕工事(東部陸橋・8－1)		
図面名	東部陸橋 補修図（その14）		
作成年月日	令和8年6月		
縮 尺	図 示	図面番号	13 / 38
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外 2 か町 地内		
事業者名	福 山 市		

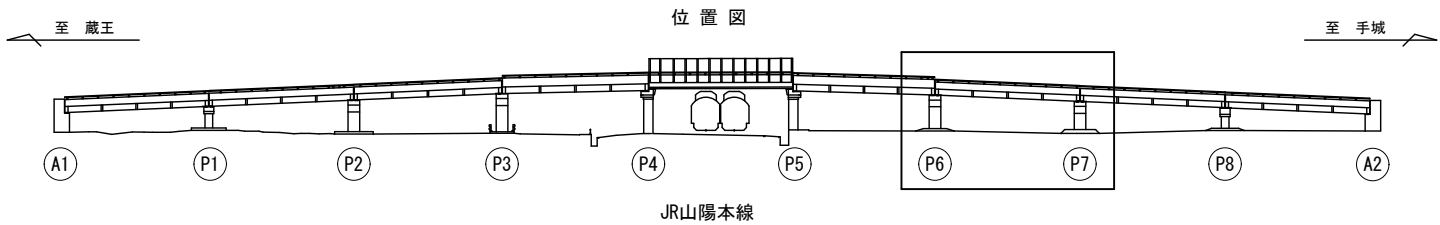
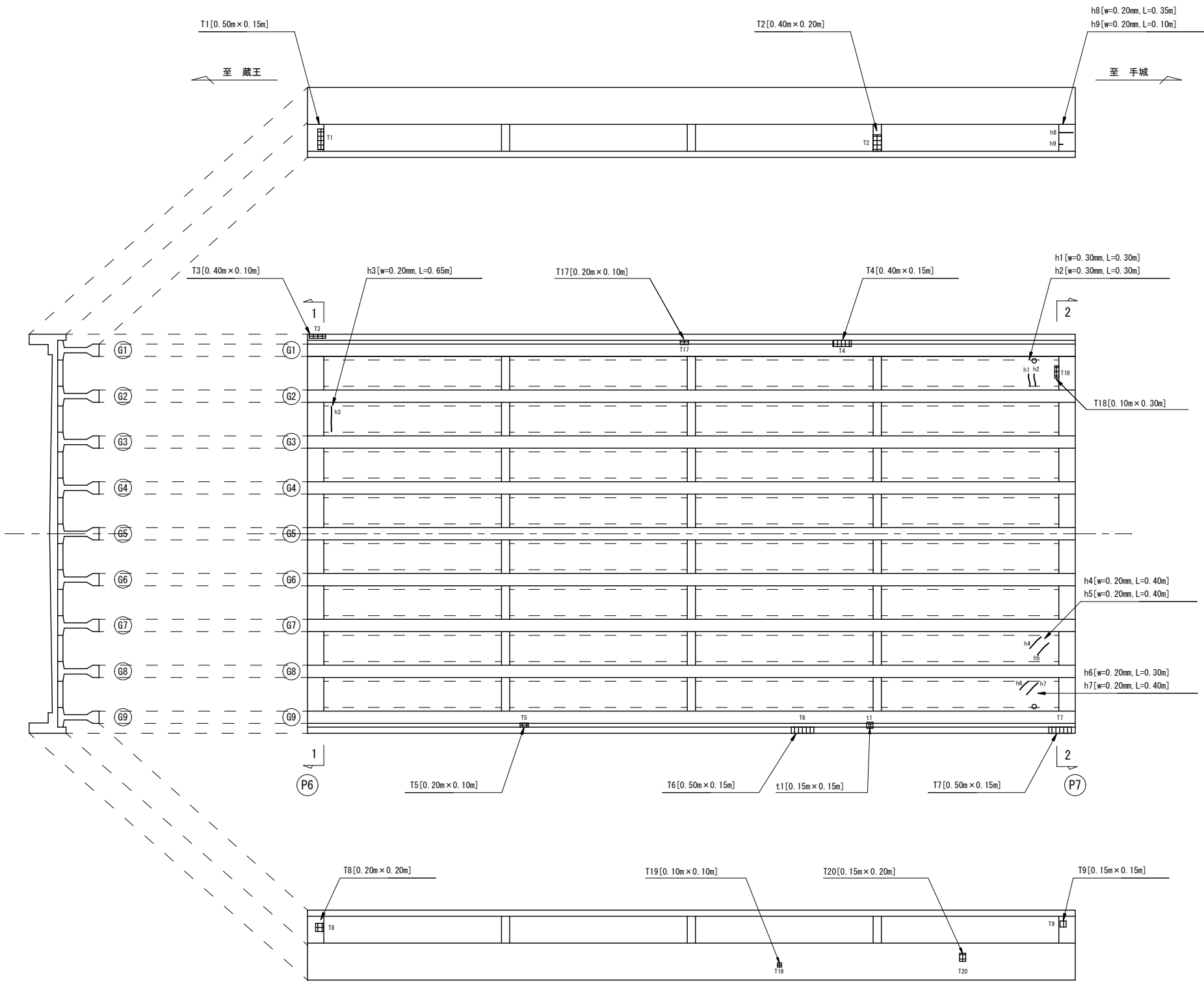


東部陸橋 補修図（その15）

S=1:60

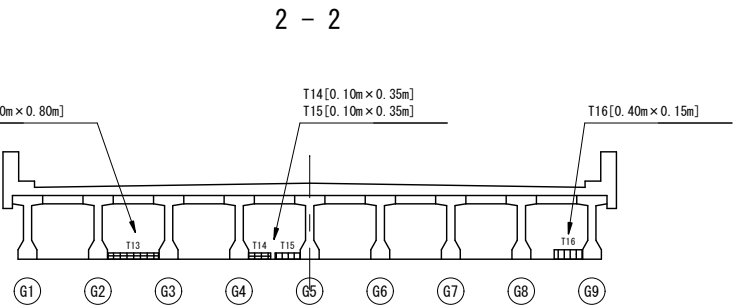
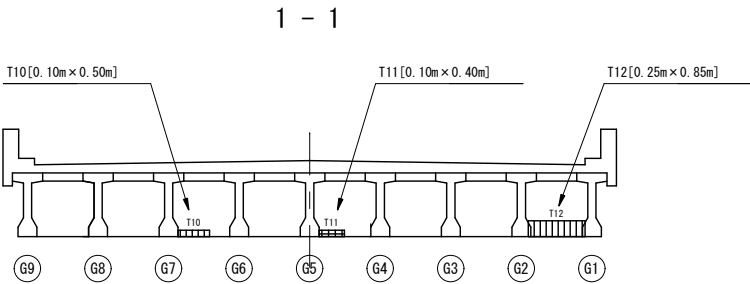
〈ひびわれ補修工，断面修復工〉

桁下面（P6-P7間）



凡 例

損傷の種類	表 示
ひびわれ (0.2mm≦w<1.0mm)	h 0.2
ひびわれ (1.0mm≦w≦5.0mm)	H 1.0
剥離	t
鉄筋露出	T
うき	
変形・欠損	t



断面修復工					※防錆処理含む	
番号	損傷部位	寸法 (m)	箇所	面積 (㎡)	損傷の種類	
T1	PC定着部	0.50 × 0.15	1	0.075	うき	
T2	PC定着部	0.40 × 0.20	1	0.080	うき	
T3	地覆	0.40 × 0.10	1	0.040	うき	
T4	主桁	0.40 × 0.15	1	0.060	鉄筋露出	
T5	主桁	0.20 × 0.10	1	0.020	うき	
T6	地覆	0.50 × 0.15	1	0.075	鉄筋露出	
T7	地覆	0.50 × 0.15	1	0.075	鉄筋露出	
T8	PC定着部	0.20 × 0.20	1	0.040	うき	
T9	PC定着部	0.15 × 0.15	1	0.023	鉄筋露出	
T10	横桁	0.10 × 0.50	1	0.050	鉄筋露出	
T11	横桁	0.10 × 0.40	1	0.040	うき	
T12	横桁	0.25 × 0.85	1	0.213	鉄筋露出	
T13	横桁	0.10 × 0.80	1	0.080	うき	
T14	横桁	0.10 × 0.35	1	0.035	うき	
T15	横桁	0.10 × 0.35	1	0.035	鉄筋露出	
T16	横桁	0.40 × 0.15	1	0.060	鉄筋露出	
T17	主桁	0.20 × 0.10	1	0.020	うき	
T18	床版	0.10 × 0.30	1	0.030	うき	
T19	防護柵	0.10 × 0.10	1	0.010	うき	
T20	防護柵	0.15 × 0.20	1	0.030	うき	
計				1.091		

ひびわれ注入工 (0.2mm≦w≦5.0mm)			
番号	損傷部位	寸法	
		幅 w (mm)	延長 L (m)
h1	床版	0.30	0.30
h2	床版	0.30	0.30
h3	床版	0.20	0.65
h4	床版	0.20	0.40
h5	床版	0.20	0.40
h6	床版	0.20	0.30
h7	床版	0.20	0.40
h8	PC定着部	0.20	0.35
h9	PC定着部	0.20	0.10
計			3.20

断面修復工					※防錆処理含まない	
番号	損傷部位	寸法 (m)	箇所	面積 (㎡)	損傷の種類	
t1	主桁	0.15 × 0.15	1	0.023	剥離	
計				0.023		

注記
1) 本図面は、既存資料および現地計測を元に作成したものである。工事の際には、寸法形状を測定し使用する。
2) 補修箇所は再計測し、数量を計上すること。
3) 断面修復の寸法は、施工性を考慮し一辺100mm以上とする。
※この図面はA1→A3に縮尺して印刷しています。
設計：株式会社 長大テック



工事名	橋梁修繕工事(東部陸橋・8-1)		
図面名	東部陸橋 補修図(その15)		
作成年月日	令和8年6月		
縮 尺	図 示	図面番号	14 / 38
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外 2 か町 地内		
事業者名	福 山 市		

東部陸橋 補修図（その16）

＜ひびわれ補修工，断面修復工＞

P7橋脚

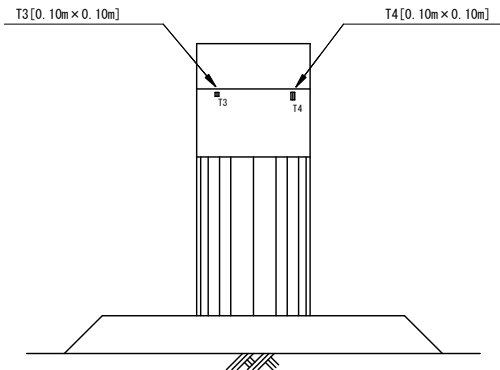
平面図

S=1:50

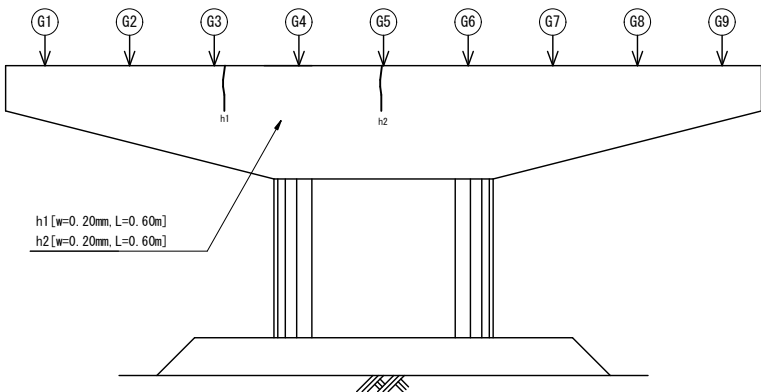
凡 例

損傷の種類	表 示
ひびわれ (0.2mm≦w<1.0mm)	h 0.2
ひびわれ (1.0mm≦w≦5.0mm)	H 1.0
剥離	t
鉄筋露出	↑
うき	
変形・欠損	t

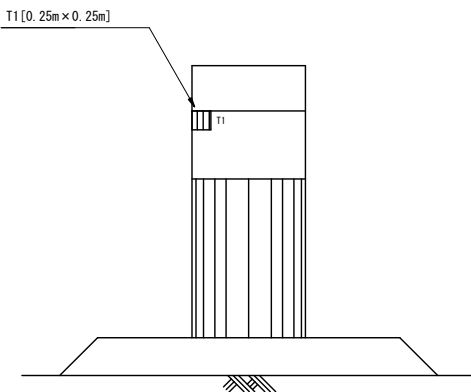
側面図(左)



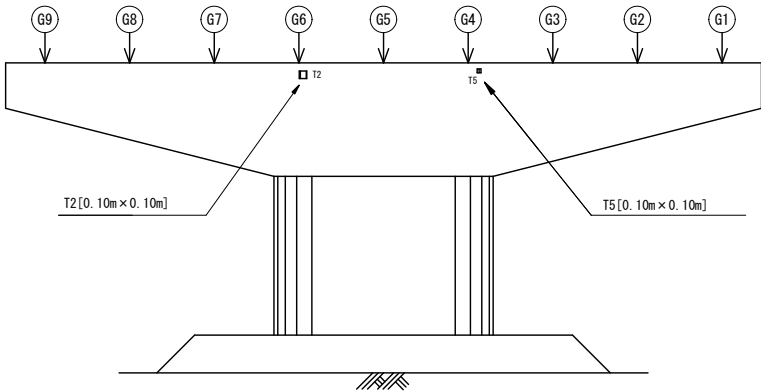
正面図(起点側)



側面図(右)



正面図(終点側)



断面修復工		※防錆処理含む			
番号	損傷部位	寸法 (m)	箇所	面積 (㎡)	損傷の種類
T1	橋脚	0.25 × 0.25	1	0.063	鉄筋露出
T2	橋脚	0.10 × 0.10	1	0.010	鉄筋露出
T3	橋脚	0.10 × 0.10	1	0.010	鉄筋露出
T4	橋脚	0.10 × 0.10	1	0.010	鉄筋露出
T5	橋脚	0.10 × 0.10	1	0.010	鉄筋露出
計				0.103	

ひびわれ注入工 (0.2mm≦w≦5.0mm)			
番号	損傷部位	寸法	
		幅 w (mm)	延長 L (m)
h1	橋脚	0.20	0.60
h2	橋脚	0.20	0.60
計			1.20

注記
1) 本図面は、既存資料および現地計測を元に作成したものである。工事の際には、寸法形状を測定し使用すること。
2) 補修箇所は再計測し、数量を計上のこと。
3) 断面修復の寸法は、施工性を考慮し一辺100mm以上とする。
※この図面はA1→A3に縮尺して印刷しています。
設計：株式会社 長大テック

工事名	橋梁修繕工事(東部陸橋・8-1)		
図面名	東部陸橋 補修図(その16)		
作成年月日	令和8年6月		
縮 尺	図 示	図面番号	15 / 38
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外 2 か町 地内		
事業者名	福 山 市		



東部陸橋 補修図（その17）

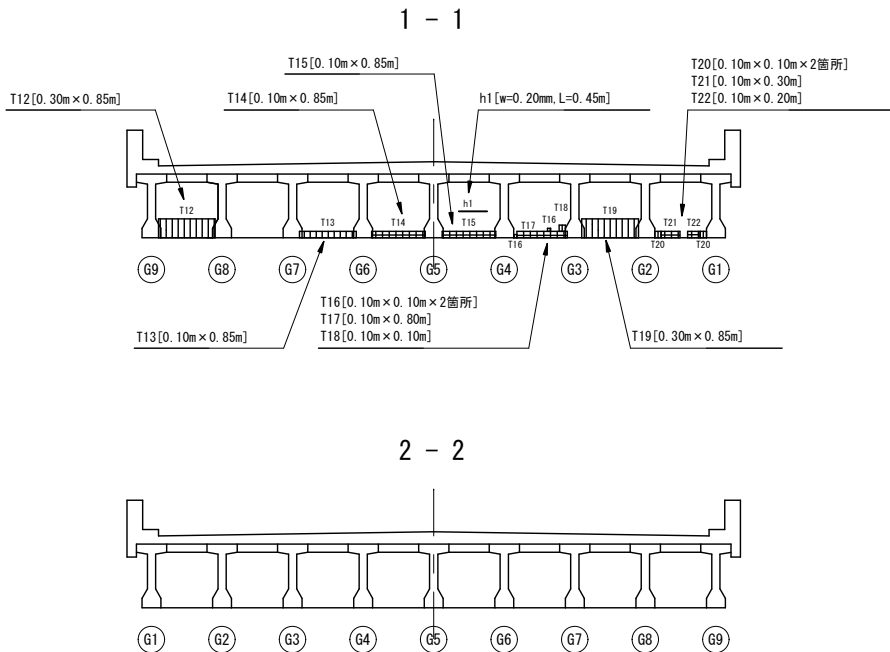
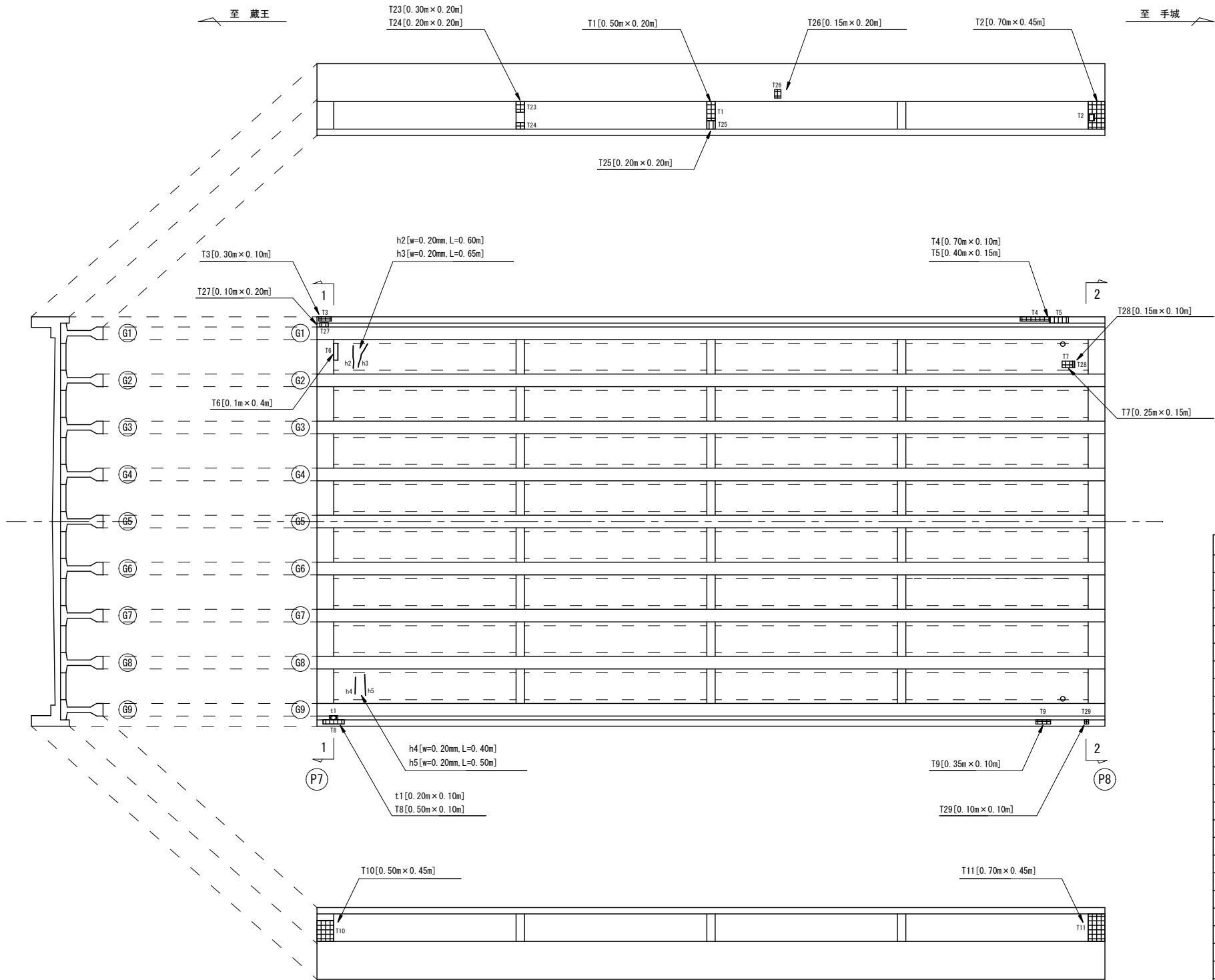
〈ひびわれ補修工，断面修復工〉

桁下面（P7-P8間）

S=1:60

凡 例

損傷の種類	表 示
ひびわれ (0.2mm≦w<1.0mm)	h 0.2
ひびわれ (1.0mm≦w≦5.0mm)	H 1.0
剥離	t
鉄筋露出	T
うき	
変形・欠損	t

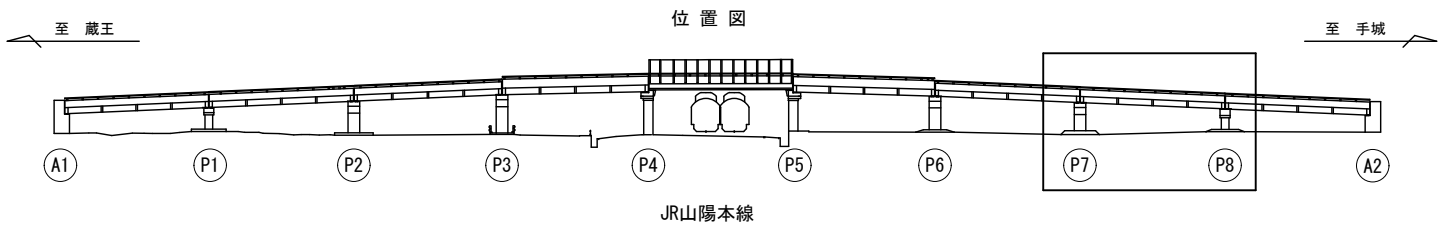


断面修復工		※防錆処理含む			
番号	損傷部位	寸法 (m)	箇所	面積 (㎡)	損傷の種類
T1	PC定着部	0.50 × 0.20	1	0.100	うき
T2	PC定着部	0.70 × 0.45	1	0.315	うき
T3	地覆	0.30 × 0.10	1	0.030	うき
T4	地覆	0.70 × 0.10	1	0.070	うき
T5	地覆	0.40 × 0.15	1	0.060	鉄筋露出
T6	床版	0.10 × 0.40	1	0.040	鉄筋露出
T7	床版	0.25 × 0.15	1	0.038	うき
T8	地覆	0.50 × 0.10	1	0.050	鉄筋露出
T9	地覆	0.35 × 0.10	1	0.035	うき
T10	PC定着部	0.50 × 0.45	1	0.225	うき
T11	PC定着部	0.70 × 0.45	1	0.315	うき
T12	横桁	0.30 × 0.85	1	0.255	鉄筋露出
T13	横桁	0.10 × 0.85	1	0.085	鉄筋露出
T14	横桁	0.10 × 0.85	1	0.085	うき
T15	横桁	0.10 × 0.85	1	0.085	うき
T16	横桁	0.10 × 0.10	2	0.020	鉄筋露出
T17	横桁	0.10 × 0.80	1	0.080	うき
T18	横桁	0.10 × 0.10	1	0.010	鉄筋露出
T19	横桁	0.30 × 0.85	1	0.255	鉄筋露出
T20	横桁	0.10 × 0.10	2	0.020	鉄筋露出
T21	横桁	0.10 × 0.30	1	0.030	うき
T22	横桁	0.10 × 0.20	1	0.020	うき
T23	PC定着部	0.30 × 0.20	1	0.060	うき
T24	PC定着部	0.20 × 0.20	1	0.040	うき
T25	PC定着部	0.20 × 0.20	1	0.040	鉄筋露出
T26	防護欄	0.15 × 0.20	1	0.030	うき
T27	主桁	0.10 × 0.20	1	0.020	鉄筋露出
T28	床版	0.15 × 0.10	1	0.015	鉄筋露出
T29	地覆	0.10 × 0.10	1	0.010	うき
計				2.438	

ひびわれ注入工 (0.2mm≦w≦5.0mm)			
番号	損傷部位	寸法	
		幅 w (mm)	延長 L (m)
h1	横桁	0.20	0.45
h2	床版	0.20	0.60
h3	床版	0.20	0.65
h4	床版	0.20	0.40
h5	床版	0.20	0.50
計			2.60

注記

- 本図面は、既存資料および現地計測を元に作成したものである。工事の際には、寸法形状を測定し使用すること。
 - 補修箇所は再計測し、数量を計上のこと。
 - 断面修復の寸法は、施工性を考慮し一辺100mm以上とする。
- ※この図面はA1〜A3に縮尺して印刷しています。
設計：株式会社 長大テック



断面修復工		※防錆処理含まない			
番号	損傷部位	寸法 (m)	箇所	面積 (㎡)	損傷の種類
t1	主桁	0.20 × 0.10	1	0.020	剥離
計				0.020	

工事名	橋梁修繕工事(東部陸橋・8-1)		
図面名	東部陸橋 補修図 (その17)		
作成年月日	令和8年6月		
縮 尺	図 示	図面番号	16 / 38
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外 2 か町 地内		
事業者名	福 山 市		

東部陸橋 補修図（その18）

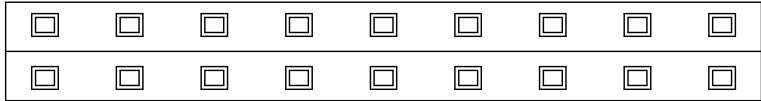
S=1:50

〈ひびわれ補修工，断面修復工〉

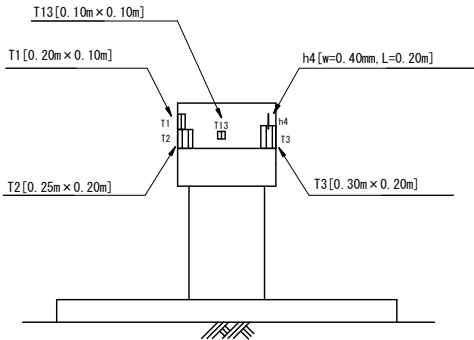
P8橋脚

平面図

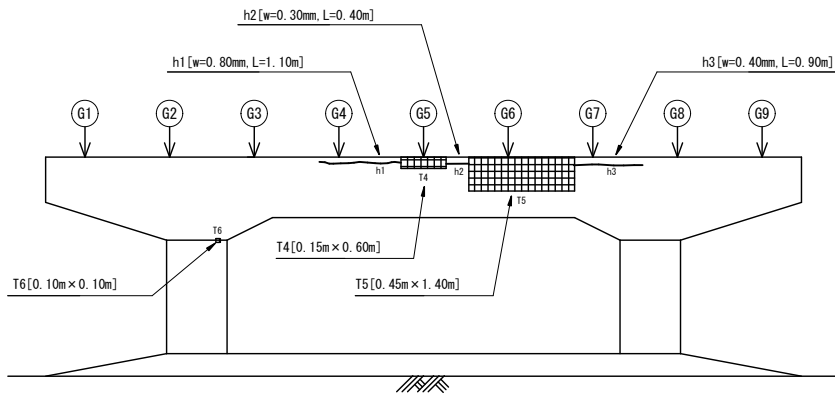
P7橋脚 A2橋台



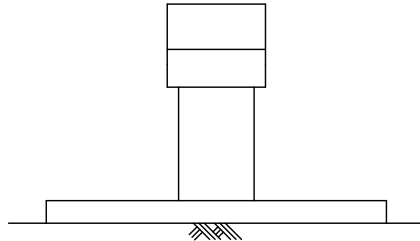
側面図(左)



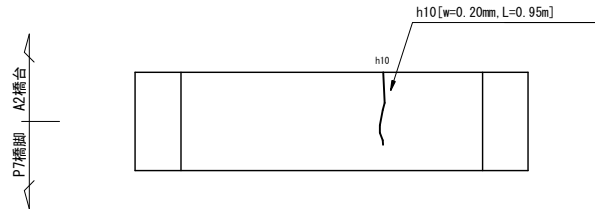
正面図(起点側)



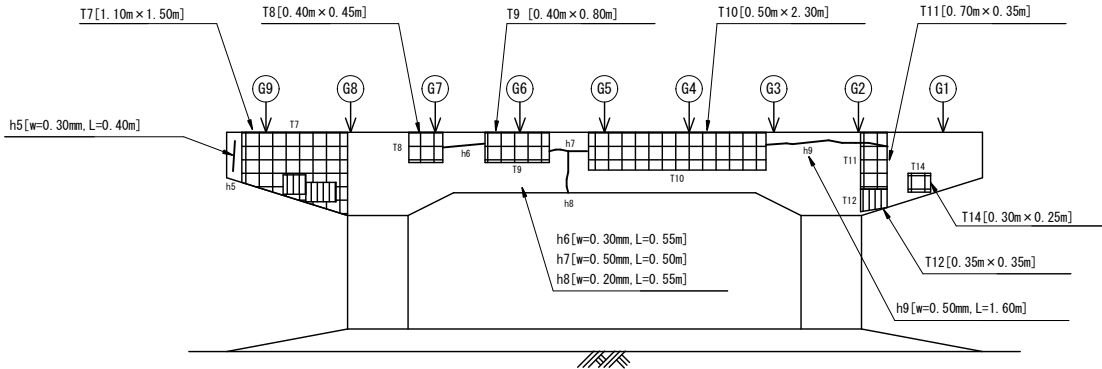
側面図(右)



梁部下面



正面図(終点側)



凡 例

損傷の種類	表 示
ひびわれ (0.2mm≦w<1.0mm)	h 0.2
ひびわれ (1.0mm≦w≦5.0mm)	H 1.0
剥離	t ○
鉄筋露出	↑ ○
うき	↑ □
変形・欠損	t ○

断面修復工					※防錆処理含む	
番号	損傷部位	寸法 (m)	箇所	面積 (㎡)	損傷の種類	
T1	橋脚	0.20 × 0.10	1	0.020	鉄筋露出	
T2	橋脚	0.25 × 0.20	1	0.050	鉄筋露出	
T3	橋脚	0.30 × 0.20	1	0.060	鉄筋露出	
T4	橋脚	0.15 × 0.60	1	0.090	うき	
T5	橋脚	0.45 × 1.40	1	0.630	うき	
T6	橋脚	0.10 × 0.10	1	0.010	鉄筋露出	
T7	橋脚	1.10 × 1.50	1	1.650	うき	
T8	橋脚	0.40 × 0.45	1	0.180	うき	
T9	橋脚	0.40 × 0.80	1	0.320	うき	
T10	橋脚	0.50 × 2.30	1	1.150	うき	
T11	橋脚	0.70 × 0.35	1	0.245	うき	
T12	橋脚	0.35 × 0.35	1	0.123	鉄筋露出	
T13	橋脚	0.10 × 0.10	1	0.010	鉄筋露出	
T14	橋脚	0.30 × 0.25	1	0.075	うき	
計				4.613		

ひびわれ注入工 (0.2mm≦w≦5.0mm)			
番号	損傷部位	寸法	
		幅 w (mm)	延長 L (m)
h1	橋脚	0.80	1.10
h2	橋脚	0.30	0.40
h3	橋脚	0.40	0.90
h4	橋脚	0.40	0.20
h5	橋脚	0.30	0.40
h6	橋脚	0.30	0.55
h7	橋脚	0.50	0.50
h8	橋脚	0.20	0.55
h9	橋脚	0.50	1.60
h10	橋脚	0.20	0.95
計			7.15

注記
1) 本図面は、既存資料および現地計測を元に作成したものである。工事の際には、寸法形状を測定し使用すること。
2) 補修箇所は再計測し、数量を計上のこと。
3) 断面修復の寸法は、施工性を考慮し一辺100mm以上とする。
※この図面はA1→A3に縮尺して印刷しています。
設計：株式会社 長大テック

工事名	橋梁修繕工事(東部陸橋・8-1)		
図面名	東部陸橋 補修図(その18)		
作成年月日	令和8年6月		
縮 尺	図 示	図面番号	17 / 38
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外 2 か町 地内		
事業者名	福 山 市		



東部陸橋 補修図（その19）

〈ひびわれ補修工，断面修復工〉

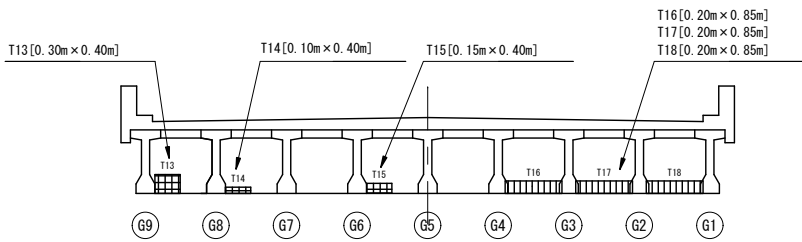
桁下面（P8-A2間）

S=1:60

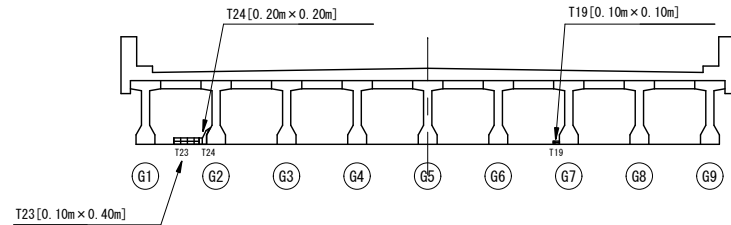
凡 例

損傷の種類	表 示
ひびわれ (0.2mm≦w<1.0mm)	h 0.2
ひびわれ (1.0mm≦w≦5.0mm)	H 1.0
剥離	t
鉄筋露出	T
うき	
変形・欠損	t

1 - 1



2 - 2

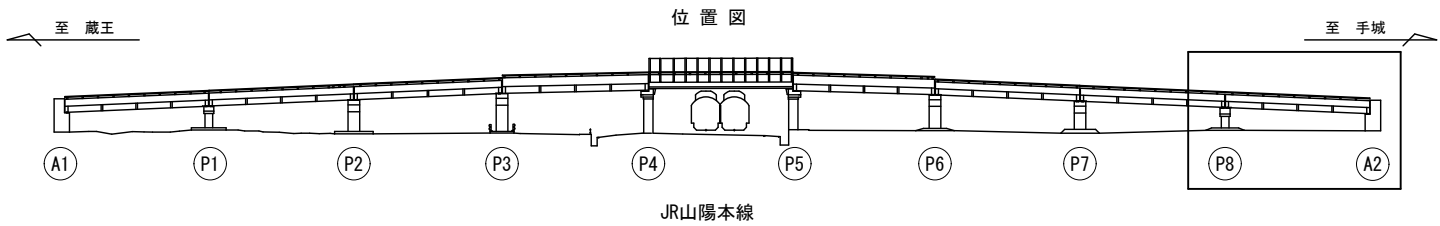
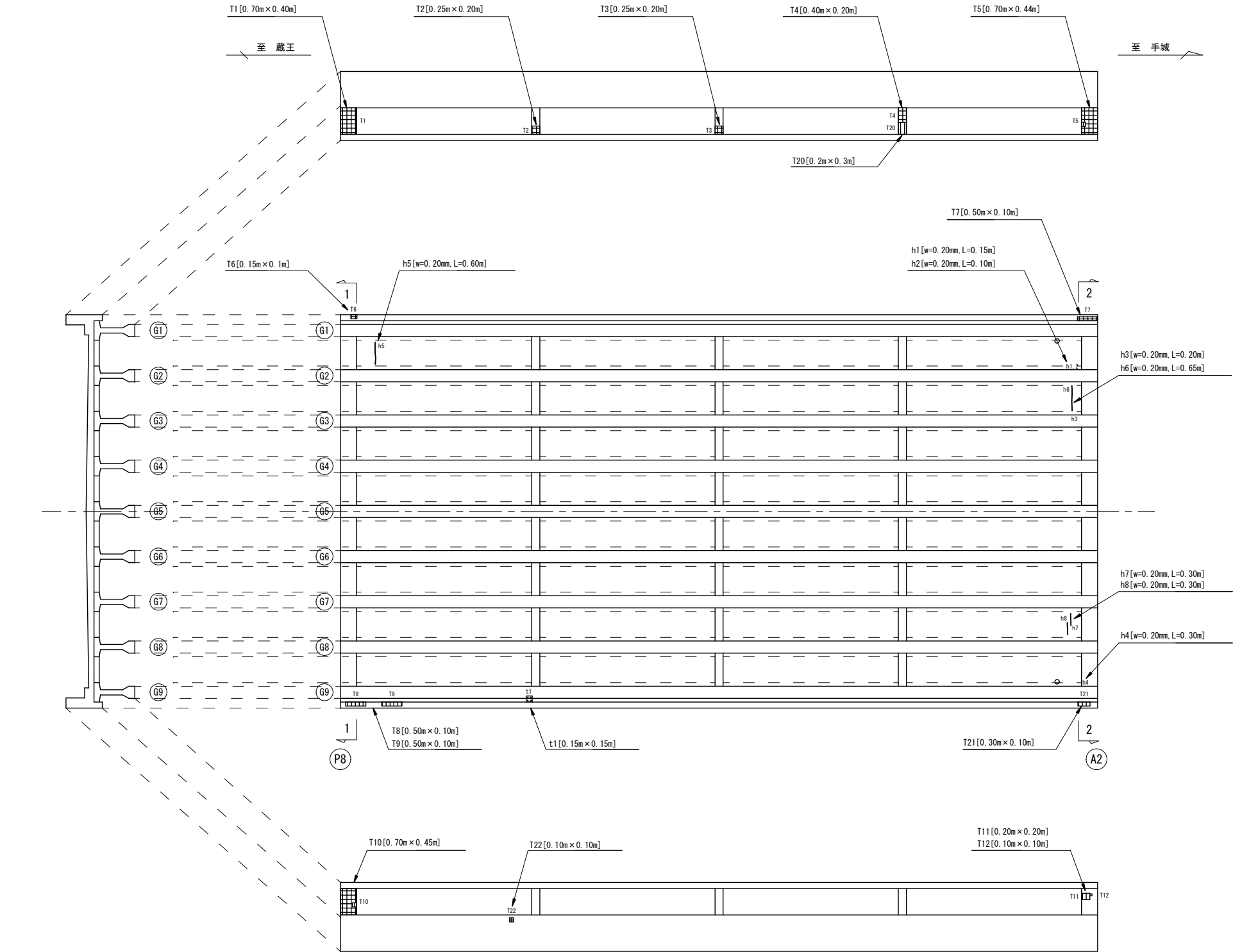


断面修復工		※防錆処理含む			
番号	損傷部位	寸法 (m)	箇所	面積 (㎡)	損傷の種類
T1	PC定着部	0.70 × 0.40	1	0.280	うき
T2	PC定着部	0.25 × 0.20	1	0.050	うき
T3	PC定着部	0.25 × 0.20	1	0.050	うき
T4	PC定着部	0.40 × 0.20	1	0.080	うき
T5	PC定着部	0.70 × 0.44	1	0.308	うき
T6	地覆	0.15 × 0.10	1	0.015	うき
T7	地覆	0.50 × 0.10	1	0.050	うき
T8	地覆	0.50 × 0.10	1	0.050	鉄筋露出
T9	地覆	0.50 × 0.10	1	0.050	鉄筋露出
T10	PC定着部	0.70 × 0.45	1	0.315	うき
T11	PC定着部	0.20 × 0.20	1	0.040	鉄筋露出
T12	PC定着部	0.10 × 0.10	1	0.010	鉄筋露出
T13	横桁	0.30 × 0.40	1	0.120	うき
T14	横桁	0.10 × 0.40	1	0.040	うき
T15	横桁	0.15 × 0.40	1	0.060	うき
T16	横桁	0.20 × 0.85	1	0.170	鉄筋露出
T17	横桁	0.20 × 0.85	1	0.170	鉄筋露出
T18	横桁	0.20 × 0.85	1	0.170	鉄筋露出
T19	横桁	0.10 × 0.10	1	0.010	うき
T20	PC定着部	0.20 × 0.30	1	0.060	鉄筋露出
T21	地覆	0.30 × 0.10	1	0.030	鉄筋露出
T22	防護柵	0.10 × 0.10	1	0.010	うき
T23	横桁	0.10 × 0.40	1	0.040	うき
T24	横桁	0.20 × 0.20	1	0.040	鉄筋露出
計				2.218	

ひびわれ注入工 (0.2mm≦w≦5.0mm)		寸法	
番号	損傷部位	幅w (mm)	延長L (m)
h1	主桁	0.20	0.15
h2	主桁	0.20	0.10
h3	主桁	0.20	0.20
h4	主桁	0.20	0.30
h5	床版	0.20	0.60
h6	床版	0.20	0.65
h7	床版	0.20	0.30
h8	床版	0.20	0.30
計			2.60

注記
1) 本図面は、既存資料および現地計測を元に作成したものである。工事の際には、寸法形状を測定し使用すること。
2) 補修箇所は再計測し、数量を計上のこと。
3) 断面修復の寸法は、施工性を考慮し一辺100mm以上とする。
※この図面はA1～A3に縮尺して印刷しています。
設計：株式会社 長大テック

断面修復工		※防錆処理含まない			
番号	損傷部位	寸法 (m)	箇所	面積 (㎡)	損傷の種類
t1	主桁	0.15 × 0.15	1	0.023	剥離
計				0.023	



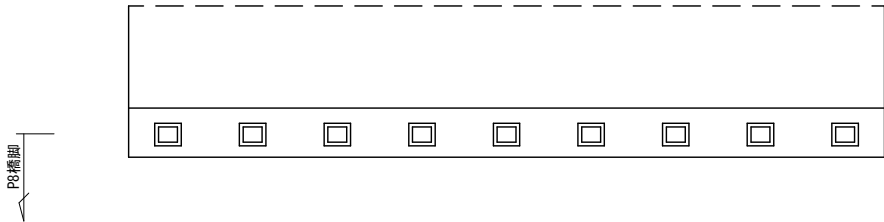
東部陸橋 補修図（その20）

S=1:50

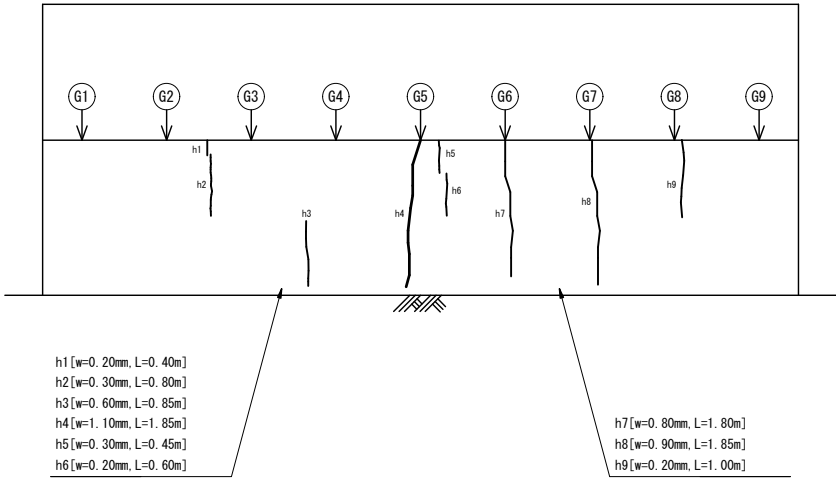
＜ひびわれ補修工＞

A2橋台

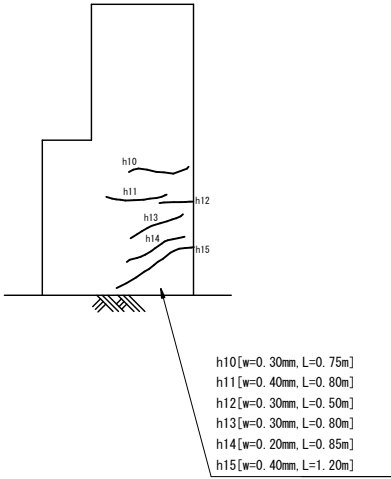
平面図



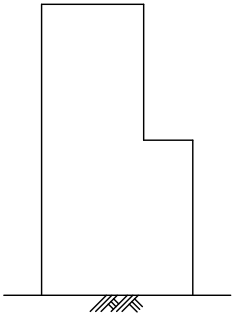
正面図



側面図



側面図



ひびわれ注入工 (0.2mm≦w≦5.0mm)			
番号	損傷部位	寸法	
		幅 w (mm)	延長 L (m)
h1	橋台	0.20	0.40
h2	橋台	0.30	0.80
h3	橋台	0.60	0.85
h4	橋台	1.10	1.85
h5	橋台	0.30	0.45
h6	橋台	0.20	0.60
h7	橋台	0.80	1.80
h8	橋台	0.90	1.85
h9	橋台	0.20	1.00
h10	橋台	0.30	0.75
h11	橋台	0.40	0.80
h12	橋台	0.30	0.50
h13	橋台	0.30	0.80
h14	橋台	0.20	0.85
h15	橋台	0.40	1.20
計			14.50

損傷の種類	表 示
ひびわれ (0.2mm≦w<1.0mm)	h 0.2
ひびわれ (1.0mm≦w≦5.0mm)	H 1.0
剥離	t
鉄筋露出	T
うき	
変形・欠損	t

注記
1) 損傷評価は、
「広島県橋梁定期点検要領 令和 3 年 4 月
広島県道路整備課」による。
※この図面はA1→A3に縮尺して印刷しています。
設計：株式会社 長大テック

工事名	橋梁修繕工事(東部陸橋・8-1)		
図面名	東部陸橋 補修図(その20)		
作成年月日	令和8年6月		
縮 尺	図 示	図面番号	19 / 38
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外 2 か町 地内		
事業者名	福 山 市		



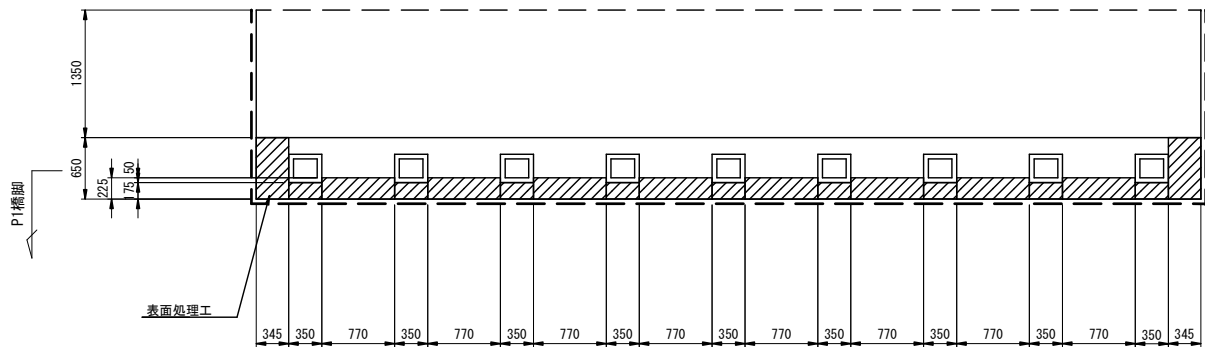
東部陸橋 表面処理工図（その1）

S=1:40

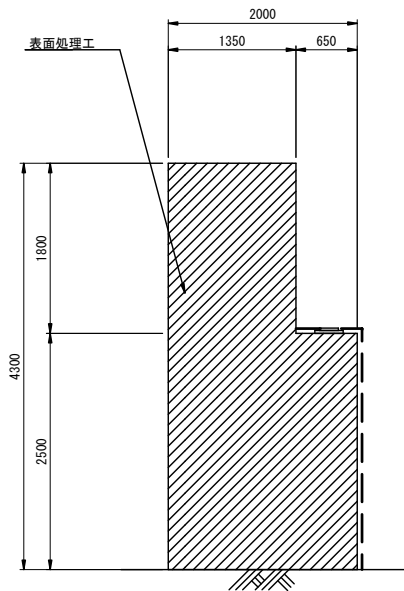
〈表面含浸工：シラン・シロキサン系〉

A1橋台

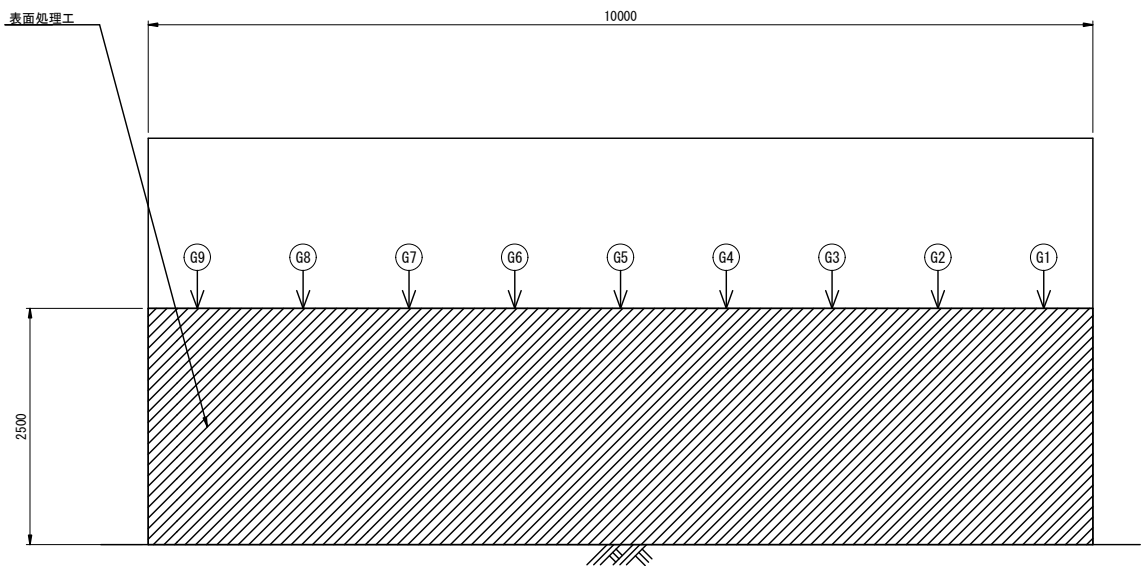
平面図



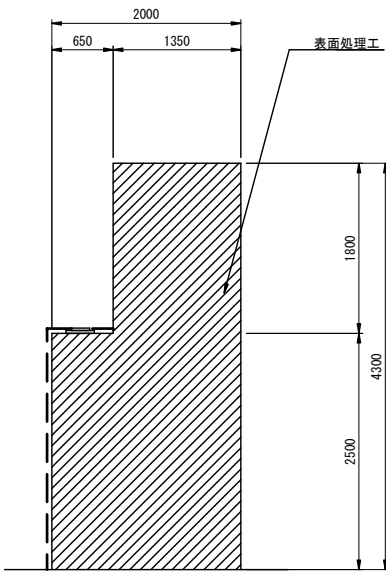
側面図



正面図



側面図



集計表

表面処理工（表面含浸工：シラン・シロキサン系）			
部位	面積 (㎡)	備 考	
A1橋台	42.25		
A2橋台	35.95		
合計	78.20		

※ 明細は、数量計算書を参照のこと。

集計表

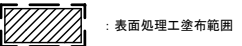
表面処理工（表面含浸工：亜硝酸リチウム併用）			
部位	面積 (㎡)	備 考	
P1～P3間	209.62		
P6～P8間	199.77		
合計	409.39		

※ 明細は、数量計算書を参照のこと。

数量表

表面処理工（表面含浸工：シラン・シロキサン系）			
部位	面積 (㎡)		
A1橋台	42.25		

※ 明細は、数量計算書を参照のこと。



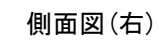
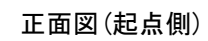
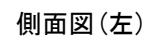
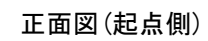
- 注記
- 1) 本図面は、既存資料および現地計測を元に作成したものである。工事の際には、寸法形状を測定し使用すること。
 - 2) 補修箇所は再計測し、数量を計上のこと。
※この図面はA1→A3に縮尺して印刷しています。
設計：株式会社 長大テック

工事名	橋梁修繕工事(東部陸橋・8-1)		
図面名	東部陸橋 表面処理工図（その1）		
作成年月日	令和8年6月		
縮 尺	図 示	図面番号	20 / 38
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外2か町 地内		
事業者名	福 山 市		

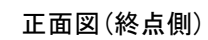


S=1 : 50

平面图



三面図(終点側)



※ 明細は、数量計算書を参照のこと。

 : 表面処理工塗布範囲

注記

- 1) 本図面は、既存資料および現地計測を元に作成したものである。工事の際には、寸法形状を測定し使用すること。
- 2) 補修箇所は再計測し、数量を計上すること。

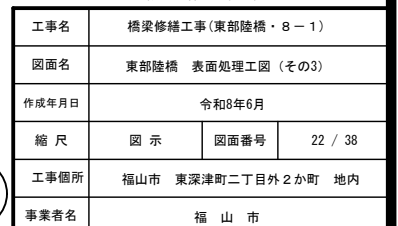
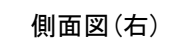
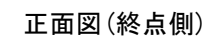
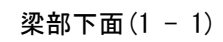
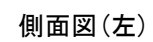
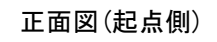
※この図面はA1～A3に縮尺して印刷しています。

設計：株式会社 長大テック

工事名	橋梁修繕工事(東部陸橋・8-1)		
図面名	東部陸橋 表面処理工図 (その2)		
作成年月日	令和8年6月		
縮 尺	図 示	図面番号	21 / 38
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外 2 か町 地内		
事業者名	福 山 市		

S=1 : 50

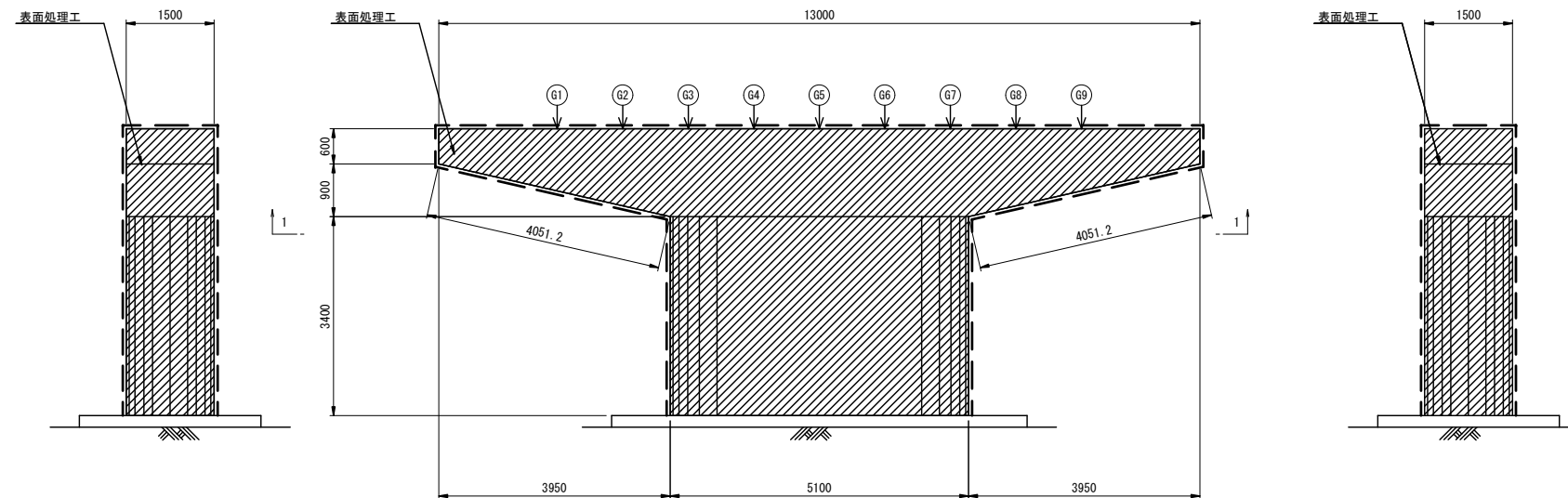
平面图



S=1 : 60

P3橋脚

側面図(右)



Technical drawing of a rectangular plate with a central oval hole. The plate has a total width of 1500 and a total length of 15000. The central oval hole has a major axis of 3600 and a minor axis of 1500. The distance from the left edge to the start of the oval is 3950, and from the end of the oval to the right edge is 3950. The distance from the center of the oval to the nearest edge is 750. The drawing includes dimension lines and a label "表面处理工" (Surface treatment worker) pointing to the oval's edge.

表面処理工（表面含浸工：亜硝酸リチウム併用）	
部位	面積（㎡）
P3橋脚	96.9

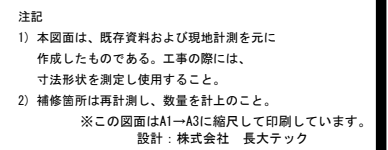
 : 表面処理工塗布範囲

設計：株式会社 長大テック

工事名	橋梁修繕工事(東部陸橋・8-1)		
図面名	東部陸橋 表面処理工図 (その4)		
作成年月日	令和8年6月		
縮 尺	図 示	図面番号	23 / 38
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外2か町 地内		
事業者名	福 山 市		

S=1 : 60

P6橋脚
平面図



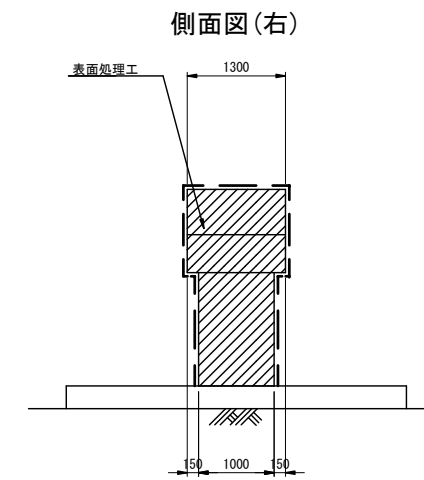
工事名	橋梁修繕工事(東部陸橋・8-1)		
図面名	東部陸橋 表面処理工図 (その5)		
作成年月日	令和8年6月		
縮 尺	図 示	図面番号	24 / 38
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外2か町 地内		
事業者名	福 山 市		

S=1 : 50

工事名	橋梁修繕工事(東部陸橋・8-1)		
図面名	東部陸橋 表面処理工図 (その6)		
作成年月日	令和8年6月		
縮 尺	図 示	図面番号	25 / 38
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外 2 か町 地内		
事業者名	福 山 市		

S=1 : 50

平面图



正面図(終点側)

表面処理工

10000

500

500

1500

G9 G8 G7 G6 G5 G4 G3 G2 G1

4000

1676.3

670.8

670.8

1676.3

1600 800 5200 800 1600

工事名	橋梁修繕工事(東部陸橋・8-1)		
図面名	東部陸橋 表面処理工図 (その7)		
作成年月日	令和8年6月		
縮 尺	図 示	図面番号	26 / 38
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外2か町 地内		
事業者名	福 山 市		



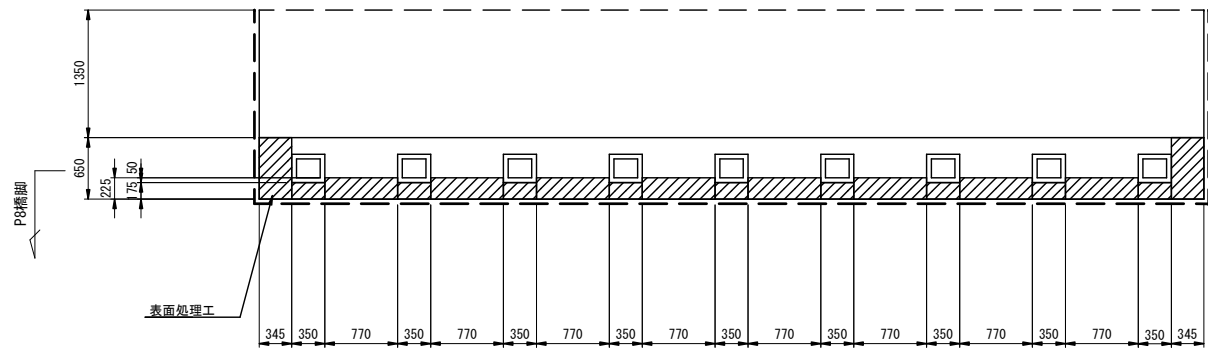
東部陸橋 表面処理工図（その8）

S=1:40

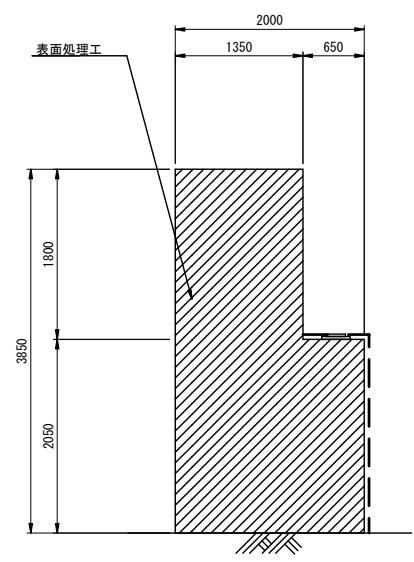
〈表面含浸工：シラン・シロキサン系〉

A2橋台

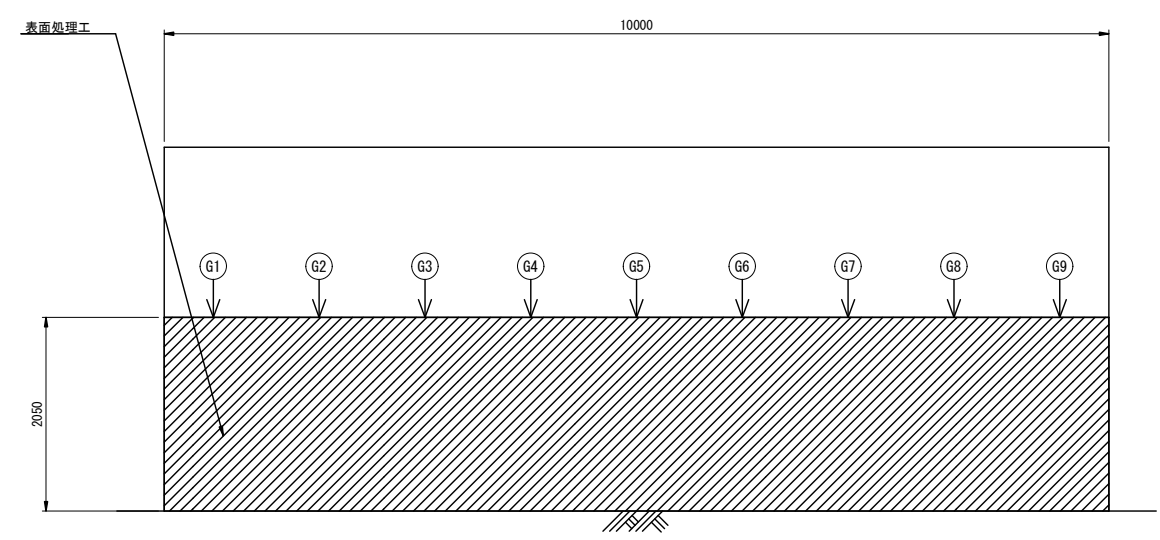
平面図



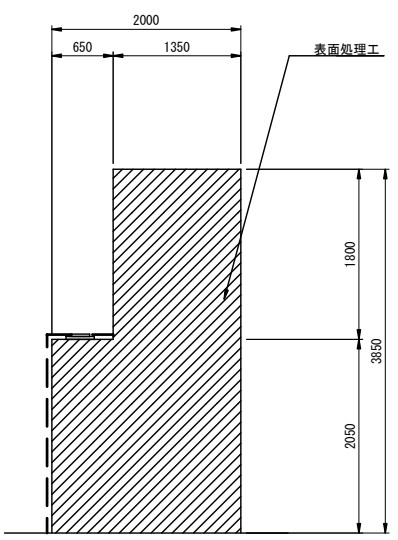
側面図



正面図



側面図



数量表

表面処理工（表面含浸工：シラン・シロキサン系）	
部位	面積 (㎡)
A2橋台	35.95

※ 明細は、数量計算書を参照のこと。



: 表面処理工塗布範囲

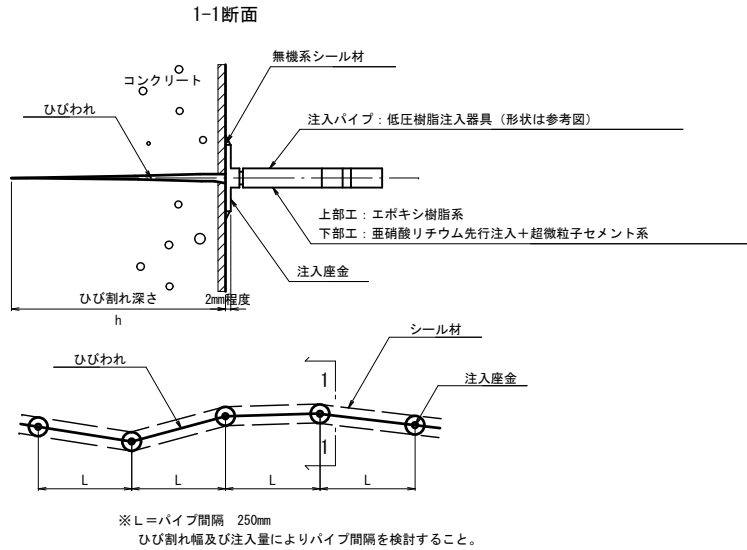
注記

- 1) 本図面は、既存資料および現地計測を元に作成したものである。工事の際には、寸法形状を測定し使用すること。
- 2) 補修箇所は再計測し、数量を計上のこと。
※この図面はA1→A3に縮尺して印刷しています。
設計：株式会社 長大テック

工事名	橋梁修繕工事(東部陸橋・8-1)		
図面名	東部陸橋 表面処理工図（その8）		
作成年月日	令和8年6月		
縮 尺	図 示	図面番号	27 / 38
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外 2 か町 地内		
事業者名	福 山 市		

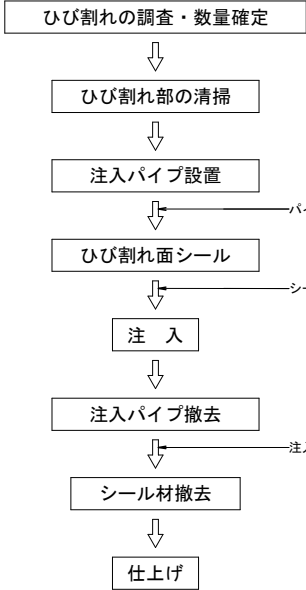


ひびわれ補修工
(低圧注入工法)



低圧注入工法

(標準) 施工手順

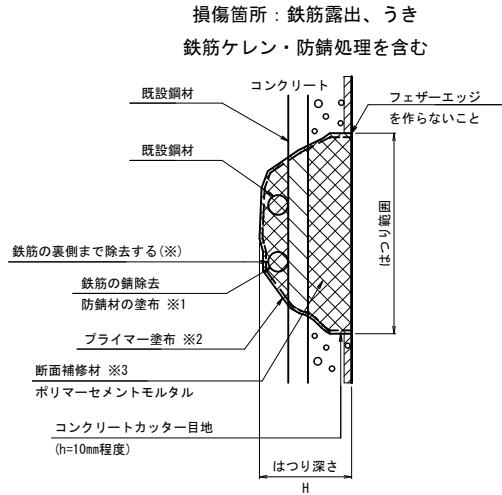


※ 注記

- ひび割れ幅wおよび深さlは想定値であるため、注入にあたっては適切な方法で注入完了を確認のうえ、作業を完了すること。
- シーラ材は注入材注入後、撤去すること。
- 施工前にひびわれ延長、ひびわれ幅の再調査を実施し、補修箇所を確定すること。
- 注入対象となるひびわれは、ひびわれ幅0.2mm以上5.0mm以下のものとする。
- 下表に示す通り、部材毎にひびわれ注入深さを想定しているが、ひびわれの最深部まで確実に注入すること。
- ひびわれ部は注入器具の取付け及びシーラ前にワイヤブラシ等で清掃すること。
- ひびわれ幅及び注入量により、注入パイプ設置間隔を検討すること。注入パイプの設置間隔は、250mm程度を目安とする。
- 施工条件および規格等は、使用材料の施工方法に準拠し、適正に管理すること。
- 施工の際は、適正気温及び養生方法を確認し、施工を行うこと。
- ひびわれ注入材料は、「コンクリートのひびわれ調査、補修・補強指針 -2022- 日本コンクリート工学協会」p.124に示す注入材の規格を満足するものを選定すること。

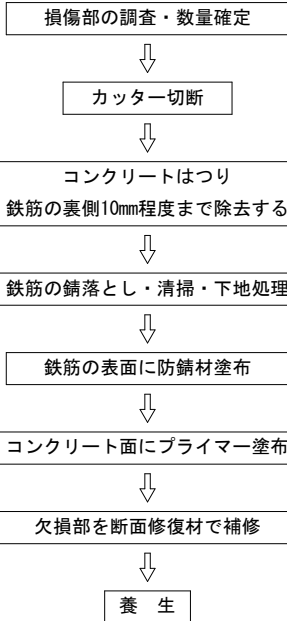
ひびわれ深さ (仮定値)	上部工：50mm 下部工：100mm
選定条件	上部工：ひびわれ幅変化に追従可能 下部工：塩害抑制効果、ASR抑制効果（P6橋脚）
使用材料	上部工：エポキシ樹脂注入材3種 下部工：亜硝酸リチウム+超微粒子セメント系

断面修復工
(左官工法)



断面修復工

(標準) 施工手順※鉄筋露出の場合



※ 注記

- 施工前に再調査を実施し、補修箇所を確定すること。
- 損傷部コンクリートのはつりは健全部に損傷を与えないように、周囲に深さ10mm程度のコンクリートカッターによる切断目地を入れて施工すること。
- 下表に示す通り、部材毎にはつり深さを想定しているが、損傷状況や鉄筋位置に応じてはつり深さを調整すること。
- コンクリートのはつりは、免錆している鉄筋の裏側まで行い、鉄筋をケレンすること。((※)鉄筋の腐食が進行していない場合は裏側のはつりは不要)
- 断面修復後のマクロセル腐食を防止するため、適切な防錆処理を施すこと。
- はつり完了後は、水洗い等によりコンクリート片、粉塵などを十分に取り除くこと。
- 現地条件に応じて、下地処理を決定すること。
- 竣工時の施工不良等により鉄筋かぶりが不足している場合は、10mm以上かつ鉄筋径以上の鉄筋かぶりを確保して断面修復を行うこと。
- 鉄筋が著しく腐食し断面減少している場合は、適切な延長を確保した添え筋を行うこと。
- 施工条件および規格等は、使用材料の施工方法に準拠すること。
- 断面修復材料は、「表面保護工法 設計指針（案）【工種別マニュアル編】土木学会」に示す断面修復材の規格を満足するものを選定すること。

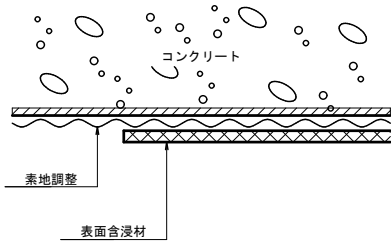
※1 下部工は、亜硝酸リチウム含有ポリマーセメントペースト塗布

※2 下部工は、亜硝酸リチウム系表面含浸材塗布

はつり深さ (仮定値)	防錆処理を含む場合…上部工：50mm、下部工：100mm
選定条件	小規模、防錆性
使用材料	上部工：ポリマーセメントモルタル 下部工：亜硝酸リチウム含有ポリマーセメントモルタル
圧縮強度	躯体コンクリートと同等な強度特性を有すること
付着強度	1.8N/mm ² 以上

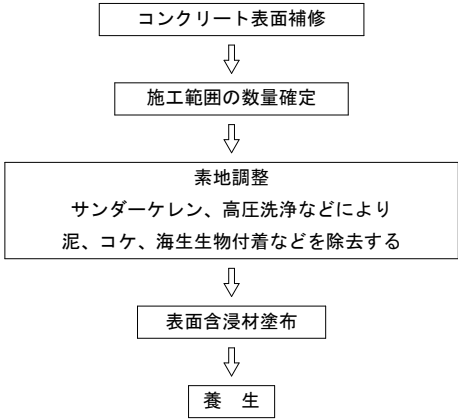
※3

表面含浸工



表面含浸工

(標準) 施工手順



※ 注記

- 施工前に再調査を実施し、施工範囲を確定すること。
- コンクリート表面に付着している泥・ほこり、コケ、海生生物付着、油脂等をサンダーケレン、高圧洗浄、ワイヤーブラシ、水洗い等による素地調整を行い、確実に除去する。
- コンクリート表面の表面含水率を確認するなど、使用材料に適合したコンクリート表面乾湿状態を確保する。
- 施工条件および規格等は、使用材料の施工方法に準拠し、適正に管理すること。
- 施工の際は、適正気温及び養生方法を確認し、施工を行うこと。
- 表面含浸材料は、「表面保護工法 設計指針（案）【工種別マニュアル編】土木学会」に示す表面含浸工の要求性能を満足するものを選定すること。

対象部材	橋台、橋脚
劣化要因	中性化、塩害、ASR
使用材料	橋台、P5橋脚：シリラン・シロキサン系 橋脚（P5橋脚以外）：亜硝酸リチウム+シリラン・シロキサン系

※ P5橋脚は内部圧入工法のため。

注記

- 本図面は、既存資料および現地計測を元に作成したものである。工事の際には、寸法形状を測定し使用すること。
- 補修箇所は再計測し、数量を計上すること。
※この図面はA1～A3に縮尺して印刷しています。
設計：株式会社 長大テック

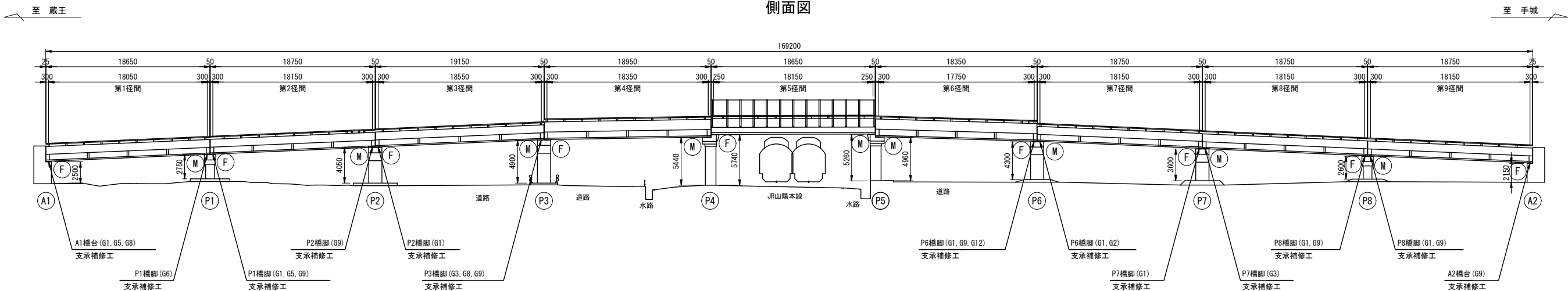
工事名	橋梁修繕工事(東部陸橋・8-1)		
図面名	東部陸橋 補修工法標準図		
作成年月日	令和8年6月		
縮 尺	図 示	図面番号	28 / 38
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外 2 か町 地内		
事業者名	福 山 市		



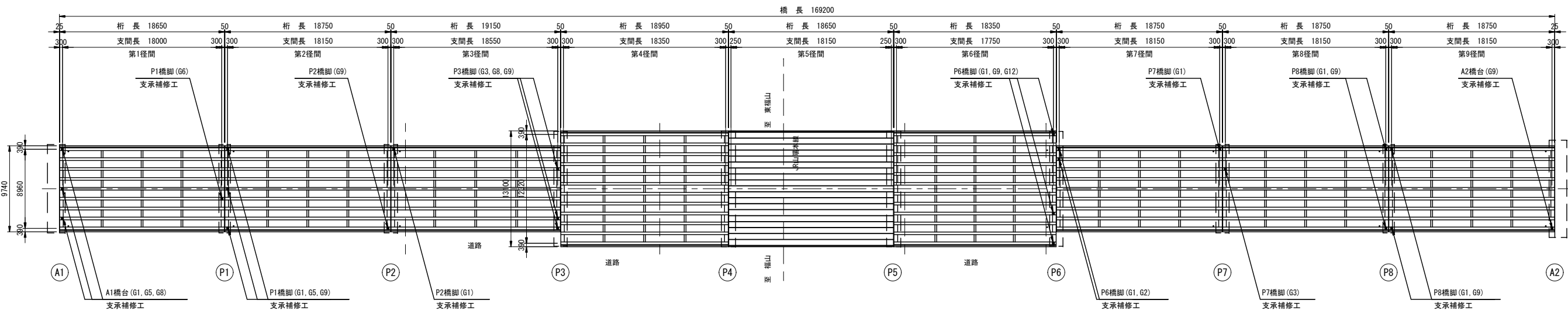
東部陸橋 支承補修工図

S=1:250

側面図

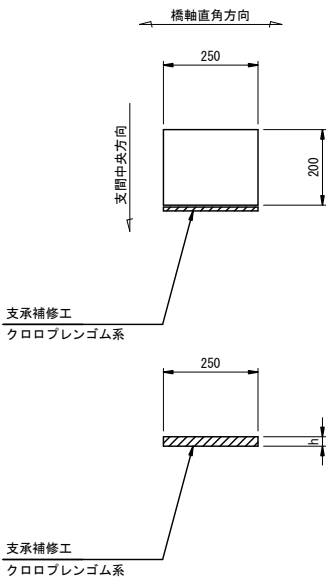


平面図



支承詳細図

S=1:10



	幅 (m)	h (m)	基数	面積 (m2)
A1橋台	0.250	0.025	3	0.019
P1橋脚起点側	0.250	0.025	1	0.006
P1橋脚終点側	0.250	0.025	3	0.019
P2橋脚起点側	0.250	0.035	1	0.009
P2橋脚終点側	0.250	0.025	1	0.006
P3橋脚起点側	0.250	0.035	3	0.026
P6橋脚起点側	0.250	0.025	3	0.019
P6橋脚終点側	0.250	0.050	2	0.025
P7橋脚起点側	0.250	0.030	1	0.008
P7橋脚終点側	0.250	0.025	1	0.006
P8橋脚起点側	0.250	0.020	2	0.010
P8橋脚終点側	0.250	0.035	2	0.018
A2橋台	0.250	0.025	1	0.006
合 計				0.177

注記
1) 本図面は、既存資料および現地計測を元に作成したものである。工事の際には、寸法形状を測定し使用すること。
2) 補修箇所は再計測し、数量を計上すること。
3) 支承露出部において、補修を実施すること。
※この図面はA1～A3に縮尺して印刷しています。
設計：株式会社 長大テック

工事名	橋梁修繕工事(東部陸橋・8-1)		
図面名	東部陸橋 支承補修工図		
作成年月日	令和8年6月		
縮 尺	図 示	図面番号	29 / 38
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外 2 か町 地内		
事業者名	福 山 市		

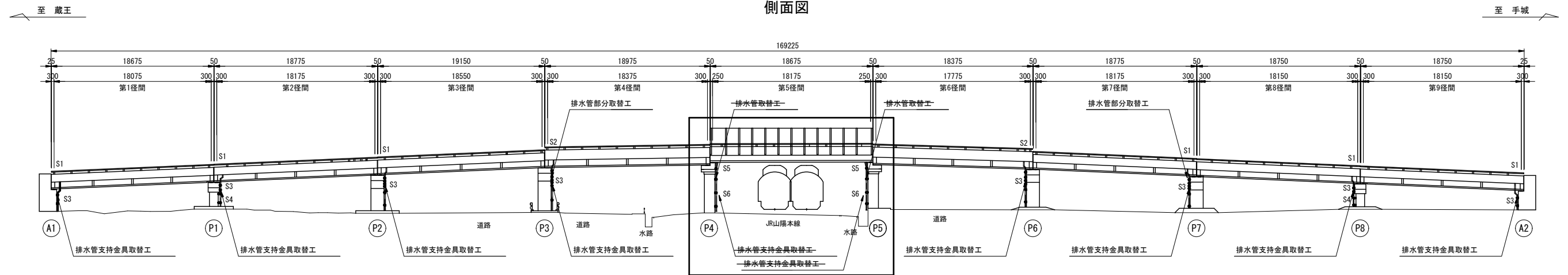


東部陸橋 排水施設工図(その1)

S=1:250

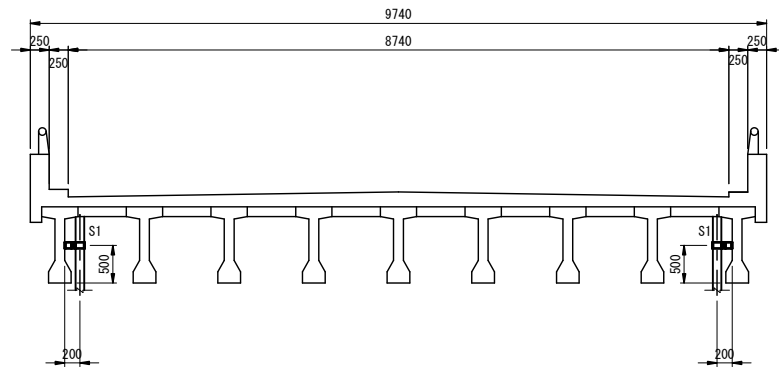
青枠は【JR受託工事】範囲

側面図



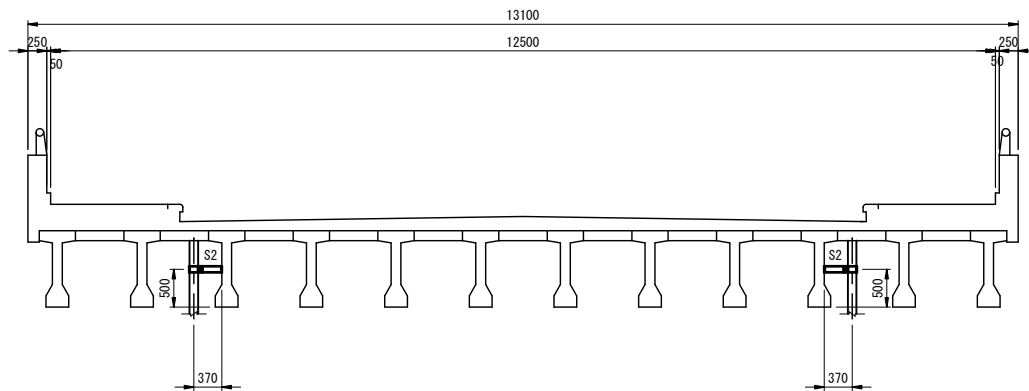
断面図 (A1-P3, P6-A2)

S=1:50



断面図 (P3-P4, P5-P6)

S=1:50



上部工集計表

部位	排水管支持金具	数量 (組)	摘要
A1-P3間	S1	6	SM400
P3-P4間	S2	2	SM400
P5-P6間	S2	2	SM400
P6-A2間	S1	6	SM400

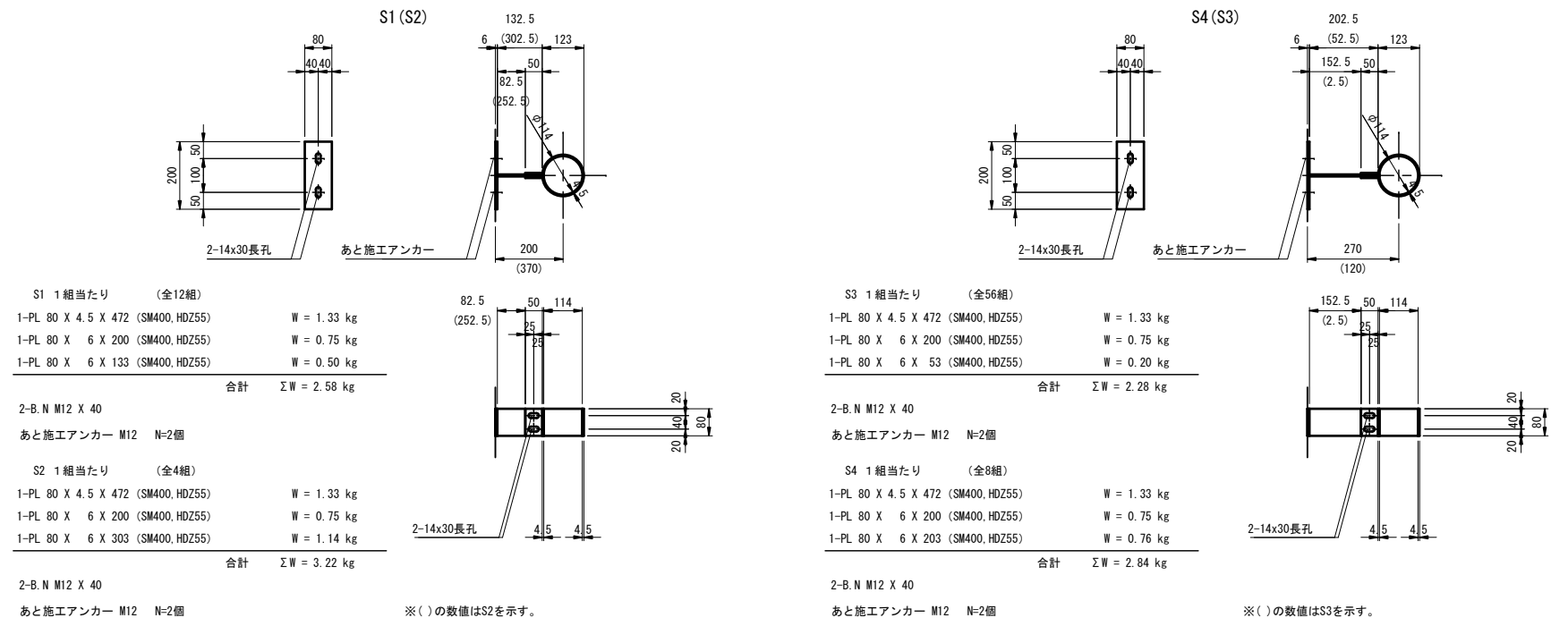
S1:12組, S2:4組

下部工集計表

部位	排水管支持金具	数量 (組)	摘要	部位	排水管支持金具	数量 (組)	摘要
A1橋台	S3	4	SM400	P5橋脚	S5	2	SUS304
P1橋脚	S3	4	SM400	P5橋脚	S6	6	SUS304
P1橋脚	S4	4	SM400	P6橋脚	S3	10	SM400
P2橋脚	S3	10	SM400	P7橋脚	S3	10	SM400
P3橋脚	S3	10	SM400	P8橋脚	S3	4	SM400
P3橋脚	S5	2	SUS304	P8橋脚	S4	4	SM400
P4橋脚	S6	6	SUS304	A2橋台	S3	4	SM400

S3:56組, S4:8組, S5:4組, S6:12組

排水管支持金具詳細図



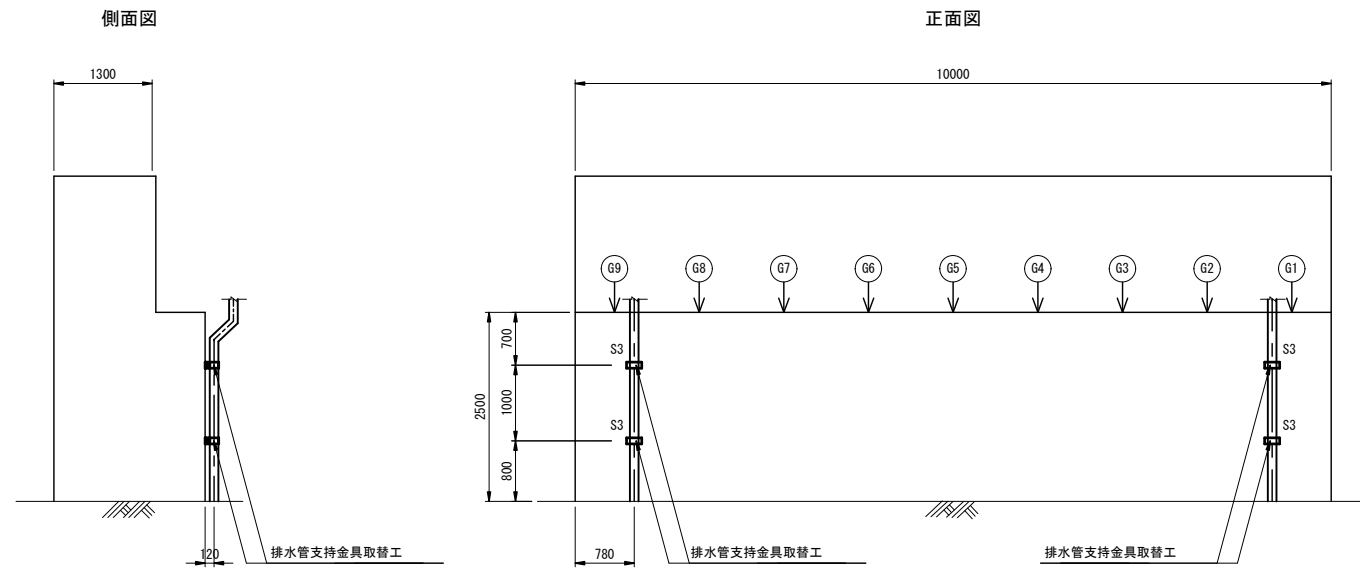
- 注記
- 本図面は、既存資料および現地計測を元に作成したものである。
工事の際には、寸法形状を測定し使用する。
 - 補修箇所は再計測し、数量を計上すること。
 - P4-P5間はJR跨線部であり、詳細調査未実施のため既設資料により作成。
※この図面はA1-A3に縮尺して印刷しています。
設計：株式会社 長大テック

設計・監理者は 長久六 777			
工事名	橋梁修繕工事(東部陸橋・8-1)		
図面名	東部陸橋 排水施設工図(その1)		
作成年月日	令和8年6月		
縮 尺	図 示	図面番号	30 / 38
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外2か町 地内		
事業者名	福 山 市		

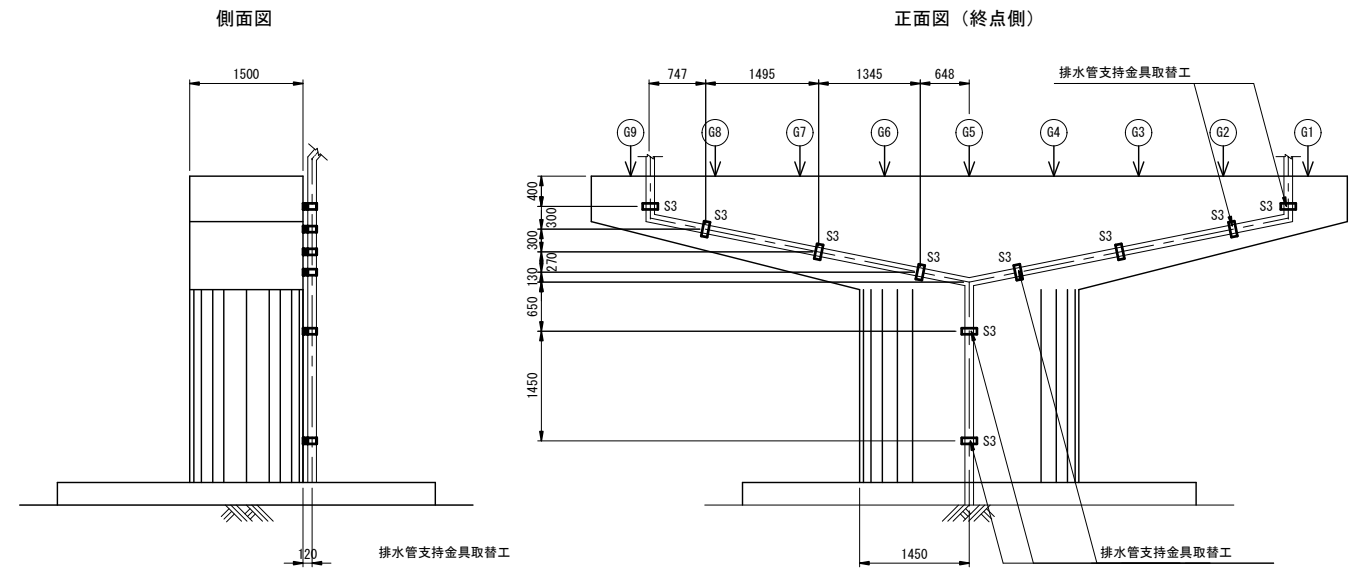
東部陸橋 排水施設工図(その2)

S=1:50

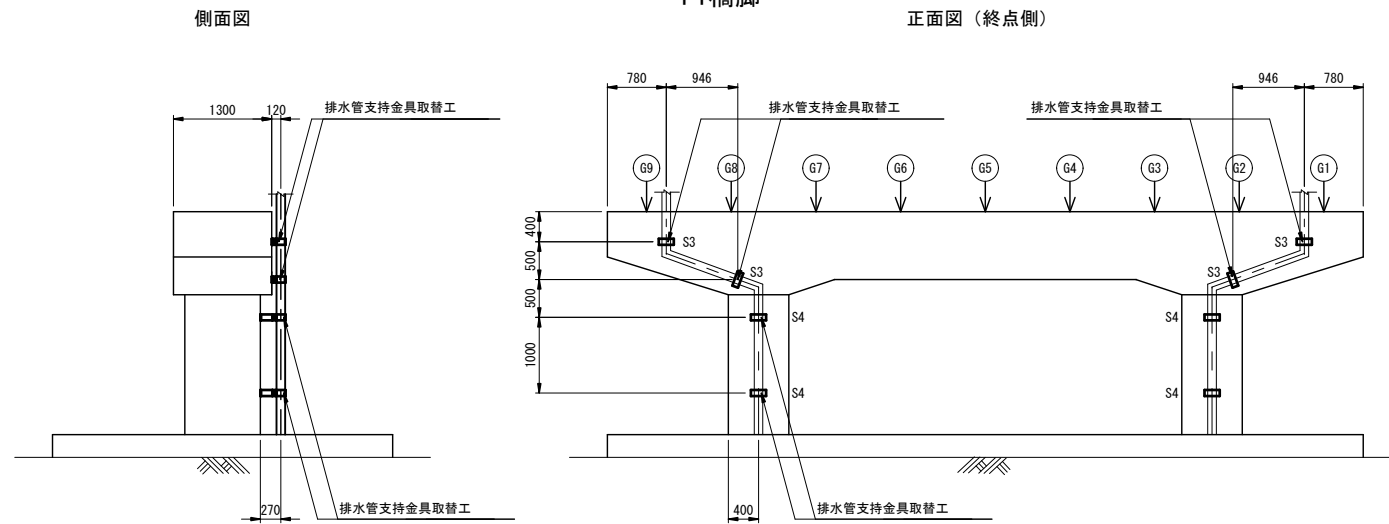
A1橋台



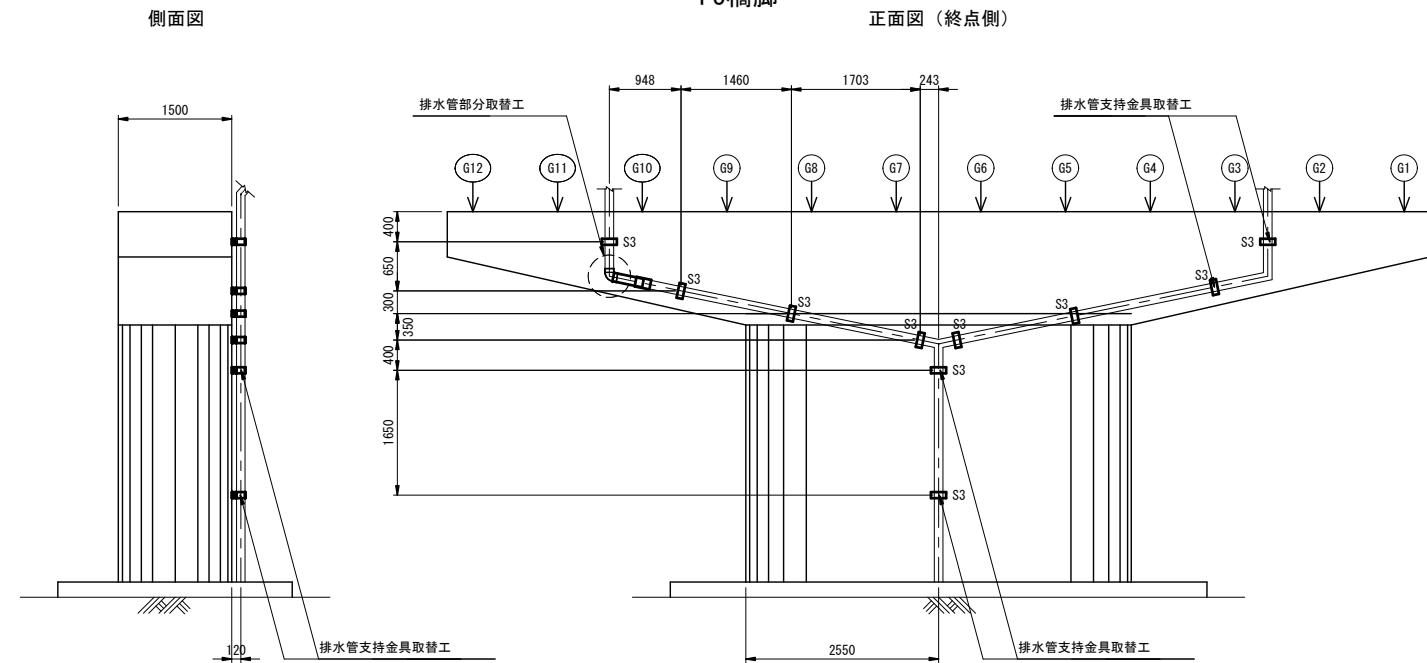
P2橋脚



P1橋脚



P3橋脚



数量表

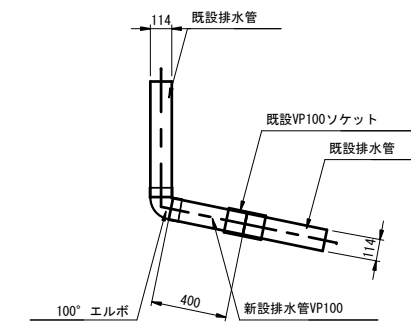
部位	排水管支持金具	数量(組)	摘要
A1橋台	S3	4	SM400
P1橋脚	S3	4	SM400
	S4	4	SM400
P2橋脚	S3	10	SM400
P3橋脚	S3	10	SM400

S3:28組, S4:4組

排水管部分取替工詳細図

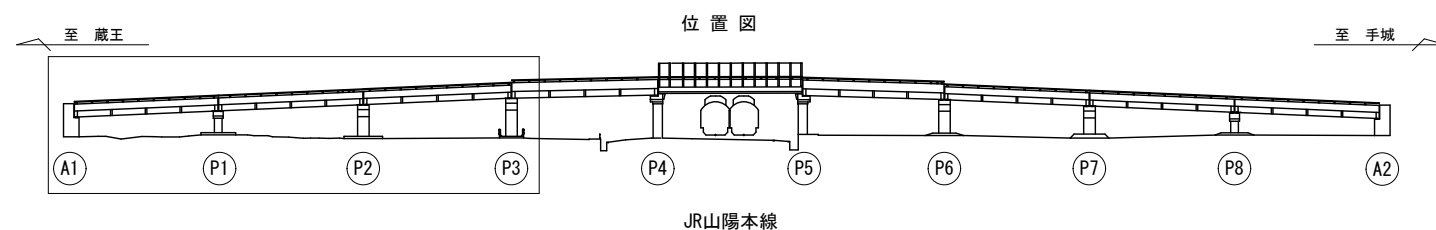
S=1:20

P3橋脚 (VP100)



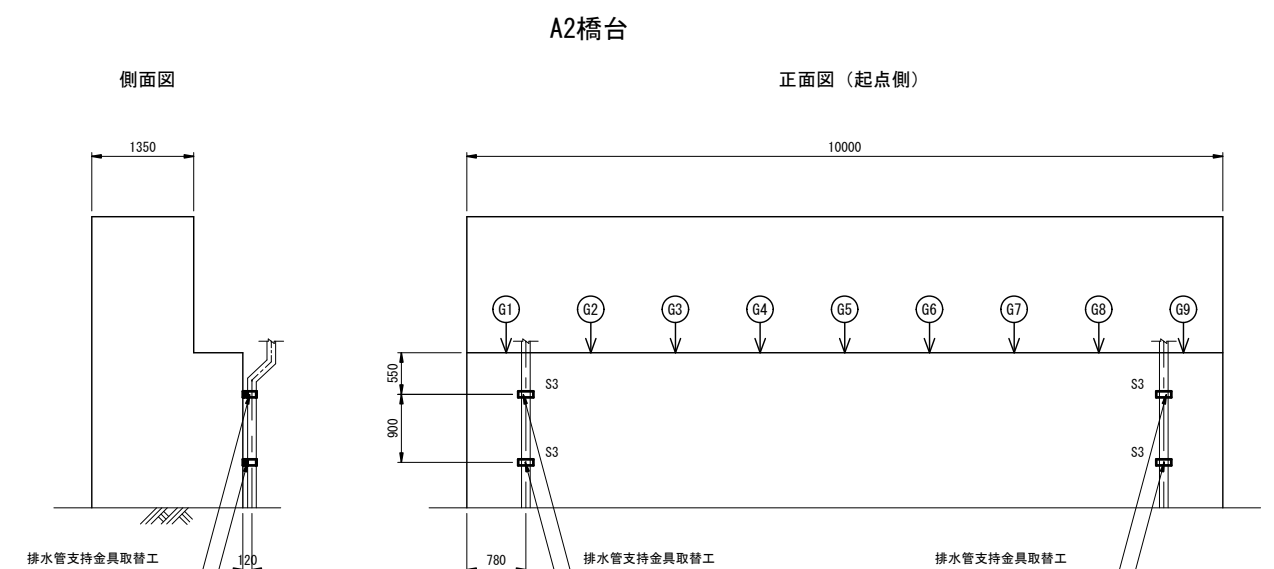
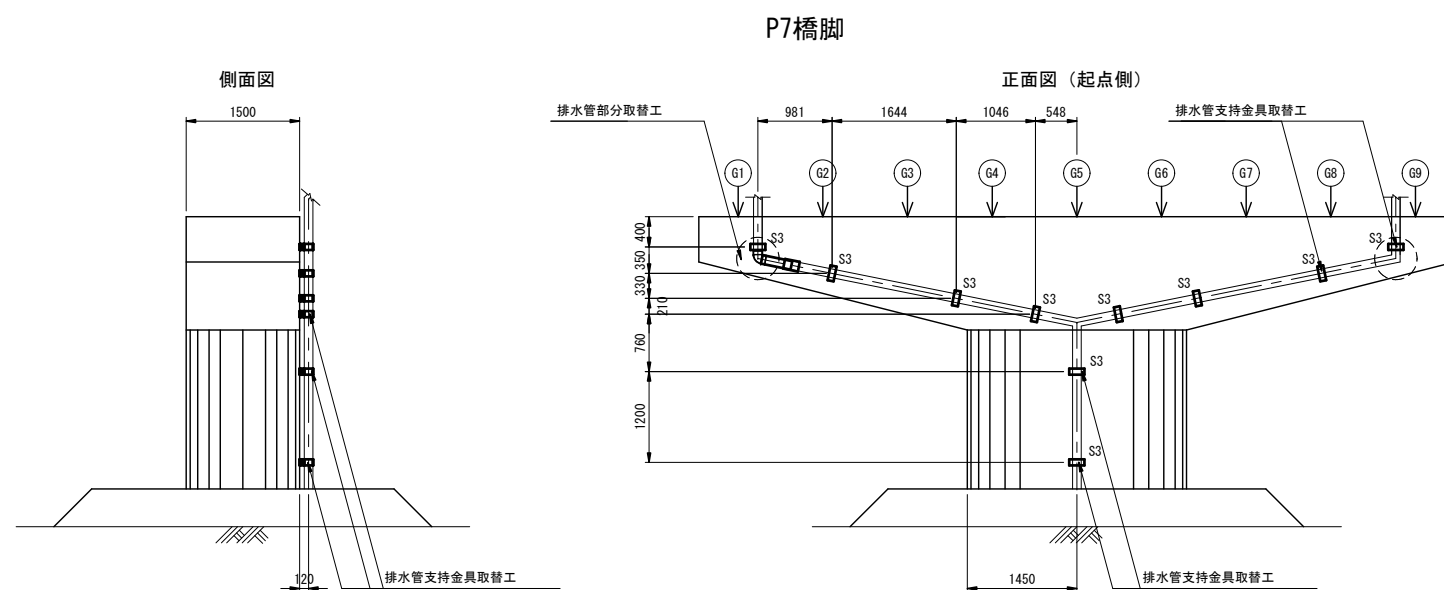
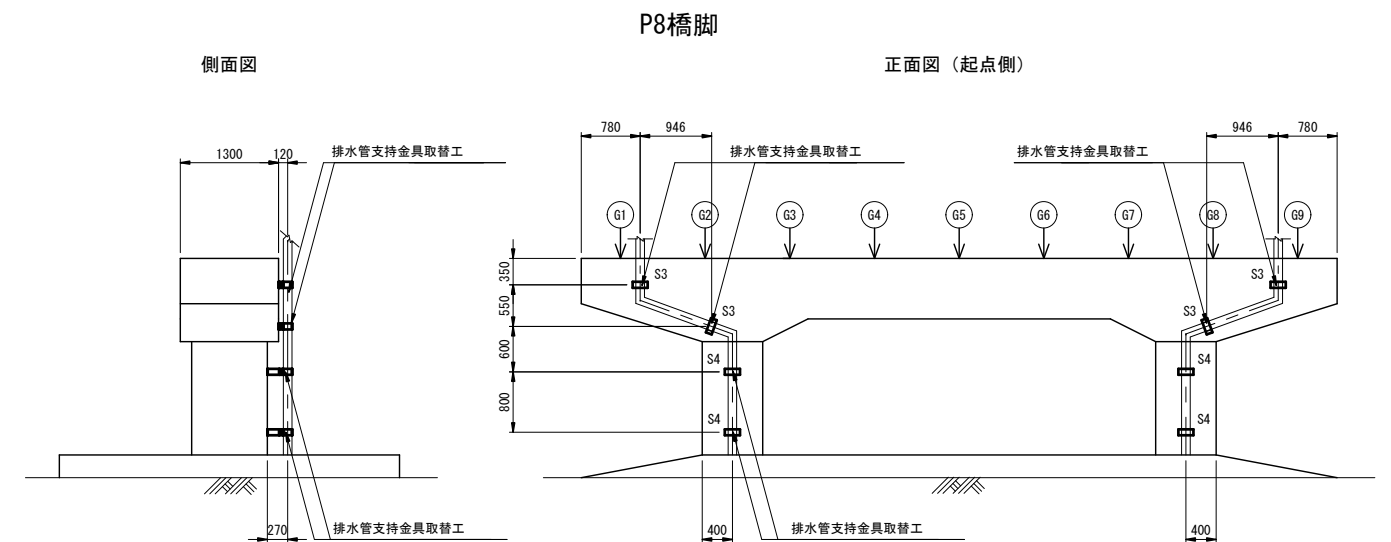
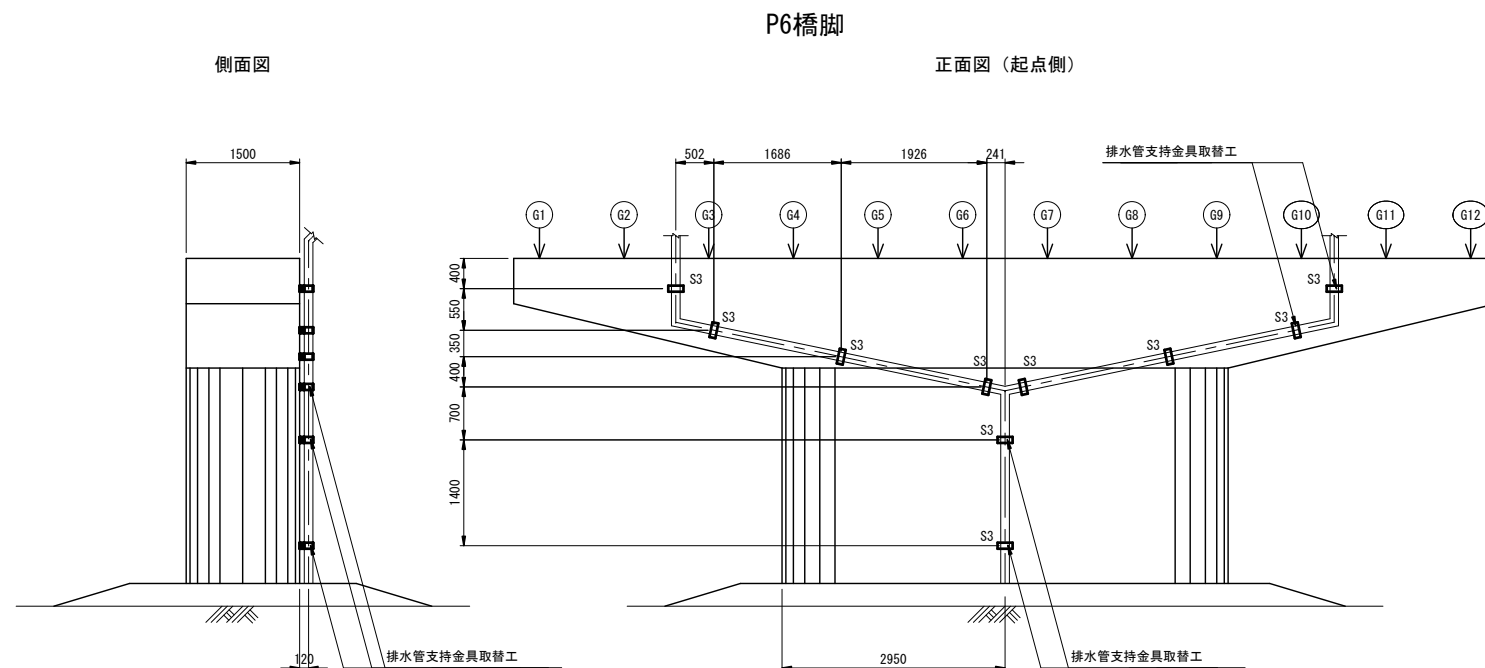
- 注記
- 本図面は、既存資料および現地計測を元に作成したものである。工事の際には、寸法形状を測定し使用すること。
 - 補修箇所は再計測し、数量を計上すること。
※この図面はA1→A3に縮尺して印刷しています。
設計：株式会社 長大テック

工事名	橋梁修繕工事(東部陸橋・8-1)		
図面名	東部陸橋 排水施設工図(その2)		
作成年月日	令和8年6月		
縮尺	図示	図面番号	31 / 38
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外2か町 地内		
事業者名	福山市		



東部陸橋 排水施設工図(その3)

S=1:50



数量表

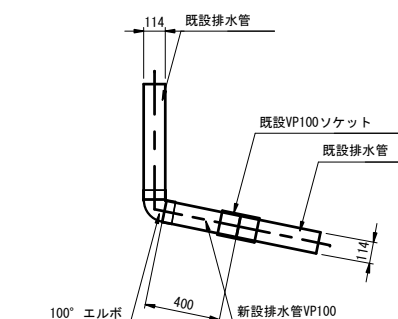
部位	排水管支持金具	数量(組)	摘要
P6橋脚	S3	10	SM400
P7橋脚	S3	10	SM400
P8橋脚	S3	4	SM400
	S4	4	SM400
A2橋台	S3	4	SM400

S3:28組, S4:4組

排水管部分取替工詳細図

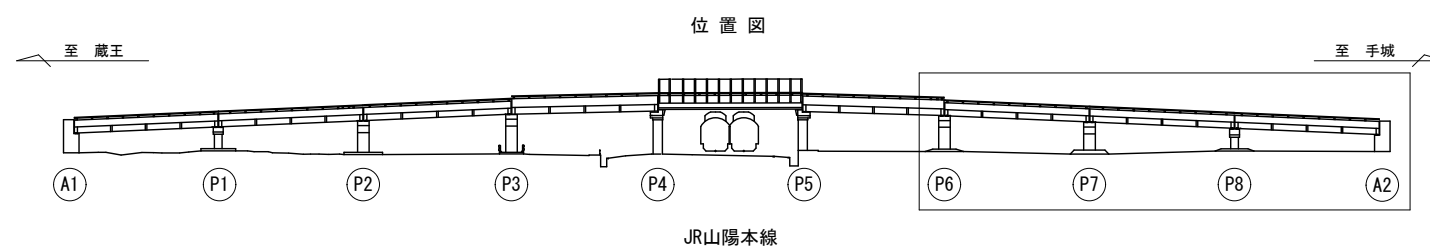
S=1:20

P7橋脚(VP100)



注記

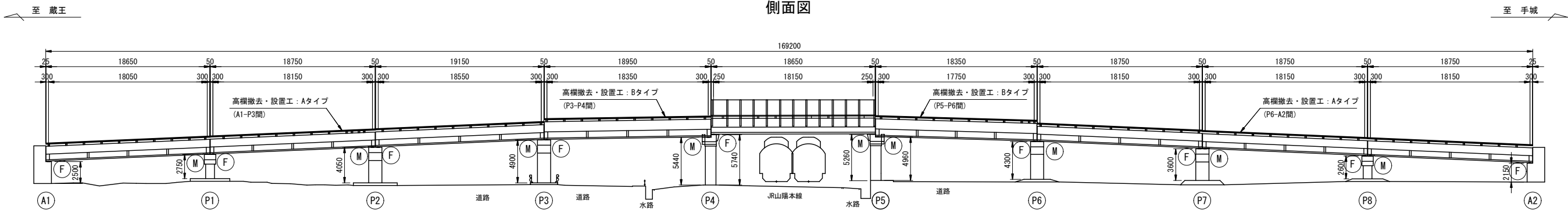
- 1) 本図面は、既存資料および現地計測を元に作成したものである。工事の際には、寸法形状を測定し使用すること。
 - 2) 補修箇所は再計測し、数量を計上すること。
- ※この図面はA1→A3に縮尺して印刷しています。
設計：株式会社 長大テック



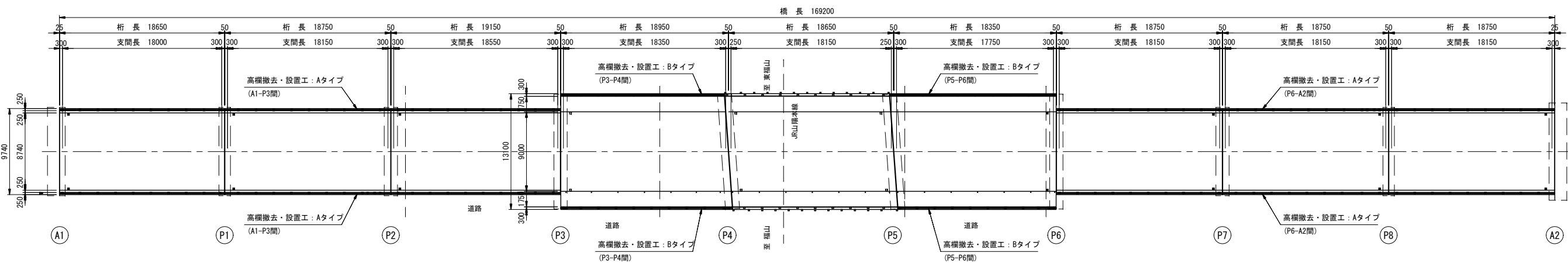
工事名	橋梁修繕工事(東部陸橋・8-1)		
図面名	東部陸橋 排水施設工図(その3)		
作成年月日	令和8年6月		
縮尺	図示	図面番号	32 / 38
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外2か町 地内		
事業者名	福山市		

東部陸橋 撤去工・取替工図（その1） S=1:250
A1-P4間、P5-A2間

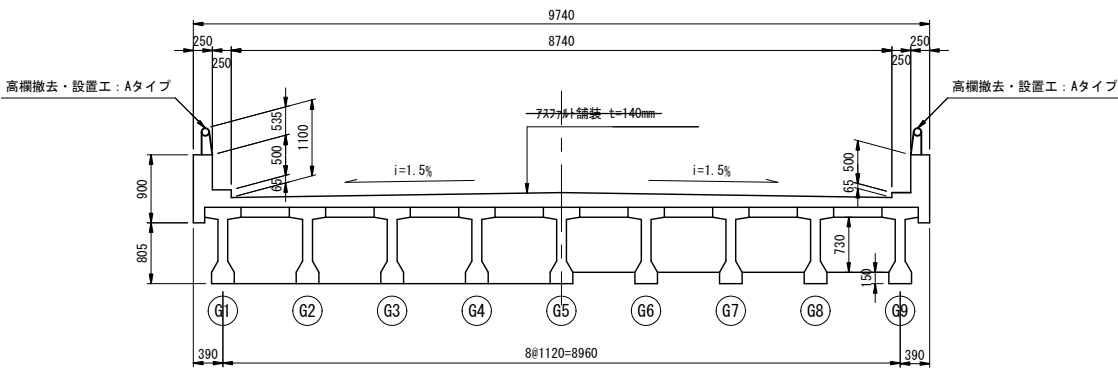
側面図



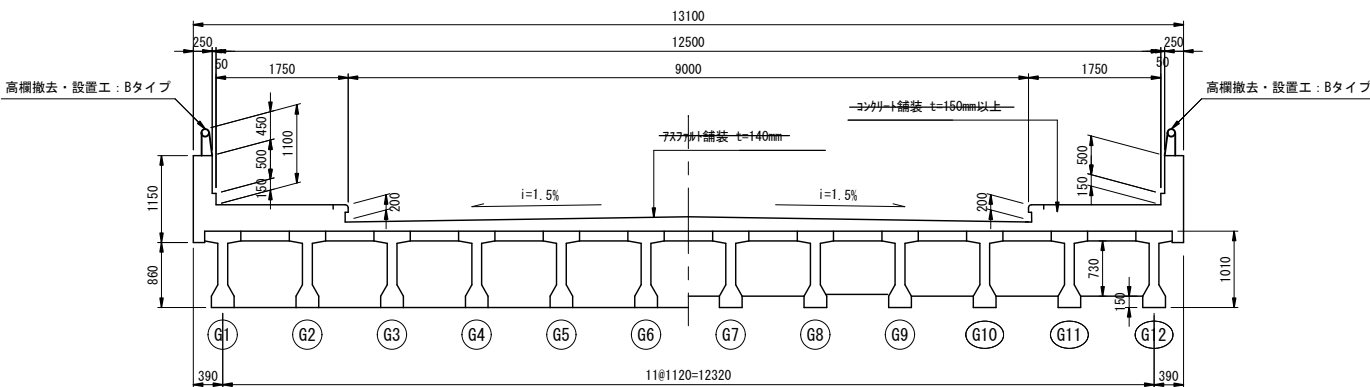
平面図



断面図 (A1-P3, P6-A2) S=1:50



断面図 (P3-P4, P5-P6) S=1:50



注記
1) 形状は、現地計測による。

※この図面はA1～A3に縮尺して印刷しています。
設計：株式会社 長大テック

工事名	橋梁修繕工事(東部陸橋・8-1)		
図面名	東部陸橋 撤去工・取替工図(その1)		
作成年月日	令和8年6月		
縮尺	図示	図面番号	33 / 38
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外2か町 地内		
事業者名	福山市		



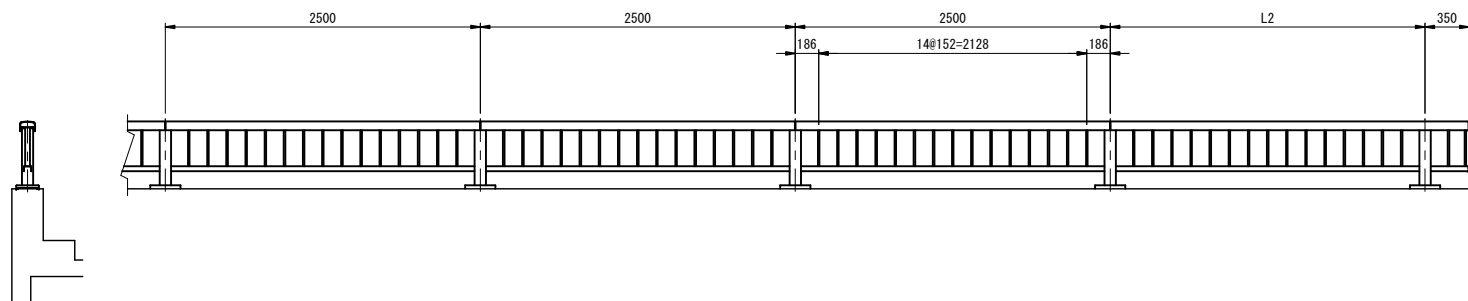
東部陸橋 防護柵詳細図（その1）

S=1:30

（参考図）

姿 図

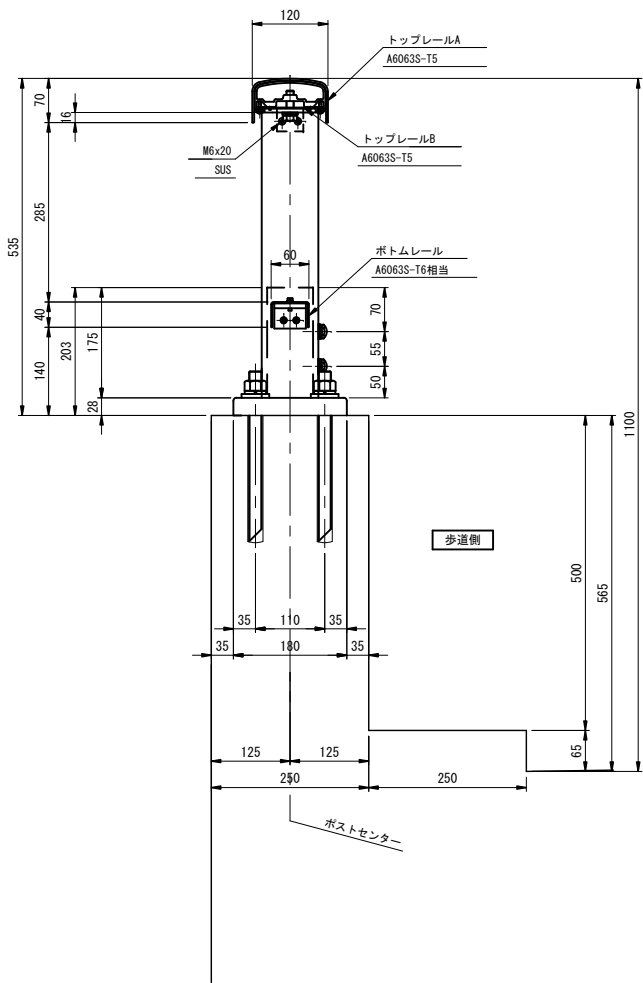
S=1/30



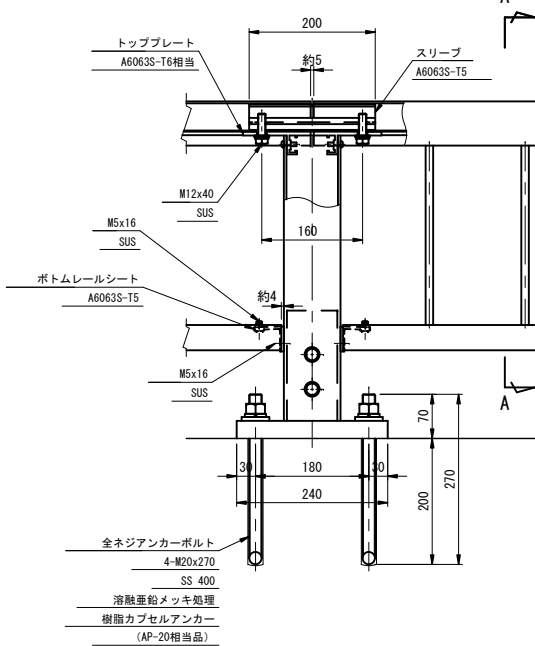
高欄取付詳細図

S=1/6

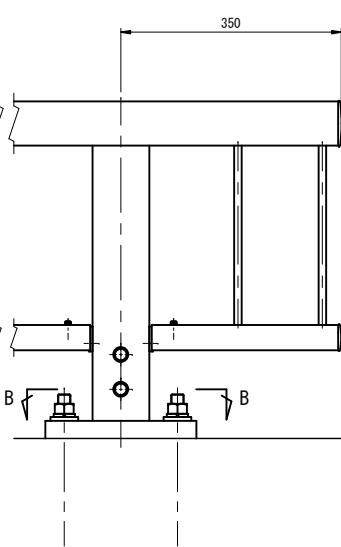
Aタイプ (H=535)



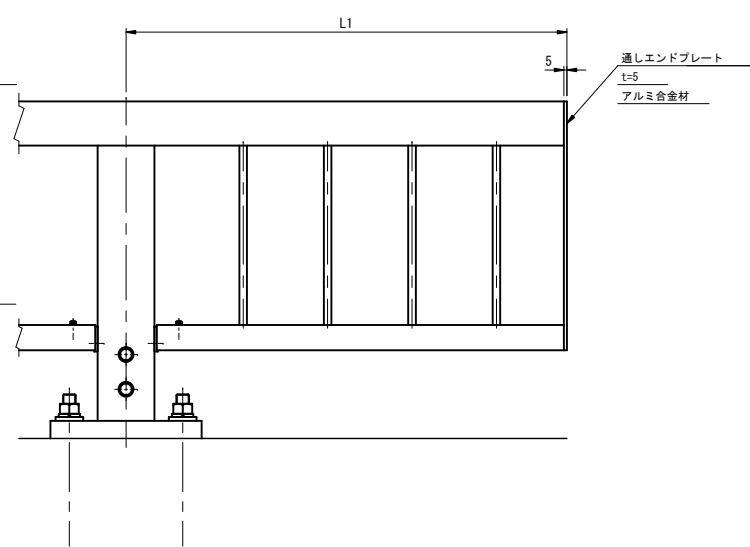
継手部



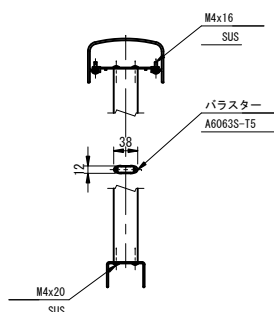
端 部



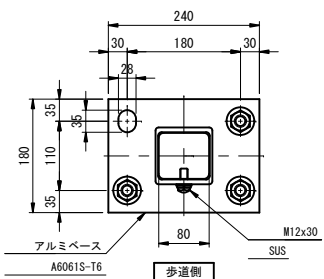
端 部



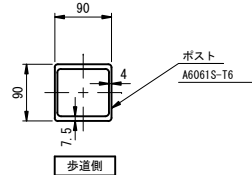
断面A-A



断面B-B

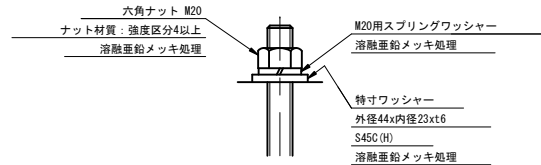


ポスト断面図



アンカーナット締め付け部

S=1/3



注記

- 本高欄の設計・製作仕様は（社）日本アルミニウム協会 土木製品開発委員会作成
「アルミニウム合金製橋梁用防護柵設計要領」（平成30年6月）による。
「アルミニウム合金製橋梁用防護柵製作・施工要領」（平成27年3月）による。
- 本高欄の表面処理は、アルマイト処理とし、色調種類は（シルバー色A2種）仕上げとする。
アルミベースポストのサヤ管部の表面処理は生地とする。
- 強度区分の表記なきボルト類はA2-50以上とする。ただし、ビス類はA2とする。

コンクリート強度 $\sigma_{ck} \geq 21 \text{ N/mm}^2$ 以上

※この図面はA1→A3に縮尺して印刷しています。
設計：株式会社 長大テック

工事名	橋梁修繕工事(東部陸橋・8-1)		
図面名	東部陸橋 防護柵詳細図(その1)		
作成年月日	令和8年6月		
縮 尺	図 示	図面番号	34 / 38
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外 2 か町 地内		
事業者名	福 山 市		



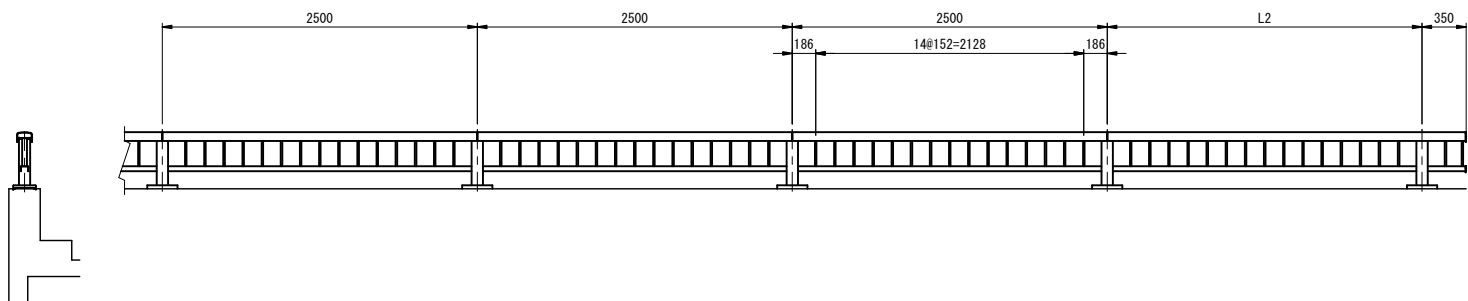
東部陸橋 防護柵詳細図（その2）

S=1:30

（参考図）

姿 図

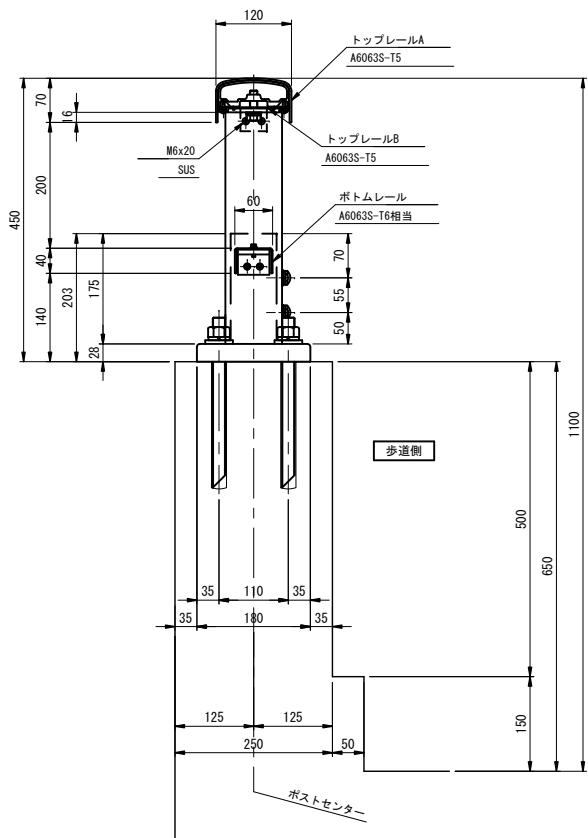
S=1/30



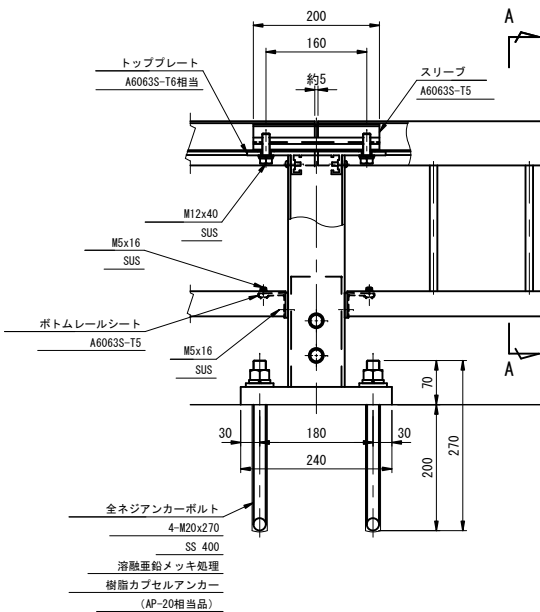
高欄取付詳細図

S=1/6

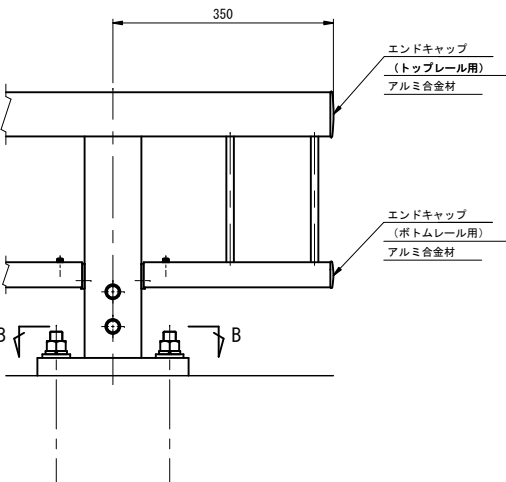
Bタイプ (H=450)



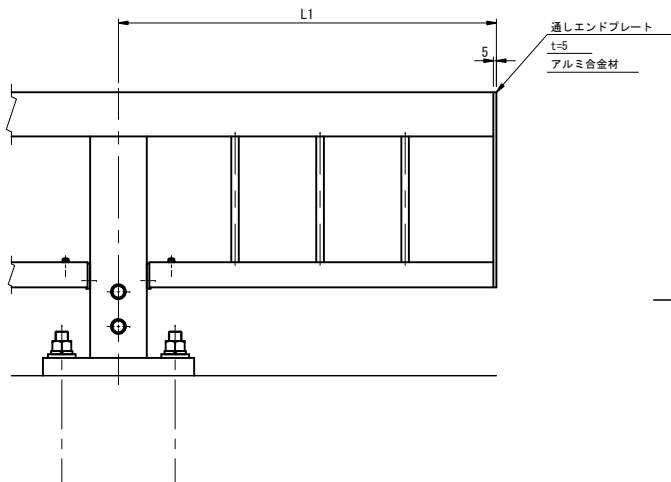
継手部



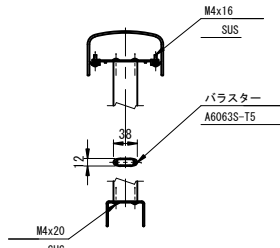
端 部



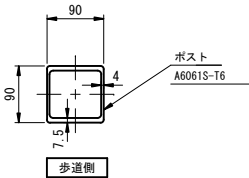
端 部



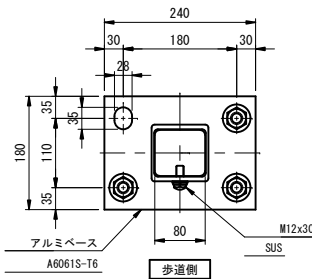
断面A-A



ポスト断面図

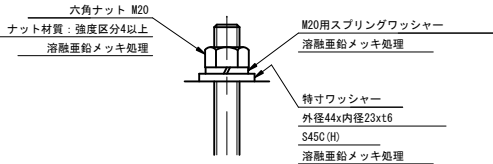


断面B-B



アンカーナット締め付け部

S=1/3



- 注記
- 本高欄の設計・製作仕様は（社）日本アルミニウム協会 土木製品開発委員会作成「アルミニウム合金製橋梁用防護柵設計要領」（平成30年6月）による。
「アルミニウム合金製橋梁用防護柵製作・施工要領」（平成27年3月）による。
 - 本高欄の表面処理は、アルマイト処理とし、色調種類は（シルバー）色A2種）仕上げとする。
アルミベースポストのサヤ管部の表面処理は生地とする。
 - 強度区分の表記なきポスト類はA2-50以上とする。ただし、ビス類はA2とする。

コンクリート強度 $\sigma_{ck}=21N/mm^2$ 以上

※この図面はA1→A3に縮尺して印刷しています。
設計：株式会社 長大テック

工事名	橋梁修繕工事(東部陸橋・8-1)		
図面名	東部陸橋 防護柵詳細図（その2）		
作成年月日	令和8年6月		
縮 尺	図 示	図面番号	35 / 38
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外 2 か町 地内		
事業者名	福 山 市		



東部陸橋 防護柵詳細図（その3）

S=1:100

平面図

S=1/100

注記

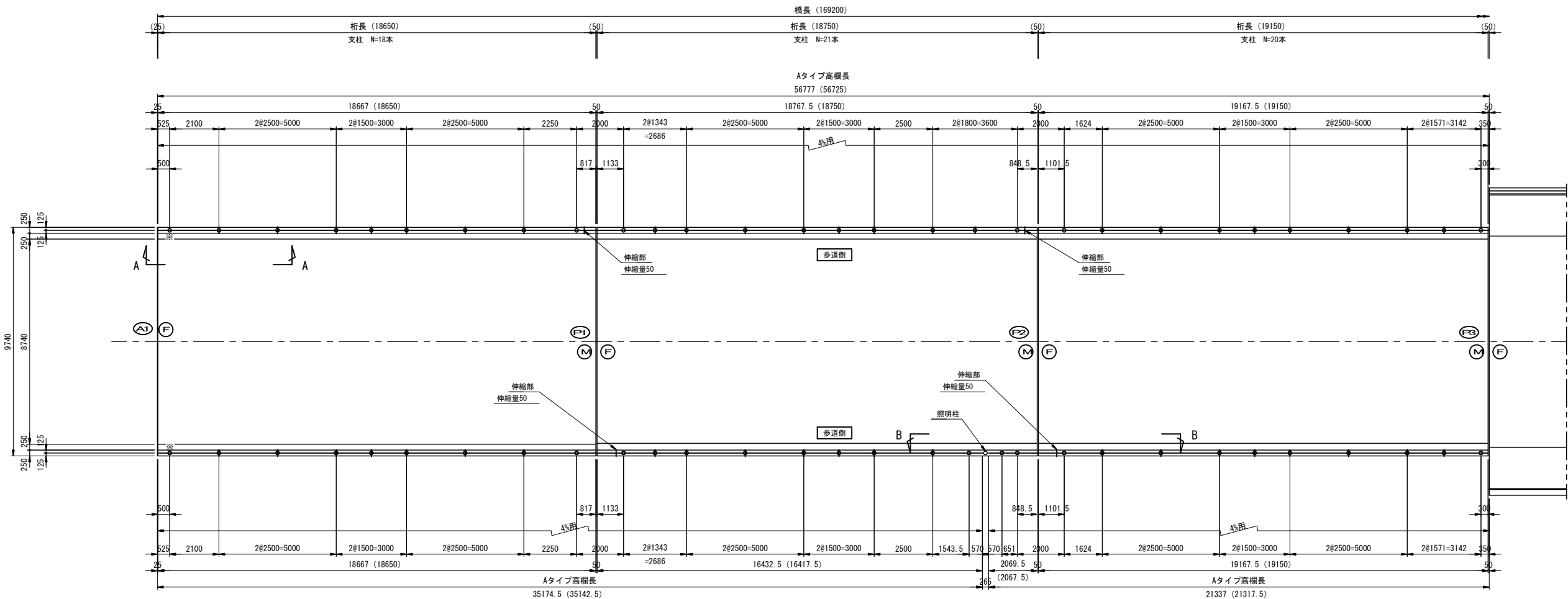
- 記入寸法はポストセンター押えとし、実長で示す。
- () 内寸法は水平長を示す。
- 印はポスト取付位置を示し、○印はレール材通し部を示し、○印はレール材継手部を示す。
- 既設支柱及び照明柱位置、縦断勾配については現地確認後、製作の事。
- 照明柱部の取合い寸法については確認の事。
- 印は支柱位置については既設支柱干渉の有無を確認の事。

Aタイプ高欄総延長 113M288.5

(全て4%用)

支柱 (A1~P3) N=59本

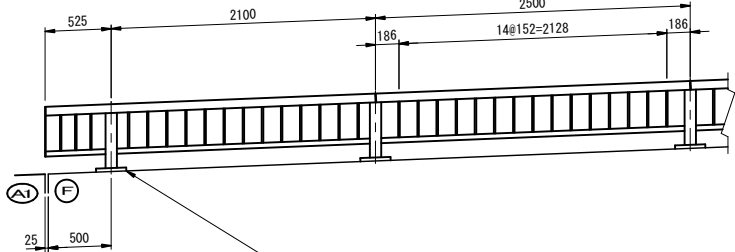
(参考図)



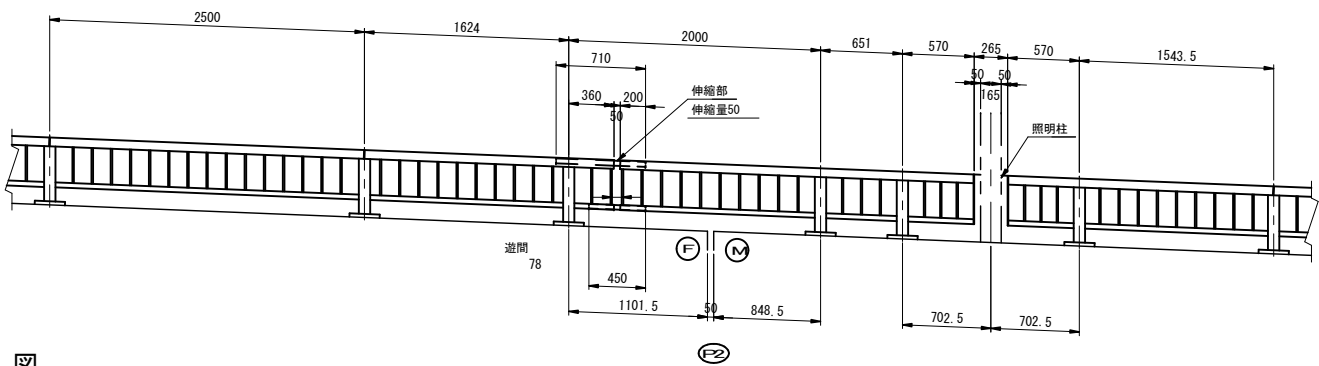
姿図

S=1/30

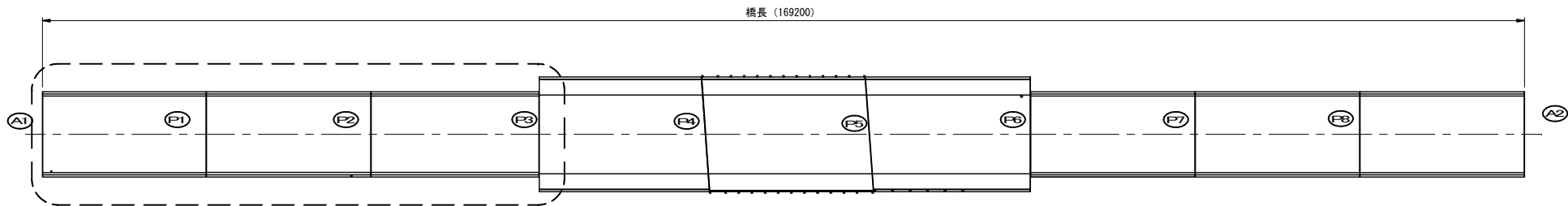
矢視 A-A



矢視 B-B



配置図



※この図面はA1~A3に縮尺して印刷しています。

設計：株式会社 長大テック

工事名	橋梁修繕工事(東部陸橋・8-1)		
図面名	東部陸橋 防護柵詳細図(その3)		
作成年月日	令和8年6月		
縮尺	図示	図面番号	36 / 38
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外2か町 地内		
事業者名	福山市		



東部陸橋 防護柵詳細図（その4）

S=1:100

平面図

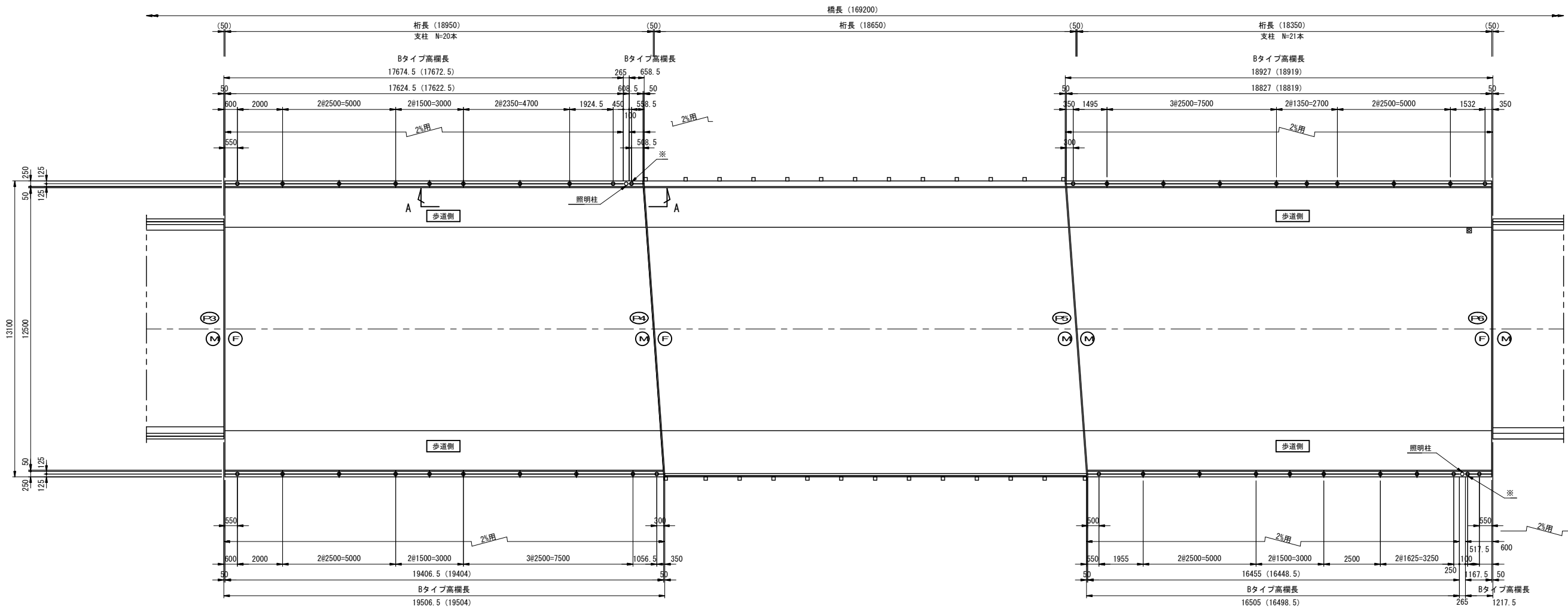
S=1/100

注記

- 記入寸法はポストセンター押えとし、実長で示す。
- () 内寸法は水平長を示す。
- 図中○、◇印はポスト取付位置を示し、○印はレール材通し部を示し、◇印はレール材継手部を示す。
- 既設支柱及び照明柱位置、縦断勾配については現地確認後、製作の事。
- 照明柱部の取合い寸法については確認の事。
- 図中※部の支柱位置については既設支柱干渉の有無を確認の事。

Bタイプ高欄総延長 72M613
(全て2%用)
支柱 (P3~P6) N=41本

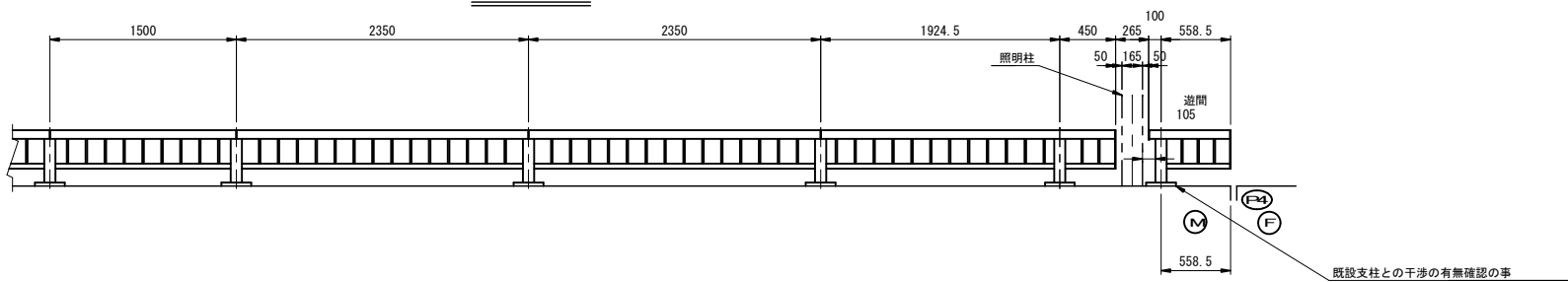
(参考図)



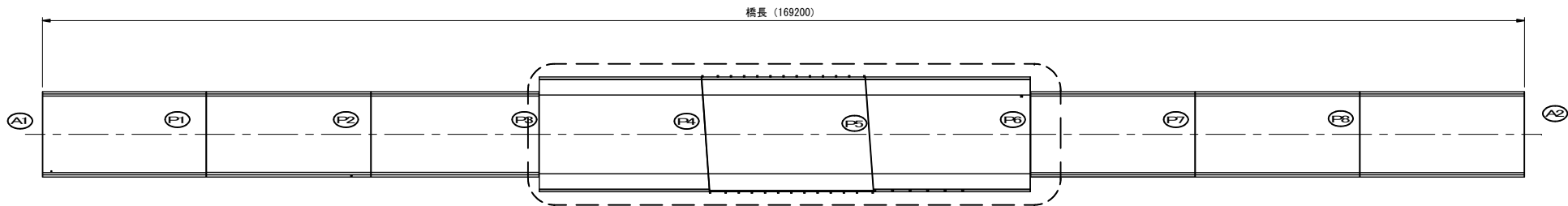
姿図

S=1/30

矢視 A-A



配置図



※この図面はA1→A3に縮尺して印刷しています。
設計：株式会社 長大テック

工事名	橋梁修繕工事(東部陸橋・8-1)		
図面名	東部陸橋 防護柵詳細図(その4)		
作成年月日	令和8年6月		
縮尺	図示	図面番号	37 / 38
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外2か町 地内		
事業者名	福山市		



S=1 : 100

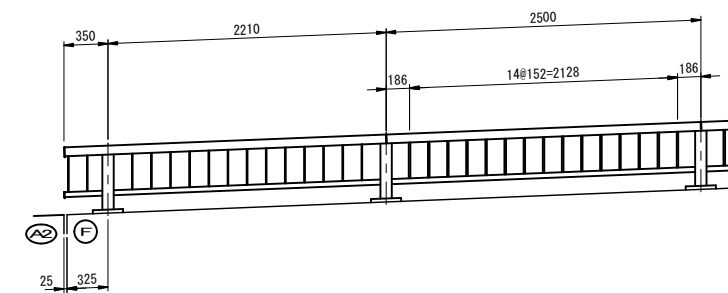
$$S=1/100$$

1. 記入寸法はポストセンター押えとし、実長で示す。
2. () 内寸法は水平長を示す。
3. 図中○、◇印はポスト取付位置を示し、○印はレール材通し部を示し、◇印はレール材継手部を示す。
4. 既設支柱及び照明柱位置、縦断勾配については現地確認後、製作の事。
5. 照明柱部の取合い寸法については確認の事。

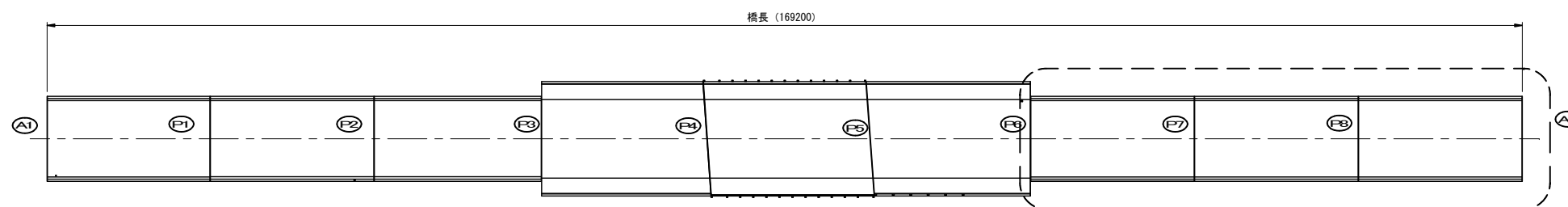
(参考図)



矢視 B-B



配置図



工事名	橋梁修繕工事(東部陸橋・8-1)		
図面名	東部陸橋 防護柵詳細図 (その5)		
作成年月日	令和8年6月		
縮 尺	図 示	図面番号	38 / 38
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外2か町 地内		
事業者名	福 山 市		



以下参考図書

施工単価表

頁0 -0009

支承補修
クロロプレンゴム系相当品

V0002
A=0.177m2

單第0 -0001 表

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

排水管取替工

V0003

単第0 -0002 表

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
排水管取付金具（S1） 溶融亜鉛めっきHDZ55 W=2.58kg/組	12	組			
排水管取付金具（S2） 溶融亜鉛めっきHDZ55 W=3.22kg/組	4	組			
排水管取付金具（S3） 溶融亜鉛めっきHDZ55 W=2.28kg/組	56	組			
排水管取付金具（S4） 溶融亜鉛めっきHDZ55 W=2.84kg/組	8	組			
コンクリートアンカーボルト設置 あと施工アンカー(各種)	160	本			単第0-0003 表
橋梁排水管撤去	0.8	m			単第0-0004 表
橋梁_排水管設置 足場有り	0.8	m			単第0-0005 表
一般管(VP)(JISK6741)PE 呼び径100(114×6.6×4) 参考質量3.409kg/m	1	本			
100°エルボ VPφ100	2	個			
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

頁0 -0011

コンクリートアンカーボルト設置
あと施工アンカー(各種)

SPK25040408

単第0 -0003 表

1

本 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 93.00% 材料構成比: 7.00% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,512.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
特殊作業員	46.81%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	22.54%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	21.83%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ボルトナット M12*40 ステンレス	6.87%		あと施工アンカー 芯棒打込み式 M12		F0000000022 TTPT00217
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=2 足場有り D=22 【F】あと施工アンカー(本)			B=4 あと施工アンカー(各種)		

施工単価表

頁0 -0012

橋梁排水管撤去

V0004

單第0 -0004 表

10

m

当日

[illegible]

施工単価表

橋梁 排水管設置
足場有り

SPK25040409

単第0 -0005 表

1
m 当り
標準単価： 5,323.40000

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 100.00% 材料構成比： 0.00% 市場単価構成比： 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
特殊作業員	47.34%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	30.05%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	22.12%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=2 足場有り					

施工単価表

高欄撤去

SPK25040122

単第0 -0006 表

機械構成比: 5.42% 労務構成比: 93.02% 材料構成比: 1.56% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,549.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積吊能力2.9t	5.42%		トラック クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積吊能力2.9t		MTPC00021 MTPT00021
溶接工	33.35%		溶接工		RTPC00019 RTPT00019
特殊作業員	27.89%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	15.26%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	14.23%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.56%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

現場発生品及び支給品運搬
クレーン装置付BT4～4.5t積2.9t吊
機械構成比: 17.30% 労務構成比: 78.90% 材料構成比: 3.80% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040411
片道運搬距離3.0km以下(1.5km超)

単第0 -0007 表
標準単価: 1,740.10000
1 t 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積吊能力2.9t	17.30%		トラック クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積吊能力2.9t		MTPC00021 MTPT00021
運転手(特殊)	39.87%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	39.03%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.80%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 C=3 クレーン装置付BT4～4.5t積2.9t吊 片道運搬距離3.0km以下(1.5km超)			B=2 DID区間有り		

施工単価表

頁0 -0016

高欄設置工

V0005

單第0 -0008 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0017

高欄設置

V0006

單第0 -0009 表

40

m

当日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0018

アンカー設置

V0007

單第0 -0010 表

25

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0019

ひび割れ補修工(低圧注入工法) 上部工
補修延べ延長31.9m

S1020037

単第0 -0011 表

1 構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.850	人			
特殊作業員	3.062	人			
普通作業員	2.265	人			
ひび割れ注入材 注入材 ボンドE2420相当品	0.470	kg			
ひび割れシール材 シール材(エポキシ樹脂系) ボンドE2370M相当品	4.453	kg			
ひび割れ注入材 注入器具 低圧注入器具 シリンダーセット	128.000	個			
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=31.9 C=0.47 E=3.25 G=128	1構造物当り補修延べ延長(m/構造物) 注入材の必要数量(kg/構造物) シール材の設計数量(kg/構造物) 低圧注入器具の必要数量(個/構造物)		B=4 D=3 F=5	【F】注入材(kg) 【F】シール材(kg) 【F】低圧注入器具(個)	

施工単価表

ひび割れ補修工(低圧注入工法) 下部工
補修延べ延長269.25m

V1020037

単第0 -0012 表

1 構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役 0.58*269.25/10=15.617	15.617	人			
特殊作業員 0.96*269.25/10=25.848	25.848	人			
普通作業員 0.71*269.25/10=19.117	19.117	人			
ひび割れ注入材 亜硝酸リチウム40%水溶液 プロコン40相当品	16.94	kg			
ひび割れ注入材 超微粒子セメント系 アーマ#600相当品	15.64	kg			
ひび割れシール材 シール材(無機系) ボンドE2370M相当品	70.01	kg			
ひび割れ注入材 注入器具 低圧注入器具 シリンダーセット	1,077	個			
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			

施工単価表

頁0 -0021

断面修復工(左官工法) 下部工
(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む)

V1020041
修復延べ体積0.545m3

單第0 -0013 表

構造物 当り

[illegible]

施工単価表

断面修復工(左官工法) 上部工・全部材
(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.861m3

単第0 -0014 表
1 構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	24.108	人			
特殊作業員	45.633	人			
普通作業員	24.108	人			
ポリマーセメントモルタル 左官工法用(コテ塗り)	1.016	m3			
諸雑費	8	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=0.861 1構造物当り修復延べ体積(m3/構造物) C=0.861 断面修復材の設計数量(m3/構造物)			B=6 【F】断面修復材(m3)		

施工単価表

頁0 -0023

コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)

S1020051

單第0 -0015 表

[有]DID区間

運搬距離 7.0km以下(5.5km超)

10

m3

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0024

ダンプトラック運転
オンロード・ディーゼル・4 t 積級

S9050

単第0 -0016 表

1 日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	19.20	L			
運転手(一般)	0.89	人			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t積級	1.02	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 4 t (良)	1.02	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=2 C=19.2 E=1 G=0 オンロード・ディーゼル・4 t 積級 軽油消費量 (L / 日) 路面状況：良好 労務単価の夜間等割増率			B=0.89 D=1.02 F=1 運転労務数量 (人 / 日) 機械損料数量 (供用日 / 日)		

施工単価表

表面含浸工（P1-P3間、P6-P8間）
亜硝酸リチウム+シラン・シロキサン系

V0008
プロコンガードS相当品

単第0 -0017 表

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2	人			
特殊作業員	6	人			
普通作業員	2	人			
ひび割れ注入材 亜硝酸リチウム40%水溶液 プロコン40相当品	33.0	kg			
シラン・シロキサン系表面含浸材 プロコンガードS相当品	19.8	kg			
雑材料	5	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

頁0 -0026

表面含浸工（A1・A2橋台）
シラン・シロキサン系

V0001
プロコンガードS相当品

單第0 -0018 表

50

m2 当り

[illegible]

施工単価表

手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場
手摺先行型枠組足場

S0380
安全ネット設置

単第0 -0019 表

100 掛m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.600	人			
とび工	8.500	人			安全ネット設置含む
普通作業員	1.300	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	1.400	日			
諸雑費	31	%			#09
*** 合計 ***	100	掛m2			
*** 単位当たり ***	1	掛m2			
A=1 手摺先行型枠組足場 C=0 潮待割増			B=2 安全ネットを設置する		

第1章 数量総括表(福山市工事)

1.1 数量総括表

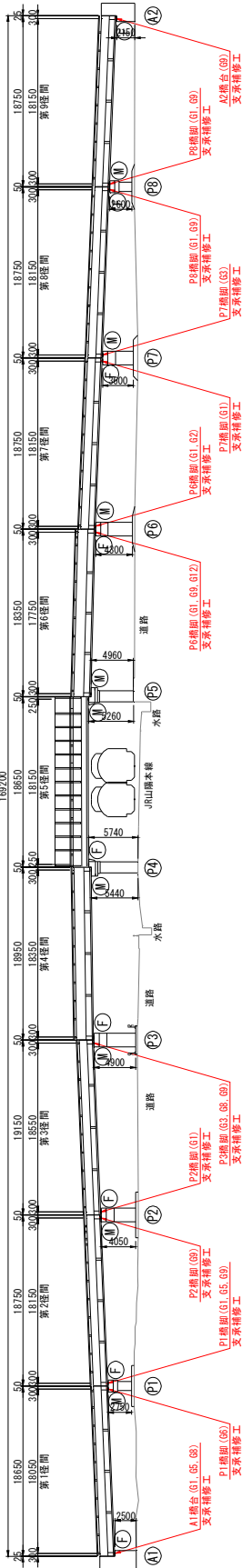
東部陸橋【福山市工事】

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	数量		備考
						設計数量	積算数量	
橋梁保全					式	1	1	
	橋梁支承工				式	1	1	
		支承補修工			式	1	1	
			支承補修	クロロプレンゴム系	m2	0.177	0.177	A1,P1,P2,P3 P6,P7,P8,A2
	橋梁付属物工				式	1	1	
		排水施設工			式	1	1	
			排水管取替工		式	1	1	
			排水管取付金具	溶融亜鉛めっきHDZ55	組	12	12	w=2.58kg/組
				溶融亜鉛めっきHDZ55	組	4	4	w=3.22kg/組
				溶融亜鉛めっきHDZ55	組	56	56	w=2.28kg/組
				溶融亜鉛めっきHDZ55	組	8	8	w=2.84kg/組
			コンクリートアンカーボルト設置工	M12×40	本	160	160	
			排水管撤去	VP100、400、N=2本	m	0.8	0.8	
			排水管設置	VP100、400、N=2本	m	0.8	0.8	
			VP100、L=400	1本あたり(L=4000)	本	1	1	
			100° エルボ	VPφ100	個	2	2	
		橋梁用高欄工			式	1	1	
			高欄撤去		m	298.6	299	226.0+72.6=298.6
			現場発生品及び支給品運搬		t	2.69	2.69	298.6*9.0kg/m=2687.4kg
			処分費	スクラップ(H3)	t	2.69	2.69	298.6*9.0kg/m=2687.4kg
			高欄設置工		式	1	1	
			高欄設置	アルミ製 H=450、535mm	m	298.6	299	A1~P3、P6~A2 P3~P4、P5~P6
			アンカー設置	ケミカル樹脂カプセル(M20用)	本	628.0	628	
	橋梁補修工				式	1	1	
		ひびわれ補修工			式	1	1	
			ひびわれ注入工	1橋当たり	式	1	1	
				[上部工] 0.2mm≦w≦5.0mm	m	31.90	31.90	
				注入材 比重1.20 エポキシ樹脂系3種	kg	0.47	0.47	ロス含む
				シーリング材 比重1.7 エポキシ樹脂系	kg	3.25	3.25	
				低圧注入器具	個	128	128	
				[下部工] 0.2mm≦w≦5.0mm	m	269.25	269.25	
				注入材 比重1.25 亜硝酸リチウム	kg	16.94	16.94	ロス含む
				注入材 比重1.00 超微粒子セメント系	kg	15.64	15.64	ロス含む
				シーリング材 比重2.0 無機系	kg	70.01	70.01	ロス含む
				低圧注入器具	個	1077	1077	

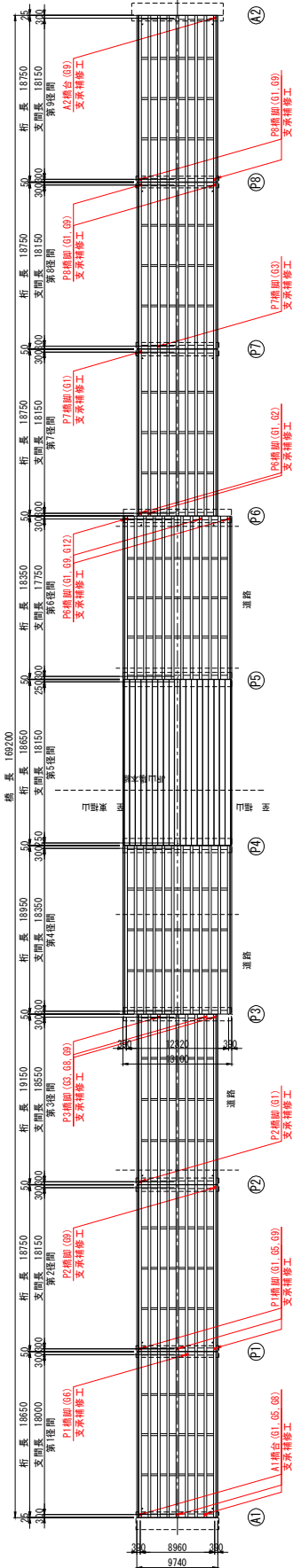
[illegible]

1.1 支承補修工

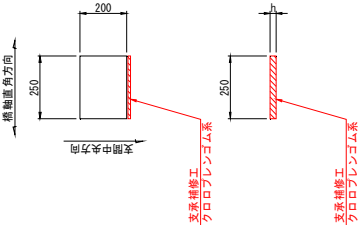
側面図



平面図



支承詳細図 S=1:10



	幅 (m)	h (m)	基盤	面積 (m ²)
A1橋台	0.250	0.025	3	0.019
P1橋脚起点側	0.250	0.025	1	0.006
P1橋脚終点側	0.250	0.025	3	0.019
P2橋脚起点側	0.250	0.035	1	0.009
P2橋脚終点側	0.250	0.025	1	0.006
P3橋脚起点側	0.250	0.035	3	0.026
P4橋脚起点側	0.250	0.025	3	0.019
P4橋脚終点側	0.250	0.050	2	0.025
P5橋脚起点側	0.250	0.030	1	0.008
P6橋脚起点側	0.250	0.025	1	0.006
P7橋脚起点側	0.250	0.020	2	0.010
P8橋脚終点側	0.250	0.035	2	0.018
A2橋台	0.250	0.025	1	0.006
合計				0.177

(1) 支承補修工 (クロロブレンゴム系)

A1橋台

$$a1 = \frac{0.250}{\text{幅}} \times \frac{0.025}{\text{高さ}} \times \frac{3}{\text{基数}} = 0.019 \text{ m}^2$$

P1橋脚 起点側

$$a2 = \frac{0.250}{\text{幅}} \times \frac{0.025}{\text{高さ}} \times \frac{1}{\text{基数}} = 0.006 \text{ m}^2$$

P1橋脚 終点側

$$a3 = \frac{0.250}{\text{幅}} \times \frac{0.025}{\text{高さ}} \times \frac{3}{\text{基数}} = 0.019 \text{ m}^2$$

P2橋脚 起点側

$$a4 = \frac{0.250}{\text{幅}} \times \frac{0.035}{\text{高さ}} \times \frac{1}{\text{基数}} = 0.009 \text{ m}^2$$

P2橋脚 終点側

$$a5 = \frac{0.250}{\text{幅}} \times \frac{0.025}{\text{高さ}} \times \frac{1}{\text{基数}} = 0.006 \text{ m}^2$$

P3橋脚 起点側

$$a6 = \frac{0.250}{\text{幅}} \times \frac{0.035}{\text{高さ}} \times \frac{3}{\text{基数}} = 0.026 \text{ m}^2$$

P6橋脚 起点側

$$a7 = \frac{0.250}{\text{幅}} \times \frac{0.025}{\text{高さ}} \times \frac{3}{\text{基数}} = 0.019 \text{ m}^2$$

P6橋脚 終点側

$$a8 = \frac{0.250}{\text{幅}} \times \frac{0.050}{\text{高さ}} \times \frac{2}{\text{基数}} = 0.025 \text{ m}^2$$

P7橋脚 起点側

$$a9 = \frac{0.250}{\text{幅}} \times \frac{0.030}{\text{高さ}} \times \frac{1}{\text{基数}} = 0.008 \text{ m}^2$$

P7橋脚 終点側

$$a10 = \frac{0.250}{\text{幅}} \times \frac{0.025}{\text{高さ}} \times \frac{1}{\text{基数}} = 0.006 \text{ m}^2$$

P8橋脚 起点側

$$a_{11} = \frac{0.250}{\text{幅}} \times \frac{0.020}{\text{高さ}} \times \frac{2}{\text{基数}} = 0.010 \text{ m}^2$$

P8橋脚 終点側

$$a_{12} = \frac{0.250}{\text{幅}} \times \frac{0.035}{\text{高さ}} \times \frac{2}{\text{基数}} = 0.018 \text{ m}^2$$

A2橋台

$$a_{13} = \frac{0.250}{\text{幅}} \times \frac{0.025}{\text{高さ}} \times \frac{1}{\text{基数}} = 0.006 \text{ m}^2$$

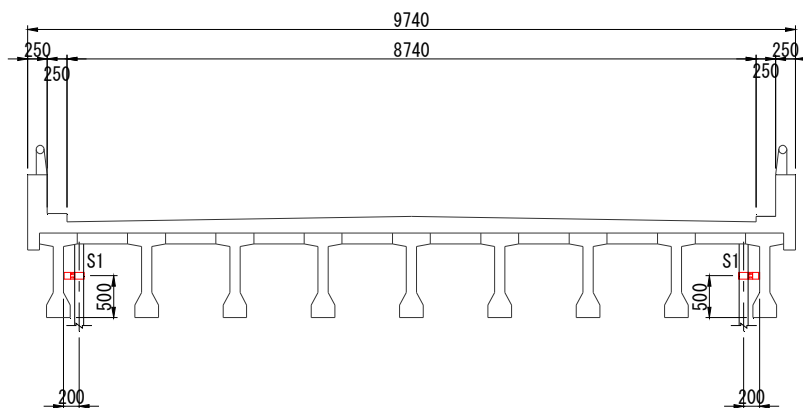
$$\underline{\Sigma A = 0.177 \text{ m}^2}$$

2.1 排水施設工

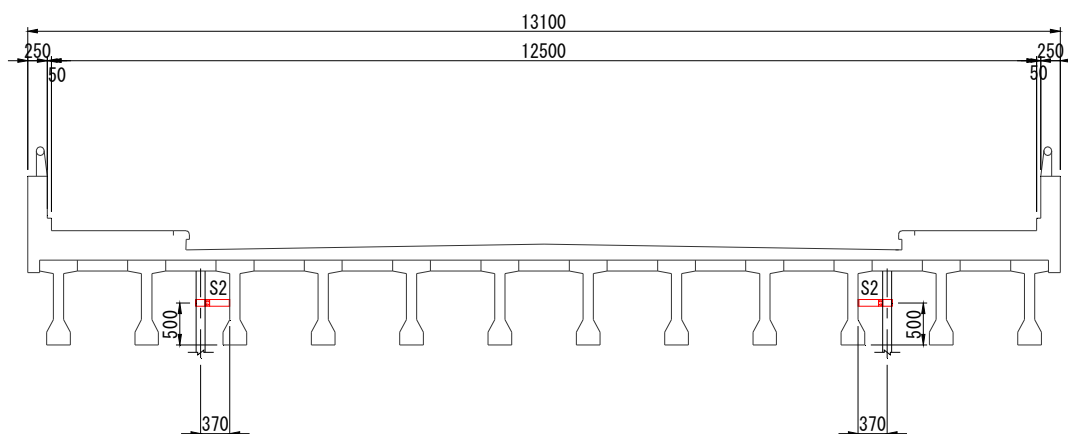
(1) 排水管支持金具取替工

上部工断面図

断面図 (A1-P3, P6-A2)

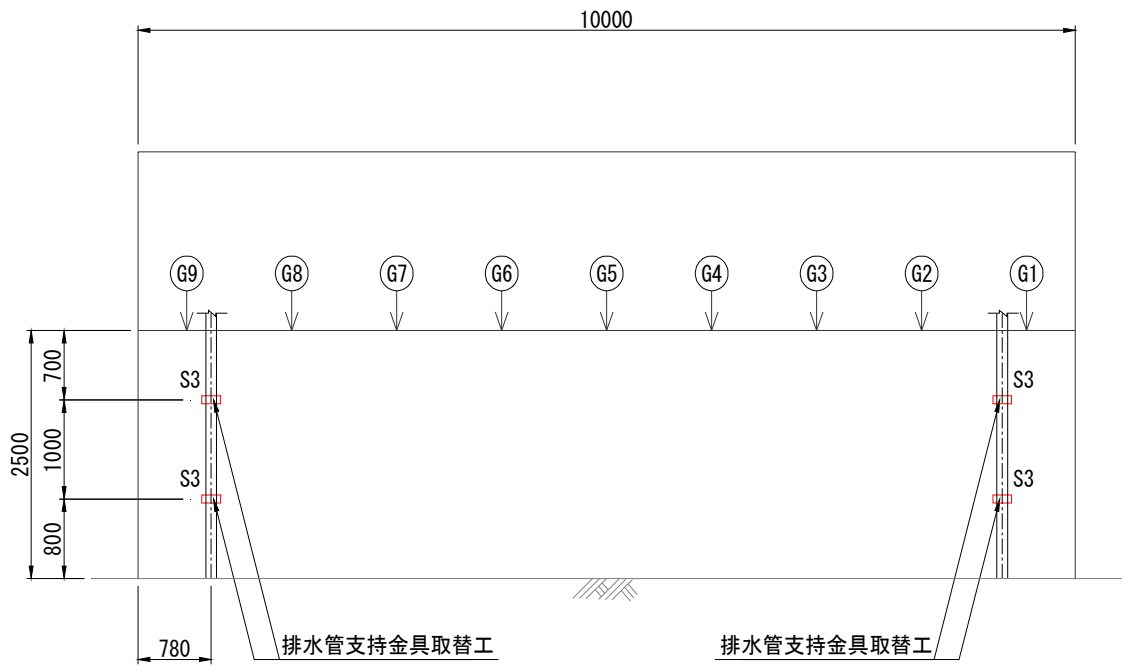


断面図 (P3-P4, P5-P6)

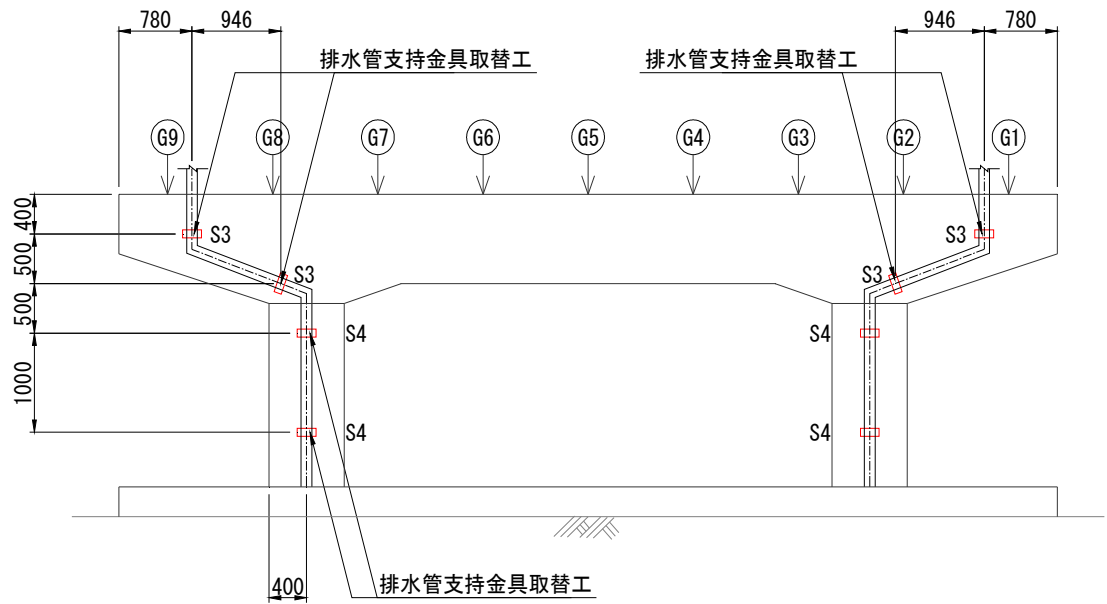


下部工正面図

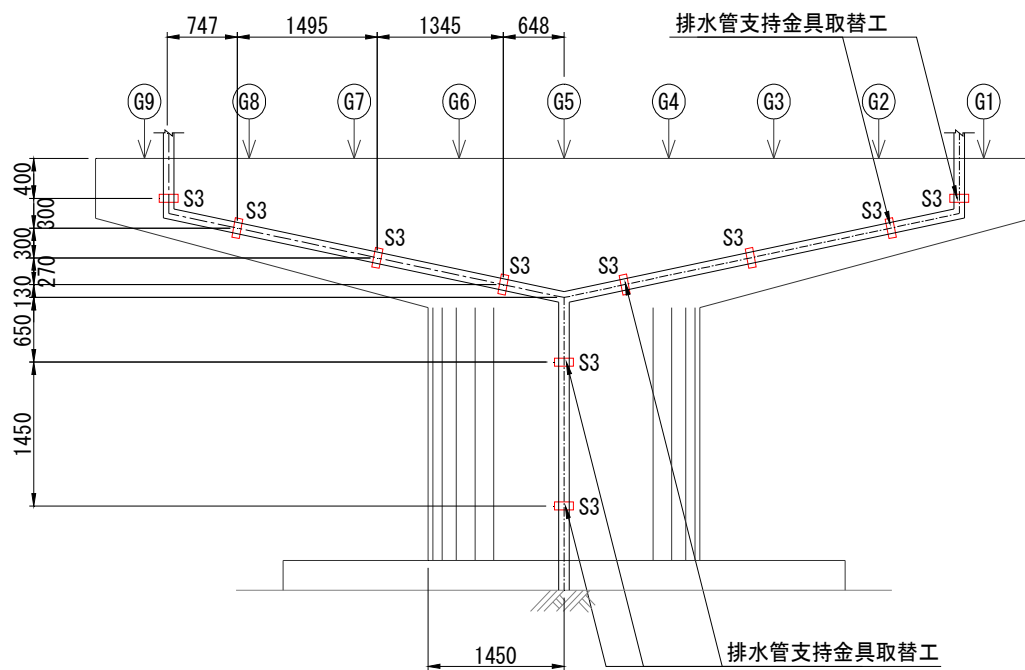
A1橋台



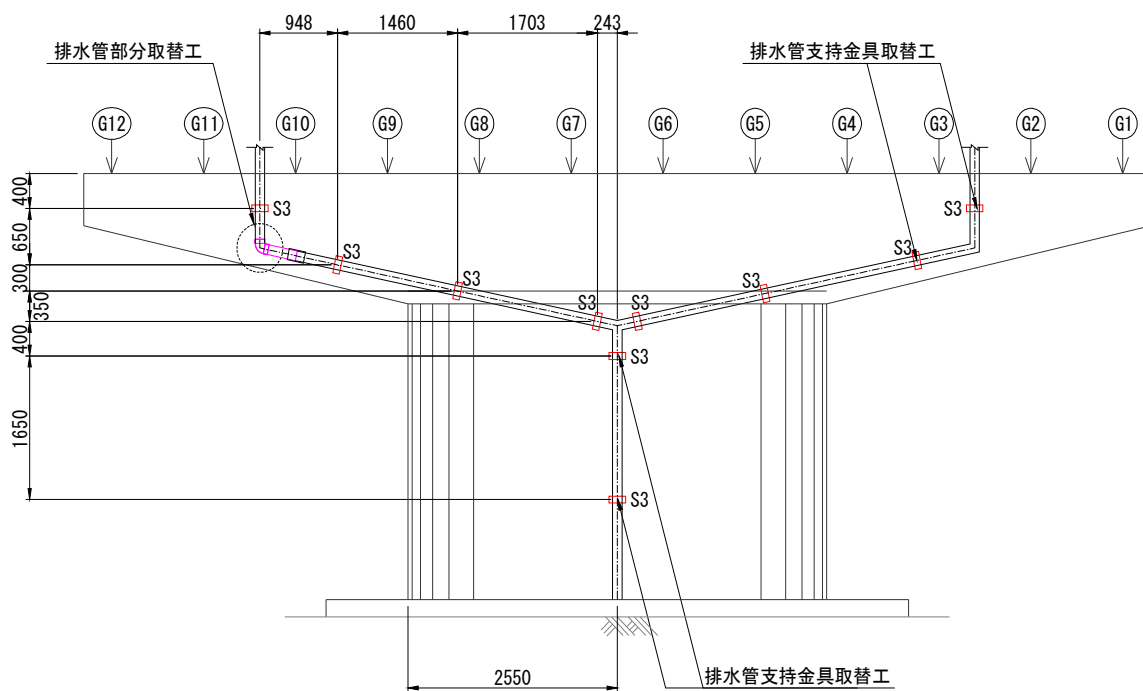
P1橋脚



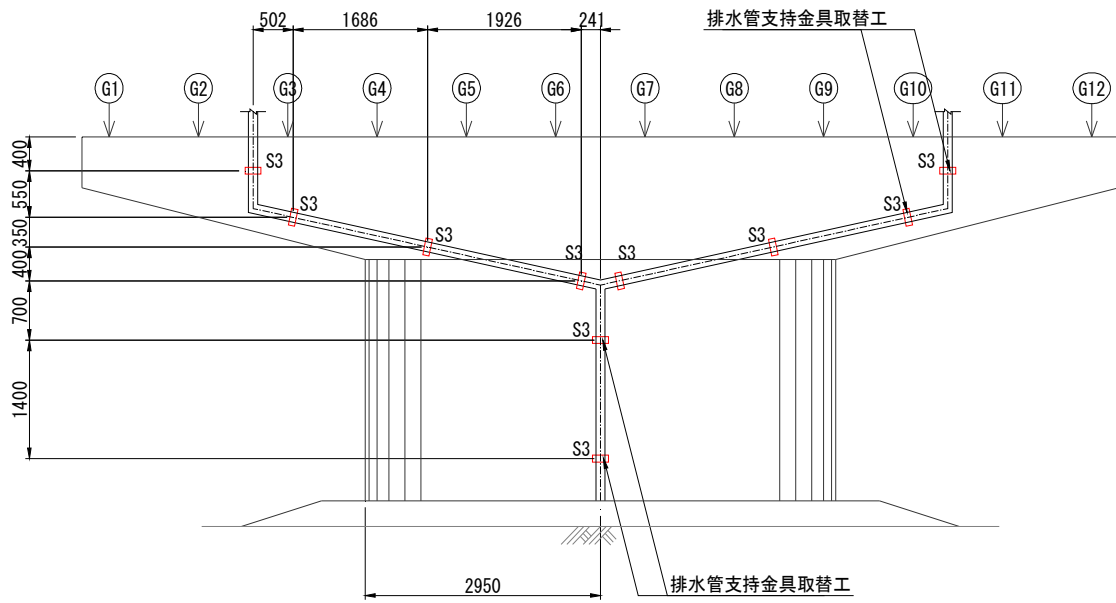
P2橋脚



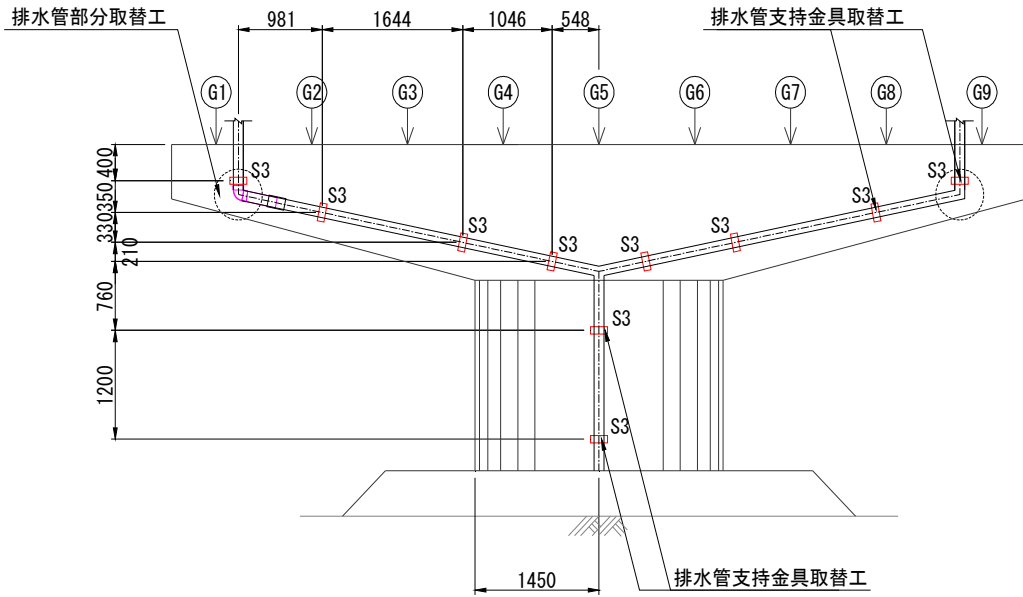
P3橋脚



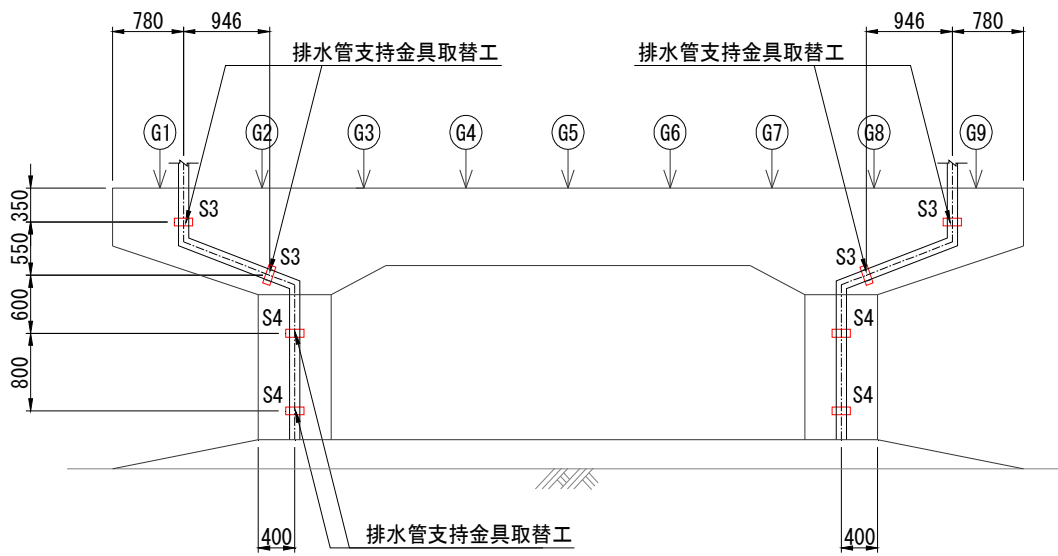
P6橋脚



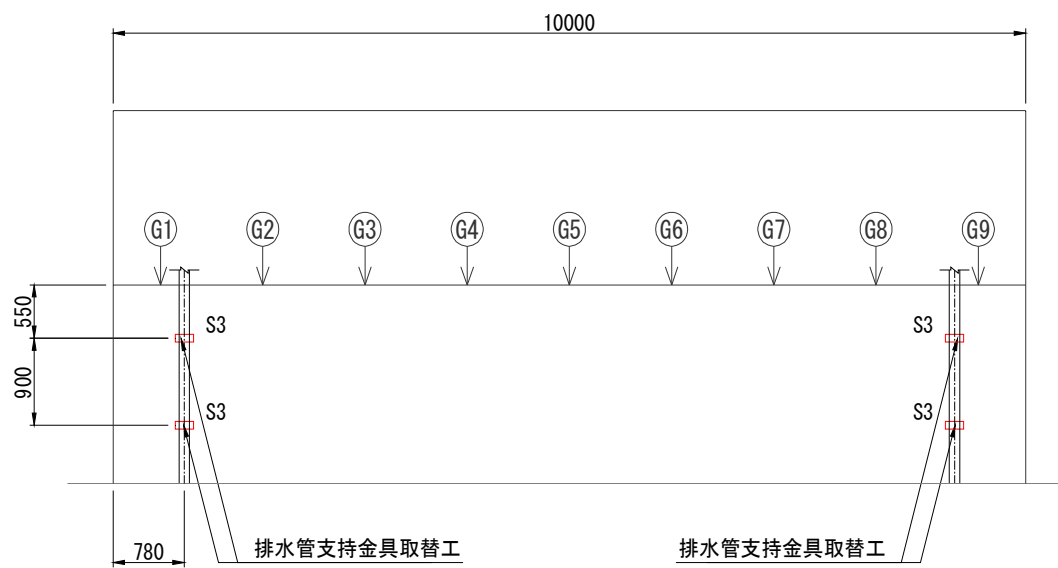
P7橋脚



P8橋脚

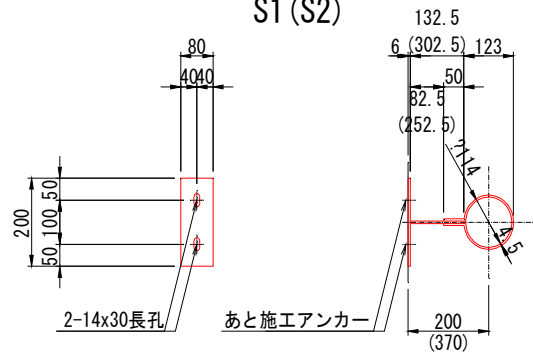


A2橋台



排水管支持金具

S1 (S2)

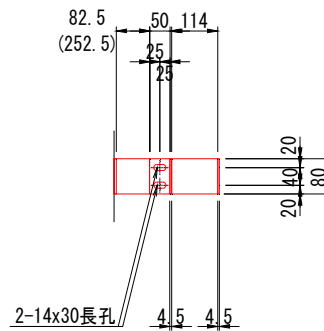


S1 1組当たり (全12組)						
1-PL	80	X	4.5	X	472 (SM400, HDZ55)	W = 1.33 kg
1-PL	80	X	6	X	200 (SM400, HDZ55)	W = 0.75 kg
1-PL	80	X	6	X	133 (SM400, HDZ55)	W = 0.50 kg
合計						Σ W = 2.58 kg

2-B.N M12 X 40
あと施工アンカー M12 N=2個

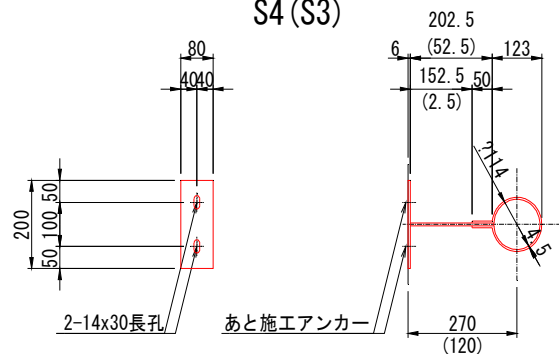
S2 1組当たり (全4組)					
1-PL	80	X	4.5	X	472 (SM400, HDZ55) W = 1.33 kg
1-PL	80	X	6	X	200 (SM400, HDZ55) W = 0.75 kg
1-PL	80	X	6	X	303 (SM400, HDZ55) W = 1.14 kg
合計					Σ W = 3.22 kg

2-B. N M12 X 40
あと施工アンカー M12 N=2個



※()の数値はS2を示す。

S4 (S3)

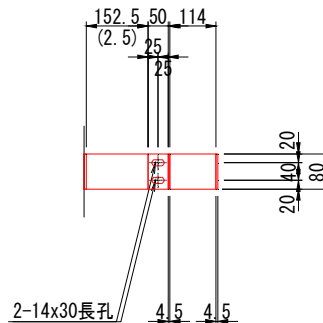


S3 1組当たり (全56組)						
1-PL	80	X	4.5	X	472 (SM400, HDZ55)	W = 1.33 kg
1-PL	80	X	6	X	200 (SM400, HDZ55)	W = 0.75 kg
1-PL	80	X	6	X	53 (SM400, HDZ55)	W = 0.20 kg
合計						Σ W = 2.28 kg

2-B. N M12 X 40
あと施工アンカー M12 N=2個

S4 1組当たり (全8組)				
1-PL	80	X	4.5	X 472 (SM400, HDZ55) W = 1.33 kg
1-PL	80	X	6	X 200 (SM400, HDZ55) W = 0.75 kg
1-PL	80	X	6	X 203 (SM400, HDZ55) W = 0.76 kg
合計				Σ W = 2.84 kg

2-B. N M12 X 40
あと施工アンカー M12 N=2個



※()の数値はS3を示す。

- ・排水管取付金具（溶融亜鉛めっきHDZ55）

S1 (SM400)

1組当たり重量 $w=2.58$ kg/組

$$N = \underset{A1-P3}{6} + \underset{P6-A2}{6} \quad N = 12 \text{ 組}$$

S2 (SM400)

1組当たり重量 $w=3.22$ kg/組

$$N = \underset{P3-P4}{2} + \underset{P5-P6}{2} \quad N = 4 \text{ 組}$$

S3 (SM400)

1組当たり重量 $w=2.28$ kg/組

$$N = \underset{A1\text{橋台}}{4} + \underset{P1\text{橋脚}}{4} + \underset{P2\text{橋脚}}{10} + \underset{P3\text{橋脚}}{10} + \underset{P6\text{橋脚}}{10} + \underset{P7\text{橋脚}}{10} + \underset{P8\text{橋脚}}{4} + \underset{A2\text{橋台}}{4} \quad N = 56 \text{ 組}$$

S4 (SM400)

1組当たり重量 $w=2.84$ kg/組

$$N = \underset{P1\text{橋脚}}{4} + \underset{P8\text{橋脚}}{4} \quad N = 8 \text{ 組}$$

- ・B.N M12×40

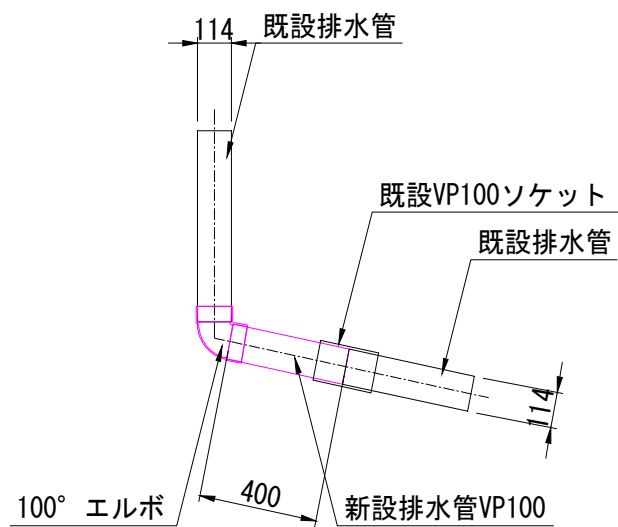
$$N = \left(\underset{S1}{12} + \underset{S2}{4} + \underset{S3}{56} + \underset{S4}{8} \right) \times 2 \quad N = 160 \text{ 組}$$

- ・コンクリートアンカーボルト設置工

M12

$$N = \left(\underset{S1}{12} + \underset{S2}{4} + \underset{S3}{56} + \underset{S4}{8} \right) \times 2 \quad N = 160 \text{ 本}$$

(2) 排水管部分取替工



- ・ VP100 L=400

P3橋脚

N = 1 本

P7橋脚

N = 1 本

合計

N = 1 + 1 = 2 本

- ・ 100° エルボ (VP100)

P3橋脚

N = 1 個

P7橋脚

N = 1 個

合計

N = 1 + 1 = 2 本

2.2 橋梁用高欄工

1. 高欄撤去・設置工

高欄嵩上げ延長（防護柵詳細図（参考）より）

(1) Aタイプ（H=535mm）：A1～P3、P6～A2

$$L = 56.7770 + 35.1745 + 21.3370 + 35.4505 + 20.7615 + 56.4775 = \underline{225.978 \text{ m}}$$

(2) Bタイプ（H=450mm）：P3～P4、P5～P6

$$L = 17.6745 + 18.9270 + 19.5065 + 16.5050 = \underline{72.613 \text{ m}}$$

2. 数量表

[Aタイプ]

総重量	91.7	Kg
総延長	10.0	M
M当り	9.2	Kg/M

部番	名称	寸度	数量	単重	1本当	総重量	材質	備考
1	トップレールA	2495.0	4	2.055	5.13	20.5	A6063S-T5	
2	トップレールB	2495.0	4	0.791	1.97	7.9	A6063S-T5	
3	トップレールスリーブ	200.0	4	3.251	0.65	2.6	A6063S-T5	
4	ポスト	453.0	4	5.289	2.40	9.6	A6061S-T6	
5	ボトムレール	2402.0	4	0.824	1.98	7.9	A6063S-T6相当	
6	バラスト	307.0	60	0.362	0.11	6.6	A6063S-T5	
7	トッププレート	42.0	4	4.708	0.20	0.8	A6063S-T6相当	
8	ボトムレールシート	50.0	8	1.171	0.06	0.5	A6063S-T5	
9	六角ボルト	M12x40	8		0.06	0.5	SUS	W1,SW1
10	十字穴付き六角ボルト	M5x16	8		0.004	-	SUS	W1,SW1
11	トラスタッピンネジ	M5x16	16		0.003	-	SUS	
12	なべタッピンネジ	M6x20	16		0.006	0.1	SUS	
13	トラスタッピンネジ	M4x16	24		0.002	-	SUS	
14	なべタッピンネジ(2種)	M4x20	240		0.002	0.5	SUS	
15	アルミベース		4		5.64	22.6	A6061S-T6	
16	甲丸ボルト	M12x30	8		0.05	0.4	SUS	W1,SW1
17	全ネジアンカーボルト	M20x270	16		0.70	11.2	SS400	N1,φ44W1,SW1
18	樹脂カプセルアンカー	AP-20相当品	16		-	-		

[Bタイプ]

総重量	88.1	Kg
総延長	10.0	M
M当り	8.8	Kg/M

部番	名称	寸度	数量	単重	1本当	総重量	材質	備考
1	トップレールA	2495.0	4	2.055	5.13	20.5	A6063S-T5	
2	トップレールB	2495.0	4	0.791	1.97	7.9	A6063S-T5	
3	トップレールスリーブ	200.0	4	3.251	0.65	2.6	A6063S-T5	
4	ポスト	368.0	4	5.289	1.95	7.8	A6061S-T6	
5	ボトムレール	2402.0	4	0.824	1.98	7.9	A6063S-T6相当	
6	バラスト	222.0	60	0.362	0.08	4.8	A6063S-T5	
7	トッププレート	42.0	4	4.708	0.20	0.8	A6063S-T6相当	
8	ボトムレールシート	50.0	8	1.171	0.06	0.5	A6063S-T5	
9	六角ボルト	M12x40	8		0.06	0.5	SUS	W1,SW1
10	十字穴付き六角ボルト	M5x16	8		0.004	-	SUS	W1,SW1
11	トラスタッピンネジ	M5x16	16		0.003	-	SUS	
12	なべタッピンネジ	M6x20	16		0.006	0.1	SUS	
13	トラスタッピンネジ	M4x16	24		0.002	-	SUS	
14	なべタッピンネジ(2種)	M4x20	240		0.002	0.5	SUS	
15	アルミベース		4		5.64	22.6	A6061S-T6	
16	甲丸ボルト	M12x30	8		0.05	0.4	SUS	W1,SW1
17	全ネジアンカーボルト	M20x270	16		0.70	11.2	SS400	N1,φ44W1,SW1
18	樹脂カプセルアンカー	AP-20相当品	16		-	-		

アンカー設置

4 本/柱

A1～P3 N=59本

P3～P6 N=41本

P6～A2 N=57本

$N = (59 + 41 + 57) \times 4 = 628$ 本

[Aタイプ]

総重量	91.7	Kg
総延長	10.0	M
M当り	9.2	Kg/M

部番	名称	寸度	数量	単重	1本当	総重量	材質	備考
1	トップレールA	2495.0	4	2.055	5.13	20.5	A6063S-T5	
2	トップレールB	2495.0	4	0.791	1.97	7.9	A6063S-T5	
3	トップレールスリーブ	200.0	4	3.251	0.65	2.6	A6063S-T5	
4	ポスト	453.0	4	5.289	2.40	9.6	A6061S-T6	
5	ボトムレール	2402.0	4	0.824	1.98	7.9	A6063S-T6相当	
6	バラスト	307.0	60	0.362	0.11	6.6	A6063S-T5	
7	トッププレート	42.0	4	4.708	0.20	0.8	A6063S-T6相当	
8	ボトムレールシート	50.0	8	1.171	0.06	0.5	A6063S-T5	
9	六角ボルト	M12x40	8		0.06	0.5	SUS	W1,SW1
10	十字穴付き六角ボルト	M5x16	8		0.004	-	SUS	W1,SW1
11	トラスタッピンネジ	M5x16	16		0.003	-	SUS	
12	なべタッピンネジ	M6x20	16		0.006	0.1	SUS	
13	トラスタッピンネジ	M4x16	24		0.002	-	SUS	
14	なべタッピンネジ(2種)	M4x20	240		0.002	0.5	SUS	
15	アルミベース		4		5.64	22.6	A6061S-T6	
16	甲丸ボルト	M12x30	8		0.05	0.4	SUS	W1,SW1
17	全ネジアンカーボルト	M20x270	16		0.70	11.2	SS400	N1,φ44W1,SW1
18	樹脂カプセルアンカー	AP-20相当品	16		-	-		

[Bタイプ]

総重量	88.1	Kg
総延長	10.0	M
M当り	8.8	Kg/M

部番	名称	寸度	数量	単重	1本当	総重量	材質	備考
1	トップレールA	2495.0	4	2.055	5.13	20.5	A6063S-T5	
2	トップレールB	2495.0	4	0.791	1.97	7.9	A6063S-T5	
3	トップレールスリーブ	200.0	4	3.251	0.65	2.6	A6063S-T5	
4	ポスト	368.0	4	5.289	1.95	7.8	A6061S-T6	
5	ボトムレール	2402.0	4	0.824	1.98	7.9	A6063S-T6相当	
6	バラスト	222.0	60	0.362	0.08	4.8	A6063S-T5	
7	トッププレート	42.0	4	4.708	0.20	0.8	A6063S-T6相当	
8	ボトムレールシート	50.0	8	1.171	0.06	0.5	A6063S-T5	
9	六角ボルト	M12x40	8		0.06	0.5	SUS	W1,SW1
10	十字穴付き六角ボルト	M5x16	8		0.004	-	SUS	W1,SW1
11	トラスタッピンネジ	M5x16	16		0.003	-	SUS	
12	なべタッピンネジ	M6x20	16		0.006	0.1	SUS	
13	トラスタッピンネジ	M4x16	24		0.002	-	SUS	
14	なべタッピンネジ(2種)	M4x20	240		0.002	0.5	SUS	
15	アルミベース		4		5.64	22.6	A6061S-T6	
16	甲丸ボルト	M12x30	8		0.05	0.4	SUS	W1,SW1
17	全ネジアンカーボルト	M20x270	16		0.70	11.2	SS400	N1,φ44W1,SW1
18	樹脂カプセルアンカー	AP-20相当品	16		-	-		

第3章 橋梁補修工数量計算書(福山市工事)

3.1 ひびわれ補修工

(1) ひびわれ注入工（低圧注入工法）（ $0.2\text{mm} \leq w \leq 5.0\text{mm}$ ）

1) 施工延長

ひびわれ注入工 数量調査より

部位		延長 (m)	面積 (mm2)	平均幅 (mm)	施工区分	備考
上部工	A1-P1間	3.05	635	0.21	吊足場	補修図(その1)
	P1-P2間	2.30	560	0.24	吊足場	補修図(その4)
	P2-P3間	1.05	210	0.20	吊足場	補修図(その6)
	P3-P4間	2.75	550	0.20	吊足場	補修図(その8)
	P5-P6間	14.35	2930	0.20	吊足場	補修図(その12)
	P6-P7間	3.20	700	0.22	吊足場	補修図(その15)
	P7-P8間	2.60	520	0.20	吊足場	補修図(その17)
	P8-A2間	2.60	520	0.20	吊足場	補修図(その19)
	小計	31.90	6625	0.21	-	-
下部工	A1橋台	38.50	12330	0.32	地上	補修図(その2)
	P1橋脚	12.75	3745	0.29	枠組足場	補修図(その3)
	P2橋脚	4.80	1400	0.29	枠組足場	補修図(その5)
	P3橋脚	24.15	5820	0.24	枠組足場	補修図(その7)
	P6橋脚 起点側	108.45	52485	0.48	枠組足場	補修図(その13)
	P6橋脚 終点側	57.75	32235	0.56	枠組足場	補修図(その14)
	P7橋脚	1.20	240	0.20	枠組足場	補修図(その16)
	P8橋脚	7.15	3075	0.43	枠組足場	補修図(その18)
	A2橋台	14.50	8010	0.55	枠組足場	補修図(その20)
	小計	269.25	119340	0.44	-	-
合計		301.15				

※注入材使用量の算定におけるひびわれ深さの想定値は以下のとおり

- ・上部工 : (エポキシ樹脂3種) $h = 42 \text{ mm}$
- ・下部工 : 亜硝酸リチウム+超微粒子セメント系 $h = 88 \text{ mm}$

2) 注入材

$$W = \text{延長} \times \text{平均幅} w \times \text{深さ} h \times \text{単位重量} \times \text{ロス率}$$

[上部工]

- ・エポキシ樹脂3種 (単位体積重量=1200kg/m³)

$$W = 31.90 \times 0.00021 \times 0.042 \times 1200 \times 1.4 = 0.47 \text{ kg}$$

[下部工]

- ・亜硝酸リチウム (単位体積重量=1250kg/m³)

$$W = 269.25 \times 0.00044 \times 0.088 \times 1250 \times 1.3 = 16.94 \text{ kg}$$

- ・超微粒子セメント系 (単位体積重量=1000kg/m³)

$$W = 269.25 \times 0.00044 \times 0.088 \times 1000 \times 1.5 = 15.64 \text{ kg}$$

[合計]

・エポキシ樹脂3種	$\Sigma W = 0.47 \text{ kg}$
・亜硝酸リチウム	$\Sigma W = 16.94 \text{ kg}$
・超微粒子セメント系	$\Sigma W = 15.64 \text{ kg}$

3) シール材

$$W = \text{延長} \times \text{シール厚}t \times \text{シール幅}b \times \text{単位重量} \times \text{ロス率}$$

[上部工]

・エポキシ樹脂系シール材 (単位体積重量=1700kg/m³)

シールサイズ t=2mm、b=30mm

$$W = 31.90 \times 0.002 \times 0.030 \times 1700 = 3.25 \text{ kg}$$

[下部工]

・無機系シール材 (単位体積重量=2000kg/m³)

シールサイズ t=1mm、b=100mm

$$W = 269.25 \times 0.001 \times 0.100 \times 2000 \times 1.30 = 70.01 \text{ kg}$$

[合計]

・エポキシ樹脂系シール材

$$\Sigma W = 3.25 \text{ kg}$$

・無機系シール材

$$\Sigma W = 70.01 \text{ kg}$$

4) 低圧注入器具

使用量 : ひび割れ延長1m当たり4個 (@25cm)

$$N = \text{延長} \div \text{設置間隔}$$

[上部工]

$$N = 31.90 \div 0.25 = 128 \text{ 個}$$

[下部工]

$$N = 269.25 \div 0.25 = 1077 \text{ 個}$$

東部陸橋 補修図(その1)

ひびわれ注入工 (0.2mm≦w≦5.0mm)				
番号	損傷部位	寸法		
		幅w(mm)	延長L(m)	面積A(mm ²)
h1	主桁	0.30	0.15	45
h2	主桁	0.30	0.10	30
h3	主桁	0.20	0.20	40
h4	横桁	0.20	0.50	100
h5	主桁	0.20	0.30	60
h6	床版	0.20	0.30	60
h7	床版	0.20	0.20	40
h8	床版	0.20	0.65	130
h9	床版	0.20	0.65	130
計			3.05	635

東部陸橋 補修図(その2)

ひびわれ注入工 (0.2mm≦w≦5.0mm)				
番号	損傷部位	寸法		
		幅w(mm)	延長L(m)	面積A(mm ²)
h1	橋台	0.20	1.50	300
h2	橋台	0.20	0.55	110
h3	橋台	0.30	0.70	210
h4	橋台	0.20	0.20	40
h5	橋台	0.70	0.80	560
h6	橋台	0.20	0.55	110
h7	橋台	0.40	1.10	440
h8	橋台	0.50	1.00	500
h9	橋台	0.20	0.50	100
h10	橋台	0.30	1.10	330
h11	橋台	0.20	0.75	150
h12	橋台	0.50	2.15	1075
h13	橋台	0.20	0.40	80
h14	橋台	0.20	1.70	340
h15	橋台	0.80	1.05	840
h16	橋台	0.20	0.35	70
h17	橋台	0.20	0.40	80
h18	橋台	0.20	0.90	180
h19	橋台	0.50	1.40	700
h20	橋台	0.20	0.90	180
h21	橋台	0.50	1.00	500
h22	橋台	0.30	0.40	120

東部陸橋 補修図(その2)

ひびわれ注入工 (0.2mm≦w≦5.0mm)				
番号	損傷部位	寸法		
		幅w(mm)	延長L(m)	面積A(mm ²)
h23	橋台	0.30	2.00	600
h24	橋台	0.60	1.20	720
h25	橋台	0.20	1.40	280
h26	橋台	0.20	0.40	80
h27	橋台	0.20	0.80	160
h28	橋台	0.20	1.20	240
h29	橋台	0.20	1.20	240
h30	橋台	0.30	0.50	150
h31	橋台	0.30	0.40	120
h32	橋台	0.60	0.40	240
h33	橋台	1.00	0.50	500
h34	橋台	0.20	0.70	140
h35	橋台	0.20	0.70	140
h36	橋台	0.20	0.25	50
h37	橋台	0.20	0.45	90
h38	橋台	0.20	1.50	300
h39	橋台	0.20	0.10	20
h40	橋台	0.20	0.30	60
h41	橋台	0.20	0.50	100
h42	橋台	0.20	0.50	100
h43	橋台	0.20	0.40	80
h44	橋台	0.30	1.35	405
h45	橋台	0.20	0.60	120
h46	橋台	0.20	0.30	60
h47	橋台	0.30	0.30	90
h48	橋台	0.20	0.90	180
h49	橋台	0.20	0.25	50
計			38.50	12330

ひびわれ注入工 数量調書

(No. 2)

東部陸橋 補修図(その3)

ひびわれ注入工 (0.2mm≦w≦5.0mm)				
番号	損傷部位	寸法		
		幅w(mm)	延長L(m)	面積A(mm2)
h1	橋脚	0.20	0.80	160
h2	橋脚	0.30	0.40	120
h3	橋脚	0.30	0.50	150
h4	橋脚	0.30	0.75	225
h5	橋脚	0.30	0.70	210
h6	橋脚	0.30	0.50	150
h7	橋脚	0.30	1.30	390
h8	橋脚	0.30	1.30	390
h9	橋脚	0.30	1.30	390
h10	橋脚	0.30	1.30	390
h11	橋脚	0.30	1.30	390
h12	橋脚	0.30	1.30	390
h13	橋脚	0.30	1.30	390
計			12.75	3745

東部陸橋 補修図(その4)

ひびわれ注入工 (0.2mm≦w≦5.0mm)				
番号	損傷部位	寸法		
		幅w(mm)	延長L(m)	面積A(mm2)
h1	横桁	0.40	0.50	200
h2	床版	0.20	0.60	120
h3	床版	0.20	0.30	60
h4	床版	0.20	0.40	80
h5	床版	0.20	0.30	60
h6	主桁	0.20	0.20	40
計			2.30	560

東部陸橋 補修図(その5)

ひびわれ注入工 (0.2mm≦w≦5.0mm)				
番号	損傷部位	寸法		
		幅w(mm)	延長L(m)	面積A(mm2)
h1	橋脚	0.20	0.45	90
h2	橋脚	0.20	0.45	90
h3	橋脚	0.40	0.90	360
h4	橋脚	0.20	0.60	120
h5	橋脚	0.40	0.80	320
h6	橋脚	0.20	0.60	120
h7	橋脚	0.30	0.40	120
h8	橋脚	0.30	0.60	180
計			4.80	1400

東部陸橋 補修図(その6)

ひびわれ注入工 (0.2mm≦w≦5.0mm)				
番号	損傷部位	寸法		
		幅w(mm)	延長L(m)	面積A(mm2)
h1	床版	0.20	0.65	130
h2	床版	0.20	0.40	80
計			1.05	210

東部陸橋 補修図(その7)

ひびわれ注入工 (0.2mm≦w≦5.0mm)				
番号	損傷部位	寸法		
		幅w(mm)	延長L(m)	面積A(mm2)
h1	橋脚	0.20	0.30	60
h2	橋脚	0.20	0.90	180
h3	橋脚	0.30	1.20	360
h4	橋脚	0.20	0.30	60
h5	橋脚	0.20	0.80	160
h6	橋脚	0.20	0.20	40
h7	橋脚	0.20	0.20	40
h8	橋脚	0.30	0.80	240
h9	橋脚	0.30	1.80	540
h10	橋脚	0.20	0.70	140
h11	橋脚	0.30	0.90	270
h12	橋脚	0.30	0.60	180
h13	橋脚	0.20	0.55	110
h14	橋脚	0.20	1.20	240
h15	橋脚	0.30	0.50	150
h16	橋脚	0.30	1.00	300
h17	橋脚	0.30	0.70	210
h18	橋脚	0.30	1.10	330
h19	橋脚	0.20	0.90	180
h20	橋脚	0.20	0.80	160
h21	橋脚	0.20	1.10	220
h22	橋脚	0.20	0.60	120
h23	橋脚	0.20	1.40	280
h24	橋脚	0.20	1.10	220
h25	橋脚	0.30	0.20	60
h26	橋脚	0.30	1.10	330
h27	橋脚	0.20	1.10	220
h28	橋脚	0.20	0.90	180
h29	橋脚	0.20	1.20	240
計			24.15	5820

東部陸橋 補修図(その8)

ひびわれ注入工 (0.2mm≦w≦5.0mm)				
番号	損傷部位	寸法		
		幅w(mm)	延長L(m)	面積A(mm2)
h1	床版	0.20	0.60	120
h2	床版	0.20	0.50	100
h3	床版	0.20	0.15	30
h4	床版	0.20	0.30	60
h5	防護柵	0.20	0.70	140
h6	防護柵	0.20	0.50	100
計			2.75	550

東部陸橋 補修図(その12)

ひびわれ注入工 (0.2mm≦w≦5.0mm)				
番号	損傷部位	寸法		
		幅w(mm)	延長L(m)	面積A(mm2)
h1	横桁	0.20	0.90	180
h2	横桁	0.20	0.90	180
h3	横桁	0.20	0.25	50
h4	床版	0.20	0.50	100
h5	床版	0.20	0.50	100
h6	床版	0.20	0.30	60
h7	床版	0.20	0.40	80
h8	床版	0.20	0.50	100
h9	床版	0.20	0.30	60
h10	床版	0.20	0.50	100
h11	床版	0.20	0.30	60
h12	床版	0.20	0.30	60
h13	床版	0.20	0.65	130
h14	床版	0.20	0.65	130
h15	床版	0.20	0.60	120
h16	床版	0.20	0.65	130
h17	床版	0.20	0.65	130
h18	床版	0.20	0.60	120
h19	床版	0.20	0.50	100
h20	床版	0.20	0.50	100
h21	床版	0.20	0.15	30
h22	床版	0.20	0.30	60
h23	床版	0.20	0.50	100
h24	床版	0.20	0.40	80
h25	床版	0.20	0.65	130
h26	床版	0.20	0.65	130

東部陸橋 補修図(その12)

ひびわれ注入工 (0.2mm≦w≦5.0mm)				
番号	損傷部位	寸法		
		幅w(mm)	延長L(m)	面積A(mm2)
h27	床版	0.20	0.65	130
h28	PC定着部	0.30	0.30	90
h29	PC定着部	0.30	0.30	90
計			14.35	2930

東部陸橋 補修図(その13)

ひびわれ注入工 (0.2mm≦w≦5.0mm)				
番号	損傷部位	寸法		
		幅w(mm)	延長L(m)	面積A(mm2)
h1	橋脚	0.30	1.00	300
h2	橋脚	0.20	0.50	100
h3	橋脚	0.20	1.10	220
h4	橋脚	0.20	0.90	180
h5	橋脚	0.20	1.00	200
h6	橋脚	0.30	1.50	450
h7	橋脚	0.20	1.10	220
h8	橋脚	0.30	1.00	300
h9	橋脚	0.20	0.30	60
h10	橋脚	0.20	0.30	60
h11	橋脚	0.30	1.10	330
h12	橋脚	0.30	0.20	60
h13	橋脚	0.30	0.40	120
h14	橋脚	0.30	0.40	120
h15	橋脚	0.30	0.50	150
h16	橋脚	0.30	1.20	360
h17	橋脚	0.30	1.00	300
h18	橋脚	0.30	0.25	75
h19	橋脚	0.30	0.60	180
h20	橋脚	0.20	0.40	80
h21	橋脚	0.20	1.10	220
h22	橋脚	0.20	0.30	60
h23	橋脚	0.30	1.20	360
h24	橋脚	0.40	4.50	1800
h25	橋脚	0.50	2.50	1250
h26	橋脚	0.30	1.30	390
h27	橋脚	0.20	0.80	160
h28	橋脚	0.20	1.10	220
h29	橋脚	0.30	0.60	180

東部陸橋 補修図(その13)

ひびわれ注入工 (0.2mm≦w≦5.0mm)				
番号	損傷部位	寸法		
		幅w(mm)	延長L(m)	面積A(mm2)
h30	橋脚	0.30	0.60	180
h31	橋脚	0.70	2.20	1540
h32	橋脚	0.20	0.40	80
h33	橋脚	1.00	2.50	2500
h34	橋脚	0.20	0.50	100
h35	橋脚	0.30	1.30	390
h36	橋脚	0.20	0.20	40
h37	橋脚	0.30	0.50	150
h38	橋脚	0.30	1.00	300
h39	橋脚	0.40	0.60	240
h40	橋脚	0.30	0.10	30
h41	橋脚	0.30	0.15	45
h42	橋脚	0.30	1.50	450
h43	橋脚	0.30	1.15	345
h44	橋脚	0.50	1.40	700
h45	橋脚	0.40	2.50	1000
h46	橋脚	0.60	2.50	1500
h47	橋脚	0.20	0.80	160
h48	橋脚	0.30	1.40	420
h49	橋脚	0.20	0.45	90
h50	橋脚	0.20	0.25	50
h51	橋脚	0.40	0.70	280
h52	橋脚	0.20	0.35	70
h53	橋脚	0.20	0.30	60
h54	橋脚	0.20	0.15	30
h55	橋脚	0.30	0.75	225
h56	橋脚	0.20	0.60	120
h57	橋脚	0.30	0.60	180
h58	橋脚	0.30	0.50	150
h59	橋脚	0.30	0.30	90
h60	橋脚	0.30	0.30	90
h61	橋脚	0.30	0.30	90
h62	橋脚	0.30	0.30	90
h63	橋脚	0.30	0.30	90
h64	橋脚	0.30	1.20	360
h65	橋脚	0.50	0.80	400
h66	橋脚	0.30	0.20	60
h67	橋脚	0.60	2.10	1260
h68	橋脚	0.30	0.20	60

東部陸橋 補修図(その13)

ひびわれ注入工 (0.2mm≦w≦5.0mm)				
番号	損傷部位	寸法		
		幅w(mm)	延長L(m)	面積A(mm2)
h69	橋脚	0.30	0.20	60
h70	橋脚	0.30	0.20	60
h71	橋脚	0.30	0.20	60
h72	橋脚	0.60	0.50	300
h73	橋脚	1.00	0.40	400
h74	橋脚	1.00	2.00	2000
h75	橋脚	0.40	1.60	640
h76	橋脚	0.30	0.40	120
h77	橋脚	0.30	0.45	135
h78	橋脚	0.30	0.35	105
h79	橋脚	0.40	0.50	200
h80	橋脚	0.80	0.85	680
h81	橋脚	0.20	0.20	40
h82	橋脚	1.00	1.40	1400
h83	橋脚	0.20	0.90	180
h84	橋脚	0.20	0.35	70
h85	橋脚	0.30	0.40	120
h86	橋脚	0.20	0.10	20
h87	橋脚	0.20	0.30	60
h88	橋脚	0.30	1.00	300
h89	橋脚	1.00	0.90	900
h90	橋脚	0.30	0.80	240
h91	橋脚	0.30	0.50	150
h92	橋脚	0.20	0.20	40
h93	橋脚	0.30	0.60	180
h94	橋脚	0.50	0.90	450
h95	橋脚	0.30	0.40	120
h96	橋脚	0.30	0.30	90
h97	橋脚	0.50	0.60	300
h98	橋脚	0.50	0.85	425
h99	橋脚	0.30	0.90	270
h100	橋脚	0.40	0.80	320
h101	橋脚	0.30	0.60	180
h102	橋脚	1.00	1.00	1000
h103	橋脚	0.30	0.60	180
h104	橋脚	0.20	0.15	30
h105	橋脚	0.40	1.50	600
h106	橋脚	0.90	1.70	1530
h107	橋脚	1.20	1.60	1920

東部陸橋 補修図(その13)

ひびわれ注入工 (0.2mm≦w≦5.0mm)				
番号	損傷部位	寸法		
		幅w(mm)	延長L(m)	面積A(mm2)
h108	橋脚	0.30	0.50	150
h109	橋脚	0.20	0.40	80
h110	橋脚	0.30	0.50	150
h111	橋脚	0.50	0.90	450
h112	橋脚	0.30	0.70	210
h113	橋脚	0.50	1.10	550
h114	橋脚	1.20	1.60	1920
h115	橋脚	0.30	0.60	180
h116	橋脚	0.70	1.60	1120
h117	橋脚	0.20	0.15	30
h118	橋脚	0.30	0.65	195
h119	橋脚	0.50	0.45	225
h120	橋脚	1.00	1.50	1500
h121	橋脚	0.20	0.50	100
h122	橋脚	0.70	0.70	490
h123	橋脚	0.60	1.00	600
h124	橋脚	0.50	0.50	250
h125	橋脚	0.30	0.25	75
h126	橋脚	1.00	1.50	1500
h127	橋脚	0.70	1.60	1120
h128	橋脚	1.20	1.80	2160
h129	橋脚	0.80	0.25	200
h130	橋脚	0.30	0.25	75
h131	橋脚	0.30	0.40	120
h132	橋脚	0.20	0.25	50
h133	橋脚	0.30	0.40	120
h134	橋脚	0.30	0.40	120
h135	橋脚	0.50	0.70	350
計			108.45	52485

東部陸橋 補修図(その14)

ひびわれ注入工 (0.2mm≦w≦5.0mm)				
番号	損傷部位	寸法		
		幅w(mm)	延長L(m)	面積A(mm2)
h1	橋脚	0.30	1.00	300
h2	橋脚	0.20	1.50	300
h3	橋脚	0.20	1.50	300
h4	橋脚	0.20	1.50	300
h5	橋脚	0.20	0.80	160

東部陸橋 補修図(その14)

ひびわれ注入工 (0.2mm≦w≦5.0mm)				
番号	損傷部位	寸法		
		幅w(mm)	延長L(m)	面積A(mm2)
h6	橋脚	0.20	0.80	160
h7	橋脚	0.40	1.20	480
h8	橋脚	0.30	0.30	90
h9	橋脚	0.20	0.40	80
h10	橋脚	0.60	0.30	180
h11	橋脚	0.30	0.40	120
h12	橋脚	0.30	1.50	450
h13	橋脚	0.30	0.50	150
h14	橋脚	1.00	1.40	1400
h15	橋脚	0.20	0.40	80
h16	橋脚	0.20	0.35	70
h17	橋脚	0.20	0.40	80
h18	橋脚	0.40	0.60	240
h19	橋脚	0.50	1.10	550
h20	橋脚	0.70	0.40	280
h21	橋脚	0.20	0.30	60
h22	橋脚	1.20	2.70	3240
h23	橋脚	0.40	2.30	920
h24	橋脚	0.80	4.20	3360
h25	橋脚	0.40	2.00	800
h26	橋脚	0.20	0.60	120
h27	橋脚	1.00	1.00	1000
h28	橋脚	1.00	1.20	1200
h29	橋脚	1.80	1.60	2880
h30	橋脚	0.30	2.60	780
h31	橋脚	0.50	1.60	800
h32	橋脚	0.60	2.80	1680
h33	橋脚	0.50	1.60	800
h34	橋脚	0.30	0.90	270
h35	橋脚	0.20	0.20	40
h36	橋脚	0.30	0.80	240
h37	橋脚	0.40	0.20	80
h38	橋脚	0.70	1.60	1120
h39	橋脚	0.60	1.00	600
h40	橋脚	0.20	0.20	40
h41	橋脚	0.30	0.40	120
h42	橋脚	0.30	0.40	120
h43	橋脚	0.60	0.80	480
h44	橋脚	0.50	1.60	800

東部陸橋 補修図(その14)

ひびわれ注入工 (0. 2mm≦w≦5. 0mm)				
番号	損傷部位	寸法		
		幅w (mm)	延長L (m)	面積A (mm2)
h45	橋脚	0. 40	1. 00	400
h46	橋脚	0. 30	0. 60	180
h47	橋脚	0. 20	0. 25	50
h48	橋脚	0. 30	0. 45	135
h49	橋脚	0. 30	0. 60	180
h50	橋脚	0. 20	0. 35	70
h51	橋脚	0. 20	0. 30	60
h52	橋脚	0. 20	0. 20	40
h53	橋脚	0. 80	1. 10	880
h54	橋脚	0. 20	0. 50	100
h55	橋脚	1. 00	1. 60	1600
h56	橋脚	0. 20	0. 25	50
h57	橋脚	0. 30	0. 25	75
h58	橋脚	0. 20	0. 30	60
h59	橋脚	0. 30	0. 25	75
h60	橋脚	1. 20	0. 80	960
計			57. 75	32235

東部陸橋 補修図(その15)

ひびわれ注入工 (0. 2mm≦w≦5. 0mm)				
番号	損傷部位	寸法		
		幅w (mm)	延長L (m)	面積A (mm2)
h1	床版	0. 30	0. 30	90
h2	床版	0. 30	0. 30	90
h3	床版	0. 20	0. 65	130
h4	床版	0. 20	0. 40	80
h5	床版	0. 20	0. 40	80
h6	床版	0. 20	0. 30	60
h7	床版	0. 20	0. 40	80
h8	PC定着部	0. 20	0. 35	70
h9	PC定着部	0. 20	0. 10	20
計			3. 20	700

東部陸橋 補修図(その16)

ひびわれ注入工 (0. 2mm≦w≦5. 0mm)				
番号	損傷部位	寸法		
		幅w (mm)	延長L (m)	面積A (mm2)
h1	橋脚	0. 20	0. 60	120
h2	橋脚	0. 20	0. 60	120
計			1. 20	240

東部陸橋 補修図(その17)

ひびわれ注入工 (0. 2mm≦w≦5. 0mm)				
番号	損傷部位	寸法		
		幅w (mm)	延長L (m)	面積A (mm2)
h1	横桁	0. 20	0. 45	90
h2	床版	0. 20	0. 60	120
h3	床版	0. 20	0. 65	130
h4	床版	0. 20	0. 40	80
h5	床版	0. 20	0. 50	100
計			2. 60	520

東部陸橋 補修図(その18)

ひびわれ注入工 (0. 2mm≦w≦5. 0mm)				
番号	損傷部位	寸法		
		幅w (mm)	延長L (m)	面積A (mm2)
h1	橋脚	0. 80	1. 10	880
h2	橋脚	0. 30	0. 40	120
h3	橋脚	0. 40	0. 90	360
h4	橋脚	0. 40	0. 20	80
h5	橋脚	0. 30	0. 40	120
h6	橋脚	0. 30	0. 55	165
h7	橋脚	0. 50	0. 50	250
h8	橋脚	0. 20	0. 55	110
h9	橋脚	0. 50	1. 60	800
h10	橋脚	0. 20	0. 95	190
計			7. 15	3075

東部陸橋 補修図(その19)

ひびわれ注入工 (0.2mm≦w≦5.0mm)				
番号	損傷部位	寸法		
		幅w (mm)	延長L (m)	面積A (mm ²)
h1	主桁	0.20	0.15	30
h2	主桁	0.20	0.10	20
h3	主桁	0.20	0.20	40
h4	主桁	0.20	0.30	60
h5	床版	0.20	0.60	120
h6	床版	0.20	0.65	130
h7	床版	0.20	0.30	60
h8	床版	0.20	0.30	60
計			2.60	520

東部陸橋 補修図(その20)

ひびわれ注入工 (0.2mm≦w≦5.0mm)				
番号	損傷部位	寸法		
		幅w (mm)	延長L (m)	面積A (mm ²)
h1	橋台	0.20	0.40	80
h2	橋台	0.30	0.80	240
h3	橋台	0.60	0.85	510
h4	橋台	1.10	1.85	2035
h5	橋台	0.30	0.45	135
h6	橋台	0.20	0.60	120
h7	橋台	0.80	1.80	1440
h8	橋台	0.90	1.85	1665
h9	橋台	0.20	1.00	200
h10	橋台	0.30	0.75	225
h11	橋台	0.40	0.80	320
h12	橋台	0.30	0.50	150
h13	橋台	0.30	0.80	240
h14	橋台	0.20	0.85	170
h15	橋台	0.40	1.20	480
計			14.50	8010

3.2 断面修復工

(1) 断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・防錆処理含む）

1) 修復面積・体積

断面修復工 数量調書より

部位		面積 (m ²)	修復厚 (m)	体積 (m ³)	施工区分	備考
上部工	A1-P1間	2.594	0.050	0.130	吊足場	補修図(その1)
	P1-P2間	0.450	0.050	0.023	吊足場	補修図(その4)
	P2-P3間	2.952	0.050	0.148	吊足場	補修図(その6)
	P3-P4間	1.530	0.050	0.077	吊足場	補修図(その8)
	P5-P6間	3.746	0.050	0.187	吊足場	補修図(その12)
	P6-P7間	1.091	0.050	0.055	吊足場	補修図(その15)
	P7-P8間	2.438	0.050	0.122	吊足場	補修図(その17)
	P8-A2間	2.218	0.050	0.111	吊足場	補修図(その19)
小計		17.019	-	0.853	-	-
下部工	A1橋台	0.038	0.100	0.004	桷組足場	補修図(その2)
	P1橋脚	0.350	0.100	0.035	桷組足場	補修図(その3)
	P3橋脚	0.339	0.100	0.034	桷組足場	補修図(その7)
	P6橋脚 起点側	0.010	0.100	0.001	桷組足場	補修図(その13)
	P7橋脚	0.103	0.100	0.010	桷組足場	補修図(その16)
	P8橋脚	4.613	0.100	0.461	桷組足場	補修図(その18)
	小計	5.453	-	0.545	-	-
合計		22.472	-	1.398	-	-

※修復厚は以下のとおり想定する

- ・上部工、橋面工 : 50 mm (ポリマーセメントモルタル)
- ・下部工 : 100 mm (亜硝酸リチウム含有ポリマーセメントモルタル)

2) はつり

$$A = \text{修復面積と同じ} = \underline{22.472 \text{ m}^2}$$

3) 施工量

$$V = \text{修復体積と同じ} = \underline{1.398 \text{ m}^3}$$

(2) 断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・防錆処理含まない）

1) 修復面積・体積

断面修復工 数量調書より

部位		面積 (m ²)	修復厚 (m)	体積 (m ³)	施工区分	備考
全部材	P1-P2間	0.020	0.030	0.001	吊足場	補修図(その4)
	P2-P3間	0.010	0.030	0.001	吊足場	補修図(その6)
	P5-P6間	0.030	0.030	0.001	吊足場	補修図(その12)
	P6-P7間	0.023	0.030	0.001	吊足場	補修図(その15)
	P7-P8間	0.020	0.030	0.001	吊足場	補修図(その17)
	P8-A2間	0.023	0.030	0.001	吊足場	補修図(その19)
	小計	0.126	—	0.006	—	—
全部材	A1橋台	0.060	0.030	0.002	桟組足場	補修図(その2)
	小計	0.060	—	0.002	—	—
合計		0.186	—	0.008	—	—

※修復厚は以下のとおり想定する

・全部材 : 30 mm (ポリマーセメントモルタル)

2) はつり

$$A = \text{施工面積と同じ} = \underline{0.186 \text{ m}^2}$$

3) 施工量

$$V = \text{修復体積と同じ} = \underline{0.008 \text{ m}^3}$$

4) 断面修復材

ポリマーセメントモルタル

$$W = \text{体積} \times \text{ロス率}$$

$$W = 0.861 \times 1.18 = \underline{1.016 \text{ m}^3}$$

上部工・全部材

亜硝酸リチウム含有[※]ポリマーセメントモルタル

$$W = \text{体積} \times \text{ロス率}$$

$$W = 0.545 \times 1.18 = \underline{0.643 \text{ m}^3}$$

下部工

処分費

コンクリート殻

$$0.853 + 0.545 + 0.008 = \underline{1.406 \text{ m}^3}$$

$$1.406 * 2.350 = \underline{3.30 \text{ t}}$$

断面修復工 数量調書（鉄筋ケレン・防錆処理を含む）

(No. 1)

東部陸橋 補修図(その1)

断面修復工		※防錆処理含む			
番号	損傷部位	寸法(m)		箇所	面積(m ²)
T1	PC定着部	0.44 ×	0.73	1	0.321
T2	防護柵	0.30 ×	0.40	1	0.120
T3	防護柵	0.30 ×	0.20	1	0.060
T4	防護柵	0.30 ×	0.30	1	0.090
T5	防護柵	0.20 ×	0.40	1	0.080
T6	PC定着部	0.40 ×	0.40	1	0.160
T7	床版	0.20 ×	0.10	1	0.020
T8	地覆	0.25 ×	0.10	1	0.025
T9	床版	0.40 ×	0.50	1	0.200
T10	地覆	0.30 ×	0.10	1	0.030
T11	地覆	0.35 ×	0.10	1	0.035
T12	地覆	0.30 ×	0.10	1	0.030
T13	地覆	0.40 ×	0.10	1	0.040
T14	地覆	0.40 ×	0.10	1	0.040
T15	地覆	0.50 ×	0.10	1	0.050
T16	地覆	0.50 ×	0.10	1	0.050
T17	地覆	0.50 ×	0.10	1	0.050
T18	地覆	0.50 ×	0.10	1	0.050
T19	防護柵	0.30 ×	0.60	1	0.180
T20	PC定着部	0.10 ×	0.10	1	0.010
T21	PC定着部	0.40 ×	0.40	1	0.160
T22	防護柵	0.20 ×	0.20	1	0.040
T23	防護柵	0.20 ×	0.20	1	0.040
T24	防護柵	0.40 ×	0.30	1	0.120
T25	防護柵	0.25 ×	0.25	1	0.063
T26	PC定着部	0.20 ×	0.30	1	0.060
T27	PC定着部	0.20 ×	0.20	1	0.040
T28	PC定着部	0.20 ×	0.30	1	0.060
T29	PC定着部	0.20 ×	0.20	1	0.040
T30	主桁	0.10 ×	0.10	1	0.010
T31	地覆	0.40 ×	0.10	1	0.040
T32	地覆	0.20 ×	0.10	1	0.020
T33	防護柵	0.40 ×	0.35	1	0.140
T34	防護柵	0.10 ×	0.10	1	0.010
T35	防護柵	0.10 ×	0.10	1	0.010
T36	PC定着部	0.20 ×	0.20	1	0.040
T37	PC定着部	0.20 ×	0.30	1	0.060
計					2.594

東部陸橋 補修図(その2)

断面修復工		※防錆処理含む			
番号	損傷部位	寸法(m)		箇所	面積(m ²)
T1	橋台	0.15 ×	0.25	1	0.038
計					0.038

東部陸橋 補修図(その3)

断面修復工		※防錆処理含む			
番号	損傷部位	寸法(m)		箇所	面積(m ²)
T1	橋脚	0.30 ×	0.15	1	0.045
T2	橋脚	0.10 ×	0.10	1	0.010
T3	橋脚	0.80 ×	0.15	1	0.120
T4	橋脚	0.25 ×	0.40	1	0.100
T5	橋脚	0.75 ×	0.10	1	0.075
計					0.350

東部陸橋 補修図(その4)

断面修復工		※防錆処理含む			
番号	損傷部位	寸法(m)		箇所	面積(m ²)
T1	PC定着部	0.35 ×	0.20	1	0.070
T2	地覆	0.50 ×	0.10	1	0.050
T3	地覆	0.40 ×	0.10	1	0.040
T4	地覆	0.40 ×	0.10	1	0.040
T5	主桁	0.10 ×	0.10	1	0.010
T6	横桁	0.20 ×	0.10	1	0.020
T7	横桁	0.10 ×	0.10	1	0.010
T8	横桁	0.10 ×	0.10	1	0.010
T9	横桁	0.10 ×	0.10	1	0.010
T10	PC定着部	0.20 ×	0.30	1	0.060
T11	PC定着部	0.20 ×	0.20	1	0.040
T12	PC定着部	0.20 ×	0.30	1	0.060
T13	地覆	0.10 ×	0.10	1	0.010
T14	地覆	0.20 ×	0.10	1	0.020
計					0.450

東部陸橋 補修図(その6)

断面修復工		※防錆処理含む		
番号	損傷部位	寸法(m)	箇所	面積(m ²)
T1	PC定着部	0.15 × 0.20	1	0.030
T2	PC定着部	0.15 × 0.15	1	0.023
T3	地覆	0.30 × 0.10	1	0.030
T4	地覆	0.40 × 0.10	1	0.040
T5	地覆	0.40 × 0.10	1	0.040
T6	地覆	1.10 × 0.15	1	0.165
T7	地覆	0.50 × 0.10	1	0.050
T8	地覆	0.50 × 0.10	1	0.050
T9	地覆	0.40 × 0.10	1	0.040
T10	床版	0.30 × 0.10	1	0.030
T11	床版	0.40 × 0.60	1	0.240
T12	地覆	0.30 × 0.10	1	0.030
T13	地覆	0.40 × 0.10	1	0.040
T14	地覆	0.40 × 0.10	1	0.040
T15	地覆	0.40 × 0.10	1	0.040
T16	地覆	0.50 × 0.10	1	0.050
T17	地覆	0.40 × 0.10	1	0.040
T18	地覆	0.30 × 0.10	1	0.030
T19	地覆	0.40 × 0.15	1	0.060
T20	地覆	0.40 × 0.10	1	0.040
T21	地覆	0.40 × 0.10	1	0.040
T22	地覆	0.40 × 0.10	1	0.040
T23	地覆	0.80 × 0.10	1	0.080
T24	地覆	0.40 × 0.10	1	0.040
T25	PC定着部	0.44 × 0.73	1	0.321
T26	防護柵	2.00 × 0.30	1	0.600
T27	PC定着部	0.10 × 0.10	1	0.010
T28	横桁	0.20 × 0.40	1	0.080
T29	横桁	0.10 × 0.30	1	0.030
T30	横桁	0.10 × 0.30	1	0.030
T31	防護柵	0.60 × 0.35	1	0.210
T32	地覆	0.10 × 0.10	1	0.010
T33	地覆	0.30 × 0.10	1	0.030
T34	地覆	0.10 × 0.10	1	0.010
T35	地覆	0.20 × 0.10	1	0.020
T36	地覆	0.10 × 0.10	1	0.010
T37	地覆	0.10 × 0.10	1	0.010
T38	地覆	0.10 × 0.30	1	0.030
T39	防護柵	0.25 × 0.10	1	0.025

T40	PC定着部	0.30 × 0.40	1	0.120
T41	横桁	0.10 × 0.10	1	0.010
T42	横桁	0.15 × 0.35	1	0.053
T43	横桁	0.10 × 0.35	1	0.035
計				2.952

東部陸橋 補修図(その7)

断面修復工		※防錆処理含む		
番号	損傷部位	寸法(m)	箇所	面積(m ²)
T1	橋脚	0.25 × 0.40	1	0.100
T2	橋脚	0.15 × 0.15	1	0.023
T3	橋脚	0.10 × 0.25	1	0.025
T4	橋脚	0.15 × 0.40	1	0.060
T5	橋脚	0.15 × 0.15	1	0.023
T6	橋脚	0.15 × 0.15	1	0.023
T7	階段部架台	0.25 × 0.10	1	0.025
T8	階段部架台	0.20 × 0.10	1	0.020
T9	橋脚	0.10 × 0.10	1	0.010
T10	橋脚	0.10 × 0.10	1	0.010
T11	橋脚	0.10 × 0.20	1	0.020
計				0.339

東部陸橋 補修図(その8)

断面修復工		※防錆処理含む		
番号	損傷部位	寸法(m)	箇所	面積(m ²)
T1	PC定着部	0.30 × 0.20	1	0.060
T2	PC定着部	0.20 × 0.10	1	0.020
T3	地覆	0.10 × 0.55	1	0.055
T4	主桁	0.10 × 0.20	1	0.020
T5	主桁	0.10 × 0.25	1	0.025
T6	主桁	0.10 × 0.20	1	0.020
T7	PC定着部	0.35 × 0.40	1	0.140
T8	PC定着部	0.35 × 0.20	1	0.070
T9	横桁	0.15 × 0.50	1	0.075
T10	横桁	0.20 × 0.80	1	0.160
T11	横桁	0.15 × 0.35	1	0.053
T12	横桁	0.15 × 0.15	1	0.023
T13	横桁	0.10 × 0.20	1	0.020
T14	横桁	0.10 × 0.25	1	0.025
T15	横桁	0.10 × 0.80	1	0.080
T16	横桁	0.10 × 0.70	1	0.070
T17	横桁	0.15 × 0.15	1	0.023
T18	横桁	0.10 × 0.10	1	0.010
T19	PC定着部	0.45 × 0.35	1	0.158
T20	PC定着部	0.30 × 0.25	1	0.075
T21	PC定着部	0.40 × 0.20	1	0.080
T22	防護柵	0.20 × 0.10	1	0.020
T23	防護柵	0.20 × 0.10	1	0.020
T24	床版	0.10 × 0.15	1	0.015
T25	床版	0.30 × 0.15	1	0.045
T26	主桁	0.10 × 0.10	1	0.010
T27	PC定着部	0.25 × 0.20	1	0.050
T28	PC定着部	0.30 × 0.20	1	0.060
T29	横桁	0.15 × 0.15	1	0.023
T30	横桁	0.10 × 0.25	1	0.025
計				1.530

東部陸橋 補修図(その12)

断面修復工		※防錆処理含む		
番号	損傷部位	寸法(m)	箇所	面積(m ²)
T1	PC定着部	0.70 × 0.25	1	0.175
T2	PC定着部	0.40 × 0.20	1	0.080
T3	PC定着部	0.10 × 0.10	1	0.010
T4	PC定着部	0.70 × 0.20	1	0.140
T5	PC定着部	0.30 × 0.10	1	0.030
T6	PC定着部	0.35 × 0.20	1	0.070
T7	PC定着部	0.35 × 0.20	1	0.070
T8	PC定着部	0.55 × 0.40	1	0.220
T9	主桁	0.20 × 0.10	3	0.060
T10	主桁	0.20 × 0.10	3	0.060
T11	主桁	0.20 × 0.10	4	0.080
T12	主桁	0.20 × 0.10	1	0.020
T13	主桁	0.20 × 0.10	3	0.060
T14	主桁	0.20 × 0.10	3	0.060
T15	主桁	0.10 × 0.40	1	0.040
T16	PC定着部	0.15 × 0.15	1	0.023
T17	主桁	0.15 × 0.25	1	0.038
T18	主桁	0.10 × 0.20	1	0.020
T19	主桁	0.15 × 0.25	1	0.038
T20	主桁	0.15 × 0.25	1	0.038
T21	主桁	0.15 × 0.25	1	0.038
T22	PC定着部	0.50 × 0.20	1	0.100
T23	PC定着部	0.70 × 0.20	1	0.140
T24	PC定着部	0.70 × 0.40	1	0.280
T25	横桁	0.10 × 0.20	1	0.020
T26	横桁	0.10 × 0.50	1	0.050
T27	横桁	0.10 × 0.85	1	0.085
T28	横桁	0.10 × 0.40	1	0.040
T29	横桁	0.40 × 0.15	1	0.060
T30	横桁	0.10 × 0.70	1	0.070
T31	横桁	0.25 × 0.15	1	0.038
T32	横桁	0.10 × 0.35	1	0.035
T33	主桁	0.30 × 0.15	1	0.045
T34	PC定着部	0.70 × 0.20	1	0.140
T35	防護柵	0.55 × 1.60	1	0.880
T36	防護柵	0.10 × 0.15	1	0.015
T37	防護柵	0.20 × 0.10	1	0.020
T38	防護柵	0.10 × 0.20	1	0.020
T39	防護柵	0.25 × 0.10	1	0.025
T40	防護柵	0.10 × 0.10	1	0.010

東部陸橋 補修図(その12)

断面修復工		※防錆処理含む		
番号	損傷部位	寸法(m)	箇所	面積(m ²)
T41	防護柵	0.45 × 0.10	1	0.045
T42	防護柵	0.10 × 0.25	1	0.025
T43	地覆	0.25 × 0.10	1	0.025
T44	PC定着部	0.10 × 0.40	1	0.040
T45	防護柵	0.30 × 0.40	1	0.120
T46	防護柵	0.25 × 0.15	1	0.038
T47	横桁	0.10 × 0.10	1	0.010
計				3.746

東部陸橋 補修図(その13)

断面修復工		※防錆処理含む		
番号	損傷部位	寸法(m)	箇所	面積(m ²)
T1	橋脚	0.10 × 0.10	1	0.010
計				0.010

東部陸橋 補修図(その15)

断面修復工		※防錆処理含む		
番号	損傷部位	寸法(m)	箇所	面積(m ²)
T1	PC定着部	0.50 × 0.15	1	0.075
T2	PC定着部	0.40 × 0.20	1	0.080
T3	地覆	0.40 × 0.10	1	0.040
T4	主桁	0.40 × 0.15	1	0.060
T5	主桁	0.20 × 0.10	1	0.020
T6	地覆	0.50 × 0.15	1	0.075
T7	地覆	0.50 × 0.15	1	0.075
T8	PC定着部	0.20 × 0.20	1	0.040
T9	PC定着部	0.15 × 0.15	1	0.023
T10	横桁	0.10 × 0.50	1	0.050
T11	横桁	0.10 × 0.40	1	0.040
T12	横桁	0.25 × 0.85	1	0.213
T13	横桁	0.10 × 0.80	1	0.080
T14	横桁	0.10 × 0.35	1	0.035
T15	横桁	0.10 × 0.35	1	0.035
T16	横桁	0.40 × 0.15	1	0.060
T17	主桁	0.20 × 0.10	1	0.020
T18	床版	0.10 × 0.30	1	0.030
T19	防護柵	0.10 × 0.10	1	0.010
T20	防護柵	0.15 × 0.20	1	0.030
計				1.091

東部陸橋 補修図(その16)

断面修復工		※防錆処理含む		
番号	損傷部位	寸法(m)	箇所	面積(m ²)
T1	橋脚	0.25 × 0.25	1	0.063
T2	橋脚	0.10 × 0.10	1	0.010
T3	橋脚	0.10 × 0.10	1	0.010
T4	橋脚	0.10 × 0.10	1	0.010
T5	橋脚	0.10 × 0.10	1	0.010
計				0.103

東部陸橋 補修図(その17)

断面修復工		※防錆処理含む		
番号	損傷部位	寸法(m)	箇所	面積(m ²)
T1	PC定着部	0.50 × 0.20	1	0.100
T2	PC定着部	0.70 × 0.45	1	0.315
T3	地覆	0.30 × 0.10	1	0.030
T4	地覆	0.70 × 0.10	1	0.070
T5	地覆	0.40 × 0.15	1	0.060
T6	床版	0.10 × 0.40	1	0.040
T7	床版	0.25 × 0.15	1	0.038
T8	地覆	0.50 × 0.10	1	0.050
T9	地覆	0.35 × 0.10	1	0.035
T10	PC定着部	0.50 × 0.45	1	0.225
T11	PC定着部	0.70 × 0.45	1	0.315
T12	横桁	0.30 × 0.85	1	0.255
T13	横桁	0.10 × 0.85	1	0.085
T14	横桁	0.10 × 0.85	1	0.085
T15	横桁	0.10 × 0.85	1	0.085
T16	横桁	0.10 × 0.10	2	0.020
T17	横桁	0.10 × 0.80	1	0.080
T18	横桁	0.10 × 0.10	1	0.010
T19	横桁	0.30 × 0.85	1	0.255
T20	横桁	0.10 × 0.10	2	0.020
T21	横桁	0.10 × 0.30	1	0.030
T22	横桁	0.10 × 0.20	1	0.020
T23	PC定着部	0.30 × 0.20	1	0.060
T24	PC定着部	0.20 × 0.20	1	0.040
T25	PC定着部	0.20 × 0.20	1	0.040
T26	防護柵	0.15 × 0.20	1	0.030
T27	主桁	0.10 × 0.20	1	0.020
T28	床版	0.15 × 0.10	1	0.015
T29	地覆	0.10 × 0.10	1	0.010
計				2.438

東部陸橋 補修図(その18)

断面修復工		※防錆処理含む		
番号	損傷部位	寸法(m)	箇所	面積(m ²)
T1	橋脚	0.20 × 0.10	1	0.020
T2	橋脚	0.25 × 0.20	1	0.050
T3	橋脚	0.30 × 0.20	1	0.060
T4	橋脚	0.15 × 0.60	1	0.090
T5	橋脚	0.45 × 1.40	1	0.630
T6	橋脚	0.10 × 0.10	1	0.010
T7	橋脚	1.10 × 1.50	1	1.650
T8	橋脚	0.40 × 0.45	1	0.180
T9	橋脚	0.40 × 0.80	1	0.320
T10	橋脚	0.50 × 2.30	1	1.150
T11	橋脚	0.70 × 0.35	1	0.245
T12	橋脚	0.35 × 0.35	1	0.123
T13	橋脚	0.10 × 0.10	1	0.010
T14	橋脚	0.30 × 0.25	1	0.075
計				4.613

東部陸橋 補修図(その19)

断面修復工		※防錆処理含む		
番号	損傷部位	寸法(m)	箇所	面積(m ²)
T1	PC定着部	0.70 × 0.40	1	0.280
T2	PC定着部	0.25 × 0.20	1	0.050
T3	PC定着部	0.25 × 0.20	1	0.050
T4	PC定着部	0.40 × 0.20	1	0.080
T5	PC定着部	0.70 × 0.44	1	0.308
T6	地覆	0.15 × 0.10	1	0.015
T7	地覆	0.50 × 0.10	1	0.050
T8	地覆	0.50 × 0.10	1	0.050
T9	地覆	0.50 × 0.10	1	0.050
T10	PC定着部	0.70 × 0.45	1	0.315
T11	PC定着部	0.20 × 0.20	1	0.040
T12	PC定着部	0.10 × 0.10	1	0.010
T13	横桁	0.30 × 0.40	1	0.120
T14	横桁	0.10 × 0.40	1	0.040
T15	横桁	0.15 × 0.40	1	0.060
T16	横桁	0.20 × 0.85	1	0.170
T17	横桁	0.20 × 0.85	1	0.170
T18	横桁	0.20 × 0.85	1	0.170
T19	横桁	0.10 × 0.10	1	0.010
T20	PC定着部	0.20 × 0.30	1	0.060
T21	地覆	0.30 × 0.10	1	0.030
T22	防護柵	0.10 × 0.10	1	0.010
T23	横桁	0.10 × 0.40	1	0.040
T24	横桁	0.20 × 0.20	1	0.040
計				2.218

東部陸橋 補修図(その2)

断面修復工		※防錆処理含まない		
番号	損傷部位	寸法(m)	箇所	面積(m ²)
t1	橋台	0.40 × 0.15	1	0.060
計				0.060

東部陸橋 補修図(その4)

断面修復工		※防錆処理含まない		
番号	損傷部位	寸法(m)	箇所	面積(m ²)
t1	主桁	0.20 × 0.10	1	0.020
計				0.020

東部陸橋 補修図(その6)

断面修復工		※防錆処理含まない		
番号	損傷部位	寸法(m)	箇所	面積(m ²)
t1	主桁	0.10 × 0.10	1	0.010
計				0.010

東部陸橋 補修図(その12)

断面修復工		※防錆処理含まない		
番号	損傷部位	寸法(m)	箇所	面積(m ²)
t1	主桁	0.30 × 0.10	1	0.030
計				0.030

東部陸橋 補修図(その15)

断面修復工		※防錆処理含まない		
番号	損傷部位	寸法(m)	箇所	面積(m ²)
t1	主桁	0.15 × 0.15	1	0.023
計				0.023

東部陸橋 補修図(その17)

断面修復工		※防錆処理含まない		
番号	損傷部位	寸法(m)	箇所	面積(m ²)
t1	主桁	0.20 × 0.10	1	0.020
計				0.020

東部陸橋 補修図(その19)

断面修復工		※防錆処理含まない		
番号	損傷部位	寸法(m)	箇所	面積(m ²)
t1	主桁	0.15 × 0.15	1	0.023
計				0.023

3.3 表面処理工

1. 集計

細別	規格	単位	数量		
			A1、A2橋台	P1～P3橋脚 P6～P8橋脚	合計
下地処理		m2	78.20	409.39	487.59
表面含浸工	亜硝酸リチウム +シラン・シロキサン系	m2	-	409.39	409.39
	シラン・シロキサン系	m2	78.20	-	78.20

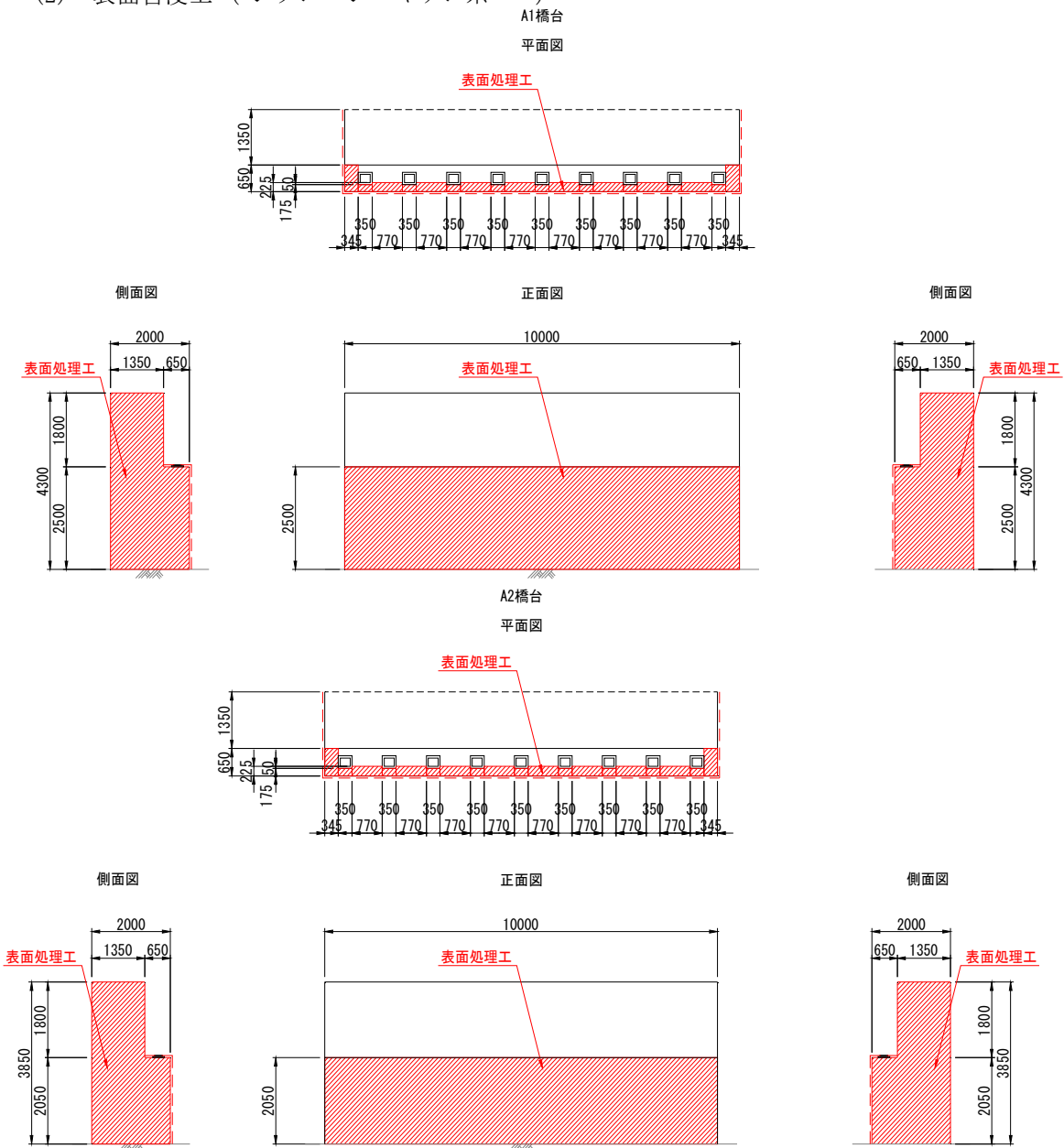
※ 明細は、次頁以降参照のこと。

2. 下部工 (A1、A2橋台)

(1) 下地処理

$$A = \quad (2) \text{ 表面含浸工 } \quad \text{より} \quad = \underline{78.20 \text{ m}^2}$$

(2) 表面含浸工 (シラン・シロキサン系)



1) A1橋台

橋座

$$a1 = 0.345 \times 0.650 \times 2 + 0.350 \times 0.175 \times 9 + 0.770 \times 0.225 \times 8 = 2.386 \text{ m}^2$$

正面

$$a2 = 10.000 \times 2.500 = 25.000 \text{ m}^2$$

側面

$$a3 = (1.350 \times 4.300 + 0.650 \times 2.500) \times 2 = 14.860 \text{ m}^2$$

$$\Sigma = 42.25 \text{ m}^2$$

2) A2橋台

橋座

$$a1 = 0.345 \times 0.650 \times 2 + 0.350 \times 0.175 \times 9 + 0.770 \times 0.225 \times 8 = 2.386 \text{ m}^2$$

正面

$$a2 = 10.000 \times 2.050 = 20.500 \text{ m}^2$$

側面

$$a3 = (1.350 \times 3.850 + 0.650 \times 2.050) \times 2 = 13.060 \text{ m}^2$$

$$\Sigma = 35.95 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = \underset{\text{A1橋台}}{42.25} + \underset{\text{A2橋台}}{35.95} = 78.20 \text{ m}^2$$

(3) 材料使用量

(参考) 使用材料： シラン・シロキサン系 表面含浸材 0.18kg/m²、1回塗り (ロス10%)
(プロコンガードS)

単管足場作業

① 面積合計

$$A = \underline{78.20 \text{ m}^2}$$

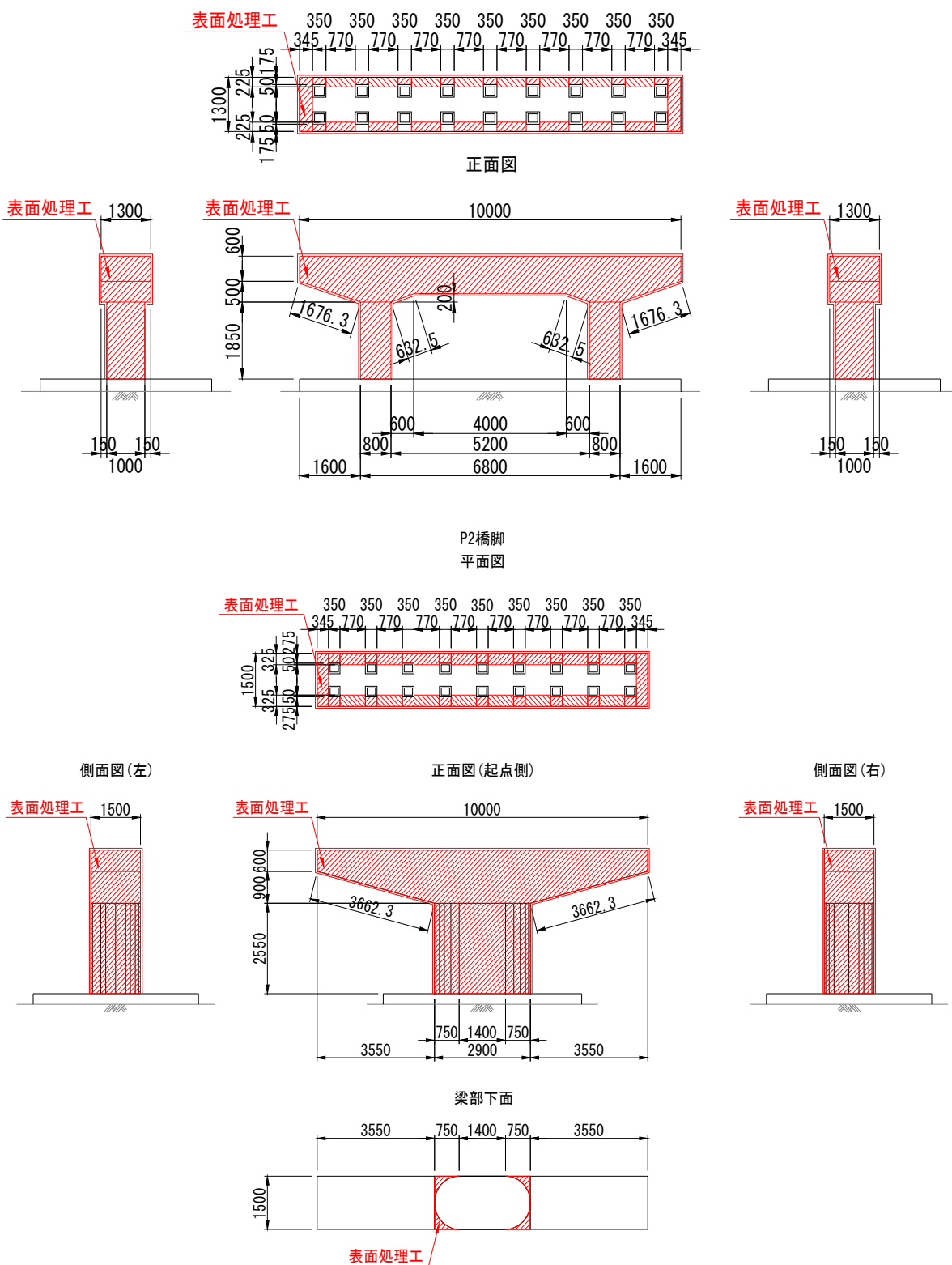
② 材料使用量

$$W = 78.20 \times 0.18 \text{ kg/m}^2 \times 1.1 \text{ (ロス率)} = \underline{15.48 \text{ kg}}$$

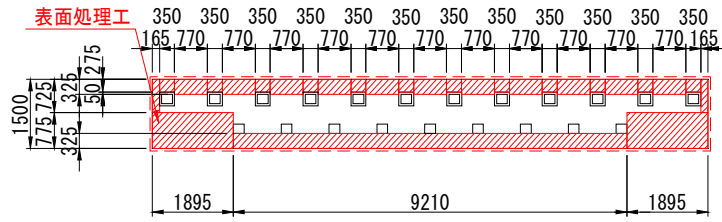
(1) 下地処理

$$\Sigma A = \frac{209.62}{\text{P1} \sim \text{P3 橋脚}} + \frac{199.77}{\text{P6} \sim \text{P8 橋脚}} = \underline{\underline{409.39 \text{ m}^2}}$$

P1橋脚
平面図



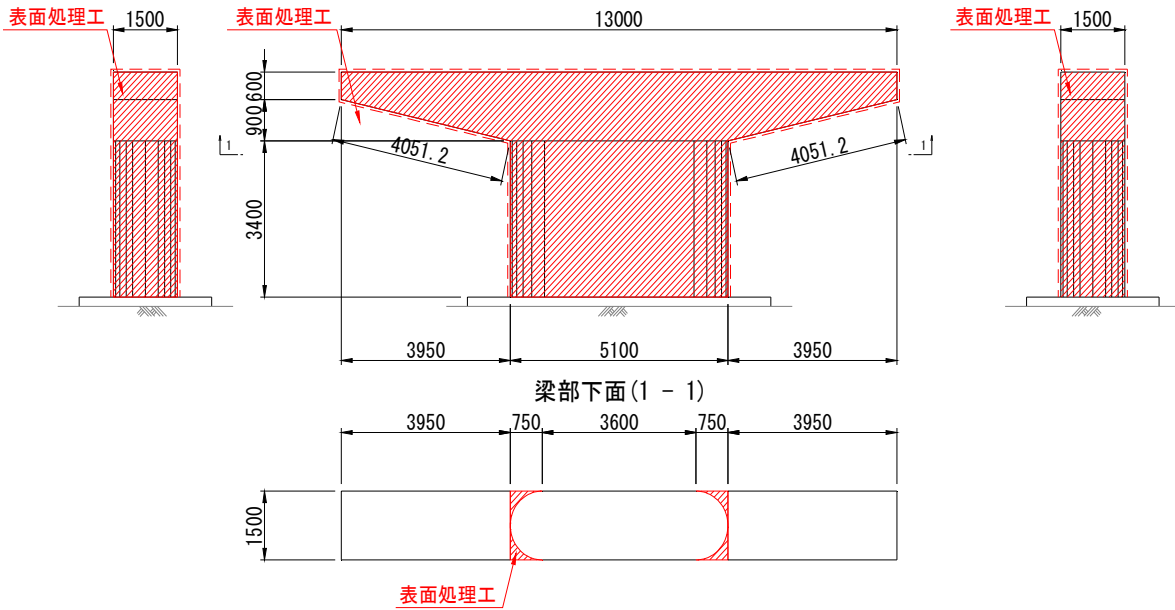
P3橋脚
平面図



側面図(左)

正面図(起点側)

側面図(右)



1) P1橋脚

橋座

$$a1 = 0.345 \times 1.300 \times 2 + 0.350 \times 0.175 \times 18 + 0.770 \times 0.225 \times 16 = 4.772 \text{ m}^2$$

梁部正面

$$a2 = \{ 10.000 \times 0.600 + (10.000 + 6.800) \times 0.500 \times 1/2 - (4.000 + 5.200) \times 0.200 \times 1/2 \} \times 2 \text{ 面} = 18.560 \text{ m}^2$$

梁部側面・下面

$$a3 = \{ (0.600 + 1.676 + 0.633) \times 2 + 4.000 \} \times 1.300 + 0.800 \times 0.150 \times 4 = 13.243 \text{ m}^2$$

柱部正面・側面

$$a3 = (0.800 \times 1.850 + 1.000 \times 1.850) \times 4 = 13.320 \text{ m}^2$$

$$\Sigma = 49.90 \text{ m}^2$$

2) P2橋脚

橋座

$$a1 = 0.345 \times 1.500 \times 2 + 0.350 \times 0.275 \times 18 + 0.770 \times 0.325 \times 16 = 6.772 \text{ m}^2$$

梁部正面

$$a2 = \{ 10.000 \times 0.600 + (10.000 + 2.900) \times 0.900 \times 1/2 \} \times 2 \text{ 面} = 23.610 \text{ m}^2$$

梁部側面

$$L = (0.600 + 3.662) \times 2 = 8.524 \text{ m}$$

$$a3 = 8.524 \times 1.500 = 12.786 \text{ m}^2$$

梁部下面

$$a4 = (0.750 \times 1.500 - 1.500 \times 1.500 \times \pi \times 1/4 \times 1/2) \times 2 = 0.483 \text{ m}^2$$

柱部正面

$$a5 = 1.400 \times 2.550 \times 2 \text{ 面} = 7.140 \text{ m}^2$$

柱部側面

$$a6 = 1.500 \times \pi \times 1/2 \times 2.550 \times 2 \text{ 面} = 12.017 \text{ m}^2$$

$$\Sigma = 62.81 \text{ m}^2$$

3) P3橋脚

橋座

$$a1 = 0.165 \times 0.725 \times 2 + 1.895 \times 0.775 \times 2 + 0.350 \times 0.275 \times 12 + 0.770 \times 0.325 \times 11 + 9.210 \times 0.325 = 10.078 \text{ m}^2$$

梁部正面

$$a2 = \{ 13.000 \times 0.600 + (13.000 + 5.100) \times 0.900 \times 1/2 \} \times 2 \text{ 面} = 31.890 \text{ m}^2$$

梁部側面

$$L = (0.600 + 4.051) \times 2 = 9.302 \text{ m}$$

$$a3 = 9.302 \times 1.500 = 13.953 \text{ m}^2$$

梁部下面

$$a4 = (0.750 \times 1.500 - 1.500 \times 1.500 \times \pi \times 1/4 \times 1/2) \times 2 = 0.483 \text{ m}^2$$

柱部正面

$$a5 = 3.600 \times 3.400 \times 2 \text{ 面} = 24.480 \text{ m}^2$$

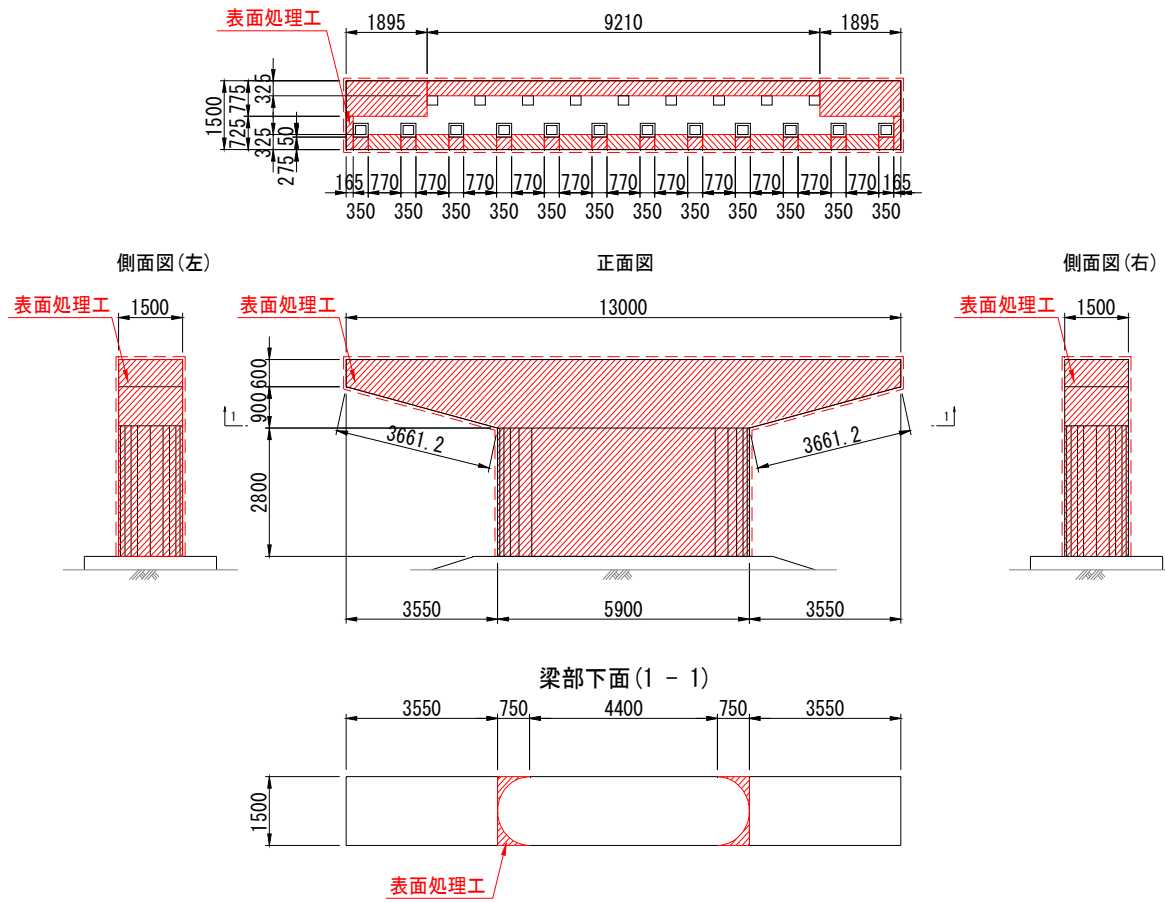
柱部側面

$$a6 = 1.500 \times \pi \times 1/2 \times 3.400 \times 2 \text{ 面} = 16.022 \text{ m}^2$$

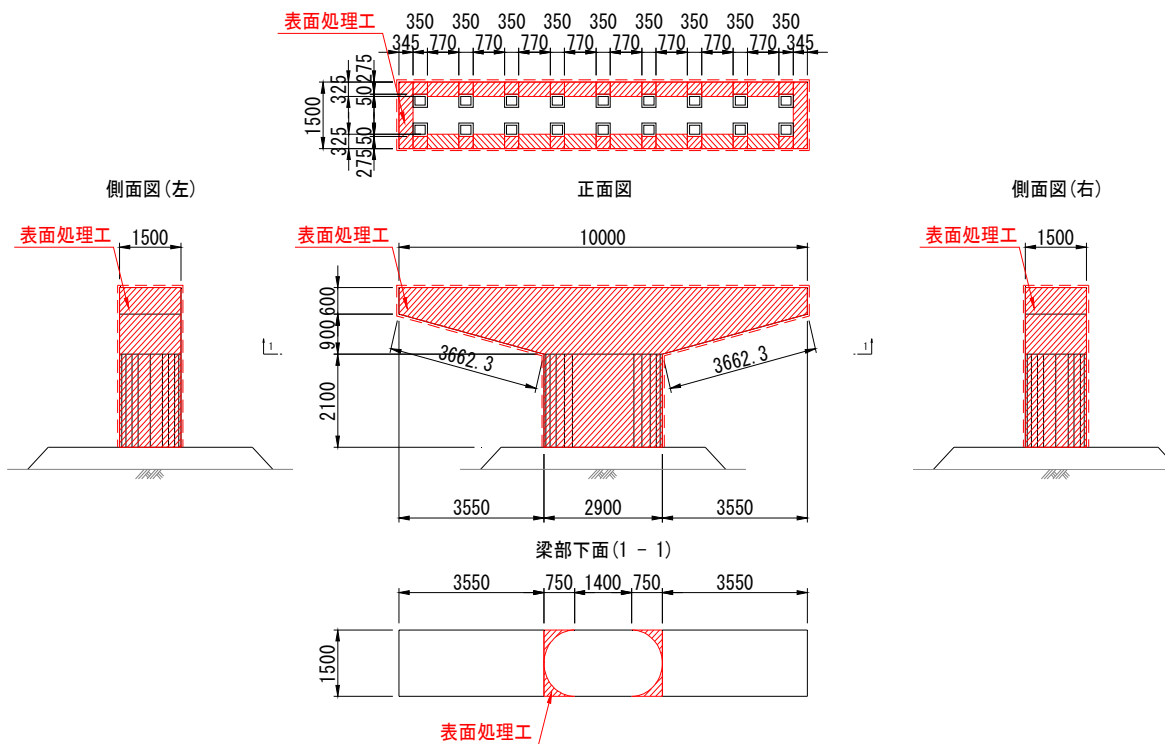
$$\Sigma = 96.91 \text{ m}^2$$

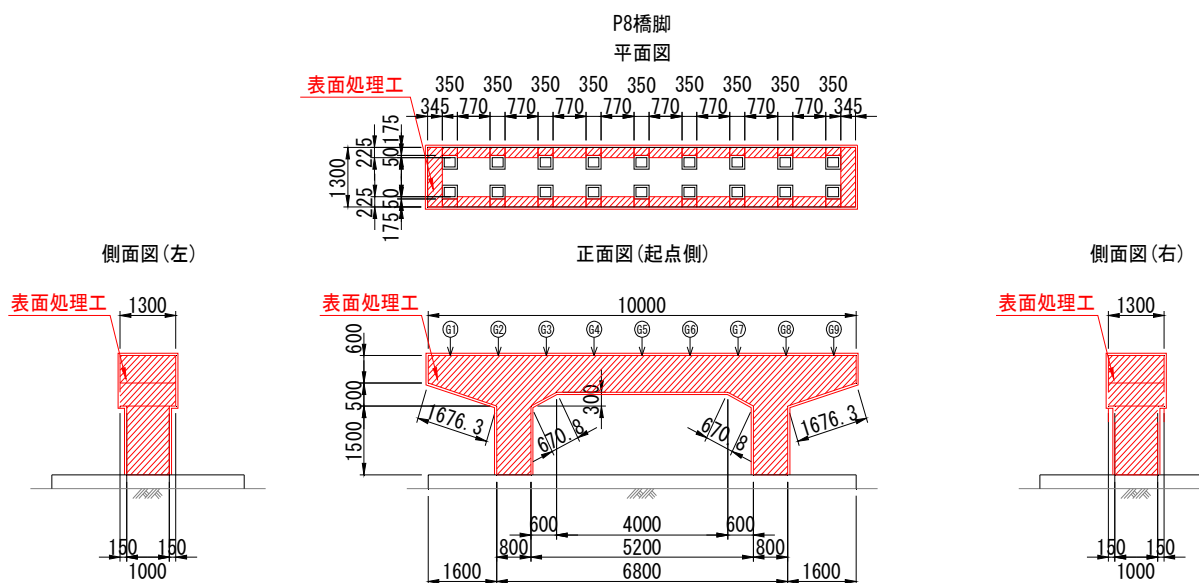
$$\text{跨線橋部以外 (P1-P3 径間)} \quad \Sigma A = \underset{\text{P1橋脚}}{49.90} + \underset{\text{P2橋脚}}{62.81} + \underset{\text{P3橋脚}}{96.91} = 209.62 \text{ m}^2$$

P6橋脚
平面圖



P7橋脚
平面圖





4) P6橋脚

橋座

$$\begin{aligned}
 a1 &= 0.165 \times 0.725 \times 2 + 1.895 \times 0.775 \times 2 \\
 &\quad + 0.350 \times 0.275 \times 12 + 0.770 \times 0.325 \times 11 \\
 &\quad + 9.210 \times 0.325 \\
 &= 10.078 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

梁部正面

$$\begin{aligned}
 a2 &= \{ 13.000 \times 0.600 + (13.000 + 5.900) \times 0.900 \\
 &\quad \times 1/2 \} \times 2 \text{ 面} \\
 &= 32.610 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

梁部側面

$$\begin{aligned}
 L &= (0.600 + 3.661) \times 2 = 8.522 \text{ m} \\
 a3 &= 8.522 \times 1.500 \\
 &= 12.783 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

梁部下面

$$\begin{aligned}
 a4 &= (0.750 \times 1.500 - 1.500 \times 1.500 \times \pi \times 1/4 \times 1/2 \\
 &\quad) \times 2 \\
 &= 0.483 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

柱部正面

$$\begin{aligned}
 a5 &= 4.400 \times 2.800 \times 2 \text{ 面} \\
 &= 24.640 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

柱部側面

$$\begin{aligned}
 a6 &= 1.500 \times \pi \times 1/2 \times 2.800 \times 2 \text{ 面} \\
 &= 13.195 \text{ m}^2 \\
 \Sigma &= 93.79 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

5) P7橋脚

橋座

$$a1 = 0.345 \times 1.500 \times 2 + 0.350 \times 0.275 \times 18 + 0.770 \times 0.325 \times 16 = 6.772 \text{ m}^2$$

梁部正面

$$a2 = \{ 10.000 \times 0.600 + (10.000 + 2.900) \times 0.900 \times 1/2 \} \times 2 \text{ 面} = 23.610 \text{ m}^2$$

梁部側面

$$L = (0.600 + 3.662) \times 2 = 8.524 \text{ m}$$

$$a3 = 8.524 \times 1.500 = 12.786 \text{ m}^2$$

梁部下面

$$a4 = (0.750 \times 1.500 - 1.500 \times 1.500 \times \pi \times 1/4 \times 1/2) \times 2 = 0.483 \text{ m}^2$$

柱部正面

$$a5 = 1.400 \times 2.100 \times 2 \text{ 面} = 5.880 \text{ m}^2$$

柱部側面

$$a6 = 1.500 \times \pi \times 1/2 \times 2.100 \times 2 \text{ 面} = 9.896 \text{ m}^2$$

$$\Sigma = 59.43 \text{ m}^2$$

6) P8橋脚

橋座

$$a1 = 0.345 \times 1.300 \times 2 + 0.350 \times 0.175 \times 18 + 0.770 \times 0.225 \times 16 = 4.772 \text{ m}^2$$

梁部正面

$$a2 = \{ 10.000 \times 0.600 + (10.000 + 6.800) \times 0.500 \times 1/2 - (4.000 + 5.200) \times 0.300 \times 1/2 \} \times 2 \text{ 面} = 17.640 \text{ m}^2$$

梁部側面・下面

$$a3 = \{ (0.600 + 1.676 + 0.671) \times 2 + 4.000 \} \times 1.300 + 0.800 \times 0.150 \times 4 = 13.342 \text{ m}^2$$

柱部正面・側面

$$a3 = (0.800 \times 1.500 + 1.000 \times 1.500) \times 4 = 10.800 \text{ m}^2$$

$$\Sigma = 46.55 \text{ m}^2$$

$$\text{跨線橋部以外 (P6-P8 径間)} \quad \Sigma A = \underset{\text{P6橋脚}}{93.79} + \underset{\text{P7橋脚}}{59.43} + \underset{\text{P8橋脚}}{46.55} = 199.77 \text{ m}^2$$

(3) 材料使用量

(参考) 使用材料: 亜硝酸リチウム系 表面含浸材 0.30kg/m²、1回塗り (ロス10%)
(プロコン40)

シラン・シロキサン系 表面含浸材 0.18kg/m²、1回塗り (ロス10%)
(プロコンガードS)

単管足場作業

① 面積合計 $\Sigma A = \underset{\text{P1} \sim \text{P3} \text{橋脚}}{209.62} + \underset{\text{P6} \sim \text{P8} \text{橋脚}}{199.77} = \underline{409.39 \text{ m}^2}$

A =

② 材料使用量

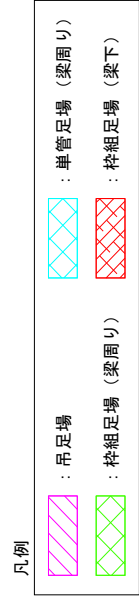
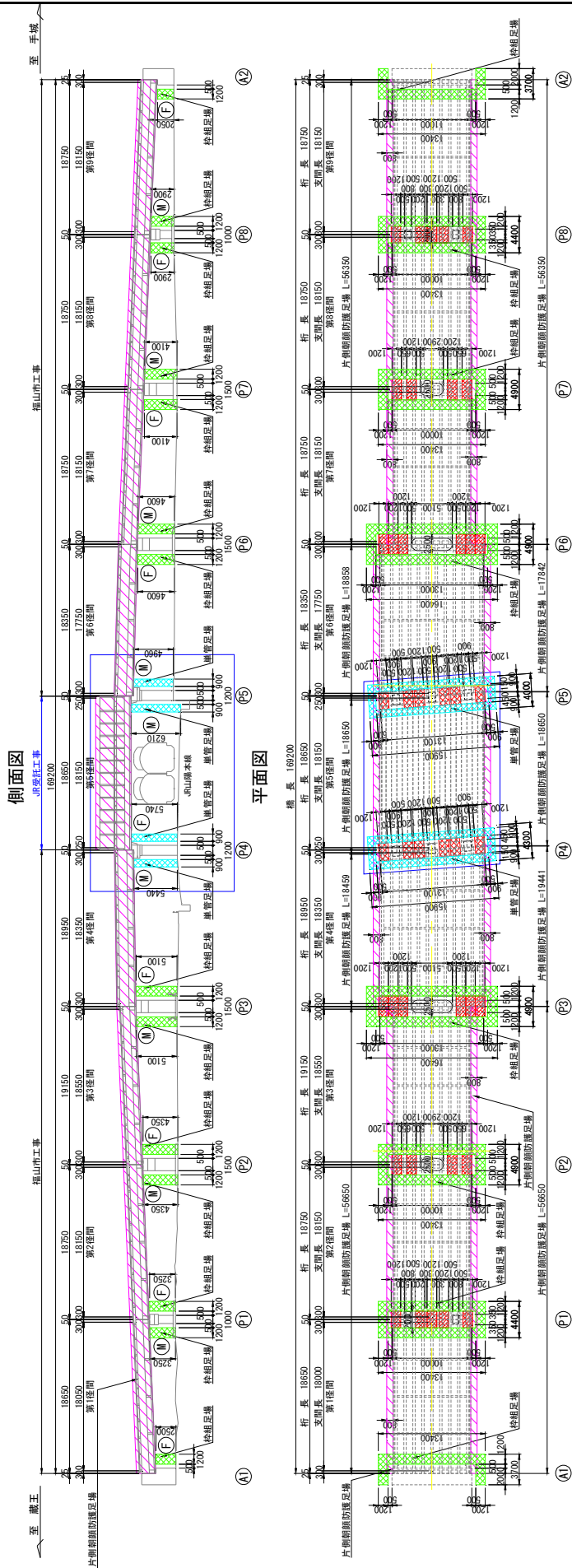
$$W = 409.39 \times 0.30 \text{ kg/m}^2 \times 1.1 \text{ (ロス率)} = \underline{135.10 \text{ kg}}$$

$$W = 409.39 \times 0.18 \text{ kg/m}^2 \times 1.1 \text{ (ロス率)} = \underline{81.06 \text{ kg}}$$

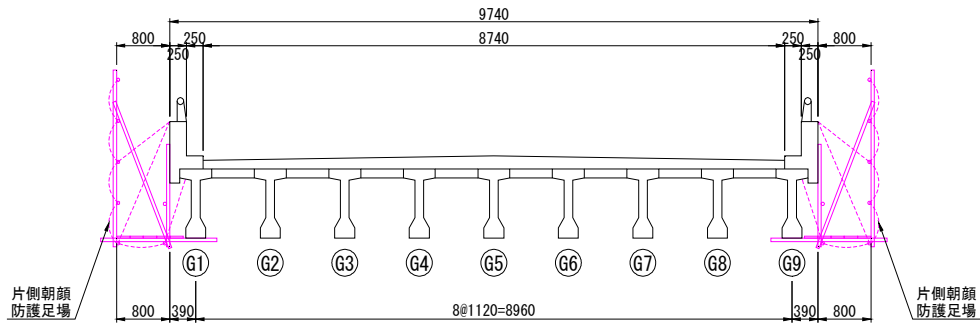
第4章 仮設工数量計算書

4.1 足場工

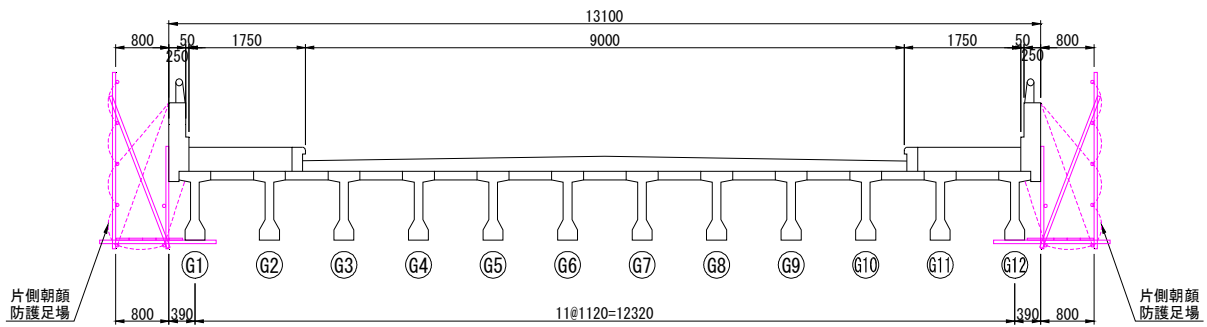
仮設工計画図
(参考図)



断面図 (A1-P3, P6-A2)



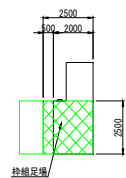
断面図 (P3-P4, P5-P6)



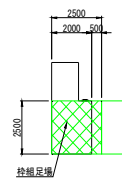
仮設工計画図 (下部工)
(参考図)

A1橋台

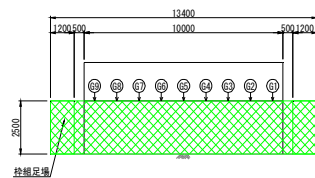
側面図 (左側)



側面図 (右側)

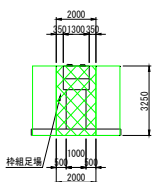


正面図 (終点側)

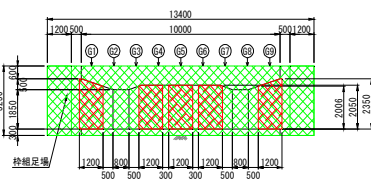


P1橋脚

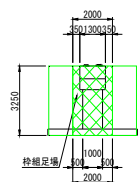
側面図 (左側)



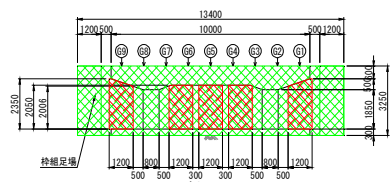
正面図 (起点側)



側面図 (右側)



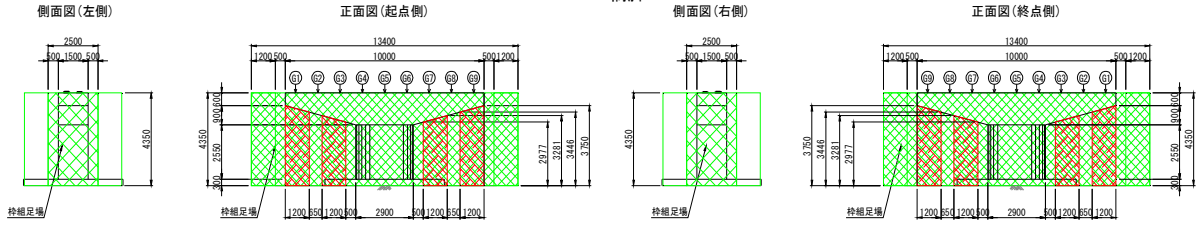
正面図 (終点側)



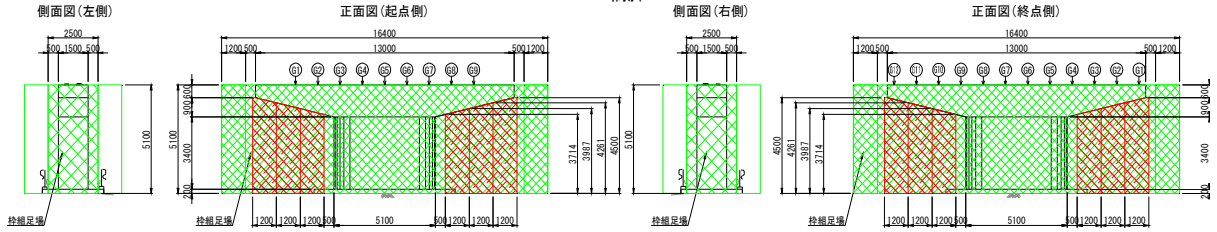
凡例



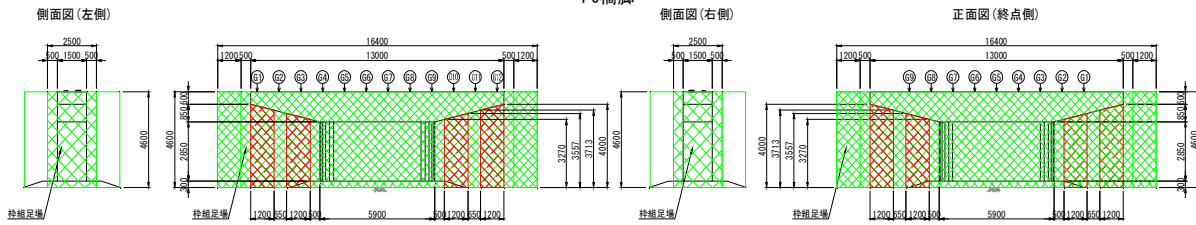
P2橋脚



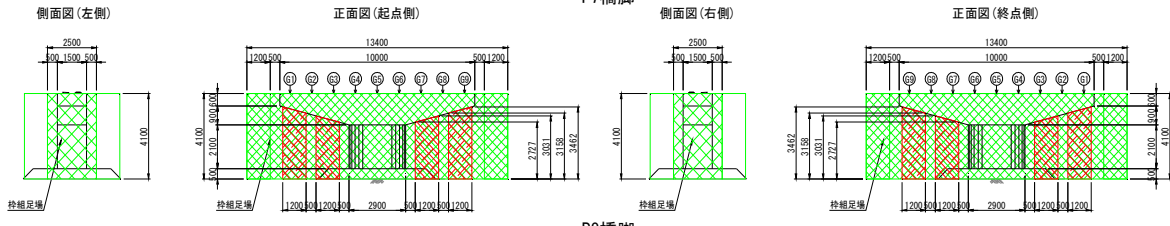
P3橋脚



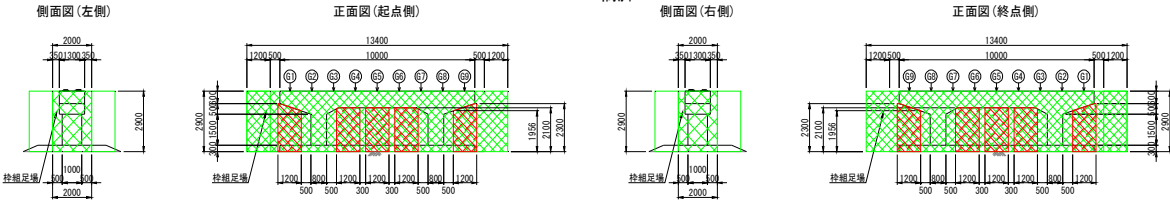
P6橋脚



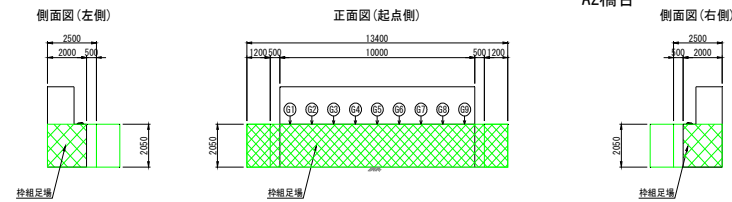
P7橋脚



P8橋脚



A2橋台



凡例



(1) 吊足場 (片側朝顔防護足場)

1) A1-P3間

$$A = (0.390 + 0.800) \times 56.650 \times \frac{2}{\text{左右}} = \underline{134.8 \text{ m}^2}$$

2) P3-P4間

$$A = (0.390 + 0.800) \times \left(\frac{18.459}{\text{左}} + \frac{19.441}{\text{右}} \right) = \underline{45.1 \text{ m}^2}$$

3) P5-P6間

$$A = (0.390 + 0.800) \times \left(\frac{18.858}{\text{左}} + \frac{17.842}{\text{右}} \right) = \underline{43.7 \text{ m}^2}$$

4) P6-A2間

$$A = (0.390 + 0.800) \times 56.350 \times \frac{2}{\text{左右}} = \underline{134.1 \text{ m}^2}$$

2) 集計

$$\Sigma A = \frac{134.8}{\text{A1-P3}} + \frac{45.1}{\text{P3-P4}} + \frac{43.7}{\text{P5-P6}} + \frac{134.1}{\text{P6-A2}} = \underline{357.70 \text{ m}^2}$$

(2) 枠組足場

1) A1橋台

・梁周り

$$A = \frac{2.500}{\text{高さ}} \times \left(\frac{13.40}{\text{正面}} + \frac{2.500}{\text{側面}} \times 2 \right) = \underline{46.0 \text{ 掛m}^2}$$

2) P1橋脚

・梁周り

$$A = \frac{3.250}{\text{高さ}} \times \left(\frac{13.40}{\text{正面}} \times 2 + \frac{2.000}{\text{側面}} \times 2 \right) = \underline{100.1 \text{ 掛m}^2}$$

・梁下

$$A = \left\{ \frac{2.05}{\text{高さ}} \times 3 + \left(\frac{2.35}{\text{高さ}} + \frac{2.01}{\text{高さ}} \right) \times \frac{1}{2} \times 2 \right\} \times 2.000 = \underline{21.0 \text{ 掛m}^2}$$

・小計

$$\underline{\Sigma a = 121.1 \text{ 掛m}^2}$$

3) P2橋脚

・梁周り

$$A = \frac{4.350}{\text{高さ}} \times \left(\frac{13.40}{\text{正面}} \times 2 + \frac{2.500}{\text{側面}} \times 2 \right) = \underline{138.3 \text{ 掛m}^2}$$

・梁下

$$A = \left\{ \left(\frac{2.98}{\text{高さ}} + \frac{3.28}{\text{高さ}} \right) \times \frac{1}{2} \times 2 + \left(\frac{3.45}{\text{高さ}} + \frac{3.75}{\text{高さ}} \right) \times \frac{1}{2} \times 2 \right\} \times 2.500 = \underline{33.7 \text{ 掛m}^2}$$

・小計

$$\underline{\Sigma a = 172.0 \text{ 掛m}^2}$$

4) P3橋脚

・梁周り

$$A = \underset{\text{高さ}}{5.100} \times \left(\underset{\text{正面}}{16.40} \times 2 + \underset{\text{側面}}{2.500} \times 2 \right) = \underline{\underline{192.8 \text{ 掛m}^2}}$$

・梁下

$$A = \left\{ \left(\underset{\text{高さ}}{3.71} + \underset{\text{高さ}}{3.99} \right) \times \frac{1}{2} \times 2 + \left(\underset{\text{高さ}}{3.99} + \underset{\text{高さ}}{4.26} \right) \times \frac{1}{2} \times 2 \right. \\ \left. + \left(\underset{\text{高さ}}{4.26} + \underset{\text{高さ}}{4.50} \right) \times \frac{1}{2} \times 2 \right\} \times 2.500 = \underline{\underline{61.8 \text{ 掛m}^2}}$$

・小計

$$\underline{\underline{\Sigma a = 254.6 \text{ 掛m}^2}}$$

5) P6橋脚

・梁周り

$$A = \underset{\text{高さ}}{4.600} \times \left(\underset{\text{正面}}{16.40} \times 2 + \underset{\text{側面}}{2.500} \times 2 \right) = \underline{\underline{173.9 \text{ 掛m}^2}}$$

・梁下

$$A = \left\{ \left(\underset{\text{高さ}}{3.27} + \underset{\text{高さ}}{3.56} \right) \times \frac{1}{2} \times 2 + \left(\underset{\text{高さ}}{3.56} + \underset{\text{高さ}}{3.71} \right) \times \frac{1}{2} \times 2 \right. \\ \left. + \left(\underset{\text{高さ}}{3.71} + \underset{\text{高さ}}{4.00} \right) \times \frac{1}{2} \times 2 \right\} \times 2.500 = \underline{\underline{54.5 \text{ 掛m}^2}}$$

・小計

$$\underline{\underline{\Sigma a = 228.4 \text{ 掛m}^2}}$$

6) P7橋脚

・梁周り

$$A = \underset{\text{高さ}}{4.100} \times \left(\underset{\text{正面}}{13.40} \times 2 + \underset{\text{側面}}{2.500} \times 2 \right) = \underline{\underline{130.4 \text{ 掛m}^2}}$$

・梁下

$$A = \left\{ \left(\underset{\text{高さ}}{2.73} + \underset{\text{高さ}}{3.03} \right) \times \frac{1}{2} \times 2 \right. \\ \left. + \left(\underset{\text{高さ}}{3.16} + \underset{\text{高さ}}{3.46} \right) \times \frac{1}{2} \times 2 \right\} \times 2.500 = \underline{\underline{31.0 \text{ 掛m}^2}}$$

・小計

$$\underline{\underline{\Sigma a = 161.4 \text{ 掛m}^2}}$$

7) P8橋脚

・梁周り

$$A = \frac{2.900}{\text{高さ}} \times \left(\frac{13.40}{\text{正面}} \times 2 + \frac{2.000}{\text{側面}} \times 2 \right) = \underline{89.3 \text{ 掛m}^2}$$

・梁下

・梁下

$$A = \left\{ \frac{2.10}{\text{高さ}} \times 3 + \left(\frac{1.96}{\text{高さ}} + \frac{2.30}{\text{高さ}} \right) \times \frac{1}{2} \times 2 \right\} \times 2.000$$

$$= \underline{21.1 \text{ 掛m}^2}$$

・小計

$$\underline{\Sigma a = 110.4 \text{ 掛m}^2}$$

8) A2橋台

・梁周り

$$A = \frac{2.050}{\text{高さ}} \times \left(\frac{13.40}{\text{正面}} + \frac{2.500}{\text{側面}} \times 2 \right) = \underline{37.7 \text{ 掛m}^2}$$

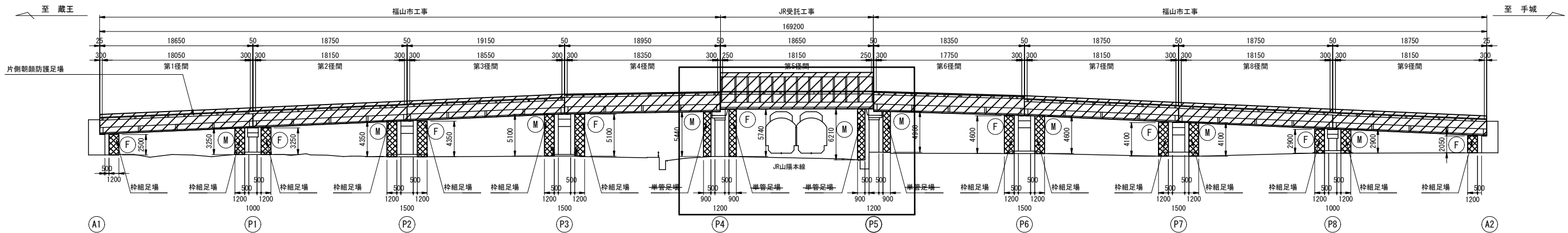
9) 集計

$$\Sigma A = \frac{46.0}{\text{A1橋台}} + \frac{121.1}{\text{P1橋脚}} + \frac{172.0}{\text{P2橋脚}} + \frac{254.6}{\text{P3橋脚}} + \frac{228.4}{\text{P6橋脚}} + \frac{161.4}{\text{P7橋脚}} + \frac{110.4}{\text{P8橋脚}} + \frac{37.7}{\text{A2橋台}} = \underline{1131.6 \text{ 掛m}^2}$$

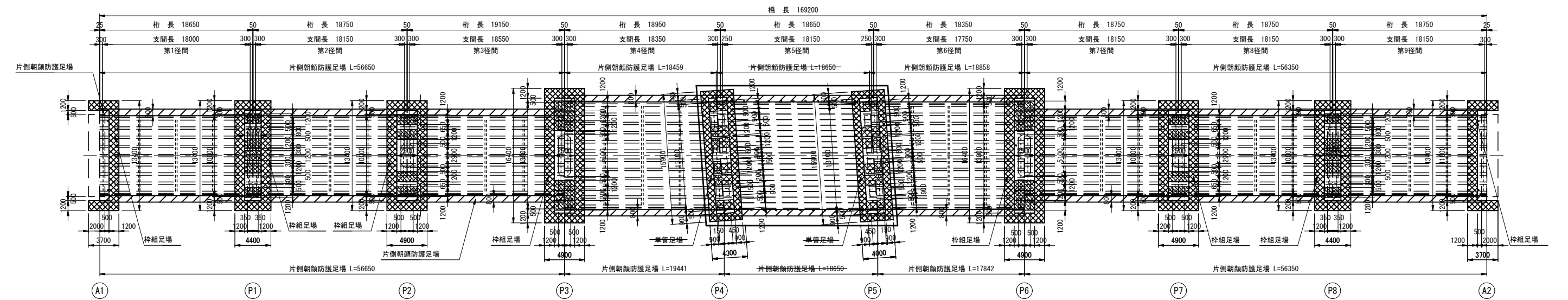
東部陸橋 仮設計画図(その1)(参考図)

S=1:250

側面図

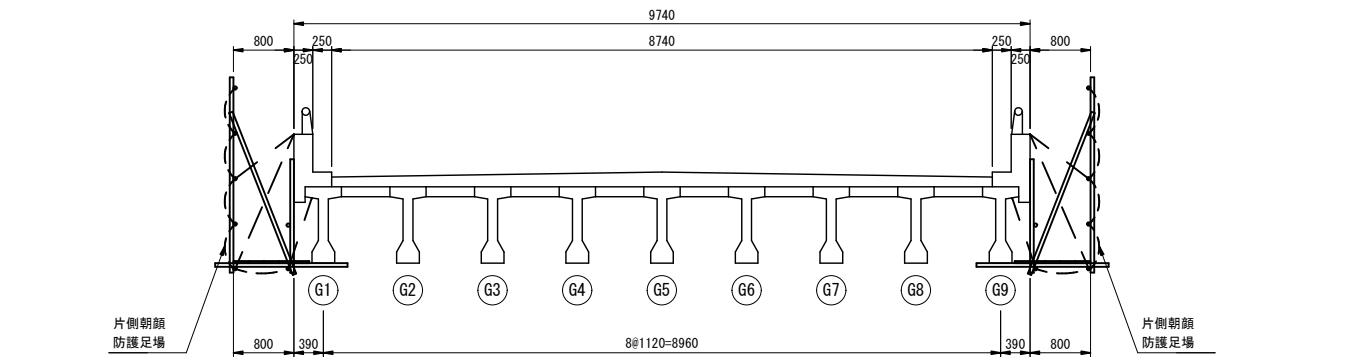


平面図



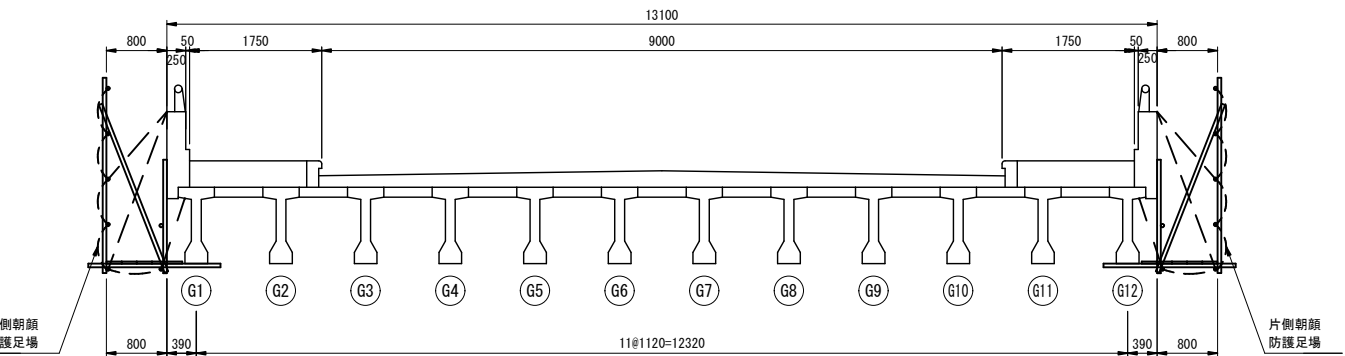
断面図 (A1-P3, P6-A2)

S=1:50



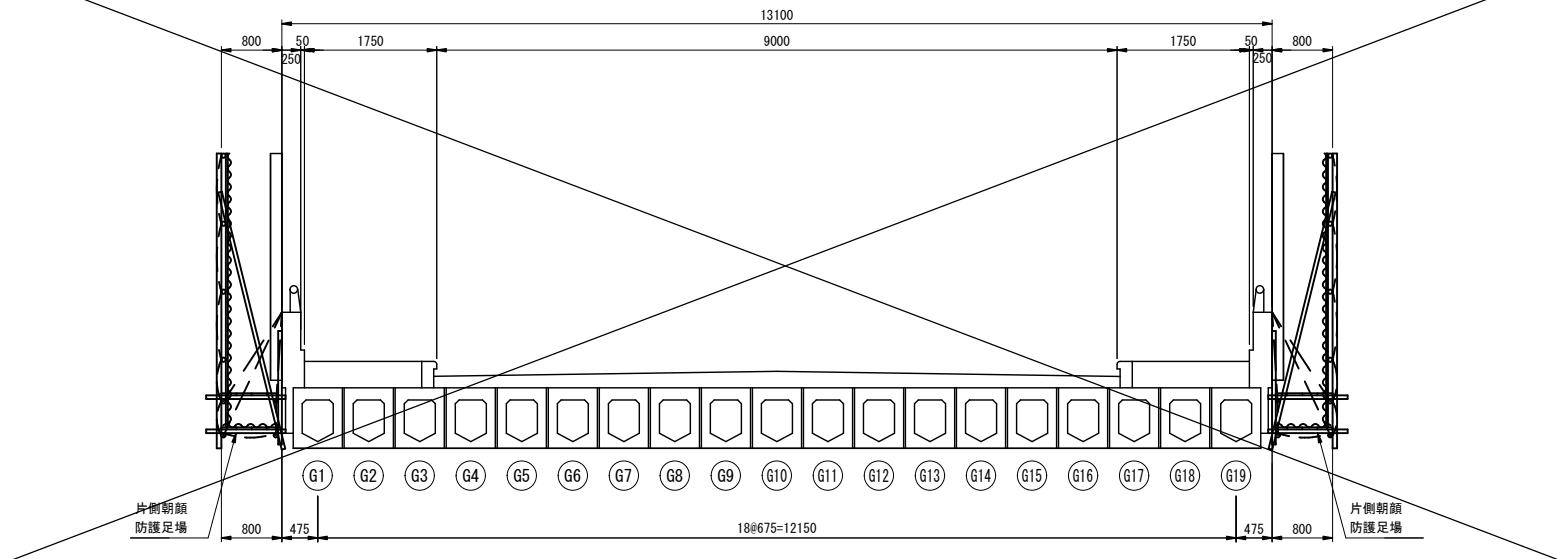
断面図 (P3-P4, P5-P6)

S=1:50



断面図 (P4~P5)

S=1:50



凡例

- 吊足場 (梁周り) : 単管足場 (梁周り) : 桟組足場 (梁周り) : 桟組足場 (梁下)

注記

- 1) 本図面は、既存資料および現地地測を元に作成したものである。工事の概略は、寸法形状を測定し、使用する。2) 補修箇所は再計測し、数量を計上すること。3) P4-P5間およびP6-P7間は、詳細図面未実施のため既存資料より作成。

※この図面はA1-A3に縮尺して印刷しています。設計：株式会社 長大テック

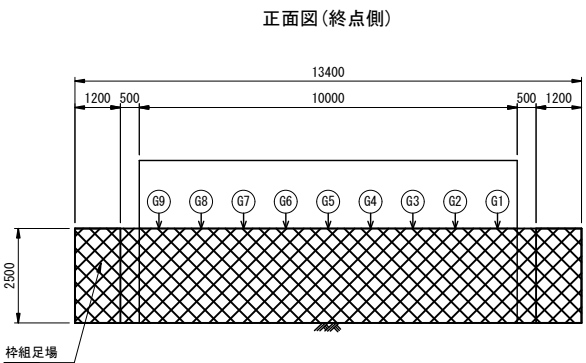
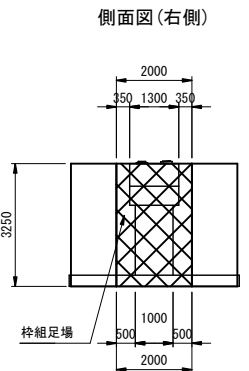
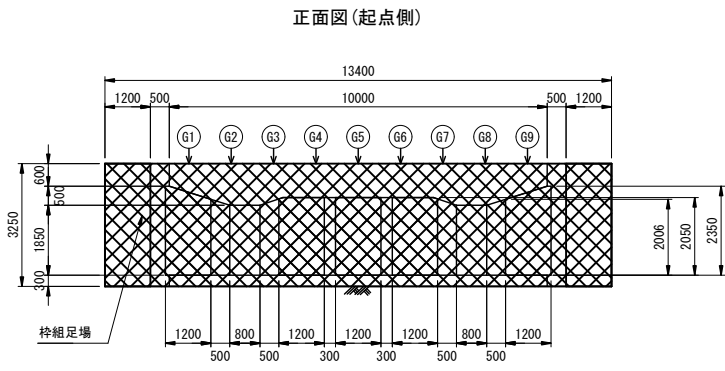
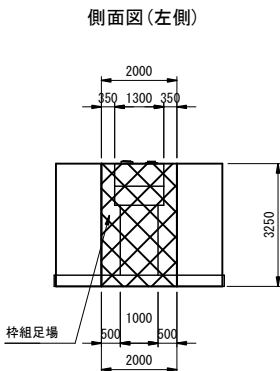
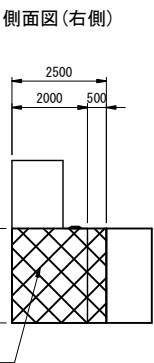
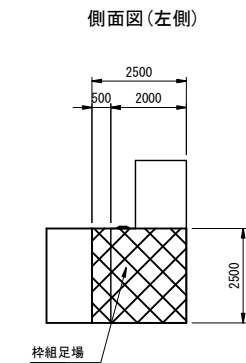
工事名	橋梁修繕工事(東部陸橋・8-1)		
図面名	東部陸橋 仮設計画図(その1)		
作成年月日	令和8年6月		
縮尺	図示	図面番号	1 / 3
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外2か町 地内		
事業者名	福山市		

東部陸橋 仮設計画図(その2)(参考図)

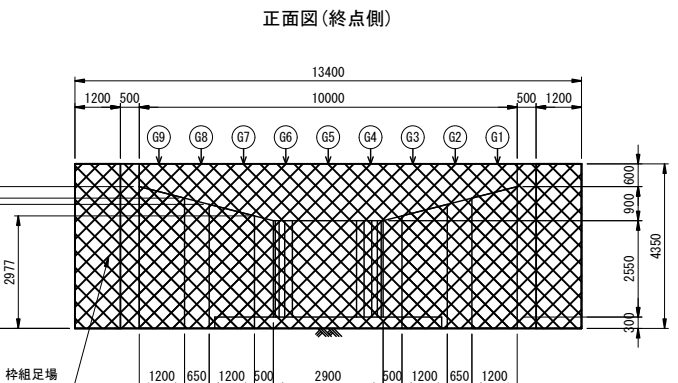
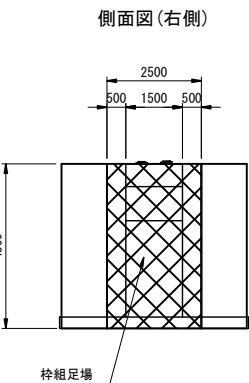
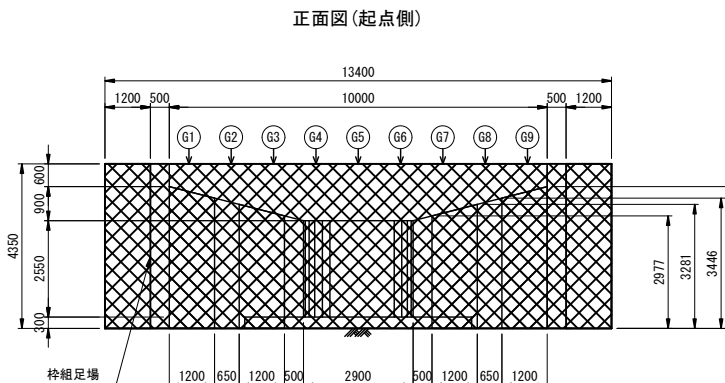
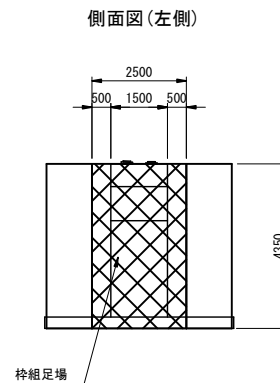
S=1:100

(下部工: 枠組足場)

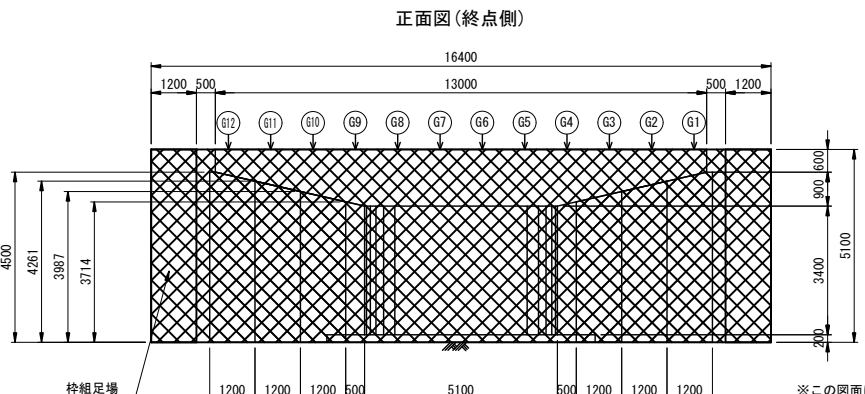
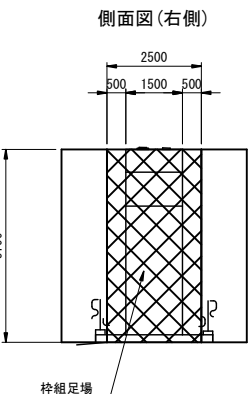
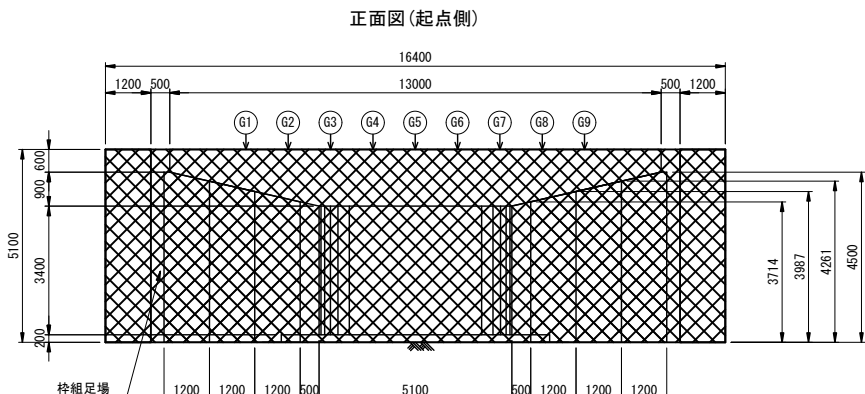
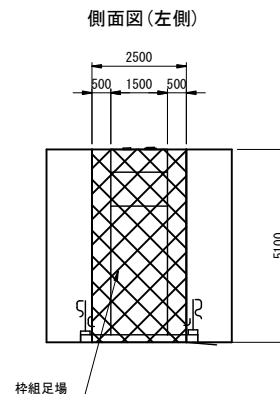
A1橋台



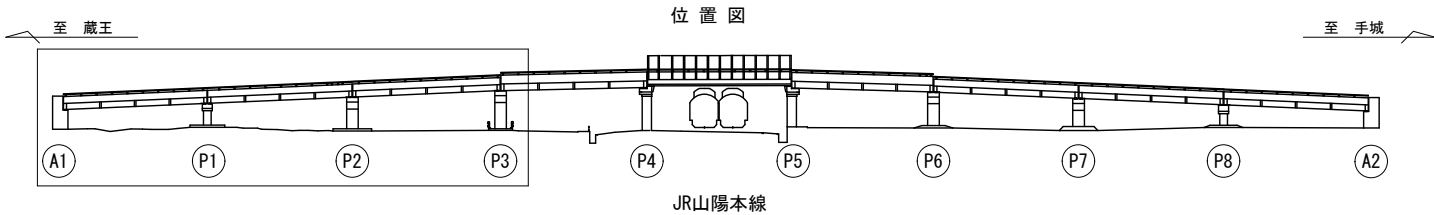
P1橋脚



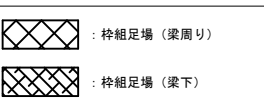
P3橋脚



※この図面はA1～A3に縮尺して印刷しています。
設計：株式会社 長大テック



凡例



注記

- 1) 本図面は、既存資料および現地計測を元に作成したものである。工事の際には、寸法形状を測定し使用すること。
- 2) 補修箇所は再計測し、数量を計上すること。



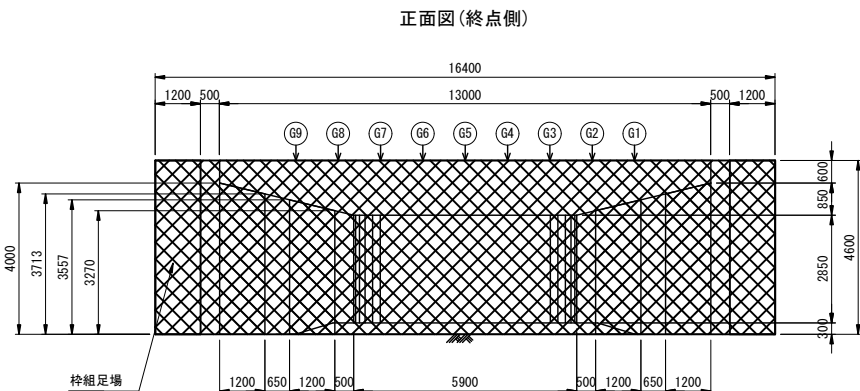
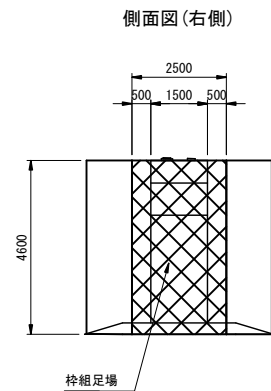
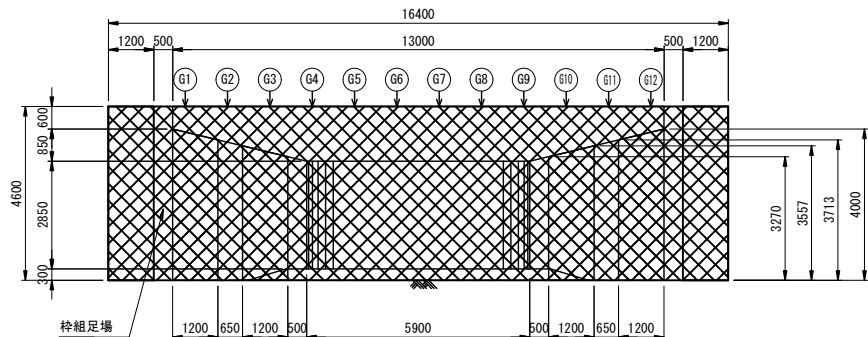
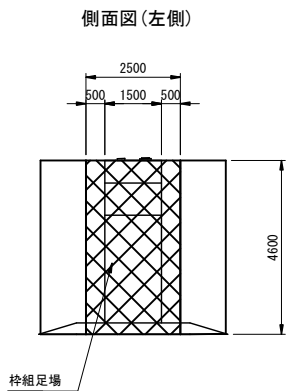
工事名	橋梁修繕工事(東部陸橋・8-1)		
図面名	東部陸橋 仮設計画図(その2)		
作成年月日	令和8年6月		
縮尺	図示	図面番号	2 / 3
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外2か町 地内		
事業者名	福 山 市		

東部陸橋 仮設計画図(その3)(参考図)

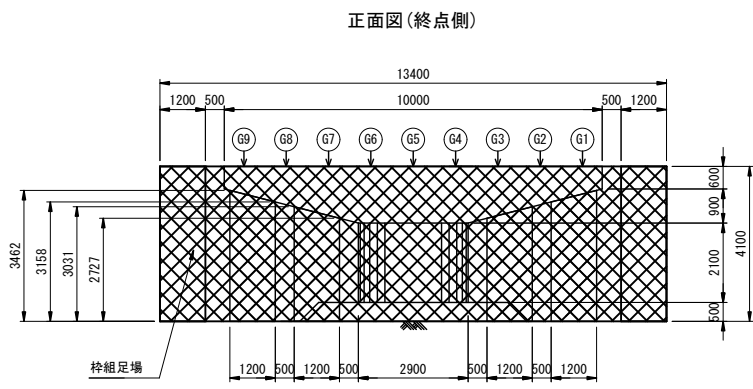
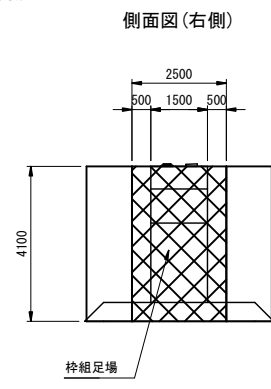
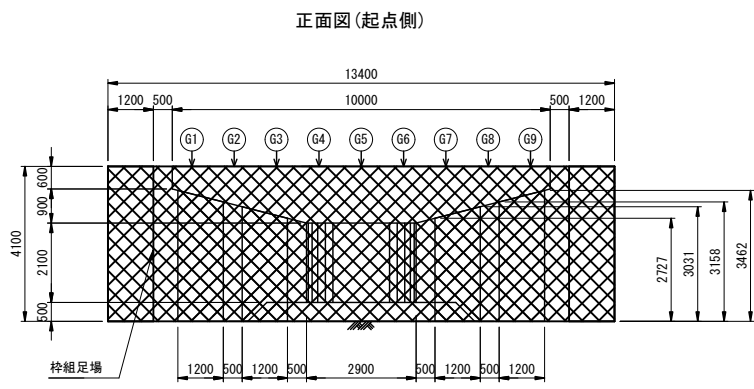
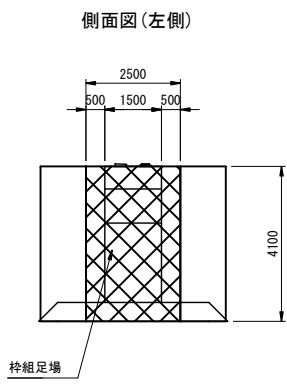
S=1:100

(下部工: 枠組足場)

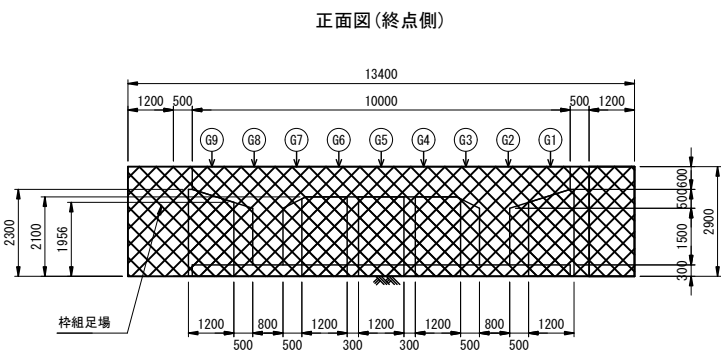
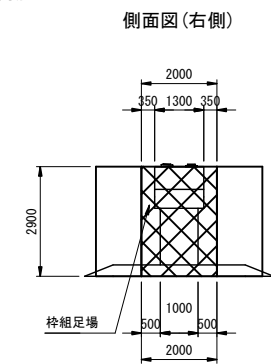
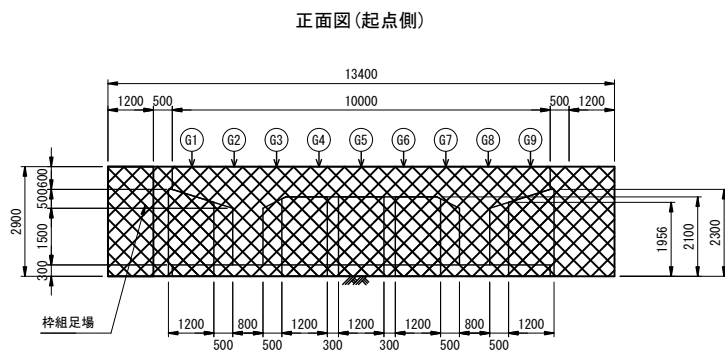
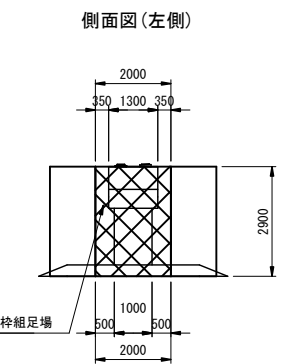
P6橋脚



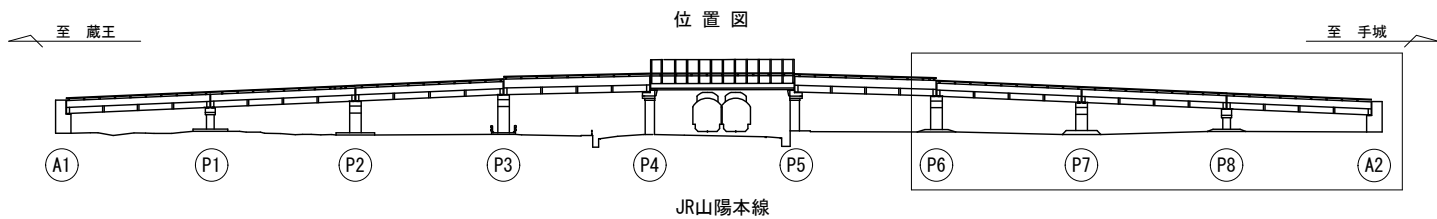
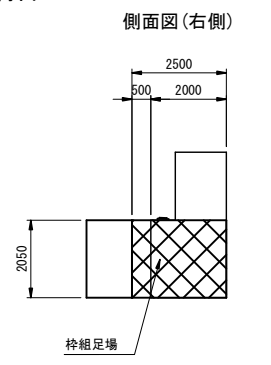
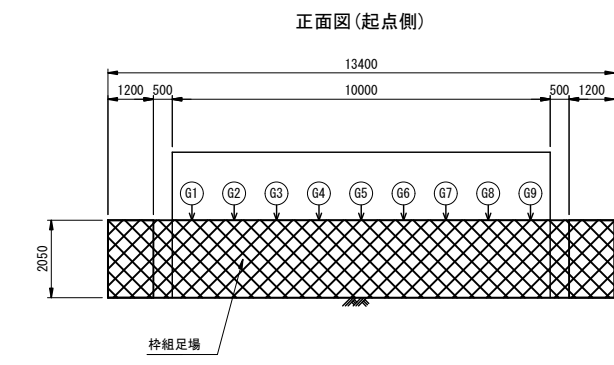
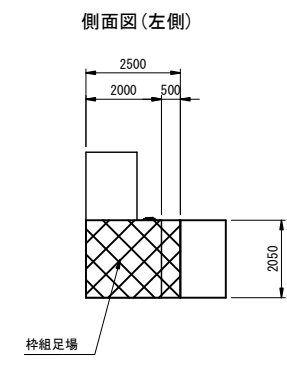
P7橋脚



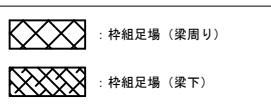
P8橋脚



A2橋台



凡例



注記

- 1) 本図面は、既存資料および現地計測を元に作成したものである。工事の際には、寸法形状を測定し使用すること。
- 2) 補修箇所は再計測し、数量を計上すること。



※この図面はA1～A3に縮尺して印刷しています。
設計：株式会社 長大テック

工事名	橋梁修繕工事(東部陸橋・8-1)		
図面名	東部陸橋 仮設計画図(その3)		
作成年月日	令和8年6月		
縮尺	図示	図面番号	3 / 3
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外2か町 地内		
事業者名	福 山 市		